

ネットワーク計装部品 エムシスネット **MsysNet**[®] システム
計器ブロックリスト

■適用製品

ネットワーク計装部品 MsysNet システム

SC100/200 シリーズ シングルループコントローラ

目 次

1. はじめにお読みください	5
2. システム共通ブロック	7
システム共通テーブル（SC シリーズ、ABH2 用）	8
システム共通テーブル（ABL 用）	10
システム共通テーブル（その他の MsysNet 機器用）	12
基本形 PID	14
拡張形 PID	16
MV 操作	19
比率設定	20
指示計	22
Di 受信端子	23
Do 送信端子	25
Ai 受信端子	27
Ao 送信端子	29
接点入力／積算値出力	31
パルス加算	32
パルス・アナログ乗算	33
パルス積算	34
パルス入力／接点出力	35
バッチプログラム設定	36
加減算	38
乗算	39
除算	40
開平	41
絶対値	42
非線形・不感帯	43
ドロップアウト	44
折れ線リニアライザ	45
温度圧力補正	47
変化率制限	48
一次遅れフィルタ	49
2段形一次遅れフィルタ	50
等速応答フィルタ（変化率制限）	51
多数決フィルタ	52
移動平均フィルタ	53
進み演算	55
むだ時間演算	56
むだ時間補償	57
積算（瞬時値入力）	58
プログラム設定	60
上下制限	62
偏差制限	63
入力選択（緩和形）	64
出力選択	65
入力選択	66
8点入力選択	67
最大値選択	69
最小値選択	70
定数選択	71

8点定数出力	72
上下限警報	73
偏差警報	74
変化率警報	75
パラメータ設定	76
記数法変換	78
重量積算	81
アナログ／パルス幅変換	82
アナログメモリ	83
ITEM 読み出し	84
接点結合	85
アナログ比較	87
アナンシエータ	89
間欠タイマ	91
タイマ	92
カウンタ	93
内部スイッチ	94
システム内部スイッチ	95
シーケンス	96
無線回線端子	101
専用回線端子	105
電話回線端子	109

3. フィールド端子ブロック 116

SC100 フィールド端子	117
SC100 拡張フィールド端子1	119
SC100 拡張フィールド端子2	122
SC200 フィールド端子	125
SC200 拡張フィールド端子1	127
SC200 拡張フィールド端子2	130
SC200W フィールド端子	133
SC200W 拡張フィールド端子1	135
SC200W 拡張フィールド端子2	138
SC110 フィールド端子	141
SC110 拡張フィールド端子1	143
SC110 拡張フィールド端子2	146
SC210 フィールド端子	149
SC210 拡張フィールド端子1	151
SC210 拡張フィールド端子2	154
SC210W フィールド端子	157
SC210W 拡張フィールド端子1	159
SC210W 拡張フィールド端子2	162
ABA フィールド端子	165
ABC, ABD フィールド端子	168
ABE フィールド端子	170
ABH フィールド端子	173
ABH2 フィールド端子	175
18MA フィールド端子	179
18MP フィールド端子	181
18MC-1 フィールド端子	183
18MF-1 フィールド端子	185
18MF-2 フィールド端子	186
18MF-3 フィールド端子	187

18MG-1 フィールド端子.....	188
18MG-3 フィールド端子.....	189
SMLR-1 フィールド端子.....	191
SMLR-2 フィールド端子.....	192
SMLR-3 フィールド端子.....	193
SM** フィールド端子（センサ直入力用）.....	194
SMA フィールド端子.....	195
SMDT フィールド端子.....	197
SML-A4, SMM-A4 フィールド端子.....	200
SML-C7, -C8, SMM-C7, -C8 フィールド端子.....	201
SML-E5, SMM-E5 フィールド端子.....	202
SML-G3, SMM-G3 フィールド端子.....	203
SML-G4, SMM-G4 フィールド端子.....	205
SML-M4, SMM-M4 フィールド端子.....	206
SML-P4, SMM-P4 フィールド端子.....	207
SML-R2 フィールド端子.....	209
SML-R3, SMM-R3 フィールド端子.....	210
SML-S5, SMM-S5 フィールド端子.....	212
SML-S6, SMM-S6 フィールド端子.....	213
39M フィールド端子.....	215
ABL フィールド端子.....	218
ABL 拡張フィールド端子 1.....	220
ABL 拡張フィールド端子 2.....	223
 4. 解説.....	 226
4.1 システム構築方法の概要.....	226
4.2 アドレス設定.....	227
4.3 計器ブロックの相互関係.....	228
4.4 計器ブロックの設定場所.....	229
4.5 計器ブロック間の結線方法.....	230
4.5.1 計器ブロックの結線用端子の表現ルールの例.....	230
4.5.2 アナログ信号の結線ルール.....	230
4.5.3 接点信号の結線ルール.....	230
4.5.4 パラメータ設定.....	230
4.5.5 ITEM 読み出し.....	231
4.6 機器間伝送端子による伝送.....	232
4.7 多重伝送のアドレス設定方法.....	235
4.8 プログラミングユニット（形式：PU-2x）の操作方法.....	236
付録（1）計器ブロックエラーコード.....	238
付録（2）PLC インタフェース（SMDL, SMDK）の接続可能機種一覧.....	239
付録（3）SC シリーズのバージョンアップ補足情報.....	241

1. はじめにお読みください

■本取扱説明書使用上の前提条件

本取扱説明書は、MsysNet 計装システム の概念を把握されている方を対象に作成しています。MsysNet 計装システムについて未経験の方には、セミナーの受講をおすすめしています。セミナーの詳細につきましては、弊社営業担当またはカスタマセンターまでお問い合わせください。

本書の内容は、改良などのため予告なしに変更することがあります。弊社 Web サイトに最新の情報を掲載していますので、あわせてご確認ください。

■本取扱説明書中の記号

◆：パラメータ自動変更可能

「パラメータ設定」ブロックを使用して変更可能な ITEM です。詳細は「パラメータ設定」（形式：79）の「概説」をご参照ください。

★：設定データ

対象とした「計器ブロック」を動作させるときに、設定する必要がある、あるいは設定できる ITEM です。

◆、★印のない ITEM：動作中の状態、数値などをモニタできる ITEM です。

○：常時変更可能

△：ITEM 01 でプログラムモードに設定したときに変更可能

◎：ITEM 01 でシミュレーションモードに設定したときに変更可能

■計器ブロックと ROM バージョン

機種や ROM バージョンによっては、使用できない計器ブロックや制限される機能（ITEM）があります。ROM バージョンは、GROUP 00、ITEM 99 で表示されます。

詳細につきましては、弊社のホットライン（フリーダイヤル 0120-18-6321）までお問い合わせください。

なお、SC シリーズ機器および ABH2 につきましては、ROM バージョンごとに使用できる計器ブロックや機能を識別マーク（例：**SC 1.50**）により表示しています。また SC シリーズは、「付録(3) SC シリーズのバージョンアップ補足情報」にて補足情報を掲載しています。

[使用できない可能性がある計器ブロック]

- ・ 変化率制限（形式：17）
- ・ 入力選択（緩和形）（形式：18）
- ・ 出力選択（形式：19）
- ・ 接点入力／積算値出力（形式：44）
- ・ 8点入力選択（形式：85）
- ・ 8点定数出力（形式：86）
- ・ 接点結合（形式：87）
- ・ アナログ比較（形式：88）

[機能が制限される可能性がある計器ブロック]

- ・ 基本形 PID（形式：21）
- ・ 拡張形 PID（形式：22）
- ・ 比率設定（形式：24）
- ・ 折れ線リニアライザ（形式：58）
- ・ 移動平均フィルタ（形式：64）
- ・ 記数法変換（形式：80）
- ・ システム内部スイッチ（形式：94）
- ・ SC □□□拡張フィールド端子1（形式：F72、F73、Group 04）
- ・ SC □□□拡張フィールド端子2（形式：F70、F71、F72、F73、Group 05）

[その他]

- ・ SMDT → 「調節 [G02 ～ 03]」、「演算 [G30 ～ 61]」、「演算 [G62 ～ 69]」、「演算 [G72 ～ 79]」に登録できる計器ブロックは使用できません。
- ・ SMDM → 「調節」に登録できる計器ブロックは使用できません。

■本取扱説明書に掲載されていない関連機器について

- ・ SC200B、SC200C、SC200D、その他記載されていない機器については別途取扱説明書をご用意していますので、機器固有の計器ブロック等は、そちらをご参照ください。
- ・ エンベデッドコントローラ（形式：R3RTU-EM □）については別途取扱説明書をご用意していますので、機器固有の計器ブロック等は、そちらをご参照ください。
- ・ PLC インタフェース（形式：SMDL、SMDK）については別途取扱説明書をご用意しています。PLC インタフェースの接続可能機種は、「付録(2) PLC インタフェース（SMDL、SMDK）の接続可能機種一覧」をご参照ください。

■コールドスタートとホットスタートについて

- ・ホットスタートを実行するとパラメータを保持した状態でプログラムやシーケンスを最初から実行します。
- ・コールドスタートを実行するとパラメータをクリアした状態でプログラムやシーケンスを最初から実行します。そのため、プログラムやシーケンスを変更した場合にはコールドスタートすることを推奨します。
- ・コールドスタートの実行方法については以下の通りです。
プログラミングユニット（形式：PU-2x）やビルダーソフト（形式：SFEW3）の「PU-2 画面」から行います。SC シリーズの場合は、「プログラミング画面」からも実行できます。
- ・コールドスタートの実行方法
手順 1: [Group][0][0] と入力し (OK) が表示されたら [Item][0][1] [Data][1] [Enter] とキーインします。SC シリーズの場合は、画面横に黄色いラインが点滅表示を行い、プログラミングモードに移行します。
手順 2: リセット操作を実行します。[Item][0][3] [Data][2] [Enter] とキーインします。本体が再起動します。

2. システム共通ブロック

略号	形式・名称	[登録可能グループ]
■システム共通テーブル		
	SC シリーズ、ABH2 用	[G00]
	その他の MsysNet 機器用	[G00]
■調 節		
BCA	21 基本形 PID	[G02 ~ 03]
ECA	22 拡張形 PID	[G02 ~ 03]
MVA	23 MV 操作	[G02 ~ 03]
RSA	24 比率設定	[G02 ~ 03]
IND	25 指示計	[G02 ~ 03]
■機器間伝送		
CDI	31 Di 受信端子	[G11 ~ 26]
CDO	32 Do 送信端子	[G11 ~ 26]
CAI	33 Ai 受信端子	[G11 ~ 26]
CAO	34 Ao 送信端子	[G11 ~ 26]
■演 算		
パルス入力		
QIP	44 接点入力／積算値出力	[G30 ~ 61]
PAD	45 パルス加算	[G30 ~ 61]
QAM	46 パルス・アナログ乗算	[G30 ~ 61]
QSS	47 パルス積算	[G30 ~ 61]
QPO	48 パルス入力／接点出力	[G30 ~ 61]
BPS	49 バッチプログラム設定	[G62 ~ 69]
四則演算		
ADS	51 加減算	[G30 ~ 61]
MLT	52 乗算	[G30 ~ 61]
DVD	53 除算	[G30 ~ 61]
関数		
SQR	54 開平	[G30 ~ 61]
ABS	55 絶対値	[G30 ~ 61]
NLN	56 非線形・不感帯	[G30 ~ 61]
DRP	57 ドロップアウト	[G30 ~ 61]
LIN	58 折れ線リニアライザ	[G72 ~ 79]
TCP	59 温度圧力補正	[G30 ~ 61]
時間関数		
RCL	17 変化率制限	[G30 ~ 61]
LAG	60 一次遅れフィルタ	[G30 ~ 61]
2LG	61 2段形一次遅れフィルタ	[G30 ~ 61]
RMP	62 等速応答フィルタ（変化率制限）	[G30 ~ 61]
MAJ	63 多数決フィルタ	[G30 ~ 61]
RAV	64 移動平均フィルタ	[G30 ~ 61]
LED	65 進み演算	[G30 ~ 61]
DTM	66 むだ時間演算	[G30 ~ 61]
DTC	67 むだ時間補償	[G30 ~ 61]

略号	形式・名称	[登録可能グループ]
■演 算（続き）		
QNT	68 積算（瞬時値入力）	[G30 ~ 61]
PRG	69 プログラム設定 （58 折れ線リニアライザによるプログラム設定器）	[G72 ~ 79]
信号制限		
HLL	70 上下限制限	[G30 ~ 61]
DVL	71 偏差制限	[G30 ~ 61]
信号選択		
SFT	18 入力選択（緩和形）	[G30 ~ 61]
OTS	19 出力選択	[G30 ~ 61]
INS	72 入力選択（2点選択）	[G30 ~ 61]
INE	85 8点入力選択	[G30 ~ 61]
MAX	73 最大値選択	[G30 ~ 61]
MIN	74 最小値選択	[G30 ~ 61]
CTS	75 定数選択（2点選択）	[G30 ~ 61]
CTE	86 8点定数選択	[G30 ~ 61]
警 報		
PVA	76 上下限警報	[G30 ~ 61]
DVA	77 偏差警報	[G30 ~ 61]
VRA	78 変化率警報（変化率演算）	[G30 ~ 61]
その他		
PMS	79 パラメータ設定	[G30 ~ 61]
BCD	80 記数法変換	[G30 ~ 61]
QWT	81 重量積算（ロードセル入力）	[G30 ~ 61]
ADT	82 アナログ／パルス幅変換	[G30 ~ 61]
AMM	83 アナログメモリ （最大値、瞬時値、最小値）	[G30 ~ 61]
ITR	84 ITEM 読み出し	[G30 ~ 61]
■シーケンス制御用		
DCN	87 接点結合	[G30 ~ 61]
ACP	88 アナログ比較	[G30 ~ 61]
ANN	89 アナログシエータ	[G30 ~ 61]
TMC	90 間欠タイマ	[G30 ~ 61]
TMR	91 タイマ	[G30 ~ 61]
CTR	92 カウンタ	[G30 ~ 61]
ISW	93 内部スイッチ	[G30 ~ 61]
SSW	94 システム内部スイッチ	[G80]
SEQ	95 シーケンス	[G81 ~ 92]
■モデム端子		
TLW	96 無線回線端子	[G97 ~ 98]
TLM	98 専用回線端子	[G97 ~ 98]
TLC	99 電話回線端子	[G97 ~ 98]

システム共通テーブル(SCシリーズ、ABH2用)

GROUP [00] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
00	○	0、1	CD: N	カード切替 (0：実カード、1：拡張カード) (注 1)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ グループ 00 でこのスイッチを変更すると、全グループのメンテナンススイッチが変更されます
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示			■制御状態表示
			RUN	動作中
			STOP	停止中
03	△			■動作指令
		0	STOP	ストップ
		1	HOT START	ホットスタート
		2	COLD START	コールドスタート
06	表示			■ NestBus 通信状態表示
			RUN	通信中
			STOP	停止中
★ 08	△			■ NestBus 通信モード
		0	0	送受信モード C#: 00 ~ 0F
		1	1	受信専用モード C#: 10 ~ 1E (カード番号の上位桁が自動的に '1' になります。上位バスからのデータは受信できません)
★ 11	△	50 ~ 3000 (ABH2 は 20 ~ 3000、 SC200W、SC210W は 100 ~ 3000)	NNNN	■処理周期設定 (msec) 10 msec 間隔で設定可能
12	表示		NNN%	■処理時間負荷率表示 (%)
13	○	0	NNN%	■処理時間最大負荷率表示 (%) '0' 入力でリセット可能
				■システム状態表示 (エラー表示)
21	表示		ALLRIGHT GROUP NN	・ EEPROM データベース破損 全ブロック正常 異常ブロック表示 (NN：グループ番号)
22	表示		PV NORMAL PV ABNORMAL	・ PV 異常 (SC シリーズは Pv 1 と Pv 2 の論理和で出力) フィールド端子ブロックの PV 入力の上下限警報値の状態を表示 PV 正常 PV 異常
23	表示		MV NORMAL MV ABNORMAL	・ MV アンサーバック異常 (SC シリーズは Mv 1 と Mv 2 の論理和で出力) フィールド端子ブロックの「MV チェック入力」と「MV 出力」との偏差の状態を表示 MV アンサーバック正常 MV アンサーバック異常
24	表示		ALLRIGHT GROUP NN	・ ブロック異常 (グループ番号表示) 全ブロック正常 異常ブロック表示 (NN：グループ番号)
25	表示		LOAD: RIGHT LOAD: OVER	・ 制御過負荷 制御適正負荷 制御過負荷

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
26	表示		COM: NN	・上位伝送異常 (注 2) 上位通信障害発生数 (NN)
30	表示		COM: PER: NN	・上位伝送異常 (注 2) パリティ・エラー発生数 (NN)
31	表示		COM: FER: NN	・上位伝送異常 (注 2) フレーミング・エラー発生数 (NN)
32	表示		COM: OER: NN	・上位伝送異常 (注 2) オーバーラン・エラー発生数 (NN)
33	表示		COM: SER: NN	・上位伝送異常 (注 2) サムチェック・エラー発生数 (NN)
35	表示		ALLRIGHT GROUP NN	・異常計器ブロック番号保持 全ブロック正常 異常ブロック表示 (NN : グループ番号)
36	表示		ER: NN	・異常内容保持 異常ブロック内容 (NN)
40	○	0, 1	0 1	■処理周期切換発生フラグ 正常 処理周期切換発生 '0' 入力でリセット可能。リセットすると ITEM 25 が 'LOAD:RIGHT' になります
★ 51	△	0 ~ F	CD: 0	■カード番号登録 (注 3)
★ 52	△	0000 ~ 9999	ID: NNNN	■赤外線 ID 登録 (注 4)
60	△	0, 1	RUN: 0 RUN: 1	■ RUN 接点異常解除モード (注 5) 自動解除 手動解除
61	○	0, 1	0 1	■ RUN 接点異常解除フラグ (注 5) 通常 解除 (ITEM 60 が手動解除のとき有効)
95	△	1	BLOCK RELEASE (初期表示 *)	■形式コード消去指令 (注 6) グループ 00、01、04、05、80 は消去しません
★ 96	表示	00 ~ 99	FIELD: <u>73</u>	■フィールド端子の細分形式設定
★ 97	△		<u>SC210</u>	■形式表示 (半角8文字以内、上位伝送用)
99	表示		<u>DCSSC N.NN</u>	■ ROM バージョン表示

(注 1) SC200W、SC210W のみ

(注 2) システム状態表示のうち、上位伝送異常 (ITEM 26 ~ 33) は、SC100/110 では使用しません。

(注 3) カード番号を変更した場合、自動的にリセットがかかります。

(注 4) ABH2 のみ

(注 5) SC シリーズ ROM バージョン 1.50 以降のみ

(注 6) SC200W、SC210W の場合、カード切替 (ITEM 00) で設定したカードを消去します。

システム共通テーブル(ABL用)

GROUP [00] 注) ◆ : パラメータ自動変更可能、★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	常時 可能 ○			■メンテナンススイッチ : (グループ 00 でこのスイッチを変更すると、全グループのメンテナンススイッチ が変更されます)
		0	MT : 0	DATA 表示のみ可能 (モニターモード)
		1	MT : 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT : S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示 "			■制御状態表示
			RUN	動作中
			STOP	停止中
03	△			■動作指令
		0	STOP	ストップ
		1	HOT START	ホットスタート
		2	COLD START	コールドスタート
06	表示			■ NestBus 通信状態表示
			RUN	通信中
			STOP	停止中
★ 08	△			■ NestBus 通信モード
		0	0	送受信モード C# : 00 ~ 0F
		1	1	受信専用モード C# : 10 ~ 1E (カード番号の上位桁が自動的に '1' になります)
★ 11	△	100 ~ 3000	NNNN	■処理周期設定 (m sec) (10msec 間隔で設定可能)
12	表示		NNNN%	■処理時間負荷率表示 (%)
13	常時 可能	0	NNNN%	■処理時間最大負荷率表示 (%) ('0' 入力でリセット可能)
21				■システム状態表示 (エラー表示)
	表示			・ EEPROM データベース破損
		0	ALLRIGHT GROUP NN	全ブロック正常 異常ブロック表示 (NN : グループ番号)
22	表示			・ PV 異常 (フィールド端子ブロックの PV 入力の上下限警報値の状態を表示)
		0	PV NORMAL PV ABNORMAL	PV 正常 PV 異常
23	表示			・ MV アンサーバック異常 (フィールド端子ブロックの「MV チェック入力」と「MV 出力」との偏差の状 態を表示)
		0	MV NORMAL MV ABNORMAL	MV アンサーバック正常 MV アンサーバック異常
24	表示			・ ブロック異常 (グループ番号表示)
			ALLRIGHT GROUP NN	全ブロック正常 異常ブロック表示 (NN : グループ番号)
25	表示			・ 制御過負荷
			LOAD : RIGHT	制御適正負荷
		0	LOAD : OVER	制御過負荷
26	表示			・ 上位伝送異常
		0	COM : NN	上位通信障害発生数 (NN)
30	表示			・ 上位伝送異常
		0	COM : PER : NN	パリティ・エラー発生数 (NN)
31	表示			・ 上位伝送異常
		0	COM : FER : NN	フレーミング・エラー発生数 (NN)
32	表示			・ 上位伝送異常
		0	COM : OER : NN	オーバーラン・エラー発生数 (NN)
33	表示			・ 上位伝送異常
		0	COM : SER : NN	サムチェック・エラー発生数 (NN)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
35	表示	0	ALLRIGHT GROUP NN	・異常計器ブロック番号保持 全ブロック正常 異常ブロック表示 (NN : グループ番号)
36	表示	0	ER : NN	・異常内容保持 異常ブロック内容 (NN)
40	常時 可能	0	0 1	■処理周期切替え発生フラグ 正常 処理周期切替え発生 ('0' 入力でリセット可能。リセットするとITEM25が 'LOAD:RIGHT' になります)
★ 51	△	0 ~ F	CD : 0	■カード番号登録※
★ 52	△			
★ 53	△	1	MD : N	動作モード (将来用)
91	表示		N. NN. NNNNN	■ ROM バージョン表示 (詳細)
95	△	1	BLOCK RELEASE (初期表示 *)	■形式コード消去指令 (グループ 00、01、80 は消去しません)
★ 96	表示	64	FIELD : 64	■フィールド端子の細分形式設定
★ 97	△		ABL	■形式表示 (半角 8 文字以内、上位伝送用)
99	表示		DCSABL N. NN	■ ROM バージョン表示

※カード番号を変更した場合、自動的にリセットがかかります。

システム共通テーブル(その他のMsysNet機器用)

GROUP [00] ★ : 設定データ

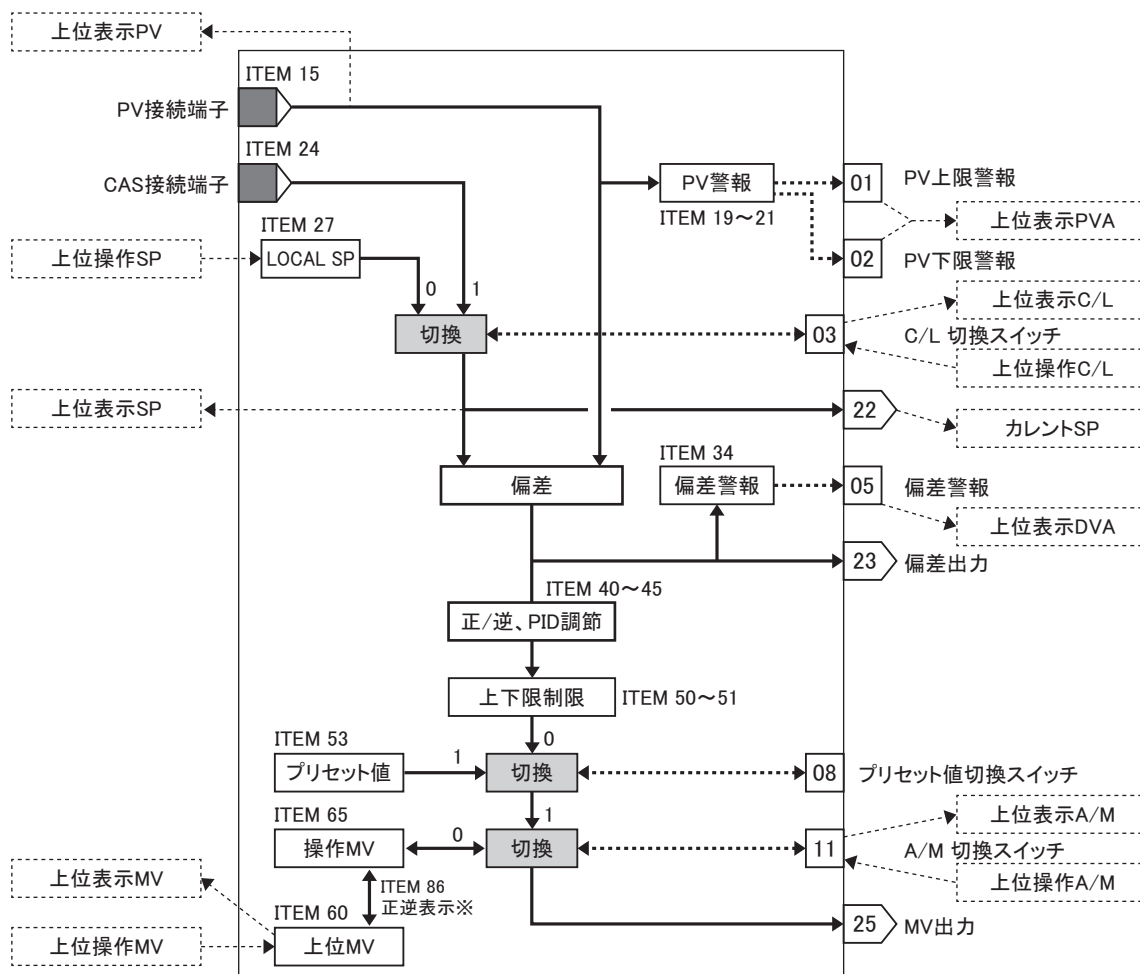
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ グループ 00 でこのスイッチを変更すると、全グループのメンテナンススイッチが変更されます
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示			■制御状態表示
			RUN	動作中
			STOP	停止中
03	△			■動作指令
		0	STOP	ストップ
		1	HOT START	ホットスタート
		2	COLD START	コールドスタート
06	表示			■ NestBus 通信状態表示
			RUN	通信中
			STOP	停止中
★ 08	△			■ NestBus 通信モード
		0	0	送受信モード C# : 00 ~ 0F
		1	1	受信専用モード C# : 10 ~ 1E (カード番号の上位桁が自動的に '1' になります。上位バスからのデータは受信できません)
★ 11	△			■処理周期設定
		0	1 Sec	1 秒
		1	0.5 Sec	0.5 秒
		2	0.25 Sec	0.25 秒
		3	0.12 Sec	0.12 秒
12	表示		NNN%	■処理時間負荷率表示 (%)
13	○	0	NNN%	■処理時間最大負荷率表示 (%) '0' 入力でリセット可能
				■システム状態表示 (エラー表示)
21	表示			・ EEPROM データベース破損
			ALLRIGHT	全ブロック正常
			GROUP NN	異常ブロック表示 (NN : グループ番号)
22	表示			・ PV 異常
				フィールド端子ブロックの PV 入力の上下限警報値の状態を表示
			PV NORMAL	PV 正常
			PV ABNORMAL	PV 異常
23	表示			・ MV アンサーバック異常
				フィールド端子ブロックの「MV チェック入力」と「MV 出力」との偏差の状態を表示
			MV NORMAL	MV アンサーバック正常
			MV ABNORMAL	MV アンサーバック異常
24	表示			・ ブロック異常 (グループ番号表示)
			ALLRIGHT	全ブロック正常
			GROUP NN	異常ブロック表示 (NN : グループ番号)
25	表示			・ 制御過負荷
			LOAD: RIGHT	制御適正負荷
			LOAD: OVER	制御過負荷

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
40	○	0, 1	0 1	■処理周期切換発生フラグ 正常 処理周期切換発生 ‘0’ 入力でリセット可能。リセットすると ITEM 25 が ‘LOAD:RIGHT’ になります
95	△	1	BLOCK RELEASE (初期表示 *)	■形式コード消去指令 (注 1) グループ 00、01、80 は消去しません
★ 96	表示	00 ~ 99	FIELD: 00	■フィールド端子の細分形式設定
★ 97	△		18MA	■形式表示 (半角8文字以下、上位伝送用)
99	表示		DCS18LMA N.NN	■ ROM VERSION 表示

(注 1) SM** (センサ直入力ユニット) で、‘/T’、‘/P’ が付いた形式のユニットでは使用禁止です。

形 式	ブロック名	形 式
21	基本形 PID	21

略号：BCA



※正逆に関わらず内部処理はMV正值で行います。

GROUP [02, 03] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

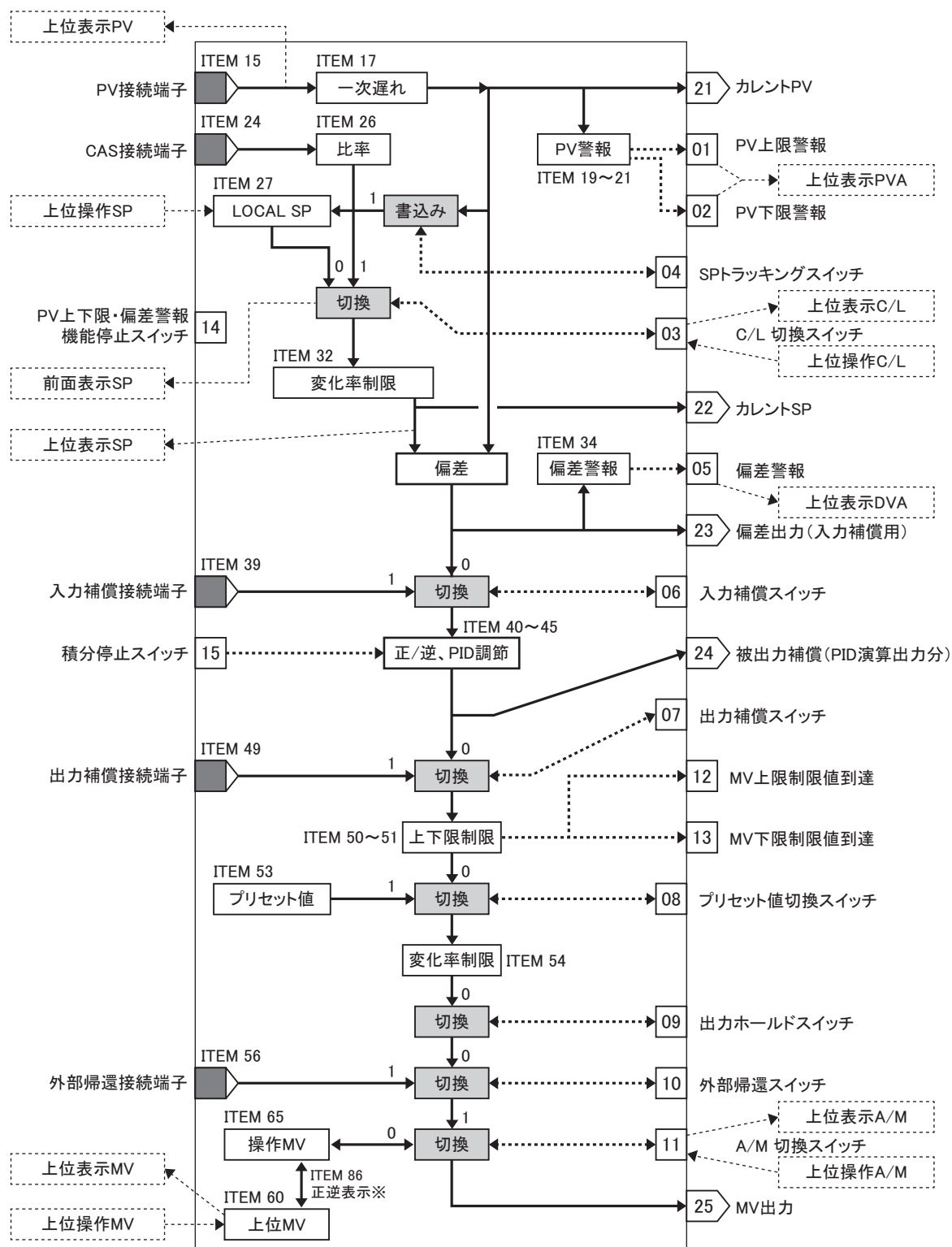
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
★ 10	△	21	MD: 21	基本形 PID (形式) 'ー' 入力でクリア
測定値 PV				
★ 15	△	GGNN	P#: 0121	PV 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
16	△	-15.00 ~ 115.00%	PV: NNN.NN	PV 値%
◆★19	○	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値
◆★20	○	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値
◆★21	○	0.00 ~ 115.00%	HS: NNN.NN	ヒステリシス設定値
22	△	0, 1	01: N	PV 上限警報
23	△	0, 1	02: N	PV 下限警報

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
設定値 SP				
★ 24	△	GGNN	C#: <u>0225</u>	CAS 接続端子
25	△	-15.00 ~ 115.00%	SP: NNN.NN	CAS 値%
◆★27	○	-15.00 ~ 115.00%	SP: NNN.NN	LOCAL SP%
★ 29	△	0, 1	SM: N	設定形式 (0 : LOCAL、1 : CASCADE/LOCAL)
◆ 30	○	0, 1	03: N	C/L 切換スイッチ (0 : LOCAL、1 : CASCADE)
33	△	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	カレント SP%
偏 差				
◆★34	○	0.00 ~ 115.00%	DL: NNN.NN	偏差警報設定値 (ヒステリシス : ITEM 21)
35	△	0, 1	05: N	偏差警報
36	△	± 115.00%	23: NNN.NN	偏差出力値%
調 節				
★ 40	△	0, 1	DR: N	動作方向 (0 正、1 : 逆 [PV 増で MV 減])
★ 41	△	0, 1	DM: N	微分形式 (0 : PV 微分、1 : 偏差微分)
◆★42	○	1 ~ 1000%	PB: NNNN	比例帯
◆★43	○	0.00 ~ 100.00 分	TI: NNN.NN	積分時間 (0.00 : 積分なし)
◆★44	○	0.00 ~ 10.00 分	TD: NN.NN	微分時間 (0.00 : 微分なし)
★ 45	△	1, 2, 4, 8, 16, 32, 64 倍	CP: NN	制御周期 (処理周期の倍数)
制御出力 MV				
◆★50	○	± 115.00%	MH: NNN.NN	出力上限制限値
◆★51	○	± 115.00%	ML: NNN.NN	出力下限制限値
52	△	0, 1	08: N	プリセット値切換スイッチ (1 : プリセット値選択)
◆★53	○	± 115.00%	MI: NNN.NN	プリセット値
◆ 59	○	0, 1	11: N	A/M 切換スイッチ (0 : MAN、1 : AUTO)
◆ 60	○	± 115.00%	MV: NNN.NN	上位表示/操作 MV%
◆★64	○	± 115.00%	RS: NNN.NN	手動リセット (積分なしの時に使用)
65	△	± 115.00%	25: NNN.NN	MV 出力値%
★ 66	△	0, 1	MS: N	LOCAL SP 変化時バンプレス処理 (0 : なし、1 : あり)
★ 68	△	0, 1	ARW: N	積分動作範囲 (0 : MH ~ ML、1 : 設定値) SC 1.50
★ 69	△	± 115.00%	ARH: NNN.NN	積分動作上限設定値 (ITEM 68 が '1' のとき有効) SC 1.50
★ 70	△	± 115.00%	ARL: NNN.NN	積分動作下限設定値 (ITEM 68 が '1' のとき有効) SC 1.50
★ 71	△	0, 1		LOCAL SP 上下限範囲 (0 : PH ~ PL、1 : 設定値) SC 1.70
◆★72	○	-15.00 ~ 115.00%	SH: NNN.NN	LOCAL SP 上限設定値 (ITEM 71 が '1' のとき有効) SC 1.70
◆★73	○	-15.00 ~ 115.00%	SL: NNN.NN	LOCAL SP 下限設定値 (ITEM 71 が '1' のとき有効) SC 1.70
上位表示用				
★ 80	△	半角英数字	TG: XXXX	Tag No. (10 文字以下)
★ 81	△	半角・全角	TC: XXXXX	Tag コメント (半角 16 文字 / 全角 8 文字以下)
★ 82	△	± 32000	MH: <u>15000</u>	レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 83	△	± 32000	ML: <u>0</u>	レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 84	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	DP: <u>1</u>	小数点位置 (右から)
★ 85	△	半角・全角	TU: XXXX	単位 (半角 8 文字 / 全角 4 文字以下)
★ 86	△	0, 1	MD: N	MV 正逆方向表示 (0 : 正、1 : 逆) (1 : 上位表示のみ 0 ~ 100% を 100 ~ 0% で送受信)

各 ITEM の詳細については、別途、計器ブロック応用マニュアル (NM-6461-C) の「4. 調整ブロックの機能と制御ループについて」を参照下さい。

形 式	ブロック名	形 式
22	拡張形 PID	22

略号：ECA



※正逆に関わらず内部処理はMV正值で行います。

GROUP [02, 03] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
★ 10	△	22	MD: 22	拡張形 PID (形式) 'ー' 入力でクリア
測定値 PV				
★ 15	△	GGNN	P#: 0121	PV 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
16	△	-15.00 ~ 115.00%	PV: NNN.NN	PV 値%
◆★17	△	0.0 ~ 100.0 s	PT: NNN.N	PV 一次遅れ時定数 (0.0: なし)
18	△	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	カレント PV%
◆★19	○	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値
◆★20	○	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値
◆★21	○	0.00 ~ 115.00%	HS: NNN.NN	ヒステリシス設定値
22	△	0, 1	01: N	PV 上限警報
23	△	0, 1	02: N	PV 下限警報
設定値 SP				
★ 24	△	GGNN	C#: 0225	CAS 接続端子
25	△	-15.00 ~ 115.00%	SP: NNN.NN	CAS 値%
◆★26	○	± 32.000	RT: NN.NNN	比率設定 (信号%比)
◆★27	○	-15.00 ~ 115.00%	SP: NNN.NN	LOCAL SP%
★ 29	△	0, 1	SM: N	設定形式 (0: LOCAL、1: CASCADE/LOCAL)
◆ 30	△	0, 1	03: N	C/L 切換スイッチ (0: LOCAL、1: CASCADE)
31	○	0, 1	04: N	SP トラッキングスイッチ (0: OFF、1: ON)
★ 32	○	0.00 ~ 115.00% /s	SR: NNN.NN	SP 変化率制限 (0.00: 制限なし)
33	△	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	カレント SP%
偏差				
◆★34	○	0.00 ~ 115.00%	DL: NNN.NN	偏差警報設定値 (ヒステリシス: ITEM 21)
35	△	0, 1	05: N	偏差警報
36	△	± 115.00%	23: NNN.NN	偏差出力値% (入力補償用)
★ 37	△	0, 1	06: N	入力補償スイッチ (0: なし、1: あり)
★ 38	△	0, 1, 2, 3	IM: N	入力補償形式 (0: なし、1: 加算、2: 減算、3: 置換)
★ 39	△	GGNN	I#: 0221	入力補償接続端子
調節				
★ 40	△	0, 1	DR: N	動作方向 (0: 正、1: 逆 [PV 増で MV 減])
★ 41	△	0, 1	DM: N	微分形式 (0: PV 微分、1: 偏差微分)
◆★42	○	1 ~ 1000%	PB: NNNN	比例帯
◆★43	○	0.00 ~ 100.00 分	TI: NNN.NN	積分時間 (0.00: 積分なし)
◆★44	○	0.00 ~ 10.00 分	TD: NN.NN	微分時間 (0.00: 微分なし)
★ 45	△	1, 2, 4, 8, 16, 32, 64 倍	CP: NN	制御周期 (処理周期の倍数)

各 ITEM の詳細については、別途、計器ブロック応用マニュアル (NM-6461-C) の「4. 調整ブロックの機能と制御ループについて」を参照下さい。

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
制御出力 MV				
46	△	± 115.00%	24: NNN.NN	被出力補償% (PID 演算出力分)
★ 47	△	0, 1	07: N	出力補償スイッチ (0: なし、1: あり)
★ 48	△	0, 1, 2, 3	OM: N	出力補償形式 (0: なし、1: 加算、2: 減算、3: 置換)
★ 49	△	GGNN	O#: 0221	出力補償接続端子
◆★50	○	± 115.00%	MH: NNN.NN	出力上限制限値
◆★51	○	± 115.00%	ML: NNN.NN	出力下限制限値
52	△	0, 1	08: N	プリセット値切換スイッチ (1: プリセット値選択)
◆★53	○	± 115.00%	MI: NNN.NN	プリセット値
◆★54	○	0.00 ~ 115.00% /s	MR: NNN.NN	出力変化率制限 (0.00: 制限なし)
55	△	0, 1	09: N	出力ホールドスイッチ (0: なし、1: ホールド)
★ 56	△	GGNN	M#: 0221	外部帰還接続端子
57	△	± 115.00%	FV: NNN.NN	外部帰還値%
58	△	0, 1	10: N	外部帰還スイッチ (0: なし、1: あり)
◆ 59	○	0, 1	11: N	A/M 切換スイッチ (0: MAN、1: AUTO)
◆ 60	○	± 115.00%	MV: NNN.NN	上位表示/操作 MV%
61	△	0, 1	12: N	MV 上限制限値到達 (注 1)
62	△	0, 1	13: N	MV 下限制限値到達 (注 1)
63	△	0, 1	14: N	PV 警報・偏差警報機能停止指令 (注 2)
◆★64	○	± 115.00%	RS: NNN.NN	手動リセット (積分なしのときに使用)
65	△	± 115.00%	25: NNN.NN	MV 出力値%
★ 66	△	0, 1	MS: N	LOCAL SP 変化時バンプレス処理 (0: なし、1: あり)
67	△	0, 1	15: N	積分停止スイッチ (0: なし、1: 積分停止)
★ 68	△	0, 1	ARW: N	積分動作範囲 (0: MH ~ ML、1: 設定値) SC 1.50
★ 69	△	± 115.00%	ARH: NNN.NN	積分動作上限設定値 (ITEM 68 が '1' のとき有効) SC 1.50
★ 70	△	± 115.00%	ARL: NNN.NN	積分動作下限設定値 (ITEM 68 が '1' のとき有効) SC 1.50
★ 71	△	0, 1		LOCAL SP 上下限範囲 (0: PH ~ PL、1: 設定値) SC 1.70
◆★72	○	-15.00 ~ 115.00%	SH: NNN.NN	LOCAL SP 上限設定値 (ITEM 71 が '1' のとき有効) SC 1.70
◆★73	○	-15.00 ~ 115.00%	SL: NNN.NN	LOCAL SP 下限設定値 (ITEM 71 が '1' のとき有効) SC 1.70
上位表示用				
★ 80	△	半角英数字	TG: XXX ...X	Tag No. (10 文字以下)
★ 81	△	半角・全角	TC: XXXX ...X	Tag コメント (半角 16 文字 / 全角 8 文字以下)
★ 82	△	± 32000	MH: 15000	レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 83	△	± 32000	ML: 0	レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 84	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	DP: 1	小数点位置 (右から)
★ 85	△	半角・全角	TU: XXX ...X	単位 (半角 8 文字 / 全角 4 文字以下)
★ 86	△	0, 1	MD: N	MV 正逆方向表示 (0: 正、1: 逆) (1: 上位表示のみ 0 ~ 100% を 100 ~ 0% で送受信)

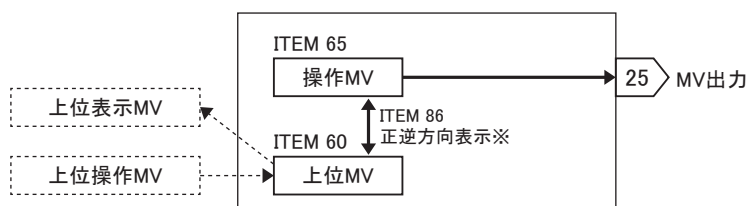
(注 1) PID 制御ループが閉じているときは '0' になります。MV が出力制限値に到達したときには '1' になります。

手動時など、PID 制御を行っていないときは、上限と下限の両方が '1' になります。

(注 2) このスイッチを '1' にすると、PV 上下限警報と偏差警報動作を停止します。

形 式	ブロック名	形 式
23	MV 操作	23

略号：MVA



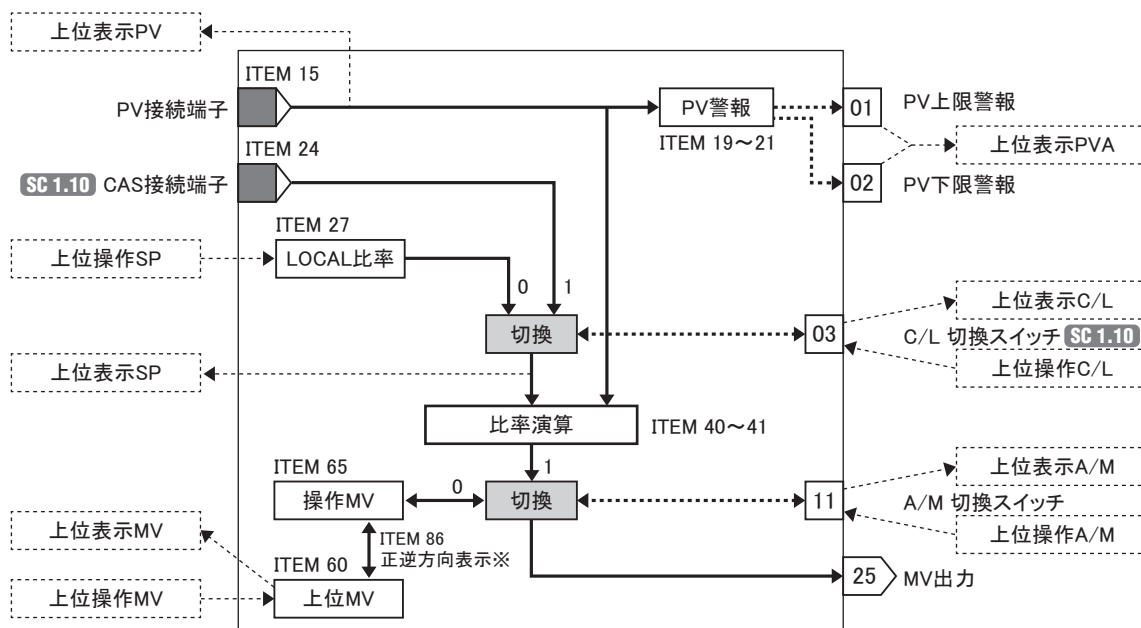
※正逆に関わらず内部処理はMV正值で行います。

GROUP [02, 03] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニターモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
★ 10	△	23	MD: 23	MV 操作 (形式) 'ー' 入力でクリア
出 力				
◆ 60	○	± 115.00%	MV: NNN.NN	上位表示／操作 MV%
65	△	± 115.00%	25: NNN.NN	MV 出力値%
上位表示用				
★ 80	△	半角英数字	TG: XXXX	Tag No. (10 文字以下)
★ 81	△	半角・全角	TC: XXXXX	Tag コメント (半角 16 文字 / 全角 8 文字以下)
★ 86	△	0, 1	MD: N	MV 正逆方向表示 (0: 正、1: 逆) (1: 上位表示のみ 0 ~ 100%を 100 ~ 0%で送受信)

形 式	ブロック名	形 式
24	比率設定	24

略号：RSA



※正逆に関わらず内部処理はMV正值で行います。

比率演算式 $MV = SP (PV - A_1) + B_1$

MV : 出力(%)
 SP : ± 32.000
 PV : 基準入力(%)
 A₁ : 入力バイアス(%)
 B₁ : 出力バイアス(%)

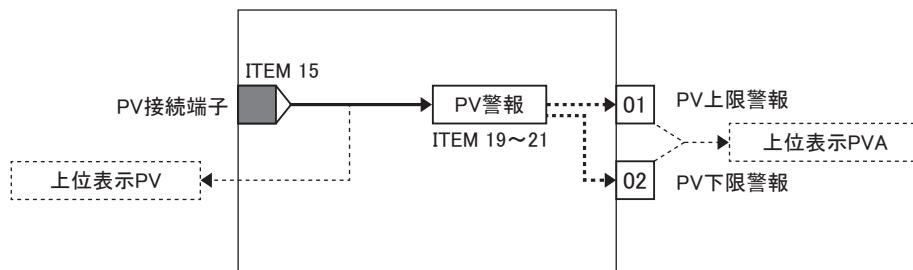
注) CAS SP比率は、内部データ ± 32000 ($\pm 320.00\%$)を ± 32.000 に変換します。

GROUP [02, 03] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
★ 10	△	24	MD: 24	比率設定 (形式) ‘-’ 入力でクリア
測定値 PV				
★ 15	△	GGNN	P#: 0221	PV 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
16	△	-15.00 ~ 115.00%	PV: NNN.NN	PV 値%
◆★19	○	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値
◆★20	○	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値
◆★21	○	0.00 ~ 115.00%	HS: NNN.NN	ヒステリシス設定値
22	△	0, 1	01: N	PV 上限警報
23	△	0, 1	02: N	PV 下限警報
演 算				
★ 24	△	GGNN	C#: 0221	CAS 接続端子 SC 1.10
25	△	± 32.000	SP: NN.NNN	CAS SP 比率 SC 1.10
◆★27	○	± 32.000	SP: NN.NNN	LOCAL SP 比率
★ 29	△	0, 1	SM: N	設定形式 (0: LOCAL、1: CASCADE/LOCAL) SC 1.10
◆ 30	○	0, 1	03: N	C/L 切換スイッチ (0: LOCAL、1: CASCADE) SC 1.10
33	○	± 32.000	SP: NN.NNN	カレント SP 比率 SC
◆★40	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 入力バイアス
◆★41	△	± 115.00%	B1: NNN.NN	B ₁ 出力バイアス
出 力				
◆ 59	○	0, 1	11: N	A/M 切換スイッチ (0: MAN、1: AUTO)
◆ 60	○	± 115.00%	MV: NNN.NN	上位表示/操作 MV%
65	△	± 115.00%	25: NNN.NN	MV 出力値%
◆★72	○	± 32.000	SH: NN.NNN	LOCAL SP 比率上限設定値 SC 1.70
◆★73	○	± 32.000	SL: NN.NNN	LOCAL SP 比率下限設定値 SC 1.70
上位表示用				
★ 80	△	半角英数字	TG: XXXX	Tag No. (10 文字以下)
★ 81	△	半角・全角	TC: XXXXX	Tag コメント (半角 16 文字 / 全角 8 文字以下)
★ 82	△	± 32000	MH: 15000	レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 83	△	± 32000	ML: 0	レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 84	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	DP: 1	小数点位置 (右から)
★ 85	△	半角・全角	TU: XXXX	単位 (半角 8 文字 / 全角 4 文字以下)
★ 86	△	0, 1	MD: N	MV 正逆方向表示 (0: 正、1: 逆) (1: 上位表示のみ 0 ~ 100% を 100 ~ 0% で送受信)

形 式	ブロック名	形 式
25	指示計	25

略号：IND

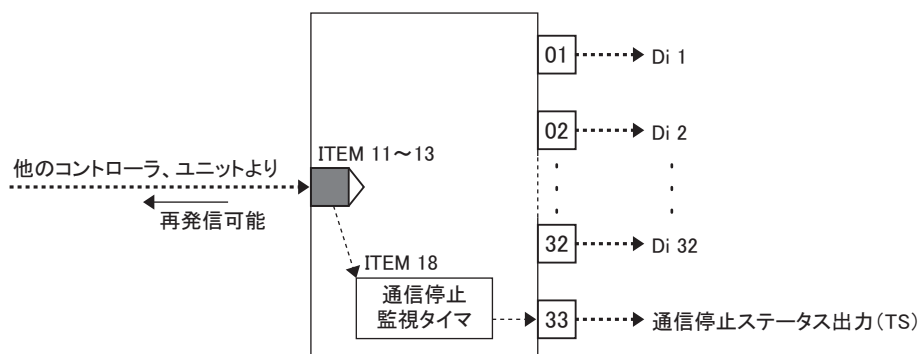


GROUP [02, 03] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
★ 10	△	25	MD: <u>25</u>	指示計 (形式) 'ー' 入力でクリア
測定値 PV				
★ 15	△	GGNN	P#: <u>0221</u>	PV 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
16	△	-15.00 ~ 115.00%	PV: NNN.NN	PV 値%
◆★19	○	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値
◆★20	○	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値
◆★21	○	0.00 ~ 115.00%	HS: NNN.NN	ヒステリシス設定値
22	△	0, 1	01: N	PV 上限警報
23	△	0, 1	02: N	PV 下限警報
上位表示用				
★ 80	△	半角英数字	TG: XXXX	Tag No. (10 文字以下)
★ 81	△	半角・全角	TC: XXXXX	Tag コメント (半角 16 文字 / 全角 8 文字以下)
★ 82	△	± 32000	MH: <u>15000</u>	レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 83	△	± 32000	ML: <u>0</u>	レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 84	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	DP: <u>1</u>	小数点位置 (右から)
★ 85	△	半角・全角	TU: XXXX	単位 (半角 8 文字 / 全角 4 文字以下)

形 式	ブロック名	形 式
31	Di 受信端子	31

略号：CDI



[概 説]

他のコントローラ、ユニットあるいはパソコンなどから接点信号を受信します。

- ・ 受信した接点の状態をネットワークに再発信することができます。
- ・ ITEM 11 = FE（送信元がパソコン）のとき、パソコンからあるいはシーケンスブロックの ON、OFF 命令で操作できます。

GROUP [11 ~ 26] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可（シミュレーションモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01～90：エラー）
★ 10	△	31	MD: <u>31</u>	Di 受信端子（形式）‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	00～3F FE FF	S#: <u>1A</u>	00～3F：送信元のステーション番号 FE：送信元がパソコンのとき FF：送信元が自己と同じ NestBus のとき
★ 12	△	0～F	C#: <u>0</u>	送信元のカード番号
★ 13	△	11～26	G#: <u>11</u>	送信元のグループ番号
★ 18	△	0.1～60.0 s	T: <u>1.0</u>	通信停止監視時間（パソコンから入力のときは監視なし）
★ 19	△	0, 1	RT: N	再発信（0：なし、1：あり）
21	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
22	△◎	0, 1	02: N	Di 2 入力値
:	:	:	:	:
30	△◎	0, 1	10: N	Di 10 入力値
31	△◎	0, 1	11: N	Di 11 入力値
:	:	:	:	:
40	△◎	0, 1	20: N	Di 20 入力値
41	△◎	0, 1	21: N	Di 21 入力値
:	:	:	:	:
50	△◎	0, 1	30: N	Di 30 入力値
51	△◎	0, 1	31: N	Di 31 入力値
52	△◎	0, 1	32: N	Di 32 入力値
53	△	0, 1	TS: N	通信停止ステータス表示（1：通信停止）

（注）設定を変更したときは、コールドスタートをかけてください。

■同一NestBus内のDo送信端子から受信するとき

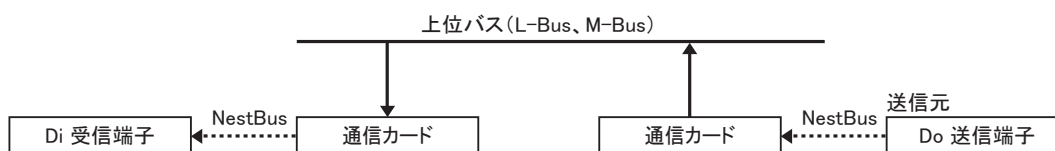


〔設定〕

ITEM 11: FF (送信元が自己と同じNestBus)
 ITEM 12: 0～F (送信元のカード番号)
 ITEM 13: 11～26 (送信元のグループ番号)

注) SMDL、SMDKのDo送信端子のグループ番号は、組合わせるPLC側で設定します。詳細は機器の取扱説明書をご参照ください。

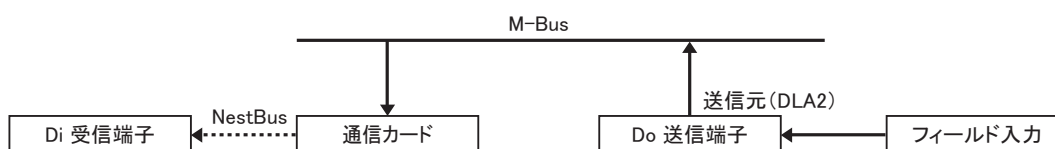
■他のNestBus内のDo送信端子から受信するとき



〔設定〕

ITEM 11: 00～3F (送信元のステーション番号)
 ITEM 12: 0～F (送信元のカード番号)
 ITEM 13: 11～26 (送信元のグループ番号)

■M-Bus機器(形式:DLA2)から受信するとき

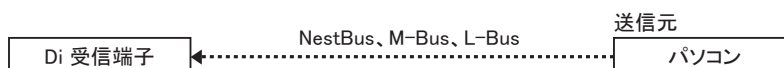


〔設定〕

ITEM 11: 00～3F (送信元のステーション番号)
 ITEM 12: 0 (送信元のカード番号)
 ITEM 13: 11～26 (送信元のグループ番号)

DLA2-□	グループ番号	点番号
A1	11	1～32
A2	11	1～32
	12	33～64
E1/E2	11	1～16
S1	19	1～8

■パソコンから受信するとき



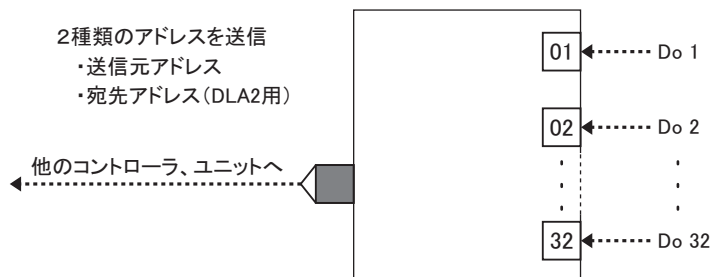
パソコンから受信するときは、ITEM 19で‘再発信する’と指定してください。受信結果をパソコンが確認するために必要です。

〔設定〕

ITEM 11: FE (送信元がパソコン)
 ITEM 12: 任意の番号 (パソコンから受信するときは無視されます)
 ITEM 13: 任意の番号 (パソコンから受信するときは無視されます)
 ITEM 18: 任意の値 (パソコンから受信するときは無視されます)
 ITEM 19: 1 (‘再発信する’と指定)

形 式	ブロック名	形 式
32	Do 送信端子	32

略号：CDO



[概 説]

他のコントローラ、ユニットあるいはパソコンなどに接点信号を送信します。

- ・送信元アドレスは自動的に付加されます。
- ・リモート入出力ユニット（形式：DLA2）には、宛先アドレス（ITEM 12 ～ 15）を使用してデータを送付します。

GROUP [11 ～ 26] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
★ 10	△	32	MD: <u>32</u>	Do 送信端子 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	0, 1, 2	TR: <u>0</u>	伝送範囲 0: 自己の NestBus 内に送信 1: 上位バス (M-Bus、L-Bus) にも送信 2: 送信しない
★ 12	△			宛先アドレス (DLA2 用)
		0	RM: <u>0</u>	指定しない
		1	RM: <u>1</u>	指定する (ITEM 13 ～ 17 を設定)
★ 13	△	00 ～ 3F	S#: <u>10</u>	宛先ステーション番号
★ 14	△	0 ～ F	C#: <u>0</u>	宛先カード番号
★ 15	△	11 ～ 26	G#: <u>11</u>	宛先グループ番号
★ 16	△	01 ～ 32	SN: <u>01</u>	先頭出力点番号
★ 17	△	01 ～ 32	N: <u>32</u>	先頭出力点番号からの送信点数
21	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
22	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
:	:	:	:	:
30	△◎	0, 1	10: N	Do 10 出力値
31	△◎	0, 1	11: N	Do 11 出力値
:	:	:	:	:
40	△◎	0, 1	20: N	Do 20 出力値
41	△◎	0, 1	21: N	Do 21 出力値
:	:	:	:	:
50	△◎	0, 1	30: N	Do 30 出力値
51	△◎	0, 1	31: N	Do 31 出力値
52	△◎	0, 1	32: N	Do 32 出力値

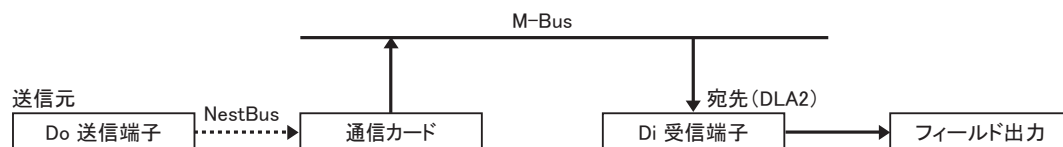
■送信元アドレス

送信元アドレスは、自動的に設定されるため、ユーザが Do 送信端子で指定するアドレスはありません。ITEM 10（形式）、ITEM 11（伝送範囲）、ITEM 12：‘0’ を設定するだけで使用できます。

PLC インタフェース（SMDL、SMDK）を使用して各社の PLC と接続する場合は、PLC 側の設定で SMDL や SMDK の Do 送信端子のグループ番号を指定します。指定方法は各 PLC インタフェースの取扱説明書をご覧ください。

■宛先アドレス

宛先アドレスは、M-Bus 用リモート入出力ユニット（形式：DLA2）に信号を送付するときだけ使用します。



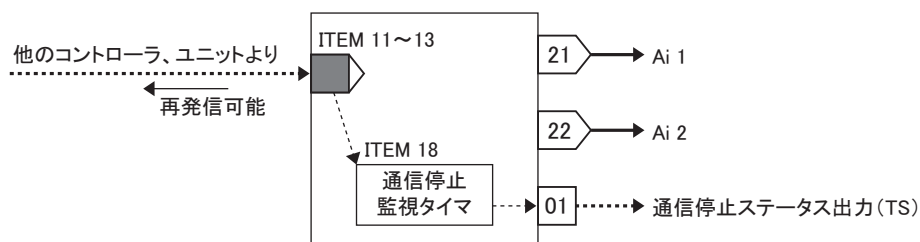
〔設定〕

ITEM 12:1 (宛先アドレスを使用)
 ITEM 13:00~3F (宛先のステーション番号)
 ITEM 14:0 (宛先のカード番号)
 ITEM 15:11~26 (宛先の **グループ番号**)

DLA2-□	グループ番号	点番号
C1/C2	11	1~32
C3/C4	11	1~32
	12	33~64
E1/E2	12	1~16
S1	20	1~8

形 式	ブロック名	形 式
33	Ai 受信端子	33

略号：CAI



[概 説]

他のコントローラ、ユニットあるいはパソコンなどからアナログ信号やパルス積算値を受信します。

- ・受信したアナログ値をネットワークに再発信することができます。
- ・再発信されたデータは、他のユニットに設定された Ai 受信端子で受信できます。

GROUP [11 ~ 26] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
★ 10	△	33	MD: <u>33</u>	Ai 受信端子 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	00 ~ 3F FE FF	S#: <u>1A</u>	00 ~ 3F: 送信元のステーション番号 FE: 送信元がパソコンのとき FF: 送信元が自己と同じ NestBus のとき
★ 12	△	0 ~ F	C#: <u>1</u>	送信元のカード番号
★ 13	△	11 ~ 26	G#: <u>11</u>	送信元のグループ番号
★ 18	△	0.1 ~ 60.0 s	T: <u>1.0</u>	通信停止監視時間 (パソコンから入力のときは監視なし)
★ 19	△	0, 1	RT: N	再発信 (0: なし、1: あり)
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 アナログ入力値
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 2 アナログ入力値
23	△	0, 1	TS: N	通信停止ステータス表示 (1: 通信停止)

(注) 設定を変更したときは、コールドスタートをかけてください。

■同一NestBus内のAo送信端子から受信するとき

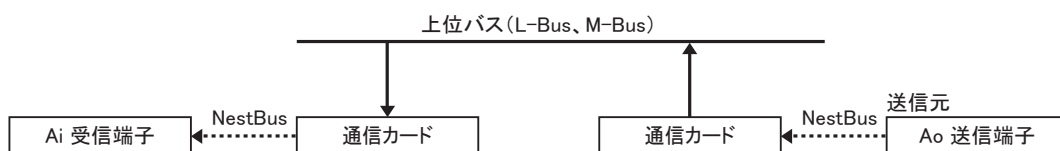


〔設定〕

ITEM 11: FF (送信元が自己と同じNestBus)
 ITEM 12: 0～F (送信元のカード番号)
 ITEM 13: 11～26 (送信元のグループ番号)

注) SMDL、SMDKのAo送信端子のグループ番号は、組合わせるPLC側で設定します。詳細は機器の取扱説明書をご参照ください。

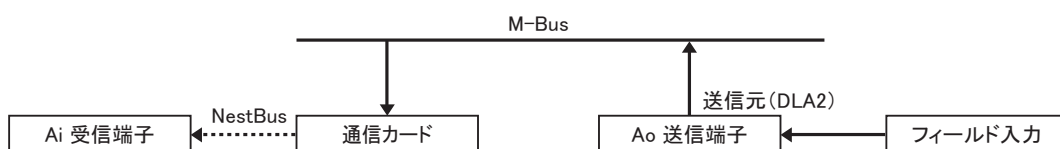
■他のNestBus内のAo送信端子から受信するとき



〔設定〕

ITEM 11: 00～3F (送信元のステーション番号)
 ITEM 12: 0～F (送信元のカード番号)
 ITEM 13: 11～26 (送信元のグループ番号)

■M-Bus機器(形式:DLA2)から受信するとき



〔設定〕

ITEM 11: 00～3F (送信元のステーション番号)
 ITEM 12: 0 (送信元のカード番号)
 ITEM 13: 11～26 (送信元のグループ番号)

DLA2-□	グループ番号	入力点番号
G1	11～26	1～32
R1	11～18	1～16
S1	11～14	1～8
P1	11～18 (Ao) 19～26 (Po)	1～16 1～16
H2/J2	11～18	1～16

●「DLA2の入力点番号」と「Ao送信端子のグループ番号・点番号」の関係

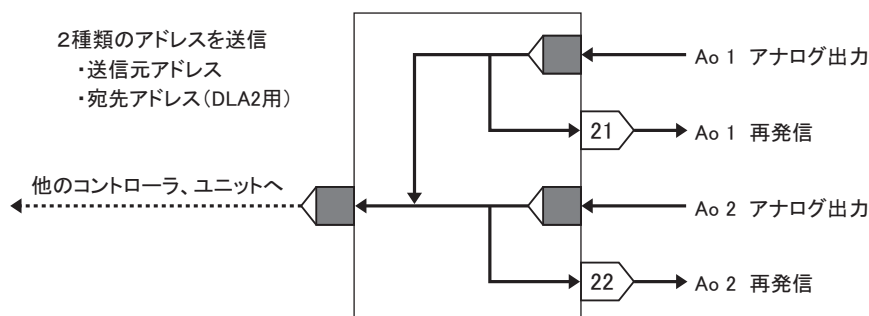
DLA2の入力点番号 G1, R1, P1, H2/J2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S1	1	2	3	4	5	6	7	8								
Ao送信端子のグループ番号	11	12	13	14	15	16	17	18								
点番号	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2

DLA2の入力点番号 G1	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
P1 (パルス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
Ao送信端子のグループ番号	19	20	21	22	23	24	25	26								
点番号	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2

■パソコンから受信するとき: Di 受信端子と同じ

形 式	ブロック名	形 式
34	Ao 送信端子	34

略号：CAO



[概 説]

他のコントローラ、ユニットあるいはパソコンなどにアナログ信号やパルス積算値信号を送信します。

- ・送信元アドレスは自動的に付加されます。
- ・リモート入出力ユニット（形式：DLA2）には、宛先アドレス（ITEM 12 ～ 15）を使用してデータを送付します。

GROUP [11 ～ 26] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
★ 10	△	34	MD: <u>34</u>	Ao 送信端子 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	0, 1, 2	TR: <u>0</u>	伝送範囲 0: 自己の NestBus 内に送信 1: 上位バス (M-Bus、L-Bus) にも送信 2: 送信しない
★ 12	△			宛先アドレス (DLA2 用)
		0	RM: <u>0</u>	指定しない
		1	RM: <u>1</u>	指定する (ITEM 13 ～ 15 を設定)
★ 13	△	00 ～ 3F	S#: <u>10</u>	宛先ステーション番号
★ 14	△	0 ～ F	C#: <u>1</u>	宛先カード番号
★ 15	△	11 ～ 26	G#: <u>11</u>	宛先グループ番号
★ 18	△	GGNN	1#: <u>3421</u>	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 19	△	GGNN	2#: <u>4621</u>	Ao 2 接続端子 (無接続可)
21	△◎	-15.00 ～ 115.00%	A1: NNN.NN	Ao 1 アナログ出力値
22	△◎	-15.00 ～ 115.00%	A2: NNN.NN	Ao 2 アナログ出力値

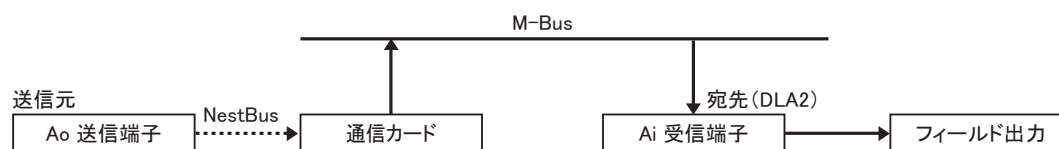
■送信元アドレス

送信元アドレスは、自動的に設定されるため、ユーザが Ao 送信端子で指定するアドレスはありません。ITEM 10（形式）、ITEM 11（伝送範囲）、ITEM 12：‘0’ を設定するだけで使用できます。

PLC インタフェース（SMDL、SMDK）を使用して各社の PLC と接続する場合は、PLC 側の設定で SMDL や SMDK の Ao 送信端子のグループ番号を指定します。指定方法は各 PLC インタフェースの取扱説明書をご覧ください。

■宛先アドレス

宛先アドレスは、M-Bus 用リモート入出力ユニット（形式：DLA2）に信号を送付するときだけ使用します。



[設定]

ITEM 12:1 (宛先アドレスを使用)
 ITEM 13:00~3F (宛先のステーション番号)
 ITEM 14:0 (宛先のカード番号)
 ITEM 15:11~26 (宛先の **グループ番号**)

DLA2-□	グループ番号	出力点番号
M1	11~26	1~32
R1	19~26	1~16
S1	15~18	1~8
U1	11~18 (Ao) 19~26 (Po)	1~16 1~16

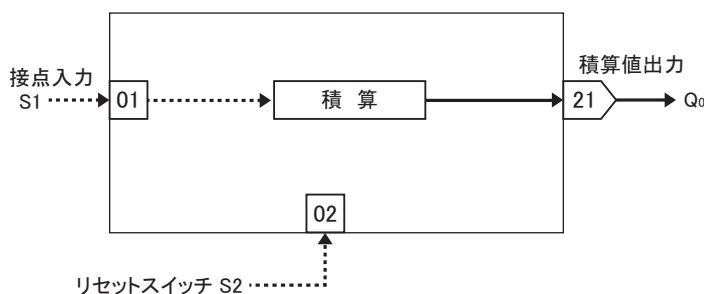
●「DLA2の出力点番号」と「Ai受信端子のグループ番号・点番号」の関係

DLA2の出力点番号 M1, U1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S1									1	2	3	4	5	6	7	8
Ai送信端子のグループ番号	11	12	13	14	15	16	17	18								
点番号	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2

DLA2の出力点番号 M1	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
R1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U1 (パルス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
Ai送信端子のグループ番号	19	20	21	22	23	24	25	26								
点番号	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2

形 式	ブロック名	形 式
44	接点入力／積算値出力	44

略号：QIP



[概 説]

接点信号の立ち上がりをカウントして積算値出力信号に変換します。

接点信号はシーケンスブロックを使用して入力してください。

[用 途]

パルス入力信号の代わりに接点信号を利用するときには使用します。入力可能な最大パルスレートには、処理周期（GROUP 00、ITEM 11）の2倍以上という制限があります。

処理周期 (GROUP 00, ITEM 11)	最大パルスレート
0.25 s	2 パルス /s (7200 パルス /h)
0.5 s	1 パルス /s (3600 パルス /h)
1.0 s	0.5 パルス /s (1800 パルス /h)

[動 作]

0 ～ 9999 までの積算を繰り返し、積算値信号を出力します。

リセットスイッチ（S2）を ‘1’ にすると、内部の積算値をリセットできます。

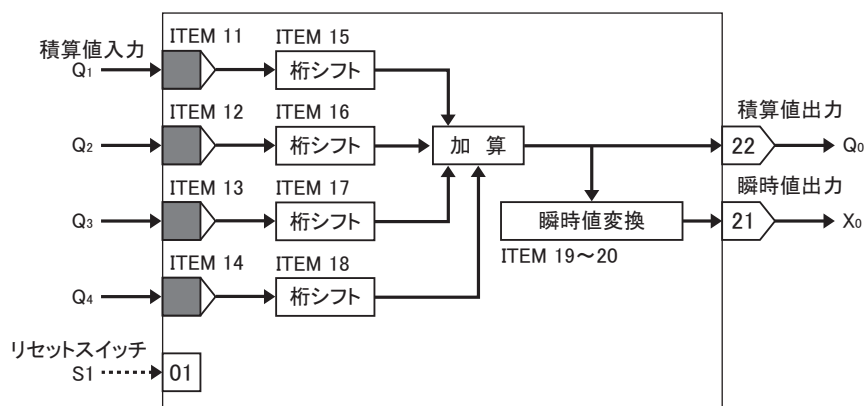
初期状態ではリセットスイッチが ‘1’ になっています。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ～ 90 : エラー)
03	△	0 ～ 9999	MC: NNNN	Q ₀ 積算値出力
04	△	0, 1	S1: N	S1 接点入力
05	△	0, 1	S2: N	S2 リセットスイッチ (1 : リセット)
★ 10	△	44	MD: 44	接点入力／積算値出力 (形式) ‘-’ 入力でクリア

形 式	ブロック名	形 式
45	パルス加算	45

略号：PAD



[概 説]

4個の積算値入力を加算します。

各入力は、10 倍から 0.001 倍までの桁シフト演算ができます。

リセットスイッチ（S1）を ‘1’ にすると、内部の積算値をリセットできます。

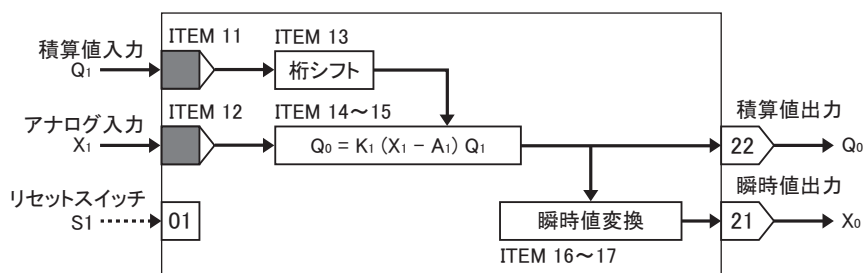
初期状態ではリセットスイッチが ‘1’ になっています。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	0.00 ～ 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 瞬時値出力
04	△	0 ～ 9999	22: NNNN	Q ₀ 積算値出力
05	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1：リセット)
★ 10	△	45	MD: 45	パルス加算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	Q ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: 1321	Q ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 13	△	GGNN	3#: 1421	Q ₃ 接続端子 (無接続可)
★ 14	△	GGNN	4#: 1521	Q ₄ 接続端子 (無接続可)
★ 15	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Q ₁ 桁シフト
★ 16	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Q ₂ 桁シフト
★ 17	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Q ₃ 桁シフト
★ 18	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Q ₄ 桁シフト (10 のべき乗 1：x10、0：x1、-1：x0.1、-2：x0.01、-3：x0.001)
★ 19	△	0.00 ～ 10000.00	VC: 1000.00	瞬時値変換係数 スケーリング値 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 20	△	1 ～ 16	VR: <u>1</u>	瞬時値変換時の移動平均データ個数

形 式	ブロック名	形 式
46	パルス・アナログ乗算	46

略号：QAM



[概 説]

パルス積算値入力とアナログ信号をかけ算（乗算）します。

リセットスイッチ（S1）を「1」にすると、内部の積算値をリセットできます。

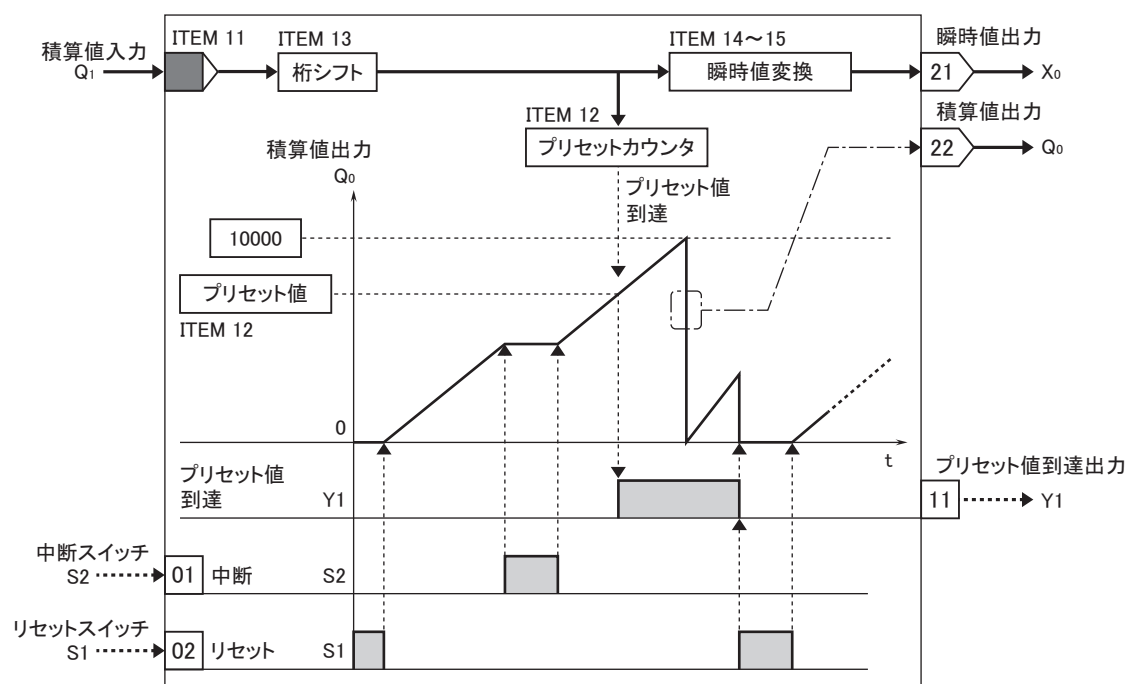
初期状態ではリセットスイッチが「1」になっています。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01～90：エラー）
03	△	0.00～115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 瞬間値出力
04	△	0～9999	22: NNNN	Q ₀ 積算値出力
05	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ（1：リセット）
★ 10	△	46	MD: <u>46</u>	パルス・アナログ乗算（形式）「-」入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	Q ₁ 接続端子（無接続のときエラー） GG：グループ番号 NN：端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1321</u>	X ₁ 接続端子（無接続のときエラー）
★ 13	△	1, 0, -1, -2, -3	PD: <u>-1</u>	Q ₁ 桁シフト （10のべき乗 1：x10、0：x1、-1：x0.1、-2：x0.01、-3：x0.001）
★ 14	△	0.000～32.000	K1: NN.NNN	K ₁ ゲイン
★ 15	△	±115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ バイアス
★ 16	△	0.00～10000.00	VC: <u>1000.00</u>	瞬間値変換係数 スケーリング値 （瞬間値入力100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定）
★ 17	△	1～16	VR: <u>1</u>	瞬間値変換時の移動平均データ個数

形 式 47	ブロック名 パルス積算	形 式 47
-----------	----------------	-----------

略号：QSS



[概 説]

1段設定形の積算値入力形プリセットカウンタです。

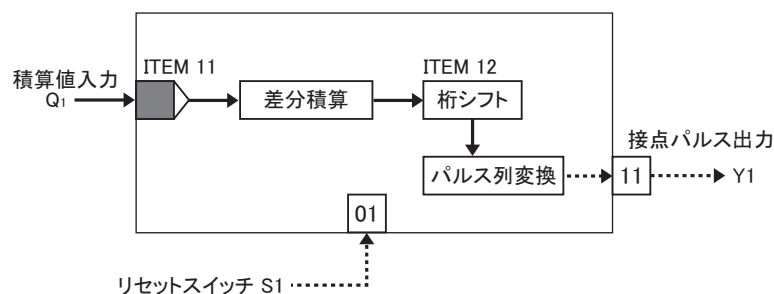
- ・ 中断スイッチ（S2）が「1」のとき、積算動作はしません。
- ・ リセットスイッチ（S1）を「1」にすると、積算値が「0」になり、プリセット値到達出力（Y1）が「0」になります。
- ・ 積算値出力（Q0）は 10000 カウントに到達すると自動的に 0 カウントに戻ります。このとき、端数は切捨てられずに加算されます。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	0.00 ～ 115.00%	21: NNN.NN	X0 瞬時値出力
04	△	0 ～ 9999	22: NNNN	Q0 積算値出力
				Q0を他の計器ブロックのアナログ入力端子に接続すると、9999 カウントが 99.99 になります。
05	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1: リセット)
06	△	0, 1	S2: N	S2 中断スイッチ (1: 中断)
07	△	0, 1	Y1: N	Y1 プリセット値到達出力
★ 10	△	47	MD: 47	パルス積算 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	Q1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0 ～ 9999	PS: NNNN	PS プリセット値
★ 13	△	1, 0, -1, -2, -3	PD: 1	Q1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10, 0: x1, -1: x0.1, -2: x0.01, -3: x0.001)
★ 14	△	0.00 ～ 10000.00	VC: 1000.00	瞬時値変換係数 スケーリング値 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 15	△	1 ～ 16	VR: 1	瞬時値変換時の移動平均データ個数

形 式	ブロック名	形 式
48	パルス入力／接点出力	48

略号：QPO



[概 説]

積算値入力信号を接点パルスに変換します。接点パルス出力は、シーケンスブロックを使用して必要箇所に出力してください。

[動 作]

前回の処理周期の入力と今回の入力との差分を積算します。差分積算値が '0' になるまで接点出力の ON-OFF を繰り返します。リセット時には入力を記憶し、次の処理周期から差分積算を開始します。



- ・ 繰返しパルス周期の最小値は、処理周期（GROUP 00, ITEM 11）の2倍です。例えば、処理周期が 0.5 秒のとき、1パルス / 秒が最大パルスレートになります。
- ・ 最大パルスレートのとき、差分積算値がクリアされるように、桁シフト設定（ITEM 12）で、パルスの重みを変えてください。
- ・ リセットスイッチ（S1）を '1' にすると、差分積算値をクリアできます。
- ・ 初期状態ではリセットスイッチが '1' になっています。

[注 意]

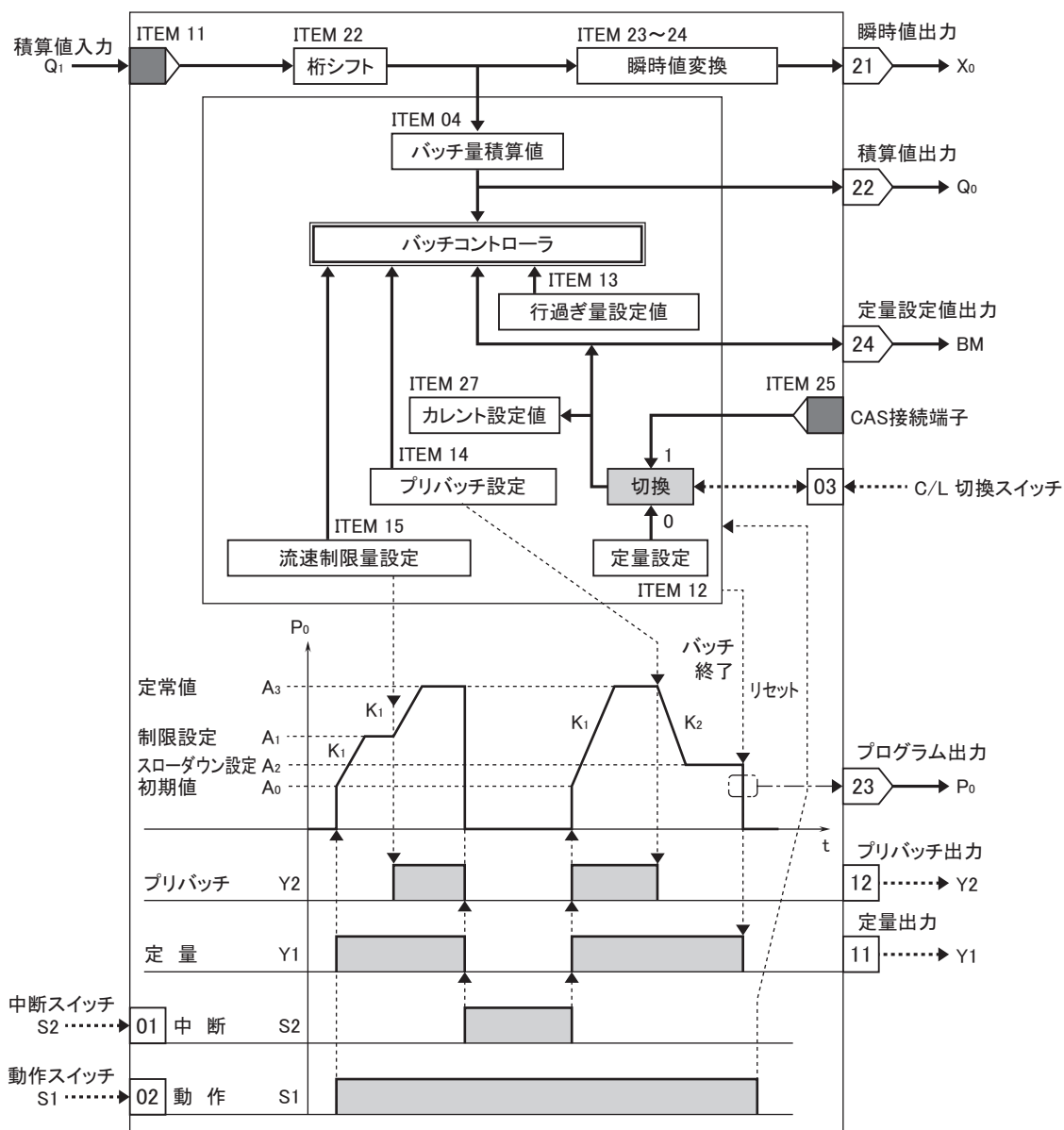
- ・ 最大積算カウント値は 9999 です。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01～90：エラー）
03	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ（0：動作、1：リセット）
04	△	0, 1	Y1: N	Y1 積算パルス出力
★ 10	△	48	MD: 48	パルス入力／接点出力（形式） 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 0131	Q1 接続端子（無接続のときエラー） GG：グループ番号 NN：端子番号
★ 12	△	0, -1, -2, -3	PD: -2	Q1 桁シフト （10 のべき乗 0：x1、-1：x0.1、-2：x0.01、-3：x0.001）

形 式	ブロック名	形 式
49	バッチプログラム設定	49

略号：BPS



[概 説]

2段設定形のバッチプログラム設定ブロックです。プリバッチ設定値と定量設定値により、接点出力とアナログ出力を操作します。

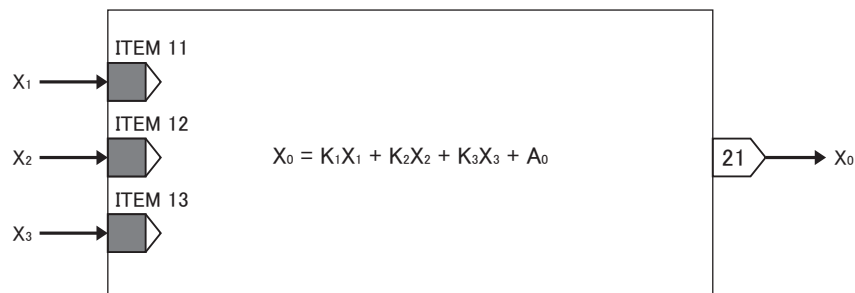
- ・ 定量設定値とCAS設定値は、計量動作開始後は変更できません。
- ・ 中断スイッチ（ S_2 ）がONになると接点出力はOFFになり、アナログ出力は0%になります。 S_2 がOFFになると傾斜率 K_1 で定常設定値 A_3 に戻ります。
- ・ 動作スイッチ（ S_1 ）をいったんOFFにしないと再動作しません。
- ・ プリバッチ設定値は定常設定値から減算するカウント数を設定します。
- ・ 積算値出力と定量出力は、動作スイッチ（ S_1 ）をOFFにするとリセットされます。

GROUP [62 ~ 69] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	0.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 瞬時値出力
04	△	0 ~ 9999	22: NNNN	Q ₀ 積算値出力
05	△	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	P ₀ プログラム出力
06	△	0, 1	S1: N	S1 動作スイッチ (0: リセット、1: 動作)
07	△	0, 1	S2: N	S2 中断スイッチ (1: 中断)
08	△	0, 1	Y1: N	Y1 定量出力
09	△	0, 1	Y2: N	Y2 プリバッチ出力
★ 10	△	49	MD: <u>49</u>	バッチプログラム設定 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	Q ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0 ~ 9999	BM: NNNN	BM 定量設定値
◆★13	△	0 ~ 9999	BO: NNNN	BO 行過ぎ量設定値 (BM から差し引く値)
◆★14	△	0 ~ 9999	BP: NNNN	BP プリバッチ設定値 (BM から差し引く値)
◆★15	△	0 ~ 9999	BI: NNNN	BI 流速制限量設定値
◆★16	△	0.00 ~ 115.00%	A0: NNN.NN	A ₀ 初期値 (瞬時値)
◆★17	△	0.00 ~ 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 流速制限設定値 (瞬時値)
◆★18	△	0.00 ~ 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ スローダウン設定値 (瞬時値)
◆★19	△	0.00 ~ 115.00%	A3: NNN.NN	A ₃ 定常値 (瞬時値)
◆★20	△	0.00 ~ 100.00% /s	K1: NNN.NN	K ₁ 上昇傾斜率
◆★21	△	0.00 ~ 100.00% /s	K2: NNN.NN	K ₂ 下降傾斜率
★ 22	△	1, 0, -1, -2, -3	PD: <u>-1</u>	Q ₁ 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 23	△	0.00 ~ 10000.00	XC: <u>1000.00</u>	瞬時値変換係数 スケーリング値 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 24	△	1 ~ 16	XP: <u>1</u>	瞬時値変換時の移動平均データ個数
★ 25	△	GGNN	C#: <u>1221</u>	CAS 接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆ 26	△	0, 1	03: N	C/L 切換スイッチ (0: LOCAL、1: CASCADE)
27	表示		SP: NNNN	カレント設定値 (実際の設定値: 0 ~ 9999 の実量値)

形 式	ブロック名	形 式
51	加減算	51

略号：ADS



【概 説】 3入力の加減算を行います。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	約± 327%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	約± 327%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	約± 327%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
09	△	約± 327%	X3: NNN.NN	X ₃ 入力値
★ 10	△	51	MD: 51	加減算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: 2221	X ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 13	△	GGNN	3#: 2321	X ₃ 接続端子 (無接続可)
◆★14	△	± 10.000	K1: NN.NNN	K ₁ ゲイン
◆★15	△	± 10.000	K2: NN.NNN	K ₂ ゲイン
◆★16	△	± 10.000	K3: NN.NNN	K ₃ ゲイン
◆★17	△	± 115.00%	A0: 1.50	A ₀ バイアス

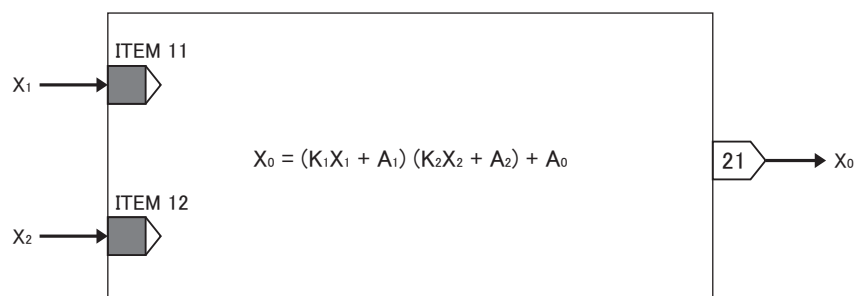
(注 1) 内部演算は、4バイトの二進法演算を採用しています。

(注 2) 入出力信号は、-327.68 ～ +327.67% (2バイトの二進法演算の数値範囲) です。

数値がこの範囲を超えたときは、-327.68%または +327.67%になり、ITEM 02 のエラー表示が ‘11’ になります。

形 式	ブロック名	形 式
52	乗算	52

略号：MLT



〔概 説〕 2入力の乗算を行います。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	約± 327%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	約± 327%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	約± 327%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
★ 10	△	52	MD: <u>52</u>	乗算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>2221</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)
◆★13	△	± 10.000	K1: NN.NNN	K ₁ ゲイン
◆★14	△	± 10.000	K2: NN.NNN	K ₂ ゲイン
◆★15	△	± 115.00%	A0: <u>1.50</u>	A ₀ バイアス
◆★16	△	± 115.00%	A1: <u>1.50</u>	A ₁ バイアス
◆★17	△	± 115.00%	A2: <u>1.50</u>	A ₂ バイアス

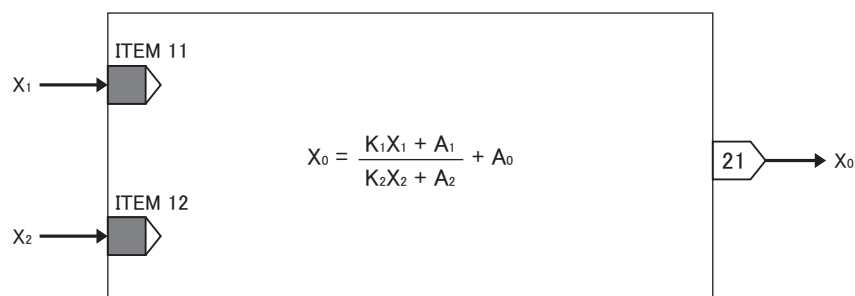
(注 1) 内部演算は、4バイトの二進法演算を採用しています。

(注 2) 入出力信号は、-327.68 ～ +327.67% (2バイトの二進法演算の数値範囲) です。

数値がこの範囲を超えたときは、-327.68%または +327.67%になり、ITEM 02 のエラー表示が ‘11’ になります。

形 式	ブロック名	形 式
53	除算	53

略号：DVD



[概 説] 2入力の除算を行います。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	約± 327%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	約± 327%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	約± 327%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
★ 10	△	53	MD: <u>53</u>	除算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>2221</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)
◆★13	△	± 10.000	K1: NN.NNN	K ₁ ゲイン
◆★14	△	± 10.000	K2: NN.NNN	K ₂ ゲイン
◆★15	△	± 115.00%	A0: <u>1.50</u>	A ₀ バイアス
◆★16	△	± 115.00%	A1: <u>1.50</u>	A ₁ バイアス
◆★17	△	± 115.00%	A2: <u>1.50</u>	A ₂ バイアス

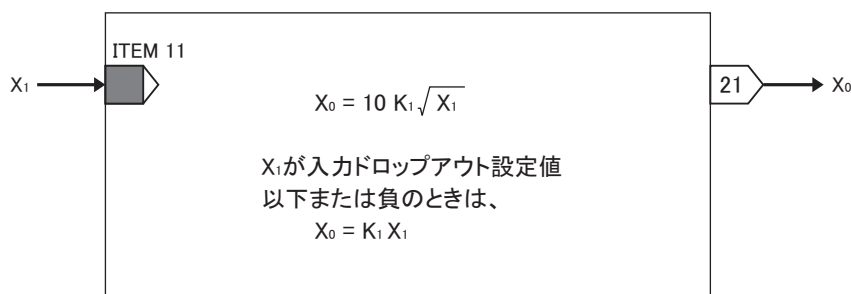
(注 1) 内部演算は、4バイトの二進法演算を採用しています。

(注 2) 入出力信号は、-327.68 ～ +327.67% (2バイトの二進法演算の数値範囲) です。

数値がこの範囲を超えたときは、-327.68%または +327.67%になり、ITEM 02 のエラー表示が ‘11’ になります。

形 式	ブロック名	形 式
54	開平	54

略号：SQR



[概 説]

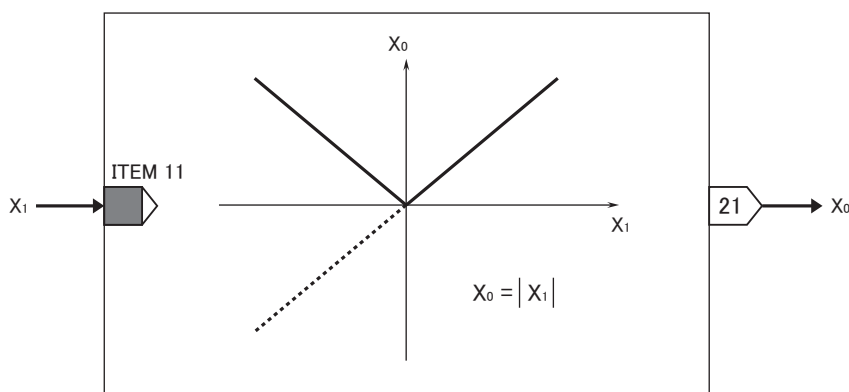
差圧式流量計の2乗信号の開平を行う（差圧信号を流量信号に変換する）ときには、 $K_1 = 1$ にしてください。
 スパンを変更したいときには、 K_1 の値を変更してください。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	54	MD: 54	開平 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	± 10.000	K1: NN.NNN	K_1 ゲイン
◆★13	△	0.00 ～ 115.00%	A1: NNN.NN	A_1 入カドロップアウト設定値

形 式	ブロック名	形 式
55	絶対値	55

略号：ABS



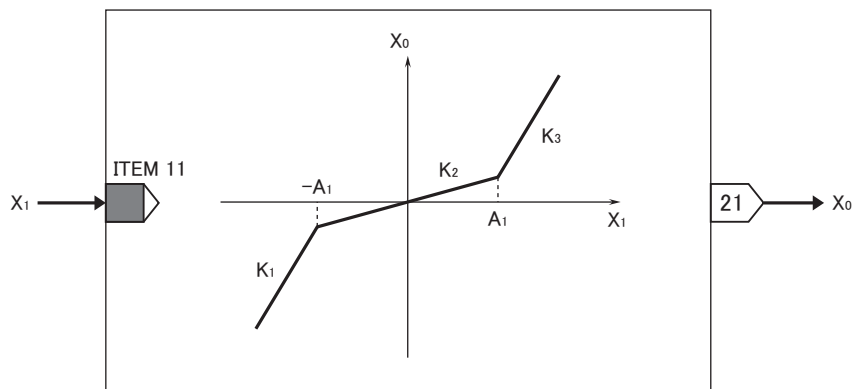
[概 説] 入力の絶対値を出力します。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	0.00 ～ 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	55	MD: <u>55</u>	絶対値 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号

形 式	ブロック名	形 式
56	非線形・不感帯	56

略号：NLN



[概 説]

おもに PID ブロックの入力補償端子に置換方式で接続して、非線形 PID 制御を行います。

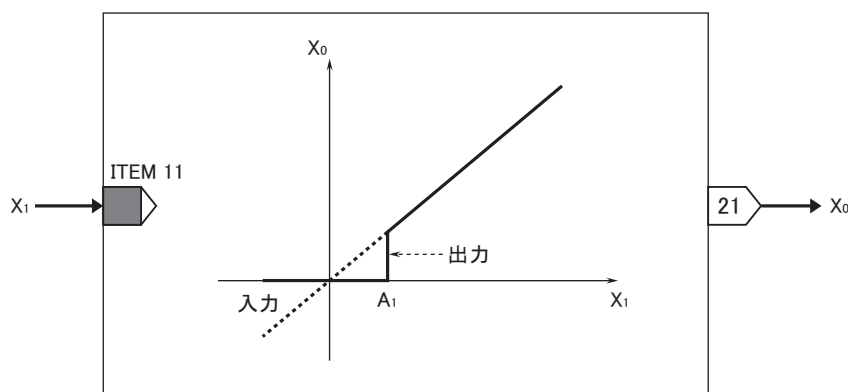
$K_2 = 0$ に設定すると不感帯演算ができます。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	56	MD: 56	非線形・不感帯 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	± 10.000	K1: NN.NNN	K ₁ ゲイン
◆★13	△	± 10.000	K2: NN.NNN	K ₂ ゲイン
◆★14	△	± 10.000	K3: NN.NNN	K ₃ ゲイン
◆★15	△	0.00 ～ 115.00%	A1: 1.50	A ₁ 折れ点設定値

形 式 57	ブロック名 ドロップアウト	形 式 57
-----------	------------------	-----------

略号：DRP



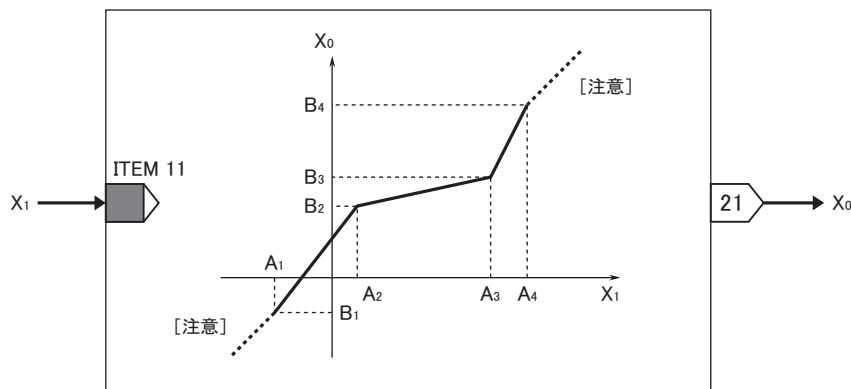
[概 説] 入力ゼロ付近で出力をゼロにします。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	57	MD: <u>57</u>	ドロップアウト (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0.00 ～ 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ ドロップアウト設定値

形 式	ブロック名	形 式
58	折れ線リニアライザ	58

略号：LIN



[概 説]

16本の折れ線で近似します。 **SC 1.40**

SC 以外の製品および SC Ver 1.40 以前では、7本の折れ線で近似します。

入出力の数値範囲は -115% ~ +115% です。

折れ線数が不足するときには、複数の折れ線リニアライザブロックを使用してください。折れ点は必要な分だけ設定してください。

[注 意] 折れ点指定範囲外の出力信号の勾配は 45 度（ゲイン = 1）になります。

$A_1 < A_2 < A_3 < A_4 < A_5 < A_6 < A_7 < \dots < A_{16} < A_{17}$ にてご使用ください。

GROUP [72 ~ 79] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	58	MD: <u>58</u>	折れ線リニアライザ (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★21	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 入力 1
◆★22	△	± 115.00%	B1: NNN.NN	B ₁ 出力 1
◆★23	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ 入力 2
◆★24	△	± 115.00%	B2: NNN.NN	B ₂ 出力 2
◆★25	△	± 115.00%	A3: NNN.NN	A ₃ 入力 3
◆★26	△	± 115.00%	B3: NNN.NN	B ₃ 出力 3
◆★27	△	± 115.00%	A4: NNN.NN	A ₄ 入力 4
◆★28	△	± 115.00%	B4: NNN.NN	B ₄ 出力 4
◆★29	△	± 115.00%	A5: NNN.NN	A ₅ 入力 5
◆★30	△	± 115.00%	B5: NNN.NN	B ₅ 出力 5
◆★31	△	± 115.00%	A6: NNN.NN	A ₆ 入力 6
◆★32	△	± 115.00%	B6: NNN.NN	B ₆ 出力 6
◆★33	△	± 115.00%	A7: NNN.NN	A ₇ 入力 7
◆★34	△	± 115.00%	B7: NNN.NN	B ₇ 出力 7
◆★35	△	± 115.00%	A8: NNN.NN	A ₈ 入力 8
◆★36	△	± 115.00%	B8: NNN.NN	B ₈ 出力 8

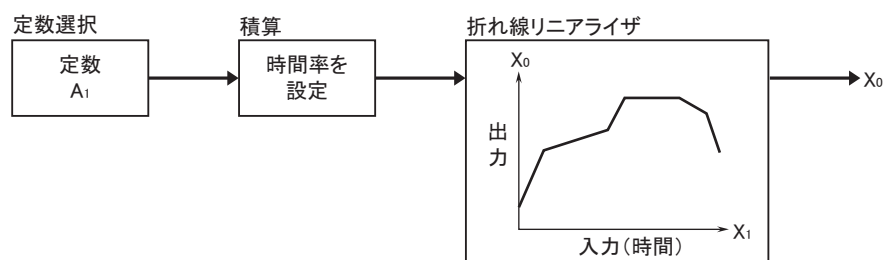
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
◆★37	△	± 115.00%	A9: NNN.NN	A ₉ 入力 9 SC 1.40
◆★38	△	± 115.00%	B9: NNN.NN	B ₉ 出力 9 SC 1.40
◆★39	△	± 115.00%	A10: NNN.NN	A ₁₀ 入力 10 SC 1.40
◆★40	△	± 115.00%	B10: NNN.NN	B ₁₀ 出力 10 SC 1.40
◆★41	△	± 115.00%	A11: NNN.NN	A ₁₁ 入力 11 SC 1.40
◆★42	△	± 115.00%	B11: NNN.NN	B ₁₁ 出力 11 SC 1.40
◆★43	△	± 115.00%	A12: NNN.NN	A ₁₂ 入力 12 SC 1.40
◆★44	△	± 115.00%	B12: NNN.NN	B ₁₂ 出力 12 SC 1.40
◆★45	△	± 115.00%	A13: NNN.NN	A ₁₃ 入力 13 SC 1.40
◆★46	△	± 115.00%	B13: NNN.NN	B ₁₃ 出力 13 SC 1.40
◆★47	△	± 115.00%	A14: NNN.NN	A ₁₄ 入力 14 SC 1.40
◆★48	△	± 115.00%	B14: NNN.NN	B ₁₄ 出力 14 SC 1.40
◆★49	△	± 115.00%	A15: NNN.NN	A ₁₅ 入力 15 SC 1.40
◆★50	△	± 115.00%	B15: NNN.NN	B ₁₅ 出力 15 SC 1.40
◆★51	△	± 115.00%	A16: NNN.NN	A ₁₆ 入力 16 SC 1.40
◆★52	△	± 115.00%	B16: NNN.NN	B ₁₆ 出力 16 SC 1.40
◆★53	△	± 115.00%	A17: NNN.NN	A ₁₇ 入力 17 SC 1.40
◆★54	△	± 115.00%	B17: NNN.NN	B ₁₇ 出力 17 SC 1.40

■折れ線リニアライザによるプログラム設定器

下図のように、折れ線リニアライザと積算ブロックを組み合わせると、プログラム設定器が実現できます。

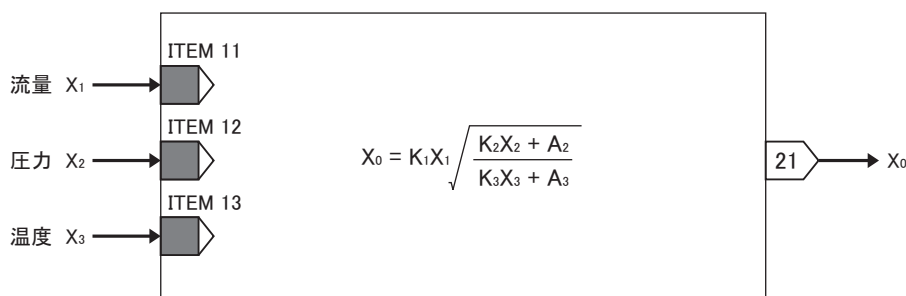
折れ線数が不足するときは、複数個の折れ線リニアライザを使用します。

積算ブロックの中断スイッチ (S2) により、時間信号を停止できます。



形 式	ブロック名	形 式
59	温度圧力補正	59

略号：TCP



[概 説]

差圧式流量計により気体を測定するとき、温度圧力補正演算を行うブロックです。

流量信号 X_1 は、差圧信号を開平してリニアな信号にしてから入力します。

規準化式の求め方は、計器ブロック応用マニュアルをご覧ください。

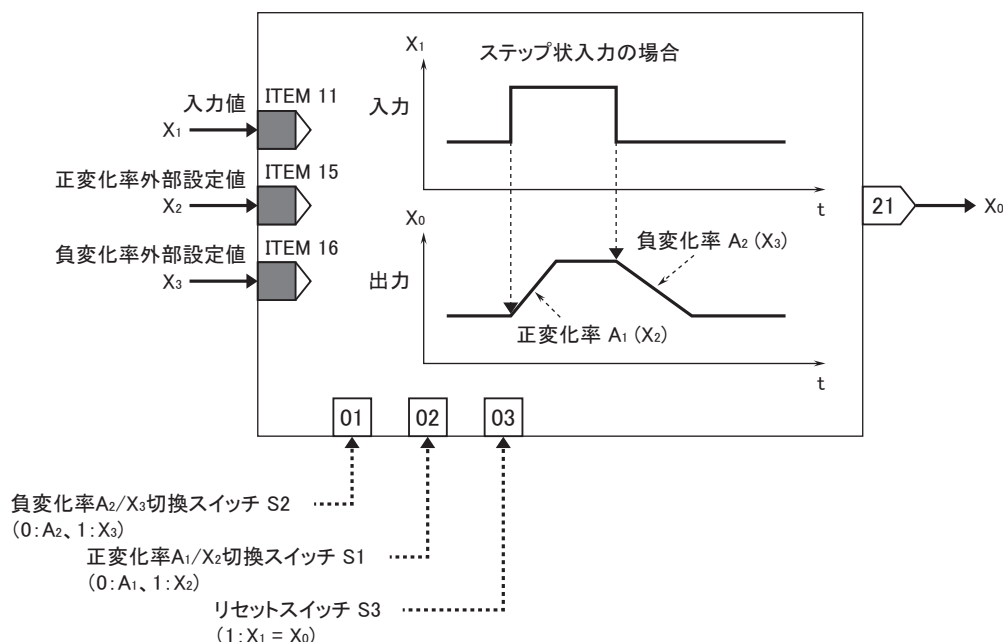
GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 流量入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X_2 圧力入力値
09	△	± 115.00%	X3: NNN.NN	X_3 温度入力値
★ 10	△	59	MD: 59	温度圧力補正 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 流量接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: 2221	X_2 圧力接続端子 (注 1)
★ 13	△	GGNN	3#: 2321	X_3 温度接続端子 (注 1)
◆★14	△	± 10.000	K1: NN.NNN	K_1 ゲイン
◆★15	△	± 10.000	K2: NN.NNN	K_2 ゲイン
◆★16	△	± 10.000	K3: NN.NNN	K_3 ゲイン
◆★17	△	± 115.00%	A2: 1.50	A_2 バイアス
◆★18	△	± 115.00%	A3: 1.50	A_3 バイアス

(注 1) 圧力または温度のどちらか一方の補正の場合、使用しない入力端子は ‘0000’ とし、使用しないバイアス (A_2 または A_3) は、‘100%’ としてください。

形 式	ブロック名	形 式
17	変化率制限 SC 1.50	17

略号：RCL



[概 説]

入力信号の変化率を正方向と負方向、別々の勾配で制限します。

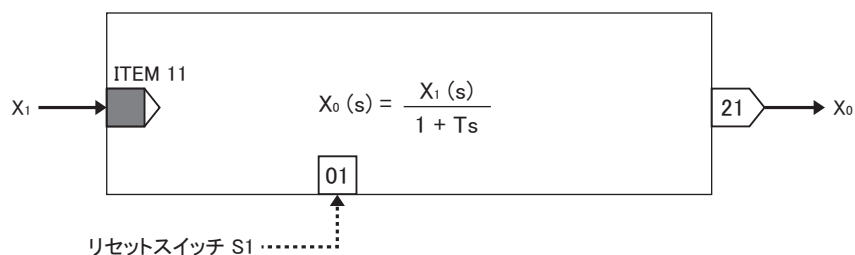
- ・ 入力信号の変化率が設定された値以下のときは、入力信号と同じ値が出力されます。
- ・ 変化率設定値が '0' のときには、 $X_1 = X_0$ になります。
- ・ 変化率の外部設定入力 X_2 、 X_3 の動作
 未接続の場合は、 A_1 、 A_2 を使用します。
 負方向の変化率設定値 A_2 および外部設定値 X_3 は正の値で設定します。
 外部設定入力が負の時は $X_1 = X_0$ になります。

GROUP [30 ~ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
04	△	-15.00 ~ 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
05	△	0.00 ~ 115.00% / C	X2: NNN.NN	X_2 正変化率外部設定値
06	△	0.00 ~ 115.00% / C	X3: NNN.NN	X_3 負変化率外部設定値
07	△	0, 1	S1: N	S1 正変化率 A_1/X_2 切換スイッチ
08	△	0, 1	S2: N	S2 負変化率 A_2/X_3 切換スイッチ
09	△	0, 1	S3: N	S3 リセットスイッチ (1: リセット)
★ 10	△	17	MD: 17	変化率制限 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0.00 ~ 115.00% / C	A1: 3.50	A_1 正変化率設定値
◆★13	△	0.00 ~ 115.00% / C	A2: 3.50	A_2 負変化率設定値
★ 14	△	0, 1	C: N	C 時間単位 (0: s、1: min)
★ 15	△	GGNN	2#: 2221	X_2 接続端子 (無接続可)
★ 16	△	GGNN	3#: 2321	X_3 接続端子 (無接続可)

形 式	ブロック名	形 式
60	一次遅れフィルタ	60

略号：LAG



[概 説]

測定信号の脈動を減らすときに使用します。

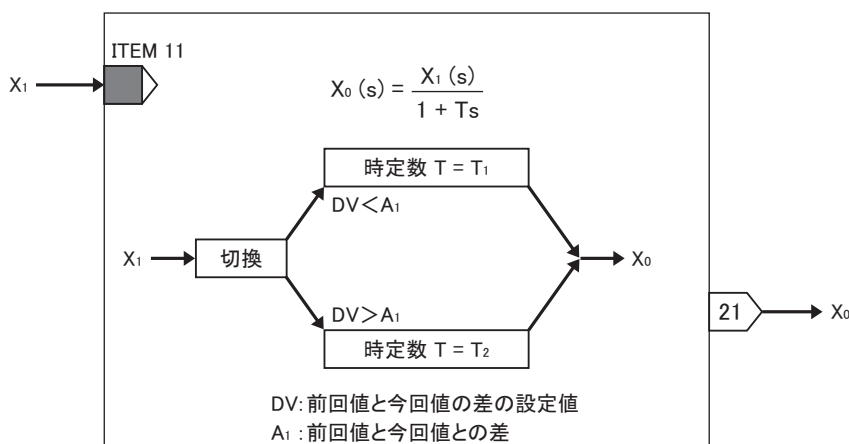
リセットスイッチ（S1）が‘1’のとき、入力 X_1 = 出力 X_0 になります。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1：リセット)
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	60	MD: 60	一次遅れフィルタ (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
◆★12	△	0.0 ～ 100.0 s	T: NNN.N	T 時定数 (0.0：遅れなし)

形 式	ブロック名	形 式
61	2段形一次遅れフィルタ	61

略号：2LG



[概 説]

測定信号の脈動を減らすときなどに使用します。

偏差の大きさに応じて時定数を切換えることができます。例えば、信号が大きく変化したときには早く追従させ、小さな変化には十分なフィルタをかけることができます。

[動作原理]

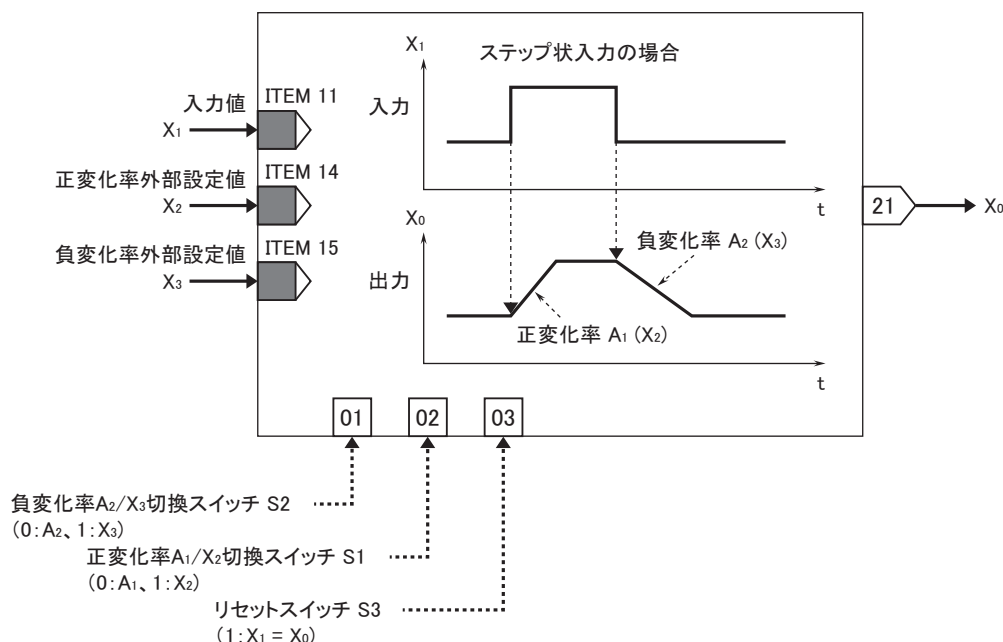
前回のデータと今回のデータとの差 A_1 が偏差設定値 DV より小さいときには、一次遅れの時定数を大きくダンピングを効かせ、 DV より大きいときには、時定数を小さく設定して応答速度を速くします。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	61	MD: 61	2段形一次遅れフィルタ (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0.0 ～ 100.0 s	T1: NNN.N	T ₁ 大偏差時定数 (0.0: 遅れなし)
◆★13	△	0.00 ～ 115.00%	DV: NNN.NN	DV 偏差設定値
◆★14	△	0.0 ～ 100.0 s	T2: NNN.N	T ₂ 小偏差時定数 (0.0: 遅れなし)

形 式	ブロック名	形 式
62	等速応答フィルタ(変化率制限)	62

略号：RMP



[概 説]

入力信号の変化率を正方向と負方向、別々の勾配で制限します。

- ・ 入力信号の変化率が設定された値以下のときは、入力信号と同じ値が出力されます。
- ・ 変化率設定値が '0' のときには、 $X_1 = X_0$ になります。
- ・ 変化率の外部設定入力 X_2 、 X_3 の動作
 未接続の場合は、 A_1 、 A_2 を使用します。
 負方向の変化率設定値 A_2 および外部設定値 X_3 は正の値で設定します。
 外部設定入力が負の時は $X_1 = X_0$ になります。

GROUP [30 ~ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
04	△	-15.00 ~ 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
05	△	0.00 ~ 115.00% /s	X2: NNN.NN	X_2 正変化率外部設定値
06	△	0.00 ~ 115.00% /s	X3: NNN.NN	X_3 負変化率外部設定値
07	△	0, 1	S1: N	S1 正変化率 A_1/X_2 切換スイッチ
08	△	0, 1	S2: N	S2 負変化率 A_2/X_3 切換スイッチ
09	△	0, 1	S3: N	S3 リセットスイッチ (1: リセット)
★ 10	△	62	MD: 62	等速応答フィルタ (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0.00 ~ 115.00% /s	A1: 3.50	A_1 正変化率設定値
◆★13	△	0.00 ~ 115.00% /s	A2: 3.50	A_2 負変化率設定値
★ 14	△	GGNN	2#: 2221	X_2 接続端子 (無接続可)
★ 15	△	GGNN	3#: 2321	X_3 接続端子 (無接続可)

形 式	ブロック名	形 式
63	多数決フィルタ	63

略号：MAJ



[概 説]

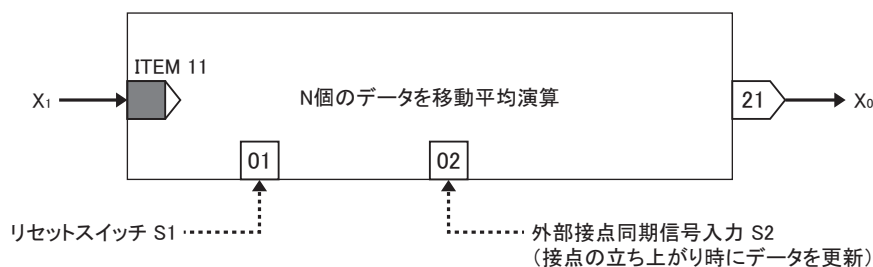
N 個（最大8個）のデータをサンプリングし、その中の大きいデータ U 個と小さいデータ L 個を捨てた残りのデータで平均値を出力します。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01 ～ 90：エラー）
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
★ 10	△	63	MD: <u>63</u>	多数決フィルタ（形式）‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子（無接続のときエラー） GG：グループ番号 NN：端子番号
◆★12	△	0.5 ～ 115.0 s	H: <u>0.5</u>	H サンプル周期（最小 0.5 s 刻み）
◆★13	△	1 ～ 8	N: <u>8</u>	N サンプル数
◆★14	△	0 ～ 7	U: <u>2</u>	U ハイカット数
◆★15	△	0 ～ 7	L: <u>2</u>	L ローカット数

形 式	ブロック名	形 式
64	移動平均フィルタ	64

略号：RAV



[概 説]

移動平均演算は、新しいデータを1個追加したとき、最も古いデータを1個捨てて、サンプル値 N 個のデータを平均して出力する演算方式です。

- データの更新方法は下記の3種類から選択できます。
 - ① 0：時間 ② 1：処理周期 ③ 2：外部接点同期
- リセットスイッチ（S1）が「1」のとき、入力 X_1 = 出力 X_0 となります。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1：リセット)
05	△	0, 1	S2: N	S2 外部接点同期信号入力
★ 10	△	64	MD: 64	移動平均フィルタ (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
◆★12	△	0.1 ～ 115.0 s	H: 0.5	H サンプル周期 (最小 0.1 s 刻み) SC 1.40 (注 1)
◆★13	△	1 ～ 32	N: 8	N サンプル数 SC 1.40 (注 2)
★ 14	△	0, 1, 2	SM: 2	M サンプルモード (0：時間、1：処理周期、2：外部接点同期)
★ 15	△	0, 1	CM: 0	CM 演算モード SC 1.40 (0：単純平均 (従来の動作)、1：実サンプル平均)

(注 1) SC 以外の製品および SC Ver 1.40 以前では範囲 0.5 ～ 115.0 s、最小 0.5 s 刻みです。

(注 2) SC 以外の製品および SC Ver 1.40 以前では範囲 1 ～ 16 です。

■演算モード

・単純平均（従来の動作）

リセットスイッチ（S1）が「0」になったとき、常にサンプル数 N（ITEM 13）のデータを平均します。

[例] サンプル数が4個、リセットスイッチが「1」のときの入力値が 50%、リセットスイッチが「0」のときの入力値が 60%、70%、80%と変化したときの出力

① リセットスイッチ：1

入力 50% →

50%	50%	50%	50%
-----	-----	-----	-----

 → 出力 $(50+50+50+50) \div 4 = 50\%$

② リセットスイッチ：0

入力 60% →

60%	50%	50%	50%
-----	-----	-----	-----

 → 出力 $(60+50+50+50) \div 4 = 52.5\%$

③ 次サンプル周期

入力 70% →

70%	60%	50%	50%
-----	-----	-----	-----

 → 出力 $(70+60+50+50) \div 4 = 57.5\%$

④ 次サンプル周期

入力 80% →

80%	70%	60%	50%
-----	-----	-----	-----

 → 出力 $(80+70+60+50) \div 4 = 65\%$

・実サンプル平均

リセットスイッチ（S1）が「0」になったとき、実際のサンプル数のデータを平均します。

サンプル数が N（ITEM 13）になった場合は単純平均と同じ値になります。

[例] サンプル数が4個、リセットスイッチが「1」のときの入力値が 50%、リセットスイッチが「0」のときの入力値が 60%、70%、80%と変化したときの出力

① リセットスイッチ：1

入力 50% →

50%	50%	50%	50%
-----	-----	-----	-----

 → 出力 $(50+50+50+50) \div 4 = 50\%$

② リセットスイッチ：0

入力 60% →

60%	—	—	—
-----	---	---	---

 → 出力 $(60) \div 1 = 60\%$

③ 次サンプル周期

入力 70% →

70%	60%	—	—
-----	-----	---	---

 → 出力 $(70+60) \div 2 = 65\%$

④ 次サンプル周期

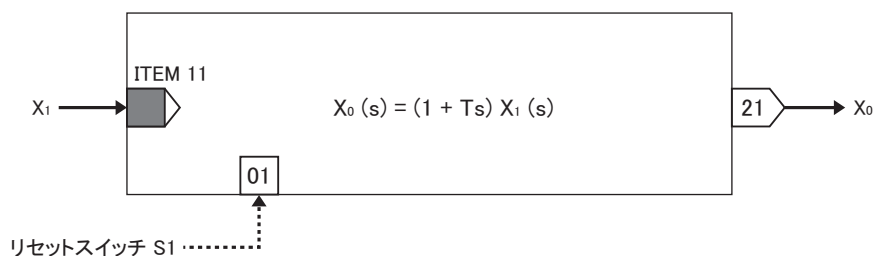
入力 80% →

80%	70%	60%	—
-----	-----	-----	---

 → 出力 $(0+70+60) \div 3 = 70\%$

形 式	ブロック名	形 式
65	進み演算	65

略号：LED



[概 説]

制御信号の進み演算に使用します。

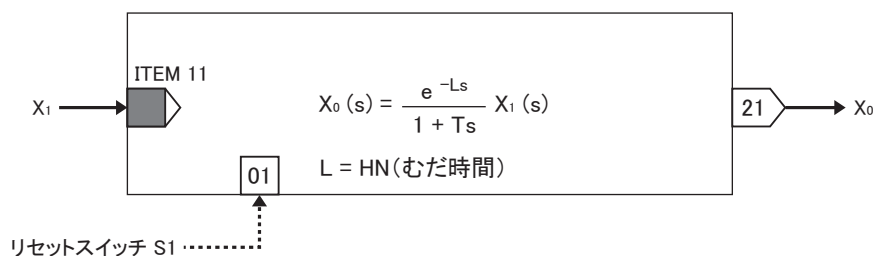
リセットスイッチ（S1）が「1」のとき、入力 X_1 = 出力 X_0 となります。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1：リセット)
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	65	MD: 65	進み演算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
◆★12	△	0.0 ～ 100.0 s	T: NNN.N	T 時定数 (0.0：進みなし)

形 式	ブロック名	形 式
66	むだ時間演算	66

略号：DTM



[概 説]

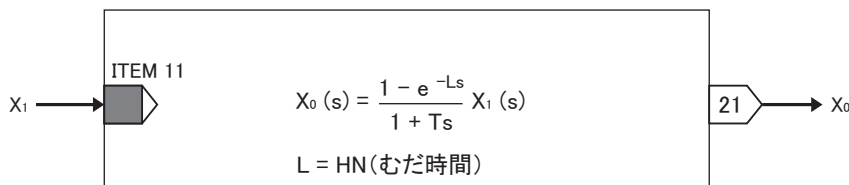
入力をL秒だけ遅らせて出力します。遅れ時定数を設定すると、むだ時間経過後一次遅れ演算を行います。
リセットスイッチ（S1）が‘1’のとき、入力 X_1 = 出力 X_0 となります。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1：リセット)
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	66	MD: 66	むだ時間演算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
◆★12	△	0.0 ～ 100.0 s	TC: NNN.N	TC 時定数 (0.0：遅れなし)
◆★13	△	0.5 ～ 115.0 s	H: 0.5	H サンプル周期 (最小 0.5 s 刻み)
◆★14	△	0 ～ 8	N: 8	N サンプル数 (0：むだ時間 = 0)

形 式	ブロック名	形 式
67	むだ時間補償	67

略号：DTC



[概 説]

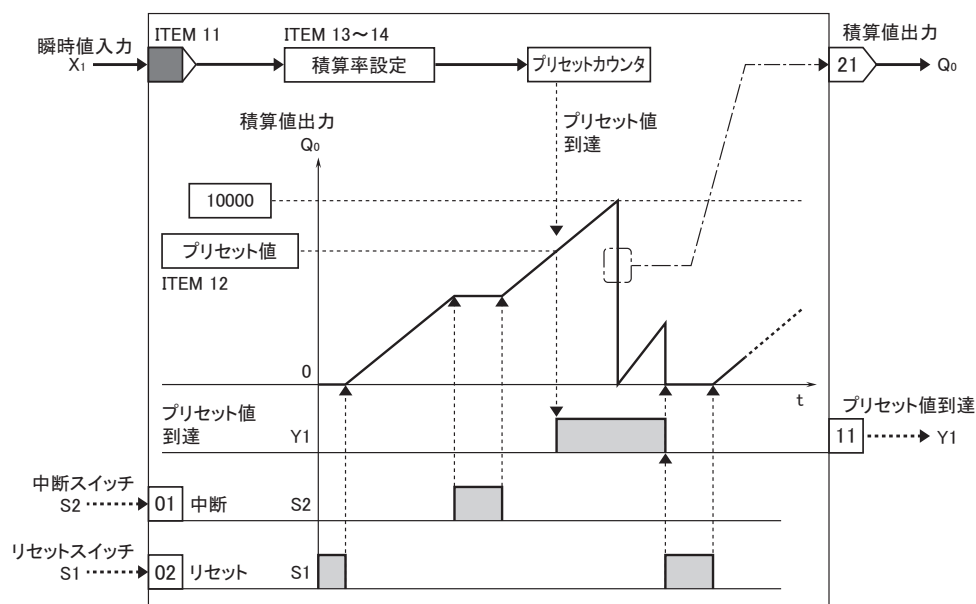
スミスのむだ時間補償制御に使用します。むだ時間が長く、しかもむだ時間があまり変化しないプロセスに応用されます。使用方法は、別冊『計器ブロック応用マニュアル』の「むだ時間補償制御」をご参照ください。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	67	MD: <u>67</u>	むだ時間補償 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	0.0 ～ 100.0 s	TC: NNN.N	TC 時定数 (0.0: 遅れなし)
◆★13	△	0.5 ～ 115.0 s	H: <u>0.5</u>	H サンプル周期 (最小 0.5 s 刻み)
◆★14	△	0 ～ 8	N: <u>8</u>	N サンプル数 (0: むだ時間 = 0)

形 式	ブロック名	形 式
68	積算(瞬時値入力)	68

略号：QNT



[概 説]

アナログ信号の連続積算およびプリセットカウンタとして使用します。

- ・ 中断スイッチ（S2）が ‘1’ のときは積算動作は行いません。
- ・ リセットスイッチ（S1）を ‘1’ にすると、積算値が ‘0’ になり、プリセット値到達出力（Y1）が ‘0’ になります。
- ・ 積算値出力 Q_0 は、10000 カウントに到達すると、自動的に 0 カウントに戻ります。このとき、端数は切捨てられずに加算されます。
- ・ 積算値出力 Q_0 を他の計器ブロックのアナログ入力端子に接続すると、10000 カウントが 100.00% になります。

[設定例]

瞬時値が $0 \sim 150 \text{ m}^3/\text{h}$ の条件で、1 時間に 150 カウント（1 カウントあたり 1 m^3 ）にしたいときは、以下のように設定します。

ITEM 13 : 150（積算率 K）

ITEM 14 : 2（時間単位 C）

また、1 時間に 1500 カウント（1 カウントあたり 0.1 m^3 ）にしたいときは、以下のように設定します。

ITEM 13 : 1500（積算率 K）

[注 意]

このブロックを使用して積算した値をパソコンの帳票作成用ソフトにて印刷を行った場合に、次に述べるデータ不一致が発生する事があります。

- ・ 不一致の例

積算率 = 3600、時間単位 = 時間として入力に 100% を入れ続けると、1 日の積算値合計は 86400 が正確な値ですが、パソコンの時計とコントローラやユニットのクロックのデータ取得時間のずれにより数カウントの差が生じます。

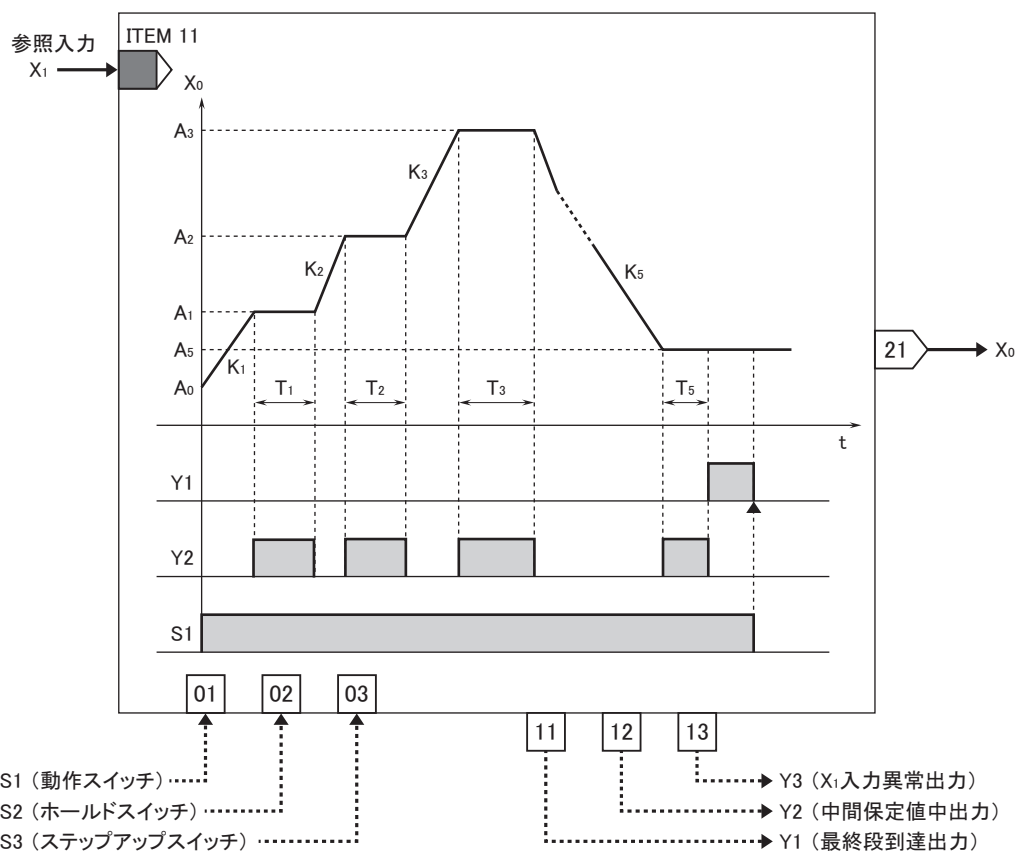
帳票印刷用の積算合計値は、積算率を調整する事により正確な値にすることができます。しかし、パソコンの時刻とコントローラやユニットの時刻を正確に一致させることは困難ですので、このような現象が生じる可能性をご理解の上、このブロックをご使用ください。

GROUP [30 ~ 61] ◆ : パラメータ自動変更可能、★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
04	△	0.00 ~ 100.00	21: NNN.NN	Q ₀ 積算値出力 (0 ~ 10000 カウントを 0.00 ~ 100.0% で表示)
05	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1 : リセット)
06	△	0, 1	S2: N	S2 中断スイッチ (1 : 中断)
07	△	0, 1	Y1: N	Y1 プリセット値到達出力
08	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	68	MD: <u>68</u>	積算 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X _i 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
◆★12	○	0 ~ 10000	PS: NNNN	PS プリセット値
★ 13	△	0.00 ~ 10000.00	K: NNNNN.NN	K 積算率 [C 時間 (ITEM 14) の間 100%の瞬時値入力が続いたとき積算したいカウント値を設定]
★ 14	△	0, 1, 2, 3	C: N	C 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h、3 : day)

形 式	ブロック名	形 式
69	プログラム設定	69

略号：PRG



[概 説]

傾斜率方式のプログラム設定ブロックです。

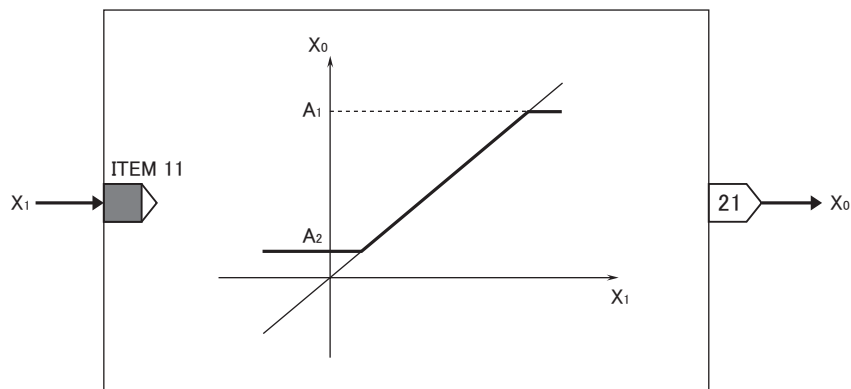
- ・ 動作スイッチ (S1) が '1' で動作し、参照入力 X_i 初期値 A_0 でスタートします。
- ・ 動作スイッチ (S1) が '0' で Y1、Y2、Y3 をリセットします。出力値 X_0 はリセット前の出力を保持します。
- ・ ホールドスイッチ (S2) が '1' になると、その位置で停止します。
- ・ ステップアップスイッチ (S3) のワンショット入力で、中間保定タイマを強制完了させます。
- ・ 傾斜率 $K_n = 0$ にすると、それに関する C_n 、 A_n 、 T_n 、 P_n は無視されます。
- ・ 参照入力 X_i を使用しないとき (結線しないとき)、初期値 A_0 、傾斜率 K_1 でスタートします。
参照入力 X_i を使用するとき、初期値 X_i 、傾斜率 K_1 でスタートします。ただし、 K_1 が正で X_i が中間保定値 A_1 以上のとき、あるいは K_1 が負で X_i が A_1 以下のとき、Y3 (X_i 入力異常出力) が '1' になり、スタートしません。

GROUP [72 ~ 79] ◆ : パラメータ自動変更可能、★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 動作スイッチ (0 : リセット、1 : 動作)
05	△	0, 1	S2: N	S2 ホールドスイッチ (1 : 時間軸停止)
06	△	0, 1	S3: N	S3 ステップアップスイッチ (中間保定タイマ強制完了)
07	△	0, 1	Y1: N	Y1 最終段到達出力
08	△	0, 1	Y2: N	Y2 中間保定値中出力
09	△	0, 1	Y3: N	Y3 X _i 入力異常出力
★ 10	△	69	MD: 69	プログラム設定 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続可) GG : グループ番号 NN : 端子番号
◆★12	△	± 115.00%	A0: NNN.NN	A ₀ 初期値
◆★13	△	± 115.00% /C1	K1: NNN.NN	K ₁ 傾斜率
◆★14	△	0, 1, 2	C1: N	C ₁ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★15	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 中間保定値
◆★16	△	0 ~ 1000	T1: NNNN	T ₁ 中間保定時間
◆★17	△	0, 1, 2	P1: N	P ₁ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★18	△	± 115.00% /C2	K2: NNN.NN	K ₂ 傾斜率
◆★19	△	0, 1, 2	C2: N	C ₂ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★20	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ 中間保定値
◆★21	△	0 ~ 1000	T2: NNNN	T ₂ 中間保定時間
◆★22	△	0, 1, 2	P2: N	P ₂ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★23	△	± 115.00% /C3	K3: NNN.NN	K ₃ 傾斜率
◆★24	△	0, 1, 2	C3: N	C ₃ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★25	△	± 115.00%	A3: NNN.NN	A ₃ 中間保定値
◆★26	△	0 ~ 1000	T3: NNNN	T ₃ 中間保定時間
◆★27	△	0, 1, 2	P3: N	P ₃ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★28	△	± 115.00% /C4	K4: NNN.NN	K ₄ 傾斜率
◆★29	△	0, 1, 2	C4: N	C ₄ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★30	△	± 115.00%	A4: NNN.NN	A ₄ 中間保定値
◆★31	△	0 ~ 1000	T4: NNNN	T ₄ 中間保定時間
◆★32	△	0, 1, 2	P4: N	P ₄ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★33	△	± 115.00% /C5	K5: NNN.NN	K ₅ 傾斜率
◆★34	△	0, 1, 2	C5: N	C ₅ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)
◆★35	△	± 115.00%	A5: NNN.NN	A ₅ 中間保定値
◆★36	△	0 ~ 1000	T5: NNNN	T ₅ 中間保定時間
◆★37	△	0, 1, 2	P5: N	P ₅ 時間単位 (0 : s、1 : min、2 : h)

形 式	ブロック名	形 式
70	上下制限限	70

略号：HLL



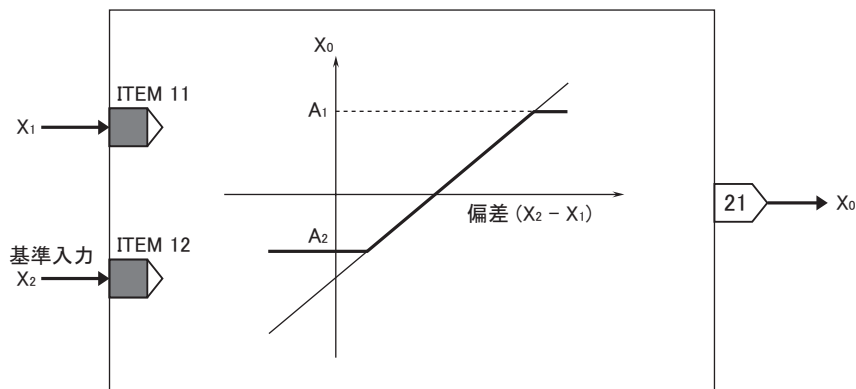
〔概 説〕 アナログ信号の出力範囲を制限します。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 制限後の値
★ 10	△	70	MD: <u>70</u>	上下制限限 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 上限制限値
◆★13	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ 下限制限値

形 式	ブロック名	形 式
71	偏差制限	71

略号：DVL



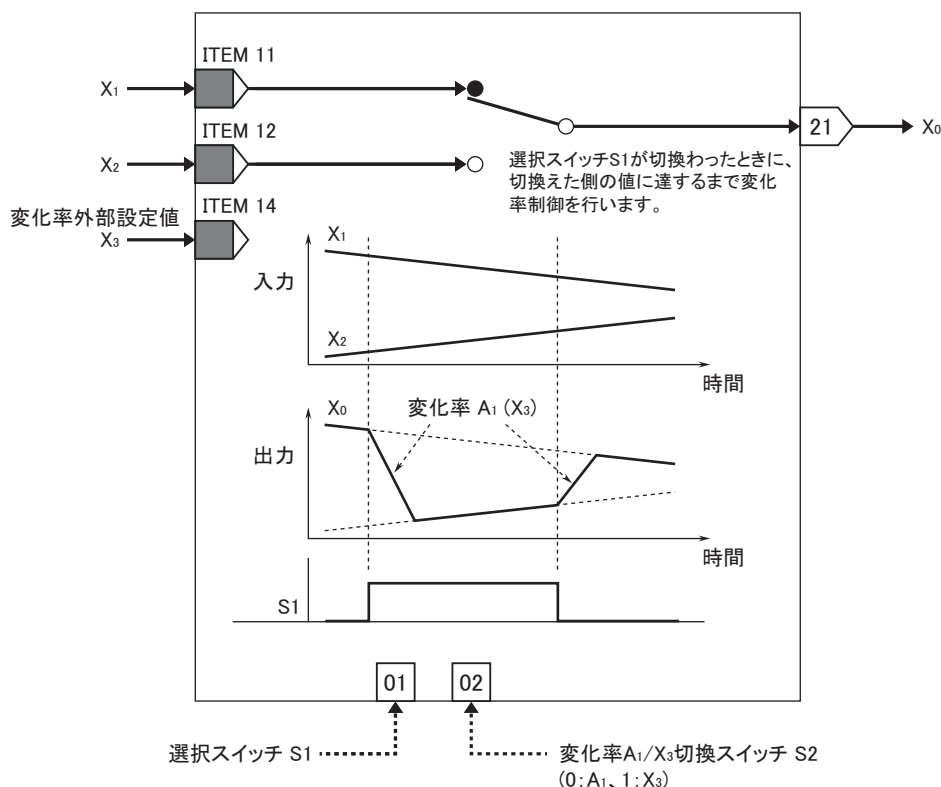
[概 説] 2個のアナログ信号の偏差の出力範囲を制限します。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 基準入力値
★ 10	△	71	MD: <u>71</u>	偏差制限 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1321</u>	X ₂ 接続端子 (無接続のときエラー)
◆★13	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 上限制限值
◆★14	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ 下限制限值

形 式 18	ブロック名 入力選択(緩和形) SC 1.10	形 式 18
-----------	----------------------------	-----------

略号：SFT



[概 説] 2個のアナログ信号のいずれか1個を選択し、出力します。

[動 作]

選択スイッチ (S1) を切換えたときに、設定した変化率で出力 X₀ を切換えた側の値に近づけます。

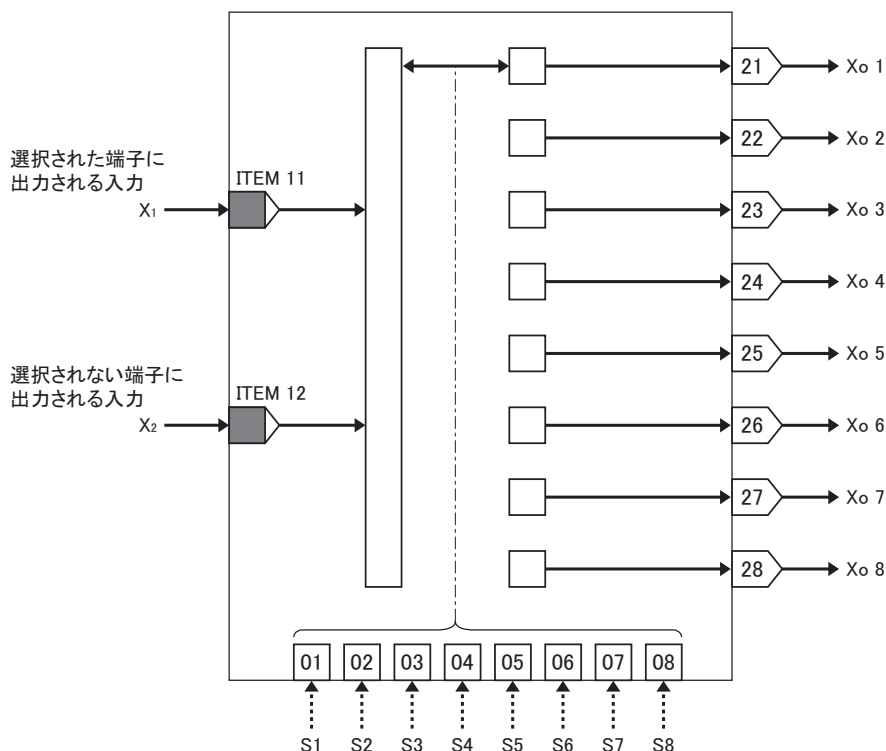
- ・ 選択スイッチ S1 = 0 のとき、入力 X₁ が選択されます。
- ・ 変化率設定値が '0' のときは、切換えた側の値を出力します。
- ・ 変化率外部設定入力 X₃ : 0 ~ 10000 の内部データを 0 ~ 100% に変換します。未接続の場合は A₁ を使用します。外部設定入力が負のときは、変化率はゼロになります。

GROUP [30 ~ 61] ◆ : パラメータ自動変更可能、★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 選択スイッチ (0 : X ₁ 選択、1 : X ₂ 選択)
05	△	0, 1	S2: N	S2 変化率 A ₁ /X ₃ 切換スイッチ (0 : A ₁ , 1 : X ₃)
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
09	△	0.00 ~ 115.00% /s	X3: NNN.NN	X ₃ 変化率外部設定値
★ 10	△	18	MD: <u>18</u>	入力選択 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1321</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)
◆★ 13	△	0.00 ~ 115.00% /s	A1: <u>3.50</u>	A ₁ 変化率設定値
★ 14	△	GGNN	3#: <u>2321</u>	X ₃ 接続端子 (無接続可)

形 式	ブロック名	形 式
19	出力選択	19

略号：OTS



[概 説]

1個のアナログ入力を8個のいずれか1個に出力します。

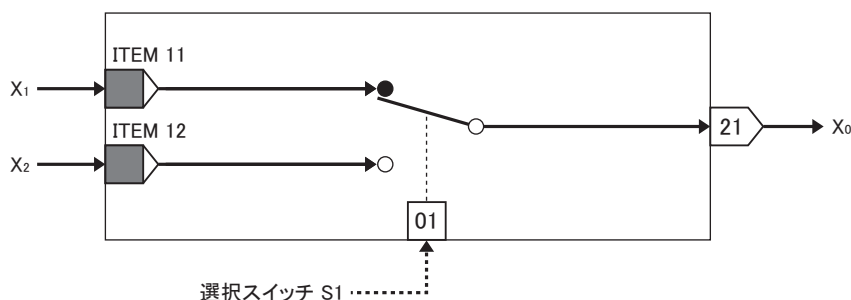
- ・ スイッチ S1 ～ S8 が出力 Xo 1 ～ Xo 8 に対応します。
- ・ 選択されていない出力端子には、ITEM 12 で設定された値が出力されます。
- ・ 同時に複数個のスイッチを選択したときには、最も大きな番号のスイッチ (S1 ～ S8) が有効になります。
- ・ S1 ～ S8 は、コールドスタート時に初期値 ‘0’ が自動的に設定されます。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
04	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
★ 10	△	19	MD: <u>19</u>	出力選択 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1321</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可) X ₂ は非接続端子に出力、無接続時は 0%を出力
21	△	0, 1	01: N	S1 選択スイッチ
22	△	0, 1	02: N	S2 選択スイッチ
23	△	0, 1	03: N	S3 選択スイッチ
24	△	0, 1	04: N	S4 選択スイッチ
25	△	0, 1	05: N	S5 選択スイッチ
26	△	0, 1	06: N	S6 選択スイッチ
27	△	0, 1	07: N	S7 選択スイッチ
28	△	0, 1	08: N	S8 選択スイッチ

形 式	ブロック名	形 式
72	入力選択	72

略号 : INS



[概 説]

2個のアナログ信号のいずれか1個を選択し、出力します。

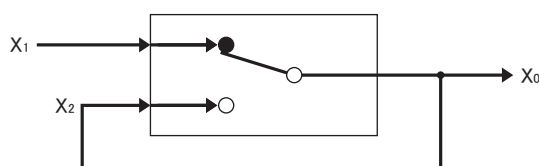
選択スイッチ S1 = 0 のとき、入力 X₁ が選択されます。

GROUP [30 ~ 61] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 選択スイッチ (0 : X ₁ 選択、1 : X ₂ 選択)
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
★ 10	△	72	MD: <u>72</u>	入力選択 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1321</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)

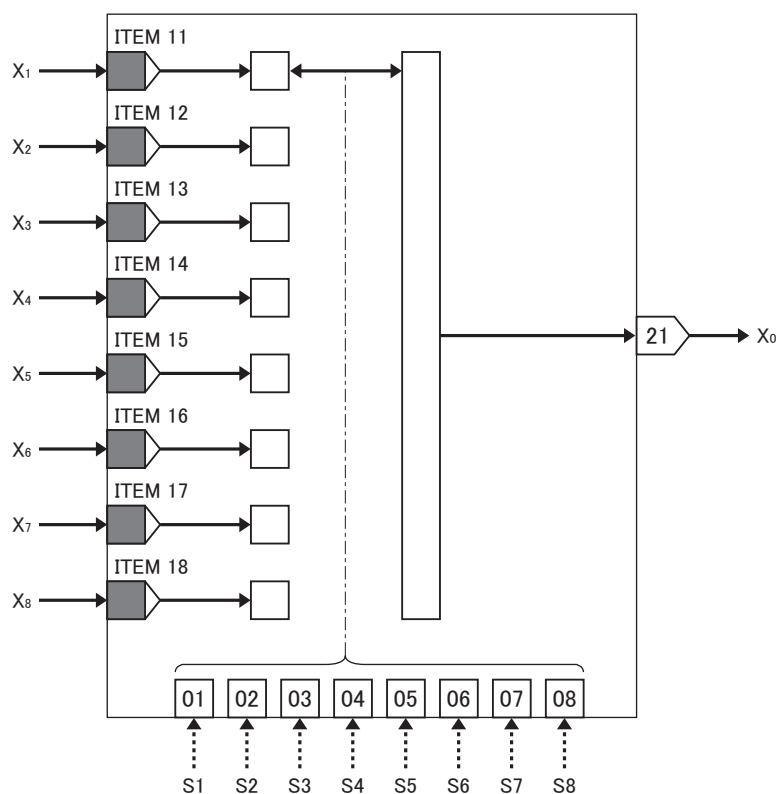
■アナログホールド

下図のように、出力信号 X₀ を入力 X₂ に接続し、選択スイッチ (S1) を '1' にすると、出力値が保持されます。



形 式	ブロック名	形 式
85	8点入力選択	85

略号：INE



[概 説]

8個のアナログ信号のいずれか1個を選択し、出力します。

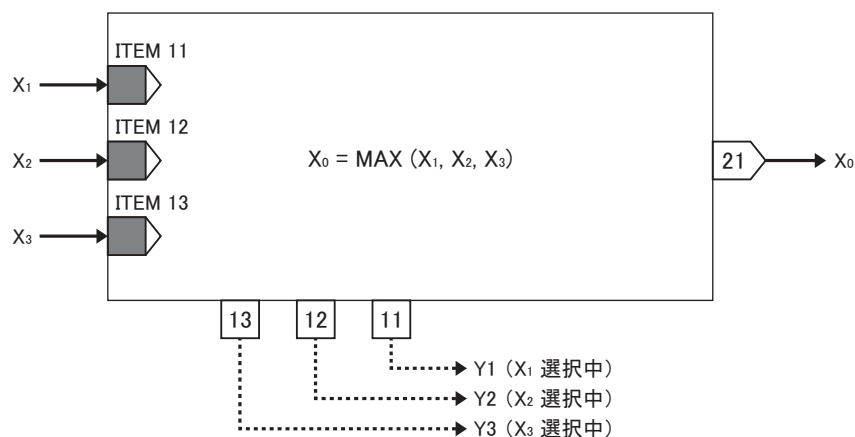
- ・ 選択スイッチ S1 ～ S8 が入力 X_1 ～ X_8 に対応します。いずれも選択しないとき、出力 X_0 は 0% になります。
- ・ 同時に複数個のスイッチを選択したときは、最も大きな番号のスイッチ（S1 ～ S8）が有効になります。
- ・ 入力 X_i は必ず接続してください。無接続のときはエラーになります。
- ・ 無接続の入力接続端子を選択したとき、出力 X_0 は 0% になります。
- ・ S1 ～ S8 は、コールドスタート時に初期値 '0' が自動的に設定されます。

GROUP [30 ~ 61] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
★ 10	△	85	MD: <u>85</u>	8点入力選択 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1222</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 13	△	GGNN	3#: <u>1321</u>	X ₃ 接続端子 (無接続可)
★ 14	△	GGNN	4#: <u>1322</u>	X ₄ 接続端子 (無接続可)
★ 15	△	GGNN	5#: <u>1421</u>	X ₅ 接続端子 (無接続可)
★ 16	△	GGNN	6#: <u>1422</u>	X ₆ 接続端子 (無接続可)
★ 17	△	GGNN	7#: <u>1521</u>	X ₇ 接続端子 (無接続可)
★ 18	△	GGNN	8#: <u>1522</u>	X ₈ 接続端子 (無接続可)
21	△	0, 1	01: N	S1 X ₁ 選択スイッチ
22	△	0, 1	02: N	S2 X ₂ 選択スイッチ
23	△	0, 1	03: N	S3 X ₃ 選択スイッチ
24	△	0, 1	04: N	S4 X ₄ 選択スイッチ
25	△	0, 1	05: N	S5 X ₅ 選択スイッチ
26	△	0, 1	06: N	S6 X ₆ 選択スイッチ
27	△	0, 1	07: N	S7 X ₇ 選択スイッチ
28	△	0, 1	08: N	S8 X ₈ 選択スイッチ

形 式	ブロック名	形 式
73	最大値選択	73

略号：MAX



[概 説]

3個のアナログ信号のうち最大のものを選んで出力します。

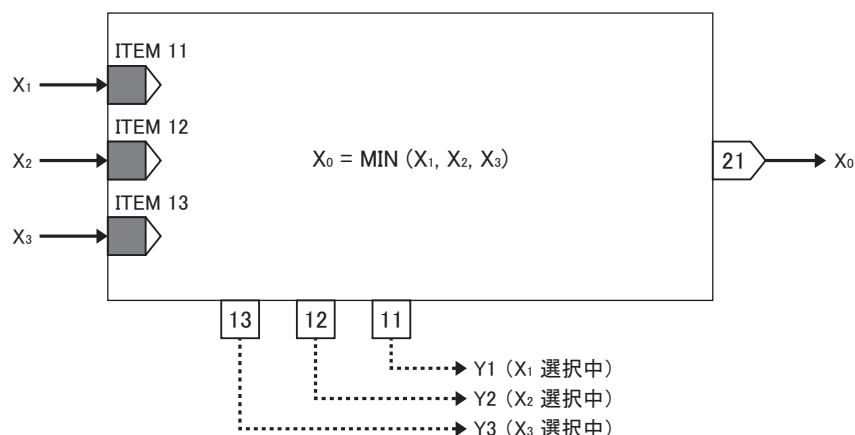
どの信号を選択しているかは、状態出力 Y1 ～ Y3 で表示されます。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	Y1: N	Y1 X ₁ 選択中
05	△	0, 1	Y2: N	Y2 X ₂ 選択中
06	△	0, 1	Y3: N	Y3 X ₃ 選択中
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
09	△	± 115.00%	X3: NNN.NN	X ₃ 入力値
★ 10	△	73	MD: <u>73</u>	最大値選択 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: <u>1321</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 13	△	GGNN	3#: <u>1421</u>	X ₃ 接続端子 (無接続可)

形 式	ブロック名	形 式
74	最小値選択	74

略号：MIN



[概 説]

3個のアナログ信号のうち最小のものを選んで出力します。

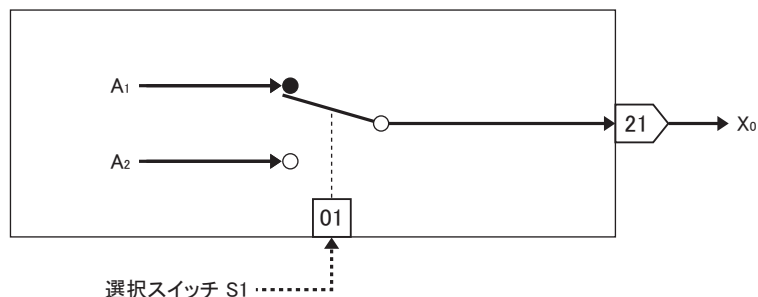
どの信号を選択しているかは、状態出力 Y1 ～ Y3 で表示されます。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	Y1: N	Y1 X ₁ 選択中
05	△	0, 1	Y2: N	Y2 X ₂ 選択中
06	△	0, 1	Y3: N	Y3 X ₃ 選択中
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
09	△	± 115.00%	X3: NNN.NN	X ₃ 入力値
★ 10	△	74	MD: 74	最小値選択 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: 1321	X ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 13	△	GGNN	3#: 1421	X ₃ 接続端子 (無接続可)

形 式	ブロック名	形 式
75	定数選択	75

略号：CTS



[概 説]

2個の定数のいずれかを選択し、出力します。

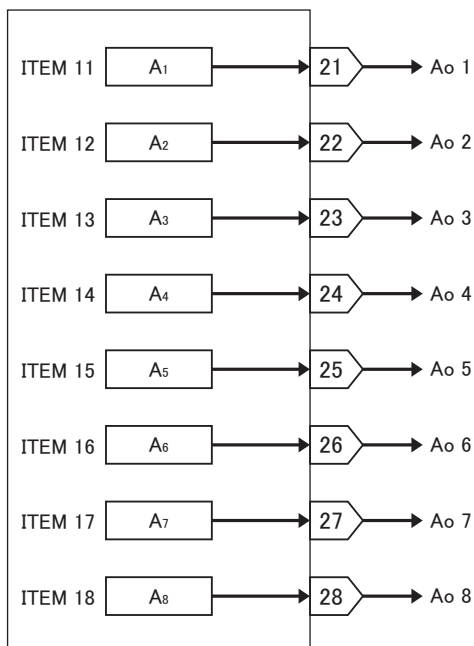
選択スイッチ S1 = 0 のとき、定数 A₁ が選択されます。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 選択スイッチ (0: A ₁ 選択、1: A ₂ 選択)
★ 10	△	75	MD: 75	定数選択 (形式) ‘-’ 入力でクリア
◆★11	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 定数
◆★12	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ 定数

形 式	ブロック名	形 式
86	8点定数出力	86

略号：CTE



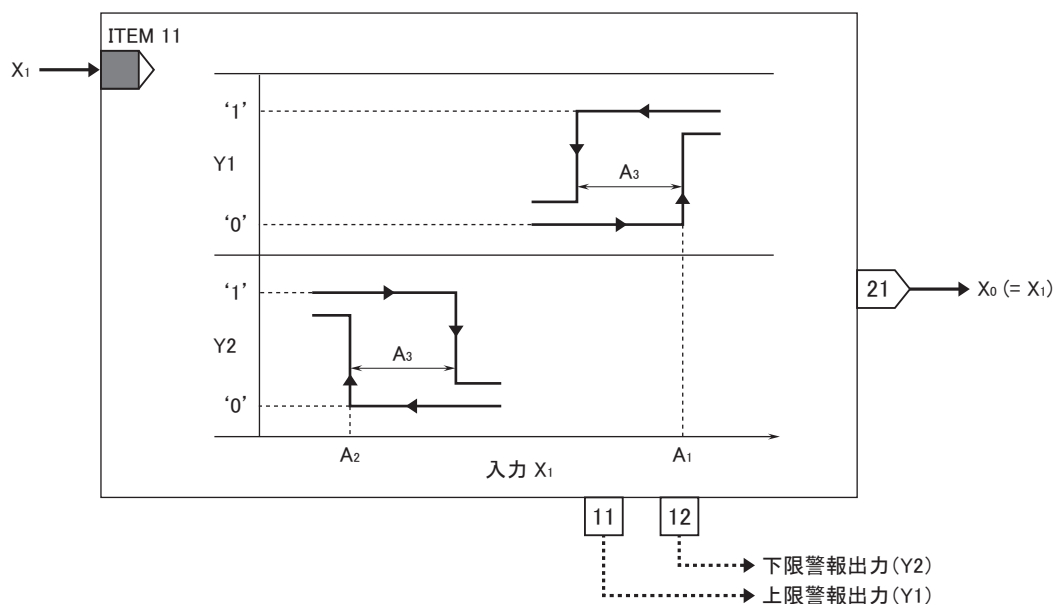
[概 説] 8個の定数を個別に出力します。

GROUP [30 ~ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
★ 10	△	86	MD: 86	8点定数出力 (形式) 'ー' 入力でクリア
◆★11	△	± 115.00%	21: NNN.NN	A ₁ 定数
◆★12	△	± 115.00%	22: NNN.NN	A ₂ 定数
◆★13	△	± 115.00%	23: NNN.NN	A ₃ 定数
◆★14	△	± 115.00%	24: NNN.NN	A ₄ 定数
◆★15	△	± 115.00%	25: NNN.NN	A ₅ 定数
◆★16	△	± 115.00%	26: NNN.NN	A ₆ 定数
◆★17	△	± 115.00%	27: NNN.NN	A ₇ 定数
◆★18	△	± 115.00%	28: NNN.NN	A ₈ 定数

形 式	ブロック名	形 式
76	上下限警報	76

略号：PVA



[概 説]

上限および下限警報接点を出力します。

出力 Y1 および Y2 はそれぞれヒステリシス A₃ を持たせることができます。

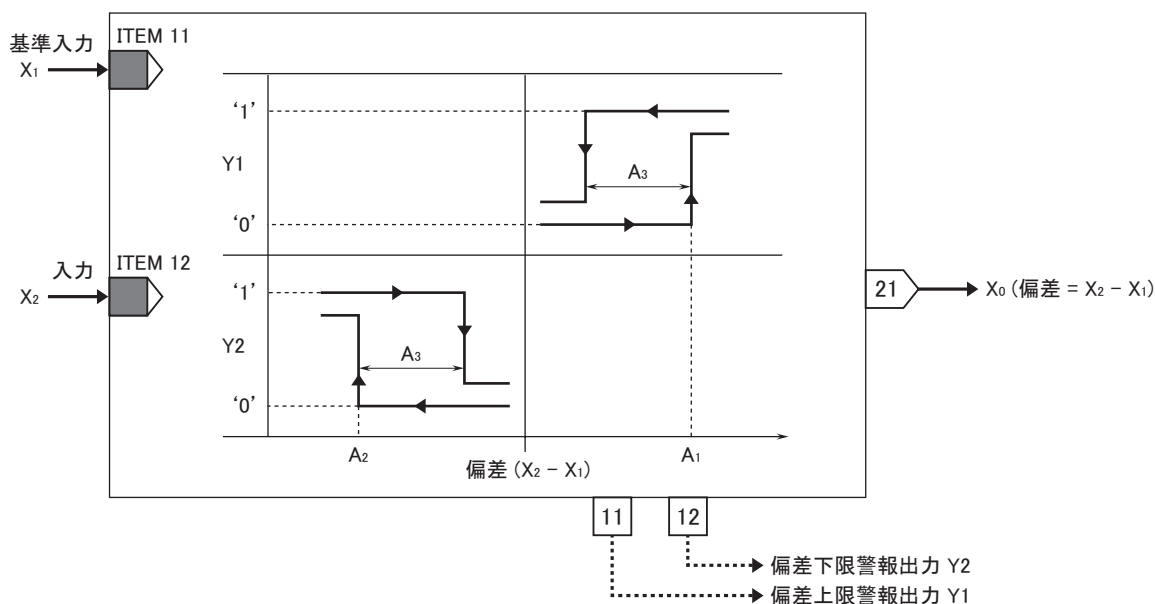
上限警報設定値 A₁ と下限警報設定値 A₂ の相互干渉はありません。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	Z1: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	Y1: N	Y1 上限警報出力
05	△	0, 1	Y2: N	Y2 下限警報出力
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
★ 10	△	76	MD: 76	上下限警報 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
◆★12	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A ₁ 上限警報設定値
◆★13	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A ₂ 下限警報設定値
◆★14	△	0.00 ～ 115.00%	A3: NNN.NN	A ₃ ヒステリシス設定値

形 式 77	ブロック名 偏差警報	形 式 77
-----------	---------------	-----------

略号：DVA



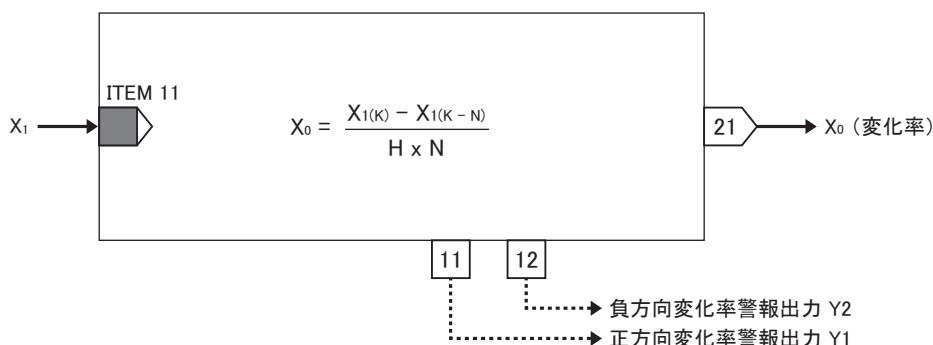
〔概 説〕 2つの入力の偏差警報接点を出力します。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X0 出力値 (偏差)
04	△	0, 1	Y1: N	Y1 偏差上限警報出力
05	△	0, 1	Y2: N	Y2 偏差下限警報出力
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X1 基準入力値
08	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X2 入力値
★ 10	△	77	MD: 77	偏差警報 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	GGNN	2#: 1222	X2 接続端子 (無接続のときエラー)
◆★13	△	± 115.00%	A1: NNN.NN	A1 偏差上限警報設定値
◆★14	△	± 115.00%	A2: NNN.NN	A2 偏差下限警報設定値
◆★15	△	0.00 ～ 115.00%	A3: NNN.NN	A3 ヒステリシス設定値

形 式	ブロック名	形 式
78	変化率警報	78

略号：VRA



[概 説]

入力 X_1 の現在のサンプル値 $X_1(K)$ と、記憶してある N 個前のサンプル値 $X_1(K - N)$ の差分を比較し、経過時間 ($H \times N$ [秒]) で除算して変化率を求めます。

変化率が正方向の変化率警報設定値 A_1 より大であれば、出力 Y_1 が '1' になります。

変化率が負方向の変化率警報設定値 A_2 より小であれば、出力 Y_2 が '1' になります。

各設定値は、それぞれヒステリシス A_3 を持っています。

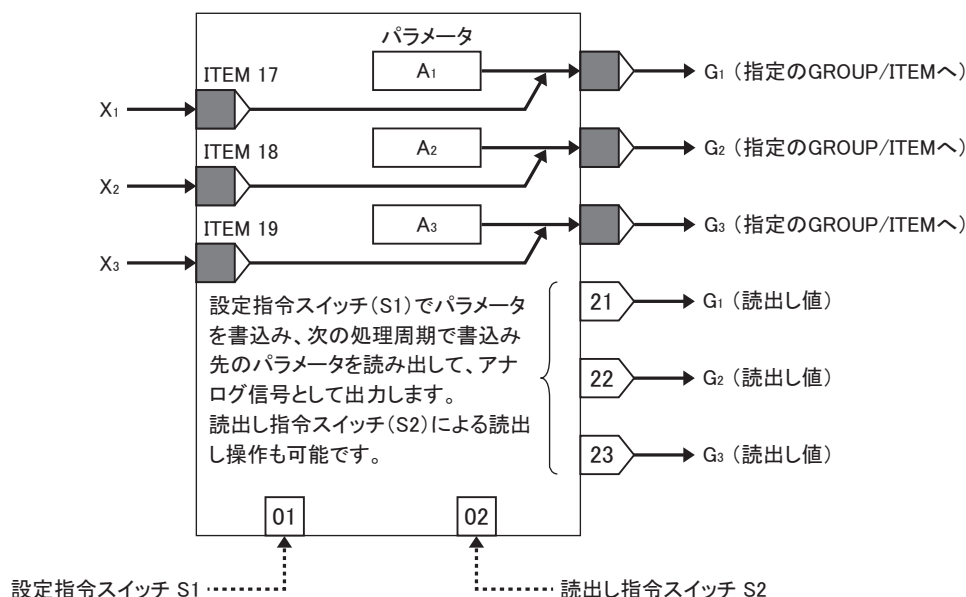
負方向変化率警報設定値 A_2 は正の値で設定します。

GROUP [30 ~ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X_0 出力値 (変化率)
04	△	0, 1	Y1: N	Y1 正方向変化率警報出力
05	△	0, 1	Y2: N	Y2 負方向変化率警報出力
07	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	78	MD: <u>78</u>	変化率警報 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	0.5 ~ 115.0 s	H: <u>0.5</u>	H サンプル周期 (最小 0.5 s 刻み)
★ 13	△	1 ~ 8	N: <u>8</u>	N サンプル数
◆★14	△	0.00 ~ 115.00% /s	A1: <u>3.50</u>	A_1 正方向変化率警報設定値
◆★15	△	0.00 ~ 115.00% /s	A2: <u>3.50</u>	A_2 負方向変化率警報設定値
◆★16	△	0.00 ~ 115.00%	A3: NNN.NN	A_3 ヒステリシス設定値

形 式	ブロック名	形 式
79	パラメータ設定	79

略号：PMS



[概 説]

設定指令スイッチ（S1）が「1」のとき、指定されたブロックのパラメータを書換えます。

- ・ 書換え可能なパラメータは、相手先ブロックリスト中の◆印がついた ITEM 番号部分です（2 バイトデータのみ）。
- ・ 外部設定値で設定可能な数値の範囲はアナログ信号の数値のみで、アナログ信号の小数点は無視され、書込み先パラメータの小数点位置がそのまま有効になります。
- ・ アナログ端子番号 21、22、23 から、書込んだパラメータを読出すことができます。
- ・ パラメータ設定ブロックの応用例

PID パラメータを PLC インタフェース（形式：SMDL）を介して PLC から設定
機器間伝送端子の Ai 受信端子を使用して PID パラメータを設定
演算係数の変更
加減算器の係数を演算器の演算結果により変更

[注意]

S1、S2 は必ずシーケンスブロックの OUTPUT SHOT 命令を使用してください。

各計器ブロックのパラメータ書換え回数の上限は約 10 万回（EEPROM の公称仕様）です。この回数は、例えば1時間に1回パラメータを書換えたとすると、11 年が限界ということになります。パラメータ設定ブロックをご使用になる場合は、この点を十分にご留意ください。

出力接続端子に接点（0、1）や 1 バイト（-128 ～ 127）の ITEM 番号は使用しないでください。

GROUP [30 ~ 61] ★：設定データ

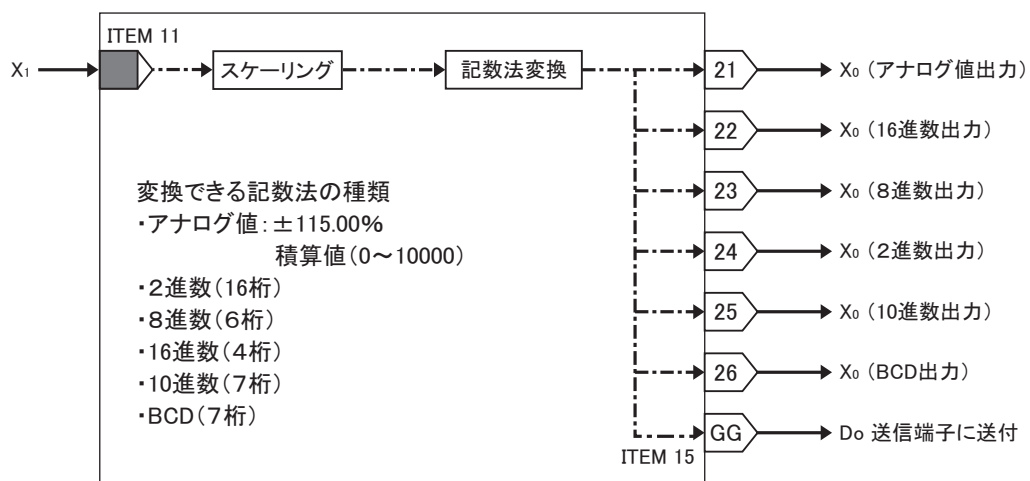
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
04	△	0, 1	S1: N	S1 設定指令スイッチ
05	△	± 115.00%	X1: NNN.NN	X ₁ 入力値
06	△	± 115.00%	X2: NNN.NN	X ₂ 入力値
07	△	± 115.00%	X3: NNN.NN	X ₃ 入力値
★ 10	△	79	MD: <u>79</u>	パラメータ設定 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGII	G1: <u>3014</u>	G ₁ 出力接続端子 GG : グループ番号 II : ITEM 番号
★ 12	△	GGII	G2: <u>3114</u>	G ₂ 出力接続端子
★ 13	△	GGII	G3: <u>3215</u>	G ₃ 出力接続端子
内部設定パラメータ		データ範囲は出力先のパラメータに対応 (小数点は表示されません)		
★ 14	△	± 32000	A1: XXXXX	A ₁ パラメータ
★ 15	△	± 32000	A2: XXXXX	A ₂ パラメータ
★ 16	△	± 32000	A3: XXXXX	A ₃ パラメータ
外部設定パラメータ		GG : グループ番号 NN : 端子番号 (アナログまたは接点端子) GGNN = 0000 または無接続のとき、内部設定パラメータを優先		
★ 17	△	GGNN	X1: <u>1101</u>	X ₁ 接続端子 (無接続可)
★ 18	△	GGNN	X2: <u>1221</u>	X ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 19	△	GGNN	X3: <u>1321</u>	X ₃ 接続端子 (無接続可)
パラメータの読出し				
20	△	0, 1	S2: N	S2 読出し指令スイッチ
21	△	± 115.00%	21: <u>0.14</u>	G ₁ 読出し値 (注 1)
22	△	± 115.00%	22: <u>1.00</u>	G ₂ 読出し値 (注 1)
23	△	± 115.00%	23: <u>12.34</u>	G ₃ 読出し値 (注 1)

(注 1) 小数点位置

データ表示はアナログ信号表示になるため、右から2桁目の左側に自動的に小数点がつきますが、実際の小数点位置は相手先の小数点位置になります。例えば、PID 調節計の比例帯を読出すとき、比例帯 100%は 1.00 と表現されます。演算器のゲインを読み出すとき、ゲイン 1.234 は 12.34 と表現されます。

形 式	ブロック名	形 式
80	記数法変換	80

略号：BCD



[概 説]

出力の記数法で設定した出力端子から値が出力されます。アナログ値以外の端子を用いる場合、意図した値が得られない場合があります。ご注意ください。

GROUP [30 ~ 61] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値表示 (アナログ値出力)
04	△	0000 ~ FFFF	22: NNNN	X ₀ 出力値表示 (16 進数出力)
05	△	000000 ~ 177777	23: NNNNNN	X ₀ 出力値表示 (8 進数出力)
06	△	00.... ~ 11....	24: NN....	X ₀ 出力値表示 (2 進数出力 16 桁) (上位 13 桁のみ表示)
07	△	0 ~ 1000000	25: NNNNNNN	X ₀ 出力値表示 (10 進数出力 7 桁)
08	△	0.000000 ~ 1000000	26: NNNNNNN	X ₀ 出力値表示 (BCD 出力 7 桁)
09	△	NNNNN....	X1: NNNNN...	入力値表示 (入力の記数法に従う)
★ 10	△	80	MD: <u>80</u>	記数法変換 (形式) 'ー' 入力でクリア
入力信号				
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号 Di/Do 用機器間伝送端子から入力するときは NN = 00 に設定
★ 12	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	IN: N	入力の記数法 0 : アナログ値 3 : 2 進数 (16 桁) 1 : 16 進数 (4 桁) 4 : 10 進数 (7 桁) 2 : 8 進数 (6 桁) 5 : BCD (7 桁)
出力信号				
★ 15	△	GG (11 ~ 26)	GG: <u>12</u>	G ₁ 出力接続端子 (無接続可) GG : Do 伝送端子のグループ番号
★ 16	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	OT: N	出力の記数法 0 : アナログ値 3 : 2 進数 (16 桁) 1 : 16 進数 (4 桁) 4 : 10 進数 (7 桁) 2 : 8 進数 (6 桁) 5 : BCD (7 桁)
スケージングの有無				
★ 17	△	0, 1, 2	SC: N	スケージングモード (0: なし、1: 0 起点スパン、2: オフセット+スパン) (注) '2 : オフセット+スパン' は SC ABH2 のみ
スケージング : アナログ入力のとき (小数点位置は BCD 出力のときのみ)				
★ 20	△	± 32000	MH: <u>15000</u>	レンジ上限設定値 (100% 入力時の値)
★ 21	△	± 32000	ML: <u>0</u>	レンジ下限設定値 (0% 入力時の値)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	DP: <u>1</u>	小数点位置 (右から)
スケージング : 他の記数法 (アナログ値以外) 相互間				
★ 23	△	NNNN....N	X1: <u>0</u>	X ₁ 値
★ 24	△	NNNN....N	Y1: <u>0</u>	Y ₁ 値
★ 25	△	NNNN....N	X2: <u>FFFF</u>	X ₂ 値
★ 26	△	NNNN....N	Y2: <u>1000000</u>	Y ₂ 値

(注意)

ITEM 12「入力の記数法」で「1 : 16 進数 (4 桁)」に設定したとき、ITEM 23 : X₁ の値、ITEM 25 : X₂ の値に「D」で始まる数値を入力する場合は、先頭に「0」を付けてください。(例 : D123 → 0D123)

ITEM 16「出力の記数法」で「1 : 16 進数 (4 桁)」に設定したときの、ITEM 24 : Y₁ の値、ITEM 26 : Y₂ の値についても同様です。

■アナログ入力のスケージング (モード1 : 0 起点スパン)

アナログ入力値 (0 ~ 100%) を、0 起点でスパンのみ実量換算します。[0% = 0] ~ [100% = MH レンジ上限 - ML レンジ下限] にてスケージングされます。このスケージング機能のおもな用途は、「アナログ信号をデジタル表示器 (形式 : ABD) に実量表示する」ことです。下記のように、アナログ入力値はスケージングされます。

[アナログ入力] → [スケージング入力% × (MH - ML)] → [出力の記数法変換] → [出力]

BCD に出力するときだけ、小数点位置と負数の表示が行われます。

10 進数に出力するときは、負数の表示が行われます。

実量換算結果を他の記数法で出力するときは、換算結果が負のとき、出力は 0 になります。

■アナログ入力のスケーリング（モード2：オフセット＋スパン） SC ABH2

アナログ入力値（0～100%）を実量換算します。[0%＝MLレンジ下限]～[100%＝MHレンジ上限]にてスケーリングされます。
下記のように、アナログ入力値はスケーリングされます

[アナログ入力] → [スケーリング入力%×(MH－ML)＋ML] → [出力の記数法変換] → [出力]

BCDに出力するときだけ、小数点位置と負数の表示が行われます。

10進数に出力するとき、負数の表示が行われます。

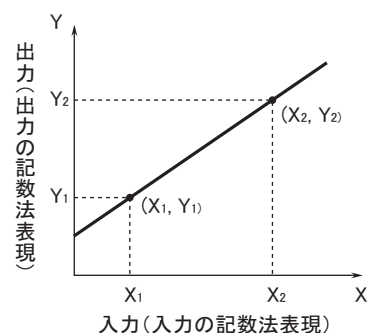
実量換算結果を他の記数法で出力するときは、換算結果が負のとき、絶対値を表示します。

■アナログ値以外の記数法による入力のスケーリング

符号と小数点なしのスケーリングを行います。右図のように、2点間のデータによりスケーリングを行います。

アナログ出力端子番号[21]に出力されるアナログ値は、出力の記数法と同一の値が出力されます。

アナログ値以外の記数法による入力信号を使用して演算したいときは、まず記数法変換ブロックでアナログ出力に変換します。その出力を別の演算ブロックに入力して必要な演算をした後、再度別の記数法演算ブロックに入力してください。

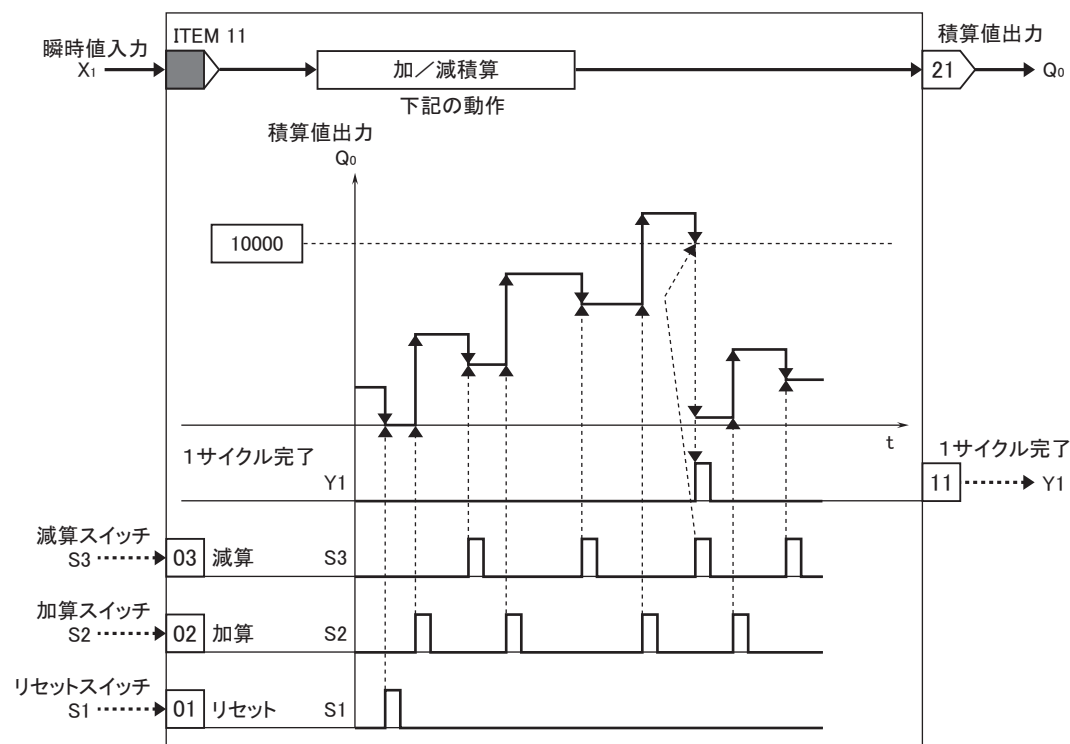


■接点入出力用機器間伝送端子ブロックには下表のように割付けます。

機器間伝送端子の 接点番号	10 進数※	BCD		16 進数		8 進数		2 進数		機器間伝送端子の 接点番号
	重み	重み	内容	重み	内容	重み	内容	重み	内容	
1	1	1	小数点位置 (右から)	1	1桁	1	1桁	1	1桁	1
2	2	2		2	× 1	2	× 1	2	2桁	2
3	4	4		4		4		4	3桁	3
4	8	1		符号 (±)	8		1	2桁	8	4桁
5	16	1	1桁	1	2桁	2	× 8	16	5桁	5
6	32	2	× 1	2	× 16	4		32	6桁	6
7	64	4		4		1	3桁	64	7桁	7
8	128	8		8		2	× 64	128	8桁	8
9	256	1	2桁	1	3桁	4		256	9桁	9
10	512	2	× 10	2	× 256	1	4桁	512	10 桁	10
11	1024	4		4		2	× 512	1024	11 桁	11
12	2048	8		8		4		2048	12 桁	12
13	4096	1	3桁	1	4桁	1	5桁	4096	13 桁	13
14	8192	2	× 100	2	× 4096	2	× 4096	8192	14 桁	14
15	16384	4		4		4		16384	15 桁	15
16	32768	8		8		1	× 32768	32768	16 桁	16
17	65536	1	4桁	※出力の記数法が 10 進数のとき、0 ～ 1,000,000 を 20 ビットで出力します。 負数は2の補数で表示します。このとき、21 ～ 32 ビットは ‘1’ となります。						
18	131072	2	× 1000							
19	262144	4								
20	524288	8								
21	予約	1	5桁							
22		2	× 10000							
23		4								
24		8								
25	予約	1	6桁							
26		2	× 100000							
27		4								
28		8								
29	予約	1	× 1000000 7桁							
30	予約	予約								
31										
32										

形 式	ブロック名	形 式
81	重量積算	81

略号：QWT



[概 説]

ホップスケールなどの重量測定信号を入力して、総重量の加算と風袋の減算を行い、正味重量の積算を行います。

- ・ リセットスイッチ（S1）を ‘1’ にすると、積算値がゼロになります。
- ・ 加算スイッチ、減算スイッチはシーケンスブロックの OUTPUT SHOT 信号を使用します。
- ・ 測定入力、加算スイッチで積算され、減算スイッチで負積算（減算）されます。
- ・ 積算値出力 Q_0 は、加算信号のとき 10000 を超えてもそのまま積算を続け、減算信号が入力された後 10000 を超えていれば、0 カウントに戻ります。このとき端数は切捨てられずに加算されます。
- ・ 1 サイクル完了出力（Y1）は、カウンタブロックに接続して、重量のトータル積算などを行います。 Q_0 が 10000 を超えた後、減算信号が入力されて 0 に戻ったとき、Y1 は 1 処理周期間 ‘1’ になります。
- ・ Q_0 を他の計器ブロックのアナログ入力端子に接続すると、10000 カウントが 100.00% になります。

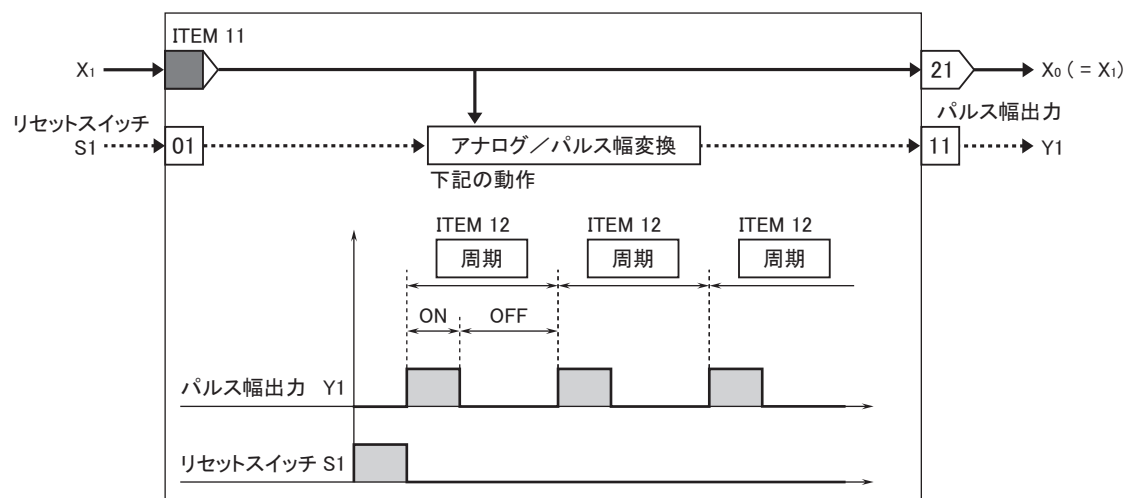
[注 意] 積算値が 10000 以内でご使用することをおすすめします。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
04	△	0 ～ 10000	21: NNNNN	Q_0 積算値出力
05	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1: リセット)
06	△	0, 1	S2: N	S2 加算スイッチ (1: 加算)
07	△	0, 1	S3: N	S3 減算スイッチ (1: 減算)
08	△	0, 1	Y1: N	Y1 1サイクル完了出力
09	△	-15.00 ～ 115.00%	X1: NNN.NN	X_1 入力値
★ 10	△	81	MD: 81	重量積算 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X_1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号

形 式	ブロック名	形 式
82	アナログ／パルス幅変換	82

略号：ADT



[概 説]

周期を一定に決めておき、その ON 時間／(ON+OFF)時間比を入力信号に比例させます。

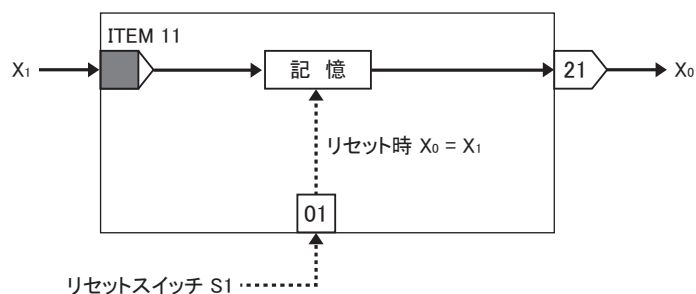
- ・ パルス幅出力 Y1 は、入力 0%以下のとき全周期 ‘0’、入力 100%以上のとき全周期 ‘1’ になります。
- ・ リセットスイッチ S1 が ‘0’ の間、パルス幅出力 Y1 は入力 X₁ の値に応じて ON-OFF (1－0) 動作を繰り返します。
- ・ 時間の最小分解能は 0.1 秒です。ただし処理周期よりは短くなりません。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ (1：リセット)
05	△	0, 1	Y1: N	Y1 パルス幅出力
★ 10	△	82	MD: 82	アナログ／パルス幅変換 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: 1221	X ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG：グループ番号 NN：端子番号
◆★12	○	1～1000 s	CT: NNNN	CT 繰返し周期

形 式	ブロック名	形 式
83	アナログメモリ	83

略号：AMM



[概 説]

入力信号の最大値、最小値または瞬時値を記憶します。

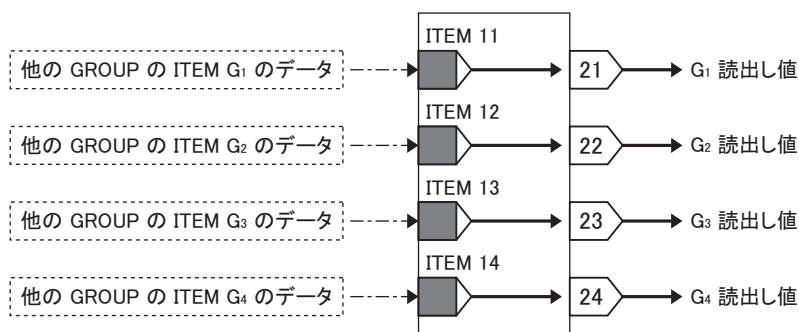
- ・ リセットスイッチ（S1）が ‘1’ のとき、 $X_0 = X_1$ になります。リセット時には、シーケンスブロックの OUTPUT SHOT 命令をご使用ください。
- ・ 瞬時値記憶モード：リセットスイッチ（S1）へのワンショット信号でそのときの値を記憶します。

GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01～90：エラー）
03	△	± 115.00%	21: NNN.NN	X ₀ 出力値
04	△	0, 1	S1: N	S1 リセットスイッチ（1：リセット）
★ 10	△	83	MD: <u>83</u>	アナログメモリ（形式） ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1#: <u>1221</u>	X ₁ 接続端子（無接続のときエラー） GG：グループ番号 NN：端子番号
★ 12	△	0, 1, 2	MM: N	記憶モード（0：最小値、1：瞬時値、2：最大値）

形 式	ブロック名	形 式
84	ITEM 読み出し	84

略号：ITR



[概 説]

他の GROUP の ITEM に表示されているパラメータ、アナログ値、スイッチ、ステータス、内部演算値などを読み出して、アナログ信号として出力します。

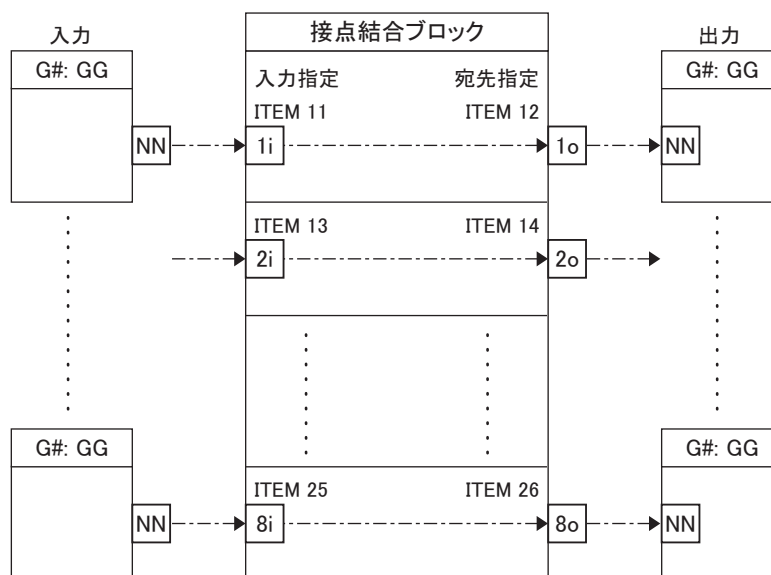
GROUP [30 ～ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
★ 10	△	84	MD: <u>84</u>	ITEM 読み出し (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGII	G1: <u>3014</u>	G ₁ 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 II: ITEM 番号
★ 12	△	GGII	G2: <u>3114</u>	G ₂ 接続端子 (無接続可)
★ 13	△	GGII	G3: <u>3215</u>	G ₃ 接続端子 (無接続可)
★ 14	△	GGII	G4: <u>3326</u>	G ₄ 接続端子 (無接続可)
21	△	NNNNNN	21: <u>14</u>	G ₁ 読み出し値 (注 1)
22	△	NNNNNN	22: <u>-100</u>	G ₂ 読み出し値 (注 1)
23	△	NNNNNN	23: <u>1234</u>	G ₃ 読み出し値 (注 1)
24	△	NNNNNN	24: <u>12345</u>	G ₄ 読み出し値 (注 1)

(注 1) ITEM 21 ～ 24 の内部処理は 16 ビットです。表示は読み出し元 ITEM のデータから小数点を削除したのになります。したがって、数値の設定可能範囲が正の ITEM データ (例: 0 ～ 64000) を他のブロックに入力してそのブロックで読み出すと、±約 320.00%に変換されて表示されます。

形 式	ブロック名	形 式
87	接点結合	87

略号：DCN



[概 説]

接点入力と接点出力を 1 : 1 で接続指定するブロックです。

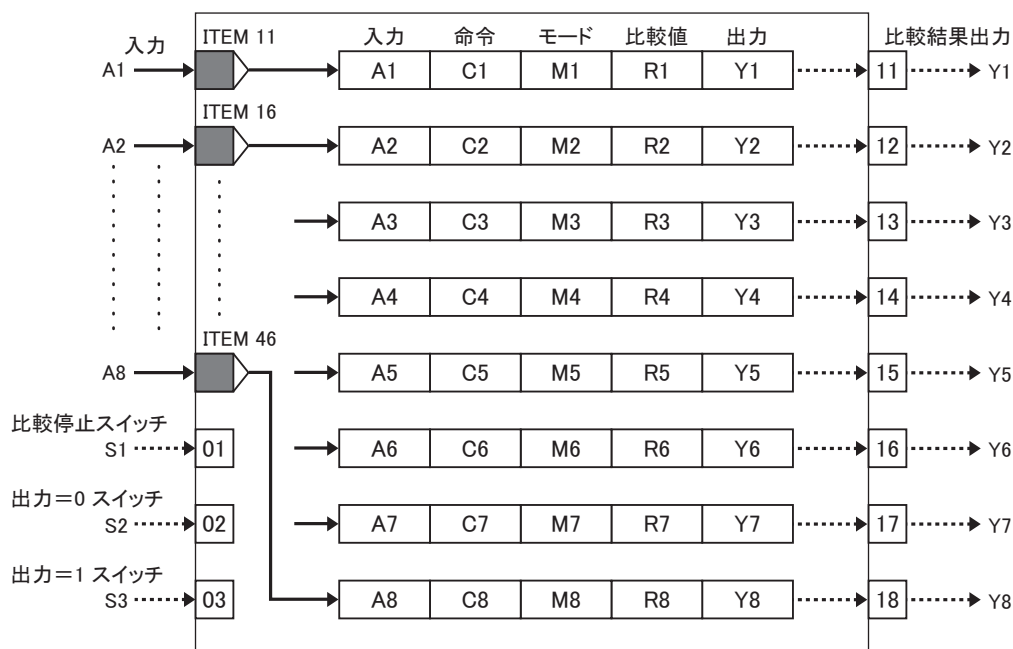
- ・シーケンスブロックを使用しないで 8 組の接点接続ができます。
- ・フィールド入出力端子と機器間伝送端子を直結するときなどに便利です。

GROUP [30 ~ 61] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
★ 10	△	87	MD: 87	接点結合 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	1I: GGNN	1i 入力端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	GGNN	1O: GGNN	1o 宛先端子
★ 13	△	GGNN	2I: GGNN	2i 入力端子
★ 14	△	GGNN	2O: GGNN	2o 宛先端子
★ 15	△	GGNN	3I: GGNN	3i 入力端子
★ 16	△	GGNN	3O: GGNN	3o 宛先端子
★ 17	△	GGNN	4I: GGNN	4i 入力端子
★ 18	△	GGNN	4O: GGNN	4o 宛先端子
★ 19	△	GGNN	5I: GGNN	5i 入力端子
★ 20	△	GGNN	5O: GGNN	5o 宛先端子
★ 21	△	GGNN	6I: GGNN	6i 入力端子
★ 22	△	GGNN	6O: GGNN	6o 宛先端子
★ 23	△	GGNN	7I: GGNN	7i 入力端子
★ 24	△	GGNN	7O: GGNN	7o 宛先端子
★ 25	△	GGNN	8I: GGNN	8i 入力端子
★ 26	△	GGNN	8O: GGNN	8o 宛先端子
31	△	0, 1	D1: N	1i (Di 1) 接点入力値
32	△	0, 1	D2: N	2i (Di 2) 接点入力値
33	△	0, 1	D3: N	3i (Di 3) 接点入力値
34	△	0, 1	D4: N	4i (Di 4) 接点入力値
35	△	0, 1	D5: N	5i (Di 5) 接点入力値
36	△	0, 1	D6: N	6i (Di 6) 接点入力値
37	△	0, 1	D7: N	7i (Di 7) 接点入力値
38	△	0, 1	D8: N	8i (Di 8) 接点入力値

形 式	ブロック名	形 式
88	アナログ比較	88

略号：ACP



[概 説]

アナログ入力値と固定値の比較、または2個のアナログ入力値の比較を、合計 8 個分実行するブロックです。

- ・ 命令 (Cn) の種類
 - 1 : Larger than (>)
 - 2 : Equal (=)
 - 3 : Smaller than (<)
- ・ 比較値 (Rn) の種類
 - モード (Mn) = 0 : 比較値 (Rn) は固定値 (± 115.00%)
 - モード (Mn) = 1 : 比較値 (Rn) は入力端子番号 (GGNN)

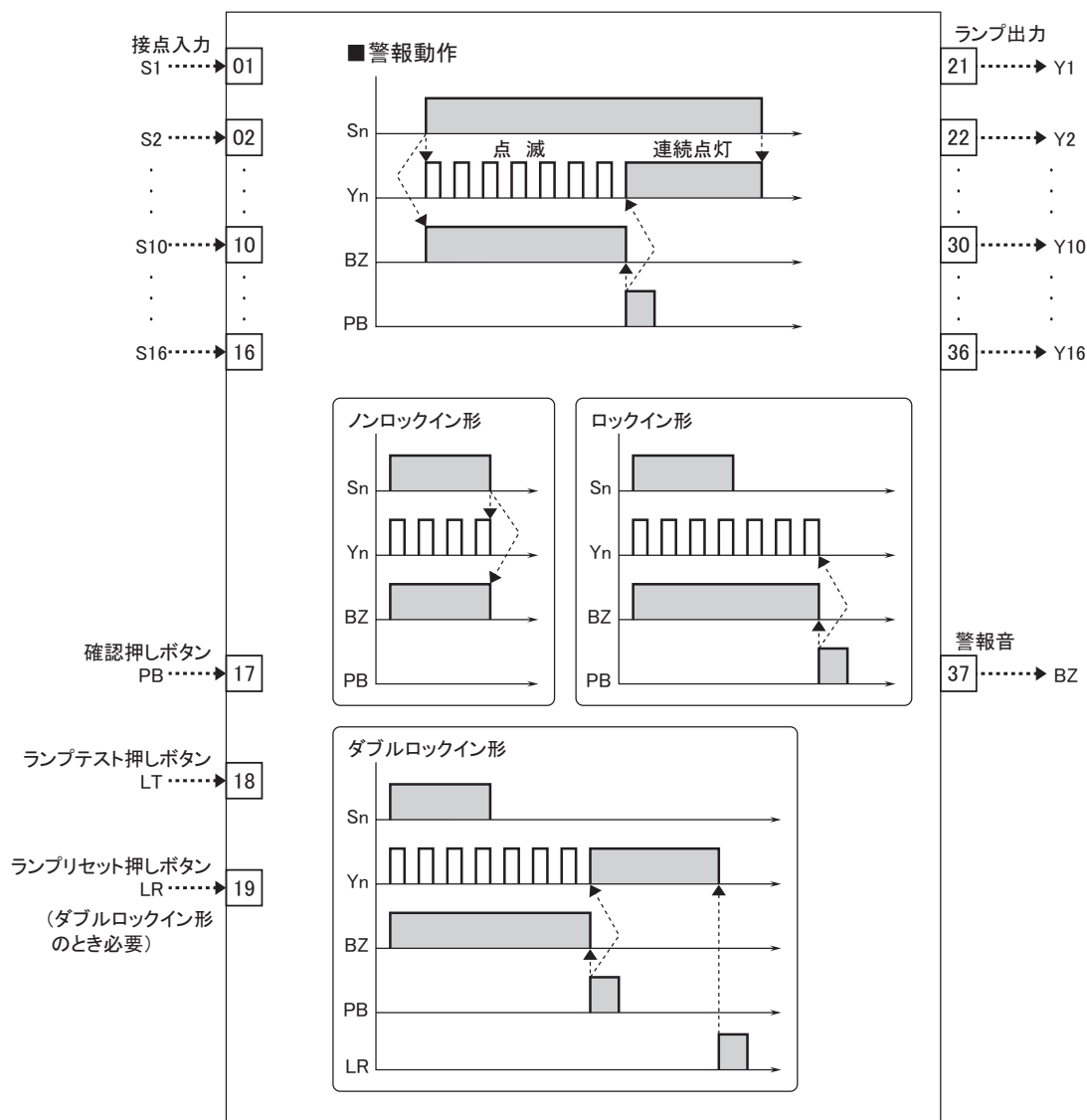
GROUP [30 ~ 61] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△	0, 1	S1: N	S1 比較停止スイッチ (1 : 停止)
04	△	0, 1	S2: N	S2 出力 = 0 指令スイッチ
05	△	0, 1	S3: N	S3 出力 = 1 指令スイッチ
★ 10	△	88	MD: 88	アナログ比較 (形式) 'ー' 入力でクリア
★ 11	△	GGNN	A1: GGNN	A1 入力接続端子 (C1 が '0' 以外で無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	0, 1, 2, 3	C1: N	C1 命令 (0 : なし、1 : 大、2 : イコール、3 : 小)
★ 13	△	0, 1	M1: N	M1 モード 比較値の種類を指定 (0 : 数値、1 : 端子番号 GGNN)
★ 14	△	± 115.00%または GGNN	R1: NNNNNN	R1 比較値 (数値または端子番号) GG : グループ番号 NN : 端子番号
15	△	0, 1	Y1: N	Y1 比較結果出力 (1 : 条件成立)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 16	△	GGNN	A2: GGNN	A2 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 17	△	0, 1, 2, 3	C2: N	C2 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 18	△	0, 1	M2: N	M2 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 19	△	± 115.00%または GGNN	R2: NNNNNN	R2 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
20	△	0, 1	Y2: N	Y2 比較結果出力 (1: 条件成立)
★ 21	△	GGNN	A3: GGNN	A3 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 22	△	0, 1, 2, 3	C3: N	C3 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 23	△	0, 1	M3: N	M3 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 24	△	± 115.00%または GGNN	R3: NNNNNN	R3 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
25	△	0, 1	Y3: N	Y3 比較結果出力 (1: 条件成立)
★ 26	△	GGNN	A4: GGNN	A4 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 27	△	0, 1, 2, 3	C4: N	C4 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 28	△	0, 1	M4: N	M4 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 29	△	± 115.00%または GGNN	R4: NNNNNN	R4 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
30	△	0, 1	Y4: N	Y4 比較結果出力 (1: 条件成立)
★ 31	△	GGNN	A5: GGNN	A5 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 32	△	0, 1, 2, 3	C5: N	C5 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 33	△	0, 1	M5: N	M5 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 34	△	± 115.00%または GGNN	R5: NNNNNN	R5 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
35	△	0, 1	Y5: N	Y5 比較結果出力 (1: 条件成立)
★ 36	△	GGNN	A6: GGNN	A6 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 37	△	0, 1, 2, 3	C6: N	C6 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 38	△	0, 1	M6: N	M6 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 39	△	± 115.00%または GGNN	R6: NNNNNN	R6 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
40	△	0, 1	Y6: N	Y6 比較結果出力 (1: 条件成立)
★ 41	△	GGNN	A7: GGNN	A7 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 42	△	0, 1, 2, 3	C7: N	C7 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 43	△	0, 1	M7: N	M7 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 44	△	± 115.00%または GGNN	R7: NNNNNN	R7 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
45	△	0, 1	Y7: N	Y7 比較結果出力 (1: 条件成立)
★ 46	△	GGNN	A8: GGNN	A8 入力接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 47	△	0, 1, 2, 3	C8: N	C8 命令 (0: なし、1: 大、2: イコール、3: 小)
★ 48	△	0, 1	M8: N	M8 モード 比較値の種類を指定 (0: 数値、1: 端子番号 GGNN)
★ 49	△	± 115.00%または GGNN	R8: NNNNNN	R8 比較値 (数値または端子番号) GG: グループ番号 NN: 端子番号
50	△	0, 1	Y8: N	Y8 比較結果出力 (1: 条件成立)

形 式	ブロック名	形 式
89	アナンシエータ	89

略号：ANN



ランプリセット押しボタン(LR)によるランプ出力(Yn)リセットは、接点入力(Sn)が正常状態の場合のみ

[概 説] 異常警報用アナンシエータブロックです。

(1) 接点入力モード

- ・ 正常時 OFF (NO) : 接点が ON になると異常→ランプ点滅開始
- ・ 正常時 ON (NC) : 接点が OFF になると異常→ランプ点滅開始

(2) 警報モード

- ・ ノンロックイン形: 確認押しボタン (PB) を押す前に接点入力が正常になると、ランプの点滅が終了し、ブザー (BZ) が停止します。
- ・ ロックイン形: 接点入力が正常になっても、確認押しボタン (PB) を押すまでランプの点滅が続き、ブザー (BZ) が鳴り続けます。
- ・ ダブルロックイン形: 接点入力が正常になっても、確認押しボタン (PB) を押すまでランプの点滅が続き、ブザー (BZ) が鳴り続けます。PB を押すと BZ は停止し、ランプは連続点灯します。接点入力が正常状態復帰後ランプリセット押しボタン (LR) を押すとランプは消灯します。

(3) ファーストアウト

複数の警報接点が順番に異常になるとき、最初の異常点を確認するために、ファーストアウト機能を使用します。

最初の処理周期のときに異常になっている異常点滅用ランプだけが点滅し、次の処理周期以降の異常点は連続点灯します。確認押しボタンを押すと、ランプは連続点灯します。

次に新しい異常点が発生すると、再びファーストアウト機能が動作します。

ファーストアウト機能は、ロックイン動作とダブルロックイン動作のときに機能します。

(4) 入出力接点の機器間伝送端子への割付方法

- ・ 接点入力／ランプ出力は、16 点単位で Di 受信端子／ Do 送信端子に割付けできます。
- ・ 多点入出力ユニット（形式：39M）の接点入力信号を、アナンシエータブロックの接点入力に接続するときは、Do 送信端子経由で行います。また、フィールド接点出力にランプ出力を接続するときは Di 受信端子経由で行います。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

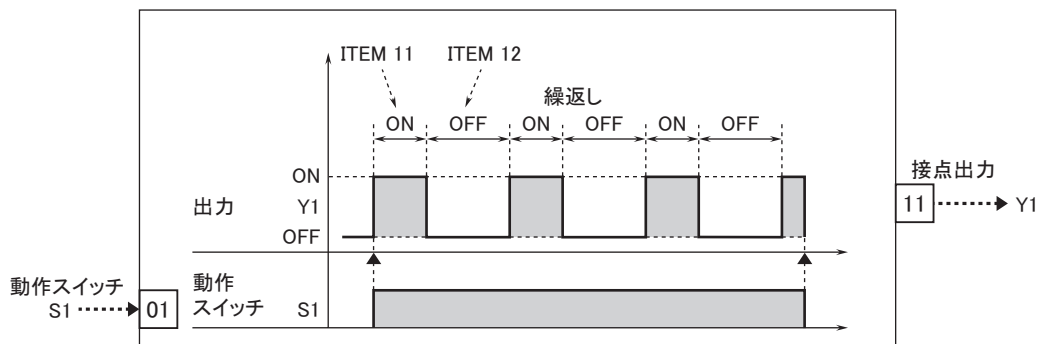
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ～ 90: エラー)
★ 10	△	89	MD: 89	アナンシエータ (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	0, 1	SM: N	接点入力モード (0: 正常時 OFF、1: 正常時 ON)
★ 12	△	0, 1, 2	MD: N	警報モード (0: ノンロックイン、1: ロックイン、2: ダブルロックイン)
★ 13	△	0, 1	FO: N	ファーストアウト (0: なし、1: あり)
◆★14	△	1 ～ 64	CP: NN	ランプ ON/OFF 時間 (処理周期の倍数)
★ 15	△	00, 11 ～ 26	SN: NN	接点入力 (S1 ～ S16) 用機器間伝送端子のグループ番号 (00: 割付なし)
★ 16	△	0, 1	SP: N	S1 ～ S16 の機器間伝送端子内部の割付 (0: 1 ～ 16 点、1: 17 ～ 32 点)
★ 17	△	0, 1	SS: N	確認押しボタン入力を機器間伝送端子に割付 (0: なし、1: あり) (注 1)
★ 18	△	00, 11 ～ 26	YN: NN	ランプ出力 (Y1 ～ Y16) 用機器間伝送端子のグループ番号 (00: 割付なし)
★ 19	△	0, 1	YP: N	Y1 ～ Y16 の機器間伝送端子内部の割付 (0: 1 ～ 16 点、1: 17 ～ 32 点)
★ 20	△	0, 1	YS: N	警報音出力を機器間伝送端子に割付 (0: なし、1: あり) (注 2)
21	△	0, 1	01: N	S1 接点入力表示
22	△	0, 1	02: N	S2 接点入力表示
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
30	△	0, 1	10: N	S10 接点入力表示
:	:	:	:	:
36	△	0, 1	16: N	S16 接点入力表示
37	△	0, 1	17: N	PB 確認押しボタン
38	△	0, 1	18: N	LT ランプテスト押しボタン
39	△	0, 1	19: N	LR ランプリセット押しボタン
41	△	0, 1	21: N	Y1 ランプ出力値
42	△	0, 1	22: N	Y2 ランプ出力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
50	△	0, 1	30: N	Y10 ランプ出力値
:	:	:	:	:
56	△	0, 1	36: N	Y16 ランプ出力値
57	△	0, 1	37: N	BZ 警報音

(注 1) ITEM 17 の「確認押しボタンを機器間伝送端子に割付」にて「あり」に設定すると、「確認押しボタン」用信号は接点入力 (S1 ～ S16) の続き、すなわち「Di 受信端子」あるいは「Do 送信端子」の 17 番目に割付けることになります (「ランプテスト押しボタン」用信号は 18 番目、「ランプリセット押しボタン」用信号は 19 番目に割付けます)。このため、ITEM 17 を「1」(あり) に設定した場合、ITEM 16 は「0」(1 ～ 16 点) に設定する必要があります (‘1’ を選択すると、「確認押しボタン」を機器間伝送端子に割付けることができません)。

(注 2) ITEM 20 の「警報音出力を機器間伝送端子に割付」にて「あり」に設定すると、「警報音出力」用信号はランプ出力 (Y1 ～ Y16) の続き、すなわち「Do 送信端子」の 17 番目に割付けることになります。このため、ITEM 20 を「1」(あり) に設定した場合、ITEM 19 は「0」(1 ～ 16 点) に設定する必要があります (‘1’ を選択すると、「警報音出力」を機器間伝送端子に割付けることができません)。

形 式	ブロック名	形 式
90	間欠タイマ	90

略号：TMC



[概 説]

ON 時間と OFF 時間を設定しておく、ON-OFF (1-0) 動作を繰返します。

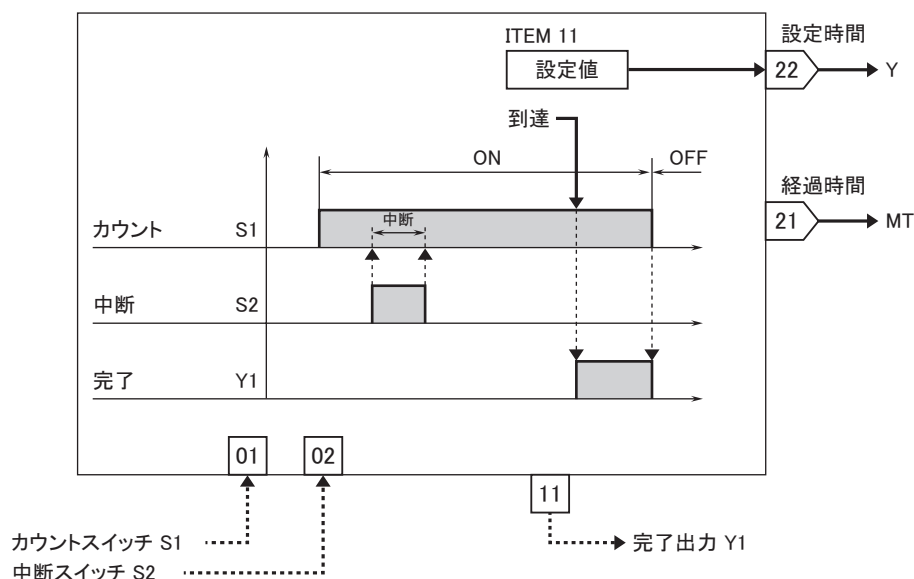
- ・ 時間の最小単位は 0.1 秒です。ただし処理周期よりは短くなりません。
- ・ 動作スイッチ (S1) が '1' の間、Y1 の ON-OFF (1-0) 動作を繰返します。

GROUP [30 ~ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	0 ~ 10000	OT: NNNNN	ON 経過時間
04	△	0 ~ 10000	FT: NNNNN	OFF 経過時間
05	△	0, 1	S1: N	S1 動作スイッチ (1: 動作)
06	△	0, 1	Y1: N	Y1 接点出力
★ 10	△	90	MD: 90	間欠タイマ (形式) 'ー' 入力でクリア
◆★11	△	0 ~ 10000	ON: NNNNN	ON 設定時間
◆★12	△	0 ~ 10000	OF: NNNNN	OFF 設定時間
★ 13	△	0, 1, 2, 3	TU: N	TU 時間単位 (0: s、1: min、2: h、3: 0.1 s)

形 式	ブロック名	形 式
91	タイマ	91

略号：TMR



[概 説]

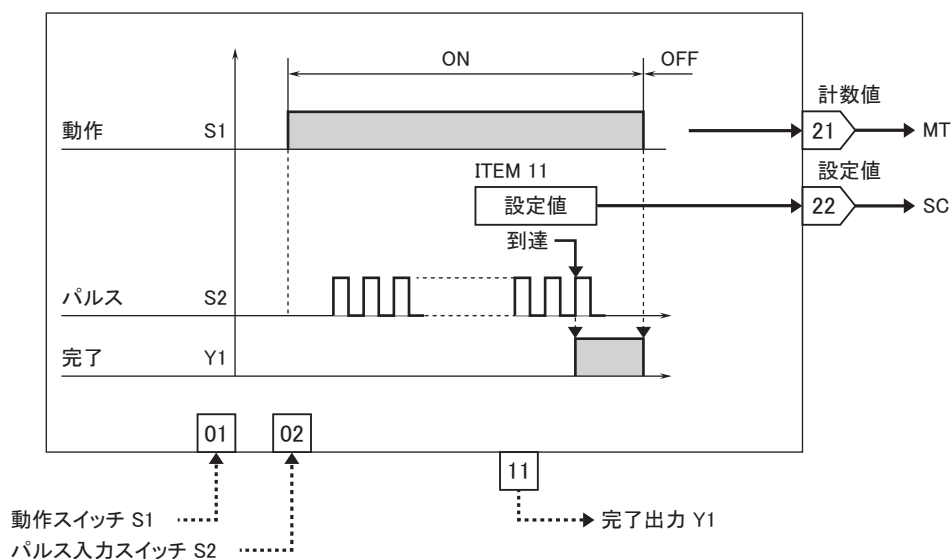
0.1 秒間隔の内部クロックパルスの立ち上がりを数えて、設定値に達すると完了出力（Y1）が「1」になります。カウントスイッチ（S1）を「1」にすると動作し、「0」にするとリセットされます。また、中断スイッチ（S2）を「1」にすると計時動作を中断します。時間の最小分解能は、時間単位（TU）が秒（s）のとき、処理周期の2倍になります。処理周期が 0.12 秒のときには最小分解能は 0.25 秒になります。

GROUP [30 ～ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01～90：エラー）
03	△	0～10000	MT: NNNNN	MT 経過時間
04	△	0, 1	S1: N	S1 カウントスイッチ（0：リセット、1：カウント）
05	△	0, 1	S2: N	S2 中断スイッチ（1：中断）
06	△	0, 1	Y1: N	Y1 完了出力
★ 10	△	91	MD: 91	タイマ（形式）「-」入力でクリア
◆★11	△	0～10000	Y: NNNNN	Y 設定時間
★ 12	△	0, 1, 2, 3	TU: N	TU 時間単位（0：s、1：min、2：h、3：0.1 s）

形 式	ブロック名	形 式
92	カウンタ	92

略号：CTR



[概 説]

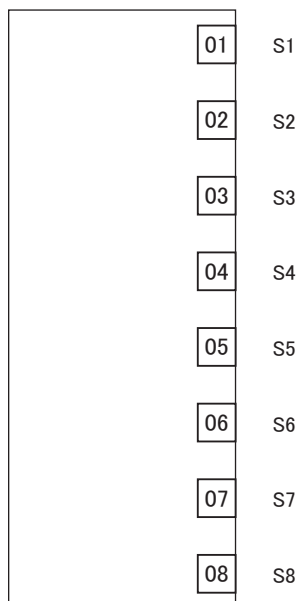
動作スイッチ (S1) が '1' の間、パルスの立ち上がりを数えます。設定値に達すると完了出力 (Y1) が '1' になります。S1 を '0' にすると、Y1 はリセットされます。

GROUP [30 ~ 61] ◆：パラメータ自動変更可能、★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△	0 ~ 10000	MT: NNNNN	MT 計数值
04	△	0, 1	S1: N	S1 動作スイッチ (0: リセット、1: 動作)
05	△	0, 1	S2: N	S2 パルス入力スイッチ
06	△	0, 1	Y1: N	Y1 完了出力
★ 10	△	92	MD: 92	カウンタ (形式) 'ー' 入力でクリア
◆★11	△	0 ~ 10000	SC: NNNNN	SC 設定値

形 式	ブロック名	形 式
93	内部スイッチ	93

略号 : ISW



[概 説]

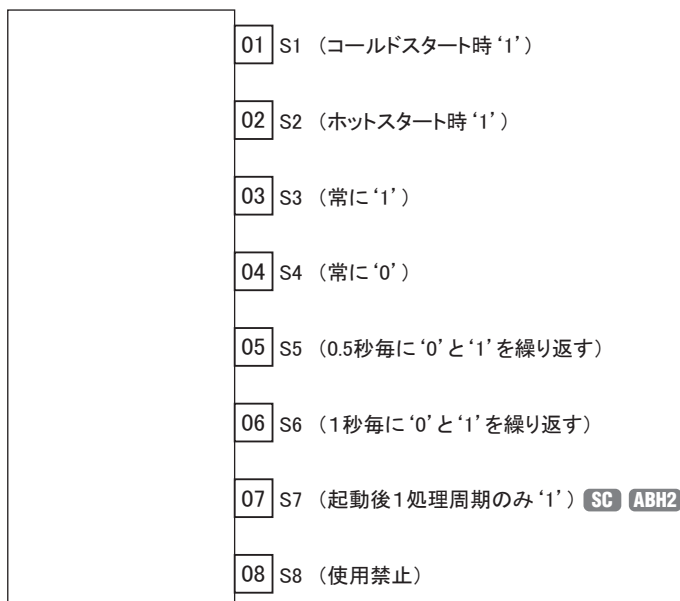
シーケンスブロックを使用するときに、論理演算の途中経過を記憶できます。

GROUP [30 ～ 61] ◆ : パラメータ自動変更可能、★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ～ 90 : エラー)
★ 10	△	93	MD: <u>93</u>	内部スイッチ (形式) 'ー' 入力でクリア
◆ 11	△	0, 1	01: N	S1 内部スイッチ
◆ 12	△	0, 1	02: N	S2 内部スイッチ
◆ 13	△	0, 1	03: N	S3 内部スイッチ
◆ 14	△	0, 1	04: N	S4 内部スイッチ
◆ 15	△	0, 1	05: N	S5 内部スイッチ
◆ 16	△	0, 1	06: N	S6 内部スイッチ
◆ 17	△	0, 1	07: N	S7 内部スイッチ
◆ 18	△	0, 1	08: N	S8 内部スイッチ

形 式	ブロック名	形 式
94	システム内部スイッチ	94

略号：SSW



[概 説]

スイッチの状態をシステムが決めています。用途に適したスイッチを選んで使用してください。

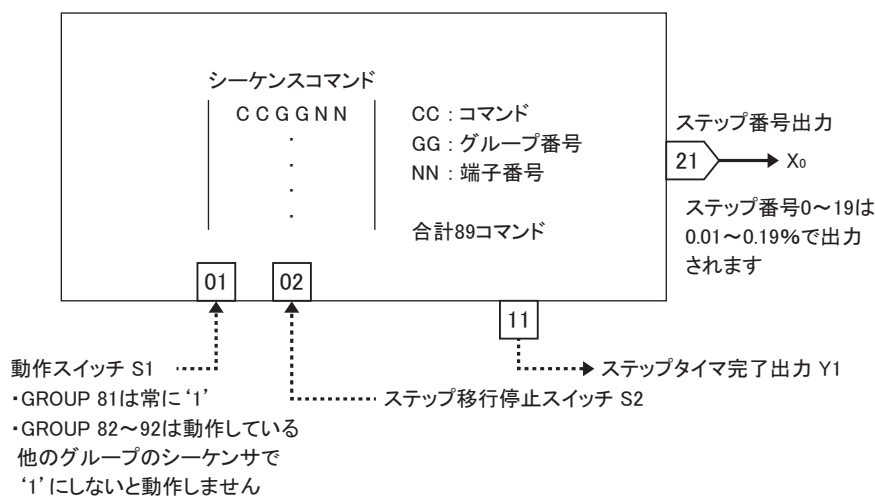
GROUP [80]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
10	△	94	MD: 94	システム内部スイッチ (形式) 'ー' 入力でクリア
11	表示	0, 1	01: N	S1 コールドスタート時 '1'
12	表示	0, 1	02: N	S2 ホットスタート時 '1'
13	表示	1	03: 1	S3 常に '1'
14	表示	0	04: 0	S4 常に '0'
15	表示	0, 1	05: N	S5 0.5 秒毎に '0' と '1' の繰返し
16	表示	0, 1	06: N	S6 1秒毎に '0' と '1' の繰返し
17	表示	0, 1	07: N	S7 起動後1処理周期のみ '1' SC ABH2
18	表示	0, 1	08: N	S8 (システムリザーブ)

(注) デフォルトでグループ 80 に登録されています。このブロックは削除できません。

形 式	ブロック名	形 式
95	シーケンス	95

略号：SEQ



[概 説]

シーケンスコマンドにより、ロジックシーケンス、ステップシーケンスのシーケンス動作を行います。

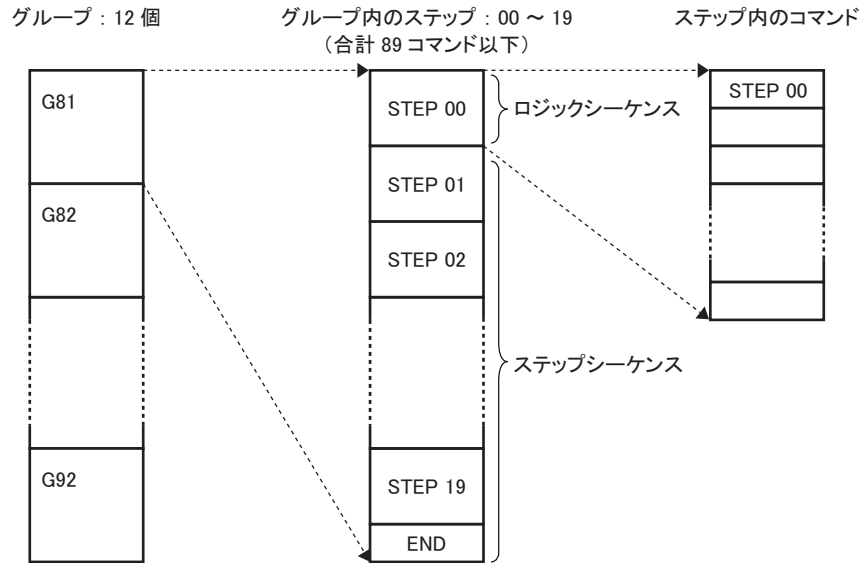
GROUP [81 ～ 92] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ～ 90 : エラー)
03	△	00 ～ 19	ST: NN	ステップ番号表示
04	△	0 ～ 999 s	TS: NNN	ステップタイム設定値表示
05	△	0 ～ 999 s	TM: NNN	ステップタイム経過時間表示
06	△	0, 1	S1: N	S1 動作スイッチ
07	△	0, 1	S2: N	S2 ステップ移行停止スイッチ
08	△	0, 1	Y1: N	Y1 ステップタイム完了表示
★ 10	△	95	MD: <u>95</u>	シーケンス (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	CCGGNN	<u>13: 0000</u>	シーケンスコマンド (ITEM 11 はステップコマンド)
★ 12	△	CCGGNN	CC: GGNN	:
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
★ 99	△	CCGGNN	CC: GGNN	:
				CC : コマンド
				GG : グループ番号
				NN : 端子番号

■コマンドの種類

名称	略号	コマンド			説明
		CC	GG	NN	
END	ED	00	00	00	終わり（最後の ITEM に記述）
条件コマンド					
INPUT	IN	01	GG	NN	リレー回路の最初のa接点に相当
INPUT NOT	NI	02	GG	NN	リレー回路の最初のb接点に相当
AND	AD	03	GG	NN	リレー回路直列接続のa接点に相当
AND NOT	NA	04	GG	NN	リレー回路直列接続のb接点に相当
OR	OR	05	GG	NN	リレー回路並列接続のa接点に相当
OR NOT	NR	06	GG	NN	リレー回路並列接続のb接点に相当
出力コマンド					
OUTPUT	OT	07	GG	NN	リレー回路のコイルに相当
OUTPUT NOT	NO	08	GG	NN	リレー回路のコイルに相当（逆を出力）
OUTPUT ON	ON	09	GG	NN	リレー回路のセットコイルに相当
OUTPUT OFF	OF	10	GG	NN	リレー回路のリセットコイルに相当
OUTPUT SHOT	SH	11	GG	NN	リレー回路のワンショット出力 ・ 1 処理周期だけ ‘1’ ・ 全グループで 100 個まで使用可
分岐コマンド					
BRANCH	BR	12	GG	SS	条件成立で指定グループの指定ステップへ （GG：グループ番号、SS：ステップ番号） SS：01～19
		12	00	SS	条件成立で自己グループの指定ステップへ （GG＝00 は自己グループを指定） SS：01～19
ステップコマンド					
STEP	ST	13	00	SS	ステップ番号の宣言（SS：ステップ番号、00～19） ・ SS は任意の番号を昇順で使用可能 ・ SS：00 常時動作するステップ（ロジックシーケンス） ・ SS：01～19 どれか1ステップだけ動作（ステップシーケンス）
ステップタイマ					
TIMER	TM	14	<u>U</u>	NNN	ステップタイマ タイマの種類 0：オンディレータイマ（完了で続くステップへ移行、 ‘条件コマンド’ とは早いもの勝ち、無条件 ‘BRANCH’ のときは無効） 1：ステップ監視タイマ（完了で Y1＝1） 設定時間（0～999 s）
NOP	NP	15	00	00	何もしない（他の ITEM 番号を変えないでコマンドを削除したいときに使用）

■シーケンスブロックの構成



◆グループの接続

1グループ 89 コマンドで論理を表現できないときは、グループを接続して使用できます。全グループを接続すると最大 1,068 コマンド表現できます。

・ロジックシーケンス（STEP 00）の場合：

演算論理の途中結果を内部スイッチに書き出し、他のグループでその内部スイッチを使用して演算を続けます。

・ステップシーケンス（STEP 01 ~ 19）の場合：

分岐コマンドで分岐先のグループとステップを指定します。分岐先のステップは 01 ~ 19 でなければなりません。

◆動作スイッチ（S1）

・GROUP 81 の動作スイッチ（S1）は、コールドスタート時 '1' になっています。

一方、GROUP 82 ~ 92 の動作スイッチ（S1）は、初期状態では '0' になっています。したがって、使用時には動作中の他のシーケンスの命令で動作スイッチ（S1）を '1' にします。

・動作スイッチ（S1）が '1' になると、STEP 00 と 01 が動作します。

・動作スイッチ（S1）が '0' になると、動作は休止状態になり、ステップは '01' に戻ります。

◆ステップ移行停止スイッチ（S2）

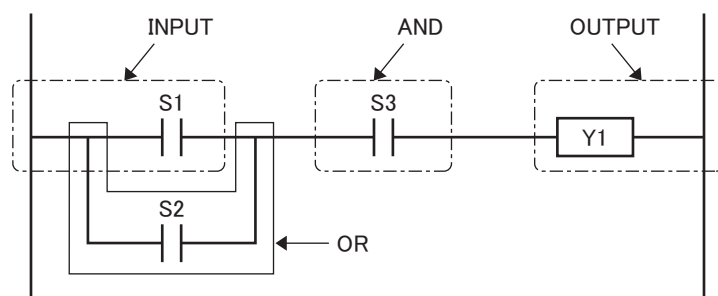
・ステップ移行停止スイッチ（S2）が '1' になると、ステップの移行はせずに、そのステップのまま動作を停止します。

・ステップ移行停止スイッチ（S2）が '0' になると、動作を再開します。

・ステップシーケンスで他のグループに分岐すると、自己のステップ移行停止スイッチ（S2）は '1' になります。

・ステップシーケンスで分岐先のステップ移行停止スイッチ（S2）が '1' のときには、'0' にしてから分岐します。

■シーケンスコマンドの記述例



ITEM	DATA	端子番号(例 0111)を記述
11	13 0000	----- STEP 00 ----- 常時動作ステップ00を宣言
12	01 GGNN	----- INPUT S1
13	05 GGNN	----- OR S2
14	03 GGNN	----- AND S3
15	07 GGNN	----- OUTPUT Y1
16	00 0000	----- END ----- ITEMの最後はENDコマンド

■プログラミングユニット（PU-2x）によるコマンド操作

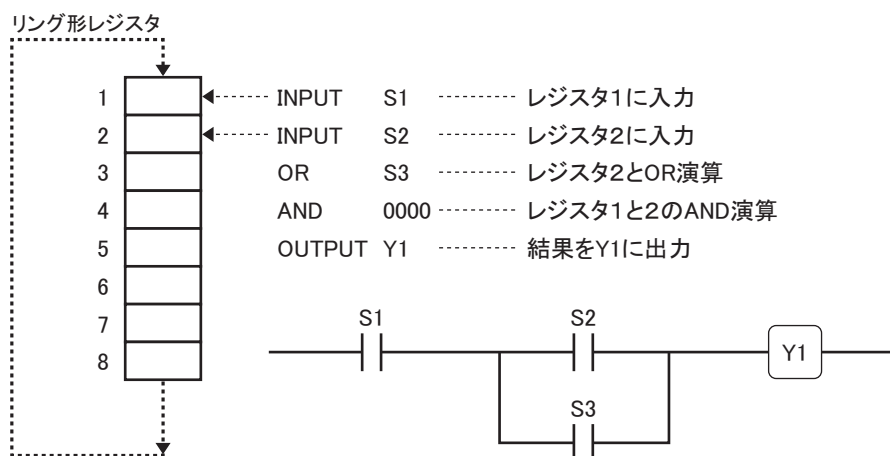
- ・ 入 力：連続した6桁の数字を入力します。
表示されるときは、2桁と3桁の間に「:」が自動的に入ります。
- ・ 挿 入：コマンドの末尾に「.」を加えて「ENTR」キーを押すと、1行挿入されます。
ITEM 99 が空いていないときは、挿入できません。
[DATA] → [CCGGNN] [.] → [ENTR]
- ・ 削 除：その ITEM のデータが削除され、次の ITEM 以下の内容が繰り上がります。
[DATA] → [-] → [ENTR]

（注意）コマンドを変更したときは、コールドスタートをかけてください。

■端子番号なしの条件コマンド

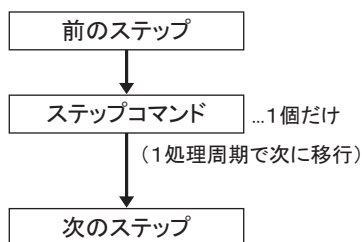
下記のような場合は、端子番号なし（GGNN = 0000）の条件コマンドを使用します。

INPUT、INPUT NOT コマンドは、8個まで続けて使用できます。レジスタ相互の演算は、最後に入力したレジスタ番号から降順で行います。

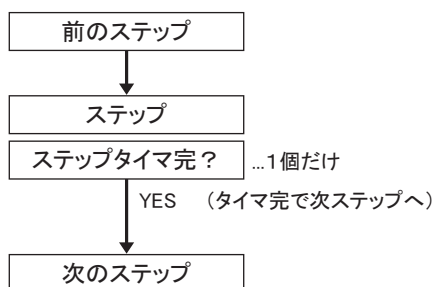


■ステップ内の動作例

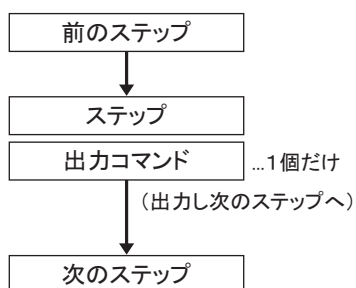
(1) ステップコマンド1個のとき



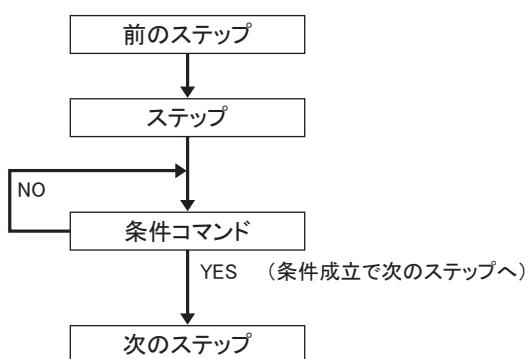
(2) ステップタイマ1個のとき



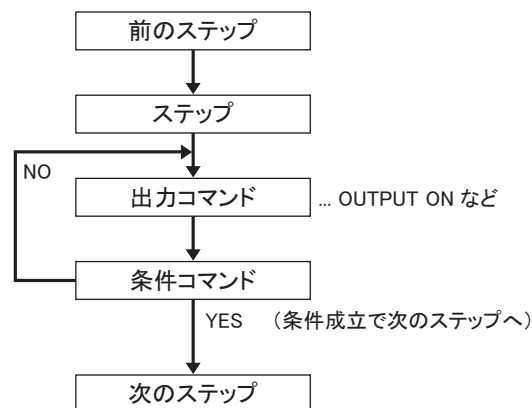
(3) 出力だけのステップ



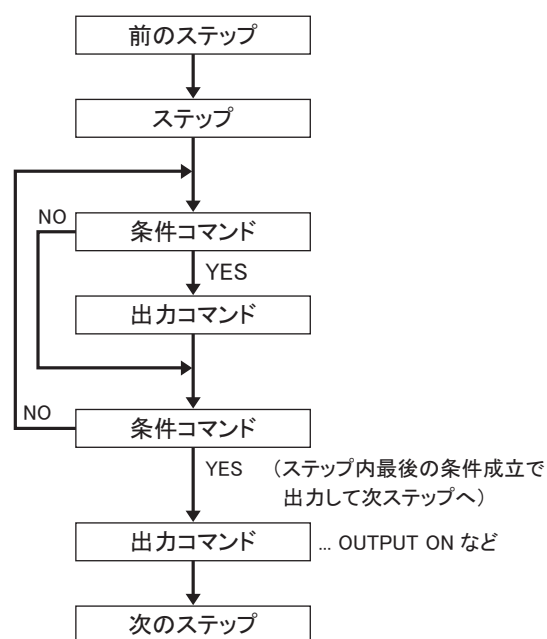
(4) 条件だけのステップ



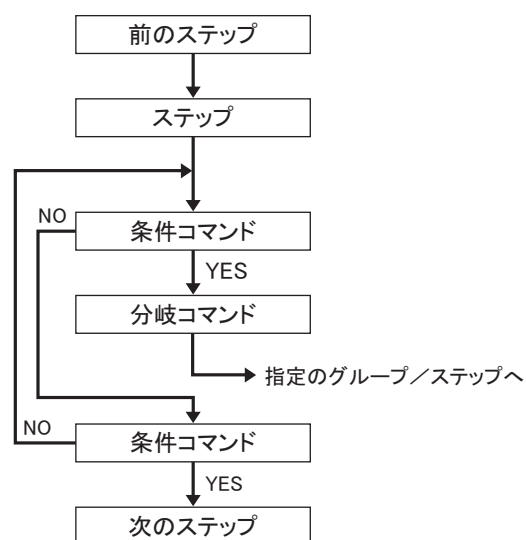
(5) 出力の次に条件を記述



(6) 条件の次に出力を記述

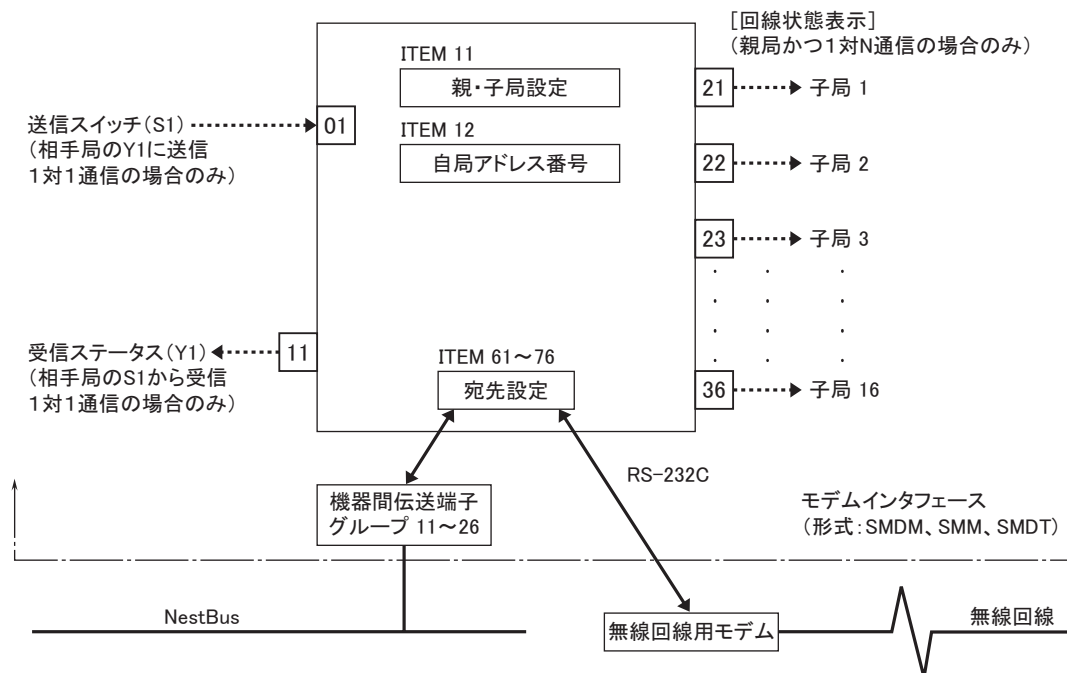


(7) 複数条件の分岐



形 式	ブロック名	形 式
96	無線回線端子	96

略号：TLW



[概 説]

無線回線端子は、モデムインタフェース（形式：SMDM、SMM、SMDT）で使用する計器ブロックです。

- 無線回線端子ブロックは、機器間伝送端子のデータを、モデムインタフェースおよび無線モデムユニット相互間で送受信します。
- 自局機器間伝送端子の Ai/Di 受信端子（自局が SMM の場合は Ao/Do 送信端子）で収集したデータを、相手局の Ao/Do 送信端子（相手局が SMM の場合は Ao/Do 送信端子あるいは Ai/Di 受信端子）に送信し、相手局の NestBus にデータを流します（SMM の場合には、NestBus がありません）。
- 宛先アドレスを利用して、機器間伝送端子相互のグループ番号の割付ができます（リスト末尾の「データの流れ例」をご参照ください）。
- 自局アドレス番号は、1：N 通信においてアドレスを識別するために使用します。親局は 00、子局は 01 から連続した番号を取ります。
- データ設定方法の詳細およびシーケンスプログラムの例は、モデムインタフェース（形式：SMDM）の取扱説明書をご参照ください。

GROUP [97, 98] ★：設定データ

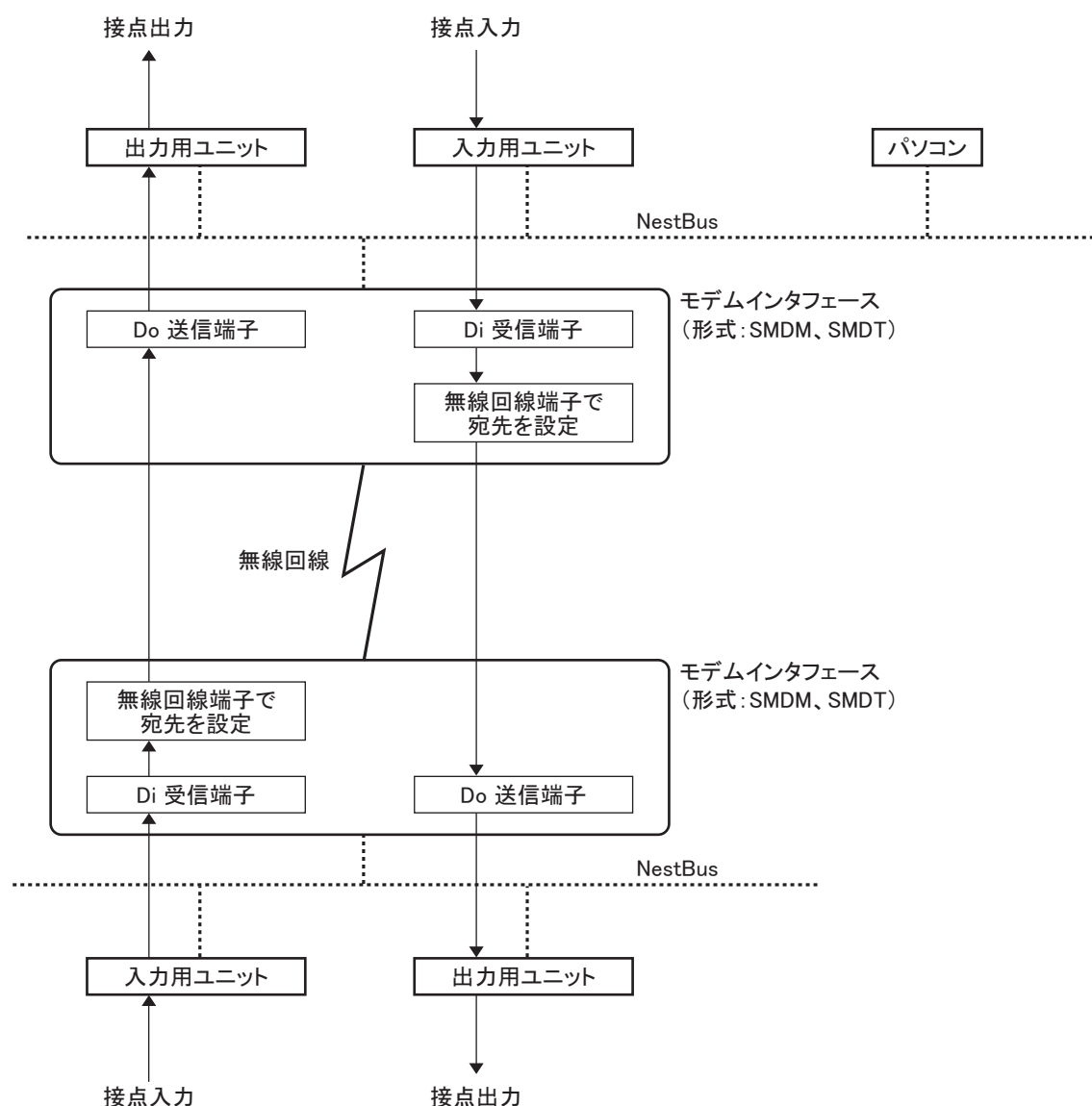
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00：正常、01～90：エラー)
04	△	0, 1	01: N	S1 送信スイッチ (相手局の Y1 へ送信)
05	△	0, 1	11: N	Y1 受信ステータス (相手局の S1 から受信)
★ 10	△	96	MD: 96	無線回線端子 (形式) ‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	0, 1	MS: 0	親／子局指定 (0：親局、1：子局)
★ 12	△	00～16	AN: NN	自局アドレス番号 (00：親局、01～16：子局)
★ 13	△	0, 1 (注 1)	CM: N	通信方式 (0：1対1、1：1対N)
★ 14	△	1～16	SN: NN	相手子局数 (ITEM 11 が ‘0’：親局のとき有効)

(注 1) SMDT の場合、通信方式は ‘0：1対1’ に固定です。

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
回線状態表示 親局かつ1対N通信のとき有効 (子局との回線状態を表示します)				
21	△	0, 1	01: N	子局 1 (0: 正常、1: 回線異常)
22	△	0, 1	02: N	子局 2 :
23	△	0, 1	03: N	子局 3 :
24	△	0, 1	04: N	子局 4 (0: 正常、1: 回線異常)
25	△	0, 1	05: N	子局 5 :
26	△	0, 1	06: N	子局 6 :
27	△	0, 1	07: N	子局 7 (0: 正常、1: 回線異常)
28	△	0, 1	08: N	子局 8 :
29	△	0, 1	09: N	子局 9 :
30	△	0, 1	10: N	子局 10 (0: 正常、1: 回線異常)
31	△	0, 1	11: N	子局 11 :
32	△	0, 1	12: N	子局 12 :
33	△	0, 1	13: N	子局 13 (0: 正常、1: 回線異常)
34	△	0, 1	14: N	子局 14 :
35	△	0, 1	15: N	子局 15 :
36	△	0, 1	16: N	子局 16 (0: 正常、1: 回線異常)
通信異常検出				
★ 58	△	0 ~ 9	RT: N	通信異常検出までのリトライ回数
機器間伝送端子の宛先指定				
モデムインタフェース (形式: SMDM、SMM、SMDT) 相互間の機器間伝送端子の組合せを設定します。自局の Ai/Di 受信端子 (SMM の場合は Ao/Do 送信端子) のグループ番号に対応する相手局の宛先 (TTGG) を指定します。				
TT: 00 ~ 16 相手局のアドレス番号				
GG: 11 ~ 26 相手局の Ao/Do 送信端子のグループ番号				
00 相手局が SMM の場合、Ao/Do 送信端子あるいは Ai/Di 受信端子のグループ番号 受信端子ではないとき。すなわち、自局のグループの形式が Ao/Do 送信端子 (SMM の場合には Ai/Di 受信端子)、 形式未登録、相手局に接続しないとき				
★ 61	△	TTGG	11: TTGG	グループ '11' に対する相手局 TTGG
★ 62	△	TTGG	12: TTGG	: '12' :
★ 63	△	TTGG	13: TTGG	: '13' :
★ 64	△	TTGG	14: TTGG	グループ '14' に対する相手局 TTGG
★ 65	△	TTGG	15: TTGG	: '15' :
★ 66	△	TTGG	16: TTGG	: '16' :
★ 67	△	TTGG	17: TTGG	グループ '17' に対する相手局 TTGG
★ 68	△	TTGG	18: TTGG	: '18' :
★ 69	△	TTGG	19: TTGG	: '19' :
★ 70	△	TTGG	20: TTGG	グループ '20' に対する相手局 TTGG
★ 71	△	TTGG	21: TTGG	: '21' :
★ 72	△	TTGG	22: TTGG	: '22' :
★ 73	△	TTGG	23: TTGG	グループ '23' に対する相手局 TTGG
★ 74	△	TTGG	24: TTGG	: '24' :
★ 75	△	TTGG	25: TTGG	: '25' :
★ 76	△	TTGG	26: TTGG	グループ '26' に対する相手局 TTGG
パスワードの設定				
★ 79	△	AAAA	PW: 12A4	パスワード (半角英数字4文字)

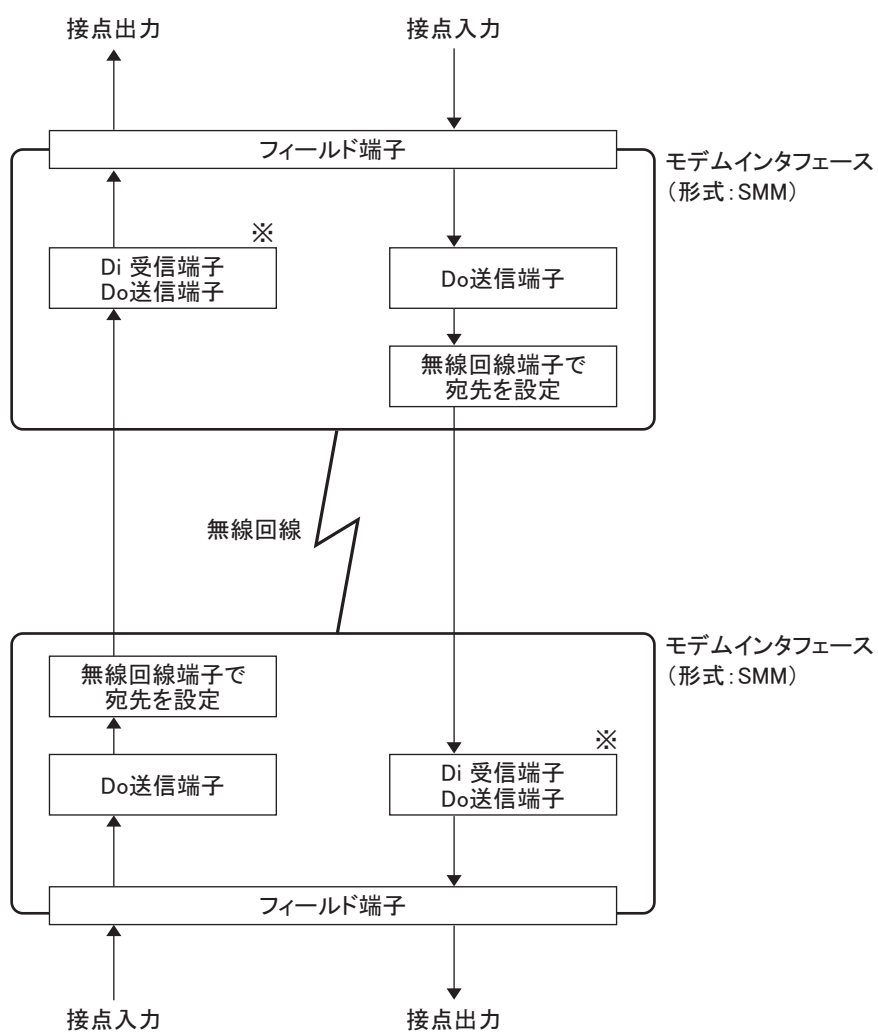
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
モデムの設定				
★ 91	△	2, 3, 4, 5, 6	CS: N	伝送速度 (bps) (2 : 300、3 : 1200、4 : 2400、5 : 4800、6 : 9600)
★ 95	△	3 ~ 20 s	RT: NN	送信後から受信までの待ち時間 (タイムアウト検出用)
★ 96	△	5 ~ 90 s	DT: NN	受信データの先頭から終了までの待ち時間 (タイムアウト検出用)
★ 99	△	0, 1, 2, 3	MK: N	モデムの種類 (0:RMD、1:RMD2、2:WM51 [オムロン]、3:U7000 [サンライズ])

■データの流れ例(モデムインタフェースSMDM、SMDTの場合)



■データの流れ例(モデムインタフェースSMMの場合)

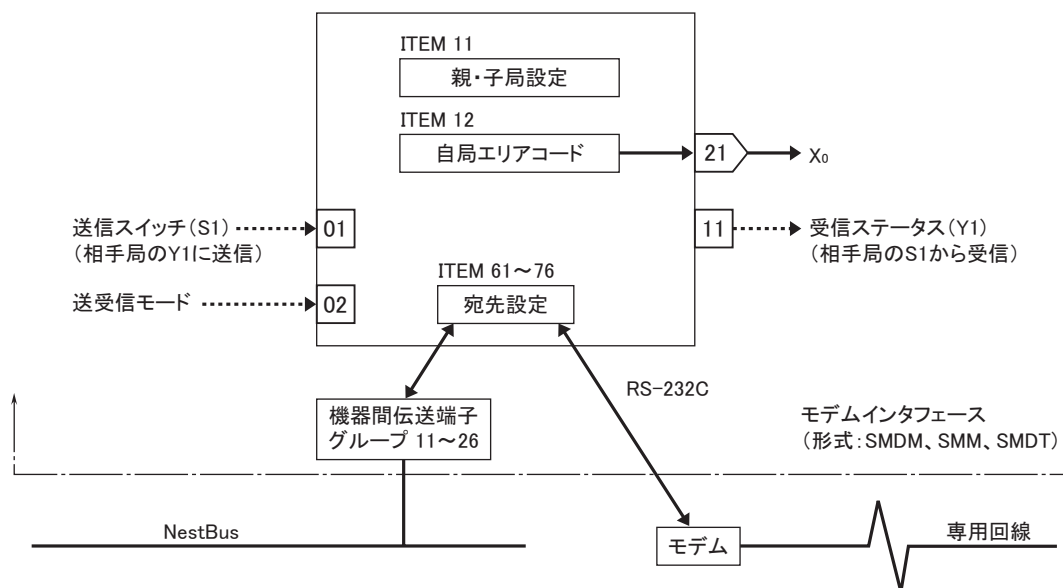
——→ 論理的なデータの流れ方向



※ Di 受信端子にてデータ受信を行う場合、送信元のステーションアドレスを‘FE’ (パソコンから受信) に設定してください。

形 式	ブロック名	形 式
98	専用回線端子	98

略号：TLM



[概 説]

専用回線端子は、モデムインタフェース（形式：SMDM、SMM、SMDT）で使用する計器ブロックです。

- ・ 専用回線端子ブロックは、機器間伝送端子のデータを、モデムインタフェースおよびモデムユニット相互間で送受信します。
- ・ 自局機器間伝送端子の Ai/Di 受信端子（自局が SMM の場合は Ao/Do 送信端子）で収集したデータを、相手局の Ao/Do 送信端子（相手局が SMM の場合は Ao/Do 送信端子あるいは Ai/Di 受信端子）に送信し、相手局の NestBus にデータを流します（SMM の場合には、NestBus がありません）。
- ・ 宛先アドレスを利用して、機器間伝送端子相互のグループ番号の割付ができます（リスト末尾の「データの流れ例」をご参照ください）。
- ・ 自局エリアコードは、上位コンピュータなどがモデムインタフェースあるいはモデムユニットの所在を管理するときに使用します。したがって、通信制御には無関係です。
- ・ データ設定方法の詳細およびシーケンスプログラムの例は、モデムインタフェース（形式：SMDM）の取扱説明書をご参照ください。

GROUP [97, 98] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
01	○	（常時変更可能）		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能（モニタモード）
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可（プログラムモード）
02	表示		ER: NN	エラー表示（00：正常、01～90：エラー）
04	△	0, 1	01: N	S1 送信スイッチ（相手局の Y1 へ送信）
05	△	0, 1	11: N	Y1 受信ステータス（相手局の S1 から受信）
06	△	0, 1	02: N	送受信モード選択 0：データ送受信 1：ITEM 送受信（将来用、現在は使用できません）
★ 10	△	98	MD: 98	専用回線端子（形式）‘-’ 入力でクリア
★ 11	△	0, 1	MS: 0	親／子局指定（0：親局、1：子局）
★ 12	△	0000～9999	21: 0001	自局エリアコード
通信異常検出				
★ 58	△	0～9	RT: N	通信異常検出までのリトライ回数

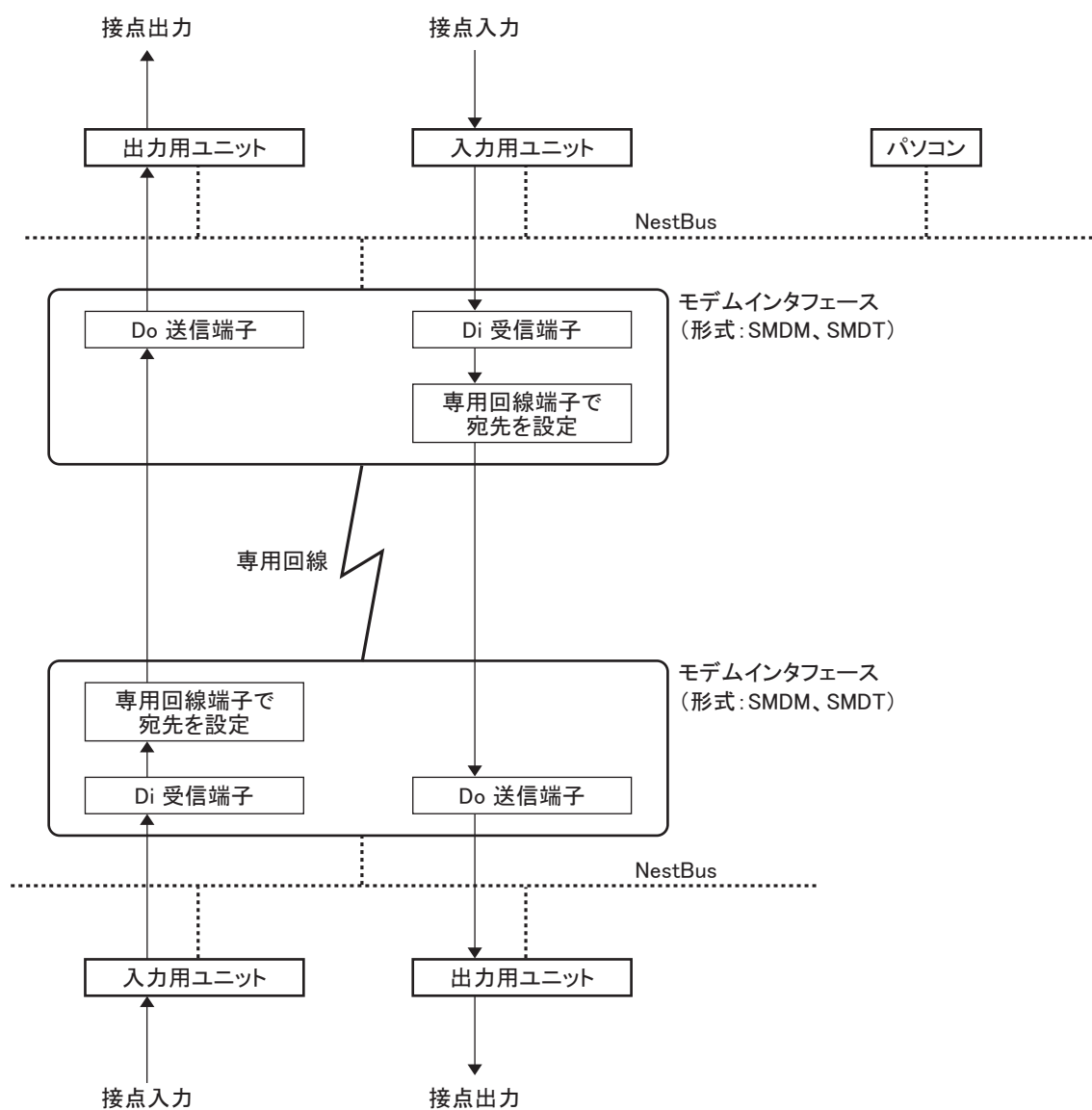
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
機器間伝送端子の宛先指定				
自局の Ai/Di 受信端子のグループ番号に対応する相手局の宛先 (GG : グループ番号) を指定します。 GG : 11 ~ 26 相手局の Ao/Do 送信端子のグループ番号 相手局が SMM の場合、Ao/Do 送信端子あるいは Ai/Di 受信端子のグループ番号 00 受信端子ではないとき。すなわち、自局のグループの形式が Ao/Do 送信端子 (SMM の場合には Ai/Di 受信端子)、 形式未登録、相手局に接続しないとき				
★ 61	△	GG	11: GG	グループ '11' に対する相手局グループ番号
★ 62	△	GG	12: GG	: '12' :
★ 63	△	GG	13: GG	: '13' :
★ 64	△	GG	14: GG	グループ '14' に対する相手局グループ番号
★ 65	△	GG	15: GG	: '15' :
★ 66	△	GG	16: GG	: '16' :
★ 67	△	GG	17: GG	グループ '17' に対する相手局グループ番号
★ 68	△	GG	18: GG	: '18' :
★ 69	△	GG	19: GG	: '19' :
★ 70	△	GG	20: GG	グループ '20' に対する相手局グループ番号
★ 71	△	GG	21: GG	: '21' :
★ 72	△	GG	22: GG	: '22' :
★ 73	△	GG	23: GG	グループ '23' に対する相手局グループ番号
★ 74	△	GG	24: GG	: '24' :
★ 75	△	GG	25: GG	: '25' :
★ 76	△	GG	26: GG	グループ '26' に対する相手局グループ番号
パスワードの設定				
★ 79	△	AAAA	PW: 12A4	パスワード (半角英数字4文字)
モデムの設定				
★ 90	△	0, 1	AT: N	モデムの種類 (0 : AT コマンド不使用、1 : AT コマンド使用)
★ 91	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	CS: N	伝送速度 (bps) (0 : 50、1 : 200、2 : 300、3 : 1200、4 : 2400、5 : 4800)
★ 92	△	0, 1, 2	EC: N	エラー訂正方式の選択 (0 : なし、1 : MNP4、2 : ITU-T V.42)
★ 93	△	0, 1, 2	CP: N	データ圧縮方式の選択 (0 : なし、1 : MNP5、2 : ITU-T V.42bis)
★ 94	△	0, 1	PR: N	通信制御方式の選択 (0 : なし、1 : MNP10)
★ 95	△	3 ~ 20 s	RT: NN	送信後から受信までの待ち時間 (タイムアウト検出用)
★ 96	△	5 ~ 90 s	DT: NN	受信データの先頭から終了までの待ち時間 (タイムアウト検出用)
★ 98	△	0, 1	TW: N	モデム通信方向 (0 : 両方向、1 : 片方向)
★ 99	△	0, 1	MK: N	モデムの種類 (0 : MOD1/MOD2/MOD3/MOD6、1 : MOD4/MOD5/MOD7/MOD8)

■ MsysNet 用モデムの設定値

品 名	形 式	ITEM 90	ITEM 91	ITEM 92	ITEM 93	ITEM 94	ITEM 98	ITEM 99
50 bps 用モデム	MOD1	0	0	0	0	0	0	0
300 bps 用モデム	MOD2	0	2	0	0	0	0	0
1200 bps 用モデム	MOD3	0	3	0	0	0	0	0
300 bps 音声・データ同時通信用モデム	MOD4	0	2	0	0	0	0	1
1200 bps 用モデム	MOD5	0	3	0	0	0	0	1
2400 bps 用モデム	MOD6	0	4	0	0	0	0	0
300 bps 音声・データ同時通信用モデム	MOD7	0	2	0	0	0	0	1
1200 bps 用モデム	MOD8	0	3	0	0	0	0	1

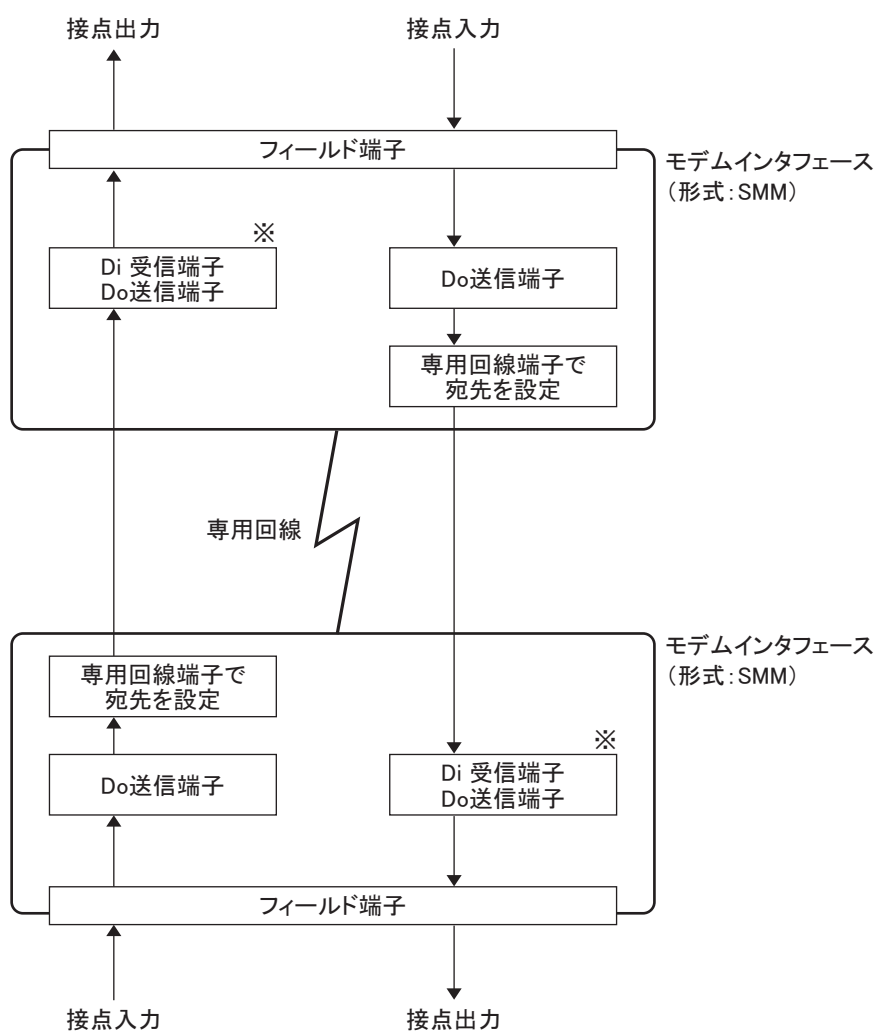
■データの流れ例(モデムインタフェースSMDM、SMDTの場合)

——→ 論理的なデータの流れ方向



■データの流れ例(モデムインタフェースSMMの場合)

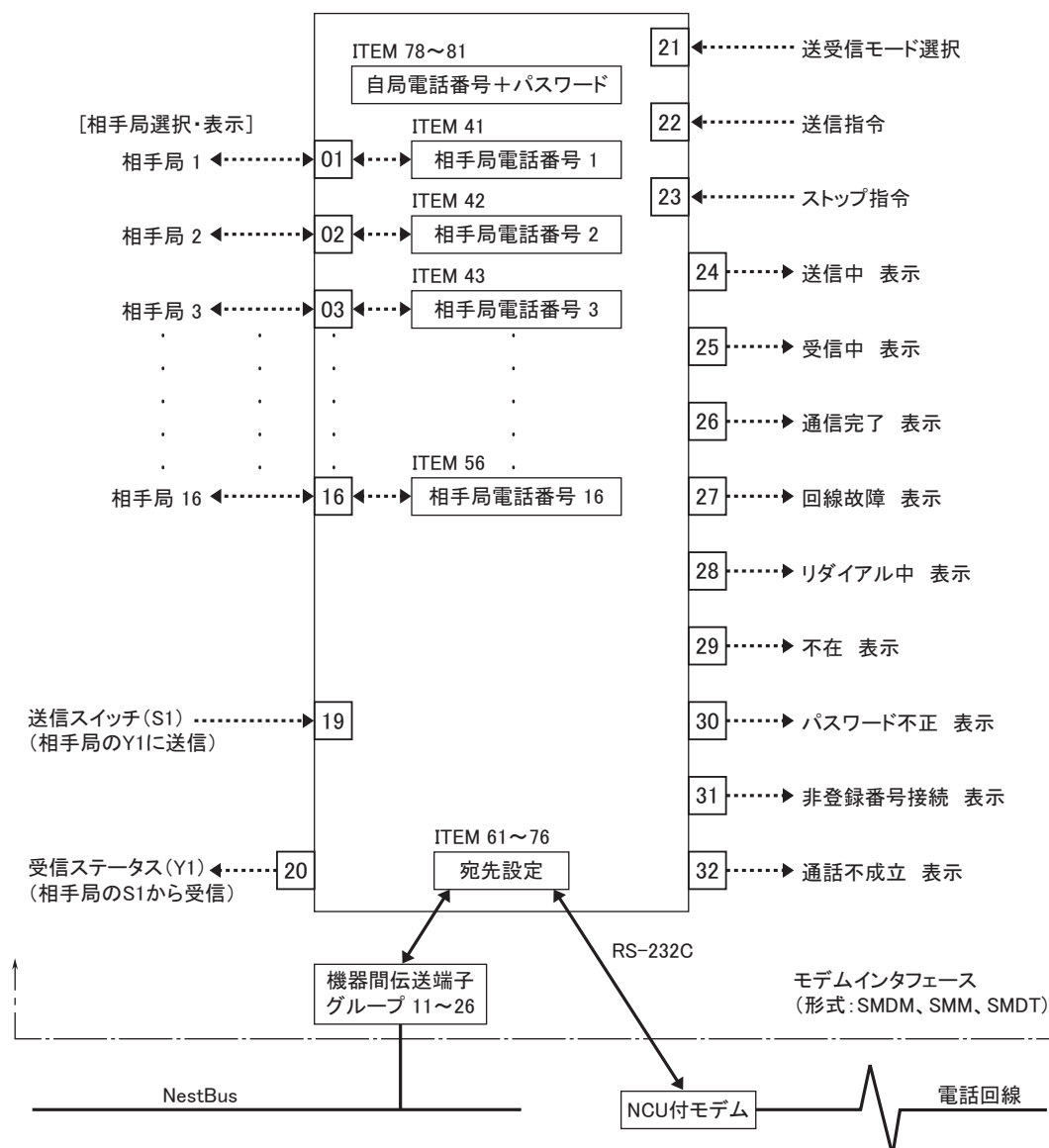
——→ 論理的なデータの流れ方向



※ Di 受信端子にてデータ受信を行う場合、送信元のステーションアドレスを‘FE’ (パソコンから受信) に設定してください。

形 式	ブロック名	形 式
99	電話回線端子	99

略号：TLC



[概 説]

電話回線端子は、モデムインタフェース（形式：SMDM、SMM、SMDT）で使用する計器ブロックです。

- ・ モデムインタフェース（形式：SMDM、SMM、SMDT）は、NCU 付モデムを介して遠隔地にある相手局のモデムインタフェースとの間でデータの送受信を行います。
- ・ 電話回線端子ブロックの役割は、「電話の接続と切断」および「SMDM や SMM、SMDT が内蔵する機器間伝送端子相互を結びつけること」です。
- ・ 自局機器間伝送端子の Ai/Di 受信端子（自局が SMM の場合は Ao/Do 送信端子）で収集したデータを、相手局の Ao/Do 送信端子（相手局が SMM の場合は Ao/Do 送信端子あるいは Ai/Di 受信端子）に送信し、相手局の NestBus にデータを流します（SMM の場合には、NestBus がありません）。
- ・ 電話の接続・切断制御は、シーケンスブロックや演算ブロックを使用して実行します。具体的な使用方法は、リスト末尾の「機能説明」をご参照ください。
- ・ データ設定方法の詳細およびシーケンスプログラムの例は、モデムインタフェース（形式：SMDM）の取扱説明書をご参照ください。

GROUP [97, 98] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
04	△	0, 1	19: N	S1 送信スイッチ (相手局の Y1 へ送信)
05	△	0, 1	20: N	Y1 受信ステータス (相手局の S1 から受信)
回線制御指令				
07	△	0, 1	21: N	送受信モード選択 0 : データ送受信 1 : ITEM 送受信 (将来用、現在は使用できません)
08	△	0, 1	22: N	送信指令
09	△	0, 1	23: N	ストップ指令
★ 10	△	99	MD: 99	電話回線端子 (形式) 'ー' 入力でクリア
回線状態表示				
11	△	0, 1	24: N	送信中表示
12	△	0, 1	25: N	受信中表示
13	△	0, 1	26: N	通信完了状態表示
14	△	0, 1	27: N	回線故障表示
15	△	0, 1	28: N	リダイヤル中表示
16	△	0, 1	29: N	不在表示
17	△	0, 1	30: N	パスワード不正表示
18	△	0, 1	31: N	非登録番号接続表示
19	△	0, 1	32: N	通話不成立表示
相手局選択／表示				
21	△	0, 1	01: N	相手局 1
22	△	0, 1	02: N	相手局 2
23	△	0, 1	03: N	相手局 3
24	△	0, 1	04: N	相手局 4
25	△	0, 1	05: N	相手局 5
26	△	0, 1	06: N	相手局 6
27	△	0, 1	07: N	相手局 7
28	△	0, 1	08: N	相手局 8
29	△	0, 1	09: N	相手局 9
30	△	0, 1	10: N	相手局 10
31	△	0, 1	11: N	相手局 11
32	△	0, 1	12: N	相手局 12
33	△	0, 1	13: N	相手局 13
34	△	0, 1	14: N	相手局 14
35	△	0, 1	15: N	相手局 15
36	△	0, 1	16: N	相手局 16

ITEM 37 は、上位コンピュータ番号設定局で予約済

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
相手局の電話番号の設定				
★ 41	△	半角英数字	01: NNN···N	相手局 1 の電話番号 (13 桁以下、英字も可)
★ 42	△	半角英数字	02: NNN···N	: 2 :
★ 43	△	半角英数字	03: NNN···N	: 3 :
★ 44	△	半角英数字	04: NNN···N	相手局 4 の電話番号 (13 桁以下、英字も可)
★ 45	△	半角英数字	05: NNN···N	: 5 :
★ 46	△	半角英数字	06: NNN···N	: 6 :
★ 47	△	半角英数字	07: NNN···N	相手局 7 の電話番号 (13 桁以下、英字も可)
★ 48	△	半角英数字	08: NNN···N	: 8 :
★ 49	△	半角英数字	09: NNN···N	: 9 :
★ 50	△	半角英数字	10: NNN···N	相手局 10 の電話番号 (13 桁以下、英字も可)
★ 51	△	半角英数字	11: NNN···N	: 11 :
★ 52	△	半角英数字	12: NNN···N	: 12 :
★ 53	△	半角英数字	13: NNN···N	相手局 13 の電話番号 (13 桁以下、英字も可)
★ 54	△	半角英数字	14: NNN···N	: 14 :
★ 55	△	半角英数字	15: NNN···N	: 15 :
★ 56	△	半角英数字	16: NNN···N	相手局 16 の電話番号 (13 桁以下、英字も可)
ITEM 57 は、上位コンピュータが設定する電話番号で予約済				
モデム初期化コマンド				
★ 58	△	半角英数字	P1: NNN···N	モデム初期化コマンド 1 (16 桁以下、数字以外も可)
★ 59	△	半角英数字	P2: NNN···N	モデム初期化コマンド 2 (16 桁以下、数字以外も可)
★ 60	△	半角英数字	P3: NNN···N	モデム初期化コマンド 3 (16 桁以下、数字以外も可)
モデムの種類 (ITEM 90) が '2' または '3' のとき、モデム初期化コマンド 1 ~ 3 を続けてモデムに送信 (前後に CR + LF を付けます)。',' で区切られているとき、',' の前後でコマンドを区切ります。				
機器間伝送端子の宛先指定				
モデムインタフェース (形式: SMDM、SMM、SMDT) 相互間の機器間伝送端子の組合せを設定します。自局の Ai/Di 受信端子 (SMM の場合は Ao/Do 送信端子) のグループ番号に対応する相手局の宛先 (TTGG) を指定します。 TT: 1 ~ 16 相手局の局番号を指定 00 相手局の局番号が 1 ~ 16 のどれであってもよい場合 GG: 11 ~ 26 相手局の Ao/Do 送信端子のグループ番号。 相手局が SMM の場合、Ao/Do 送信端子あるいは Ai/Di 受信端子のグループ番号 00 受信端子ではないとき。すなわち、自局のグループの形式が Ao/Do 送信端子 (SMM の場合には Ai/Di 受信端子)、形式未登録、相手局に接続しないとき				
★ 61	△	TTGG	11: TTGG	グループ '11' に対する相手局 TTGG
★ 62	△	TTGG	12: TTGG	: '12' :
★ 63	△	TTGG	13: TTGG	: '13' :
★ 64	△	TTGG	14: TTGG	グループ '14' に対する相手局 TTGG
★ 65	△	TTGG	15: TTGG	: '15' :
★ 66	△	TTGG	16: TTGG	: '16' :
★ 67	△	TTGG	17: TTGG	グループ '17' に対する相手局 TTGG
★ 68	△	TTGG	18: TTGG	: '18' :
★ 69	△	TTGG	19: TTGG	: '19' :
★ 70	△	TTGG	20: TTGG	グループ '20' に対する相手局 TTGG
★ 71	△	TTGG	21: TTGG	: '21' :
★ 72	△	TTGG	22: TTGG	: '22' :
★ 73	△	TTGG	23: TTGG	グループ '23' に対する相手局 TTGG
★ 74	△	TTGG	24: TTGG	: '24' :
★ 75	△	TTGG	25: TTGG	: '25' :
★ 76	△	TTGG	26: TTGG	グループ '26' に対する相手局 TTGG

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
電話機能の設定				
★ 77	△	0, 1	CK: N	受信時に相手局の電話番号を照合 (0: 照合しない、1: 照合する)
★ 78	△	半角英数字	18: NNN...N	自局の電話番号設定 (13 桁以下、英字も可)
★ 79	△	AAAA	PW: 1B34	パスワード (半角英数字4文字)
★ 80	△	半角英数字	D1: NNN...N	内線発信番号 1 (13 桁以下、英字も可)
★ 81	△	半角英数字	D2: NNN...N	内線発信番号 2 (13 桁以下、英字も可) 内線から発信するとき、または第二電電使用時に、ITEM 80 + 81 で設定した番号を相手局の電話番号の前に付加します。
★ 82	△	0, 1, 2	DT: N	ダイヤル形式の選択 (0: トーン、1: 10 pps、2: 20 pps) ‘1’ のとき MOC1 のモード切換スイッチを ‘S’ に設定。‘0’ と ‘2’ のとき ‘M’ に設定
★ 83	△	0 ~ 99 s	WT: NN	回線接続待ち時間 相手局回線と接続後、送信を開始するまでに待機する時間。回線接 続直後に送信したデータが受信側で欠落する場合に使用
★ 85	△	1 ~ 15	DW: 10	呼出しレベル回数 設定回数以内に回線が接続されないときは、切断して不在接点 (端 子 29) が ‘1’ になる
★ 86	△	0 ~ 10	RD: 3	リダイヤル回数
★ 87	△	60 ~ 1000 s	RW: 60	リダイヤル待ち時間
★ 88	△	0, 1, 2	26: N	通信切断方法設定 0: 通話完了後切断 1: ストップ指令端子 [23] により切断 2: 通話時間制限タイマまたはストップ指令端子 [23] により切断
★ 89	△	0 ~ 1000 s	TM: 50	通話時間制限タイマ (ITEM 88 = 2 のとき有効)
モデムの設定				
★ 90	△	0, 1, 2, 3	MK: N	モデムの種類 (0: MOC1、1: オムロン、2: その他、3: MOC2) ‘2’ または ‘3’ のとき、ITEM 58 ~ 60 のモデム初期化コマンドを 使用します。
★ 91	△	2, 3, 4, 5	CS: N	伝送速度 (bps) (2: 300、3: 1200、4: 2400、5: 4800)
★ 92	△	0, 1, 2	EC: N	エラー訂正方式の選択 (0: なし、1: MNP4、2: ITU-T V.42)
★ 93	△	0, 1, 2	CP: N	データ圧縮方式の選択 (0: なし、1: MNP5、2: ITU-T V.42bis)
★ 94	△	0, 1	PR: N	通信制御方式の選択 (0: なし、1: MNP10)
★ 95	△	1 ~ 15	AR: NN	自動着信回数
★ 96	△	-1, 1 ~ 255 s	DP: NNN	ダイヤル休止時間 (-1: モデム設定データを使用)
★ 97	△	-1, 1 ~ 255 (0.1 s)	CD: NNN	キャリア確認時間 (-1: モデム設定データを使用)
★ 98	△	-1, 1 ~ 255 (0.1 s)	CA: NNN	キャリア許容時間 (-1: モデム設定データを使用)
★ 99	△	-1 ~ 255 min	AB: NNN	アボートタイマ時間 (0: アボートタイマ使用しない、-1: モデム設定データを使用)

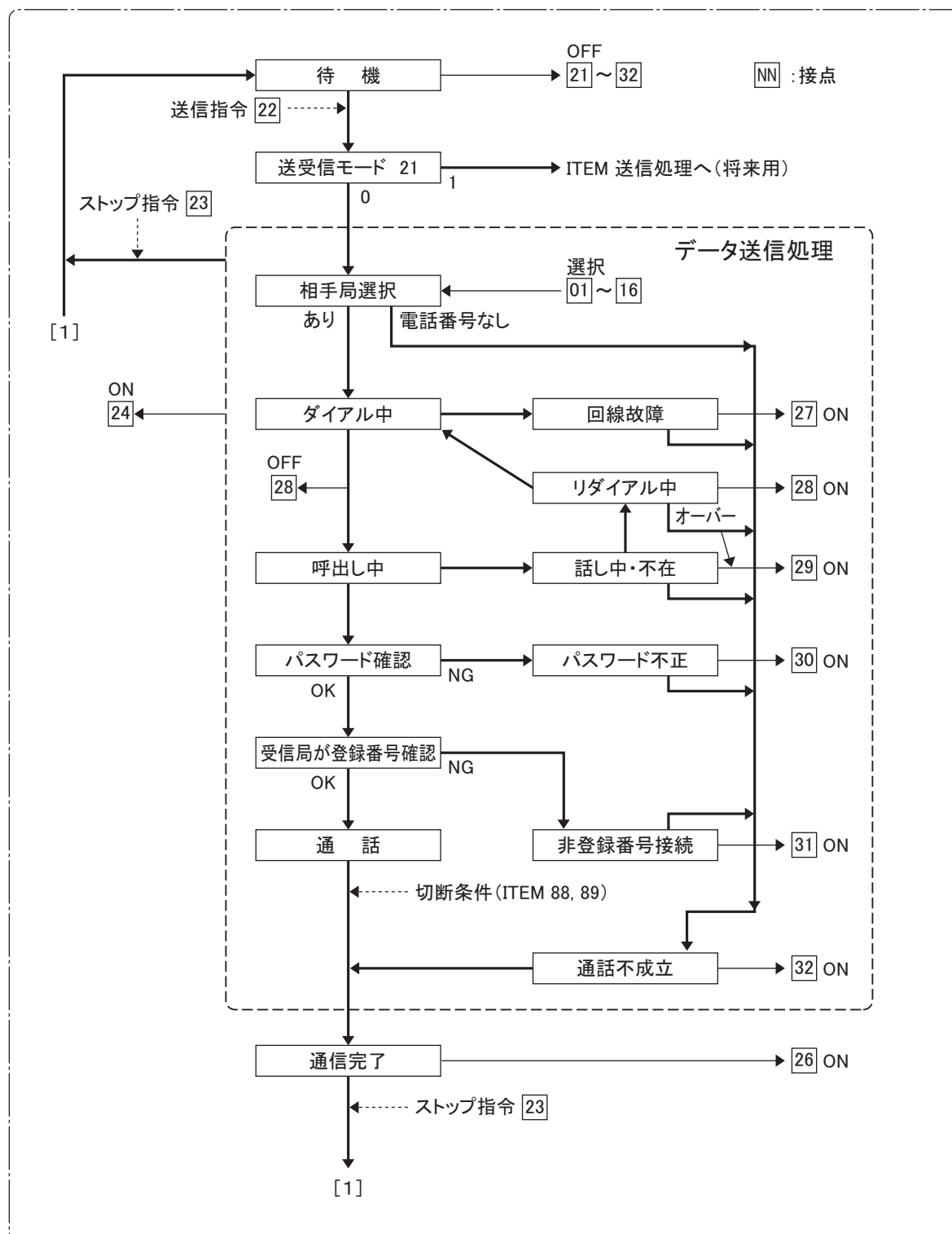
■ MsysNet 用モデムの設定値

品 名	形 式	58	59	60	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
NCU 付モデム	MOC1	—	—	—	0	3	0	0	0	☆	□	□	□	0
NCU 付モデム	MOC2	□	□	□	3	4	0	0	0	☆	□	—	□	0

☆: 通信条件により設定、□: 回線の状況により設定

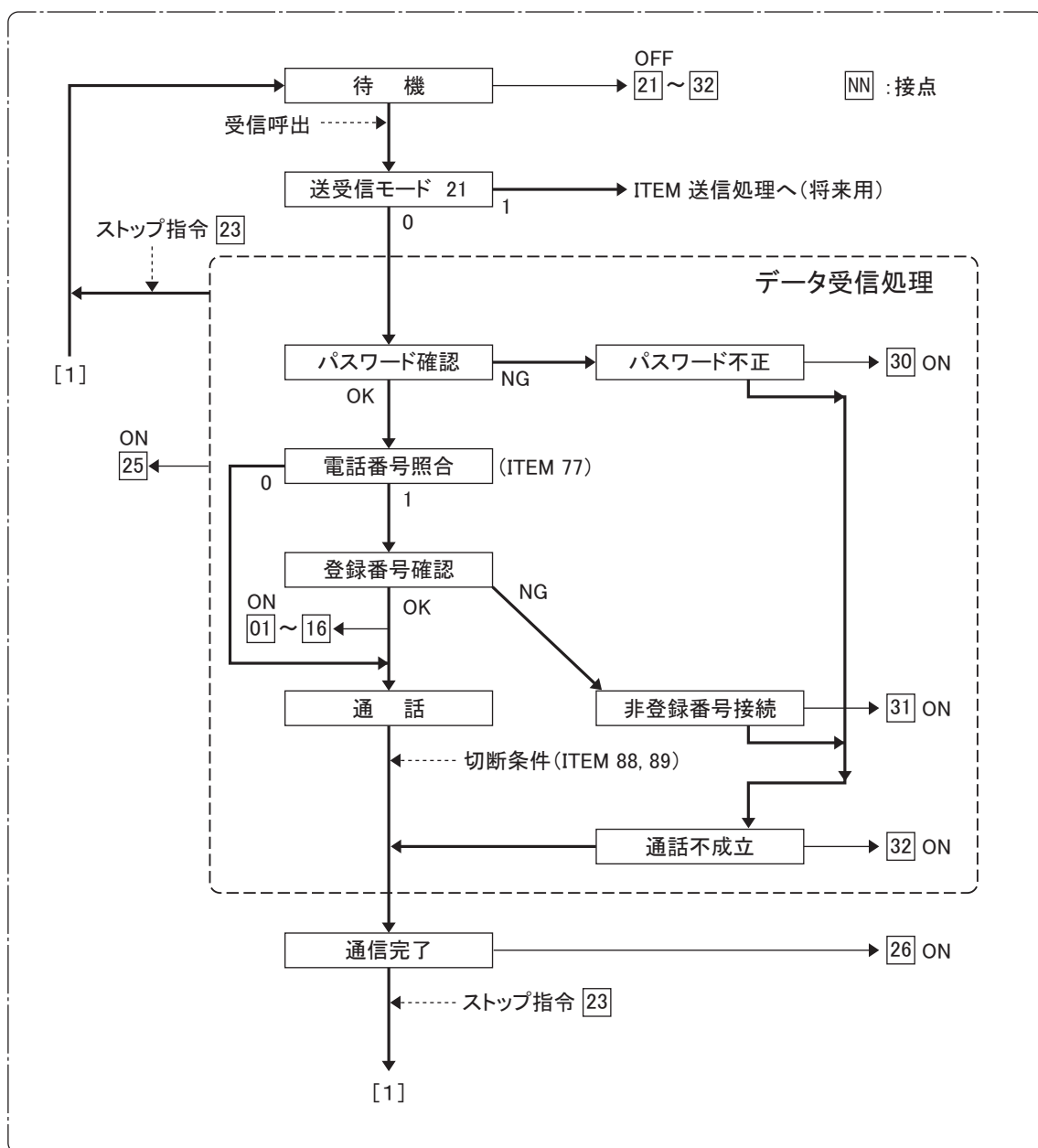
■送信局側処理

- ・送受信モード選択接点 [21] に '0' を設定します。
- ・相手局はあらかじめ接点 [01] ～ [16] により指定しておきます。
- ・送信指令 [22] を '1' にするとダイヤル開始します。
- ・送信中 [24] は送信処理中 '1' になります。
- ・相手局が「話し中」のときと、ITEM 85 の呼出しベル回数を超えても相手局がつかないとき、ITEM 86、87 で設定した条件でリダイヤル処理を行います。
- ・通話が不成立のときは、各種状態表示接点が '1' になり「通信完了」状態になります。
- ・パスワードが不一致のときは、パスワード不正 [30] を '1' にし、通信を中断します。
- ・登録電話番号との不一致の場合、下記のような処理になります。
 - 番号の照合を行う ITEM 77 が '1' のときは、非登録番号接続 [31] が '1' になり、通信を中断します。
 - 番号の照合を行う ITEM 77 が '0' のときは、データの伝送を行います。
- ・「通信完了」状態では、各種の状態表示は '1' のままになっていますので、これを利用して必要なシーケンス処理を行うことができます。
- ・「通信完了」状態からストップ指令 [23] により「待機」状態に戻り、状態信号は '0' になります。「待機」状態に戻るまで、時間がかかる場合があります。
- ・通信中にストップ指令 [23] により強制的に「待機」状態に戻ることができます。このとき、各種の状態表示は表示されません。
- ・「待機」状態に戻しないと、次回の送受信処理を行うことができません。



■受信局側処理

- ・ 回線が接続され、送受信モード選択 [21] 接点が相手局より '0' に設定（データ送受信）されたら、受信中接点 [25] が '1' になります。
- ・ 番号の照合を行う（ITEM 77）が '1' のとき、相手局選択・表示接点 [01] ～ [16] を表示します。
- ・ 通話が不成立のときは、各種状態表示接点が '1' になり「通信完了」状態になります。
- ・ パスワードが不一致のときは、パスワード不正 [30] を '1' にし、通信を中断します。
- ・ 登録電話番号との不一致の場合、下記のような処理になります。
番号の照合を行う ITEM 77 が '1' のときは、非登録番号に接続 [31] が '1' になり、通信を中断します。
番号の照合を行う ITEM 77 が '0' のときは、データの伝送を行います。
- ・ 「通信完了」状態では、各種の状態表示は '1' のままになっているので、これを利用して必要なシーケンス処理を行うことができます。
- ・ 「通信完了」状態からストップ指令 [23] により「待機」状態に戻り、状態信号は '0' になります。「待機」状態に戻るまで、時間がかかる場合があります。
- ・ 通信中にストップ指令 [23] により強制的に「待機」状態に戻ることができます。このとき、各種の状態表示は表示されません。
- ・ 「待機」状態に戻さないと、次の送受信処理を行うことができません。



3. フィールド端子ブロック

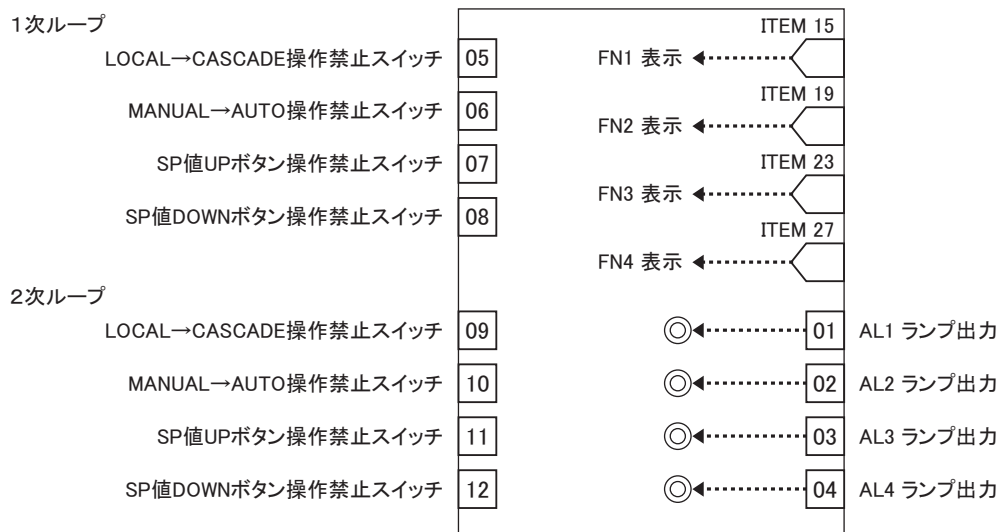
略号	形 式	I/O 種類
F70	SC100	Ai 6 + Ao 4 + Di/Pi 6 + Do 6 フィールド端子 拡張フィールド端子1 拡張フィールド端子2
F71	SC200	Ai 6 + Ao 4 + Di/Pi 6 + Do 6 フィールド端子 拡張フィールド端子1 拡張フィールド端子2
F72	SC110	Ai 6 + Ao 4 + Di/Pi 6 + Do 6 フィールド端子 拡張フィールド端子1 拡張フィールド端子2
F73	SC210	Ai 6 + Ao 4 + Di/Pi 6 + Do 6 フィールド端子 拡張フィールド端子1 拡張フィールド端子2
F06	ABA	Ai 2 + Ao 1 + Pi 1 + Di 1 + Do 1
F07	ABC	Pi 1
F07	ABD	Ai 2 + Ao 1 + Pi 1 + Di 1 + Do 1
F52	ABE	Ai 2 + Ao 1 + Pi 1 + Di 2 + Do 2
F53	ABH	Ai 2 + Ao 1 + Di 2 + Do 2
F63	ABH2	Ai 2 + Ao 1 + Di/Pi 4 + Do 4
F00	18MA	Ai 2 + Ao 1 + Di 1 + Do 1
F02	18MP	Ai 1 + Ao 1 + Pi 1 + Di 1 + Do 1
F08	18MC-1	Ai 16
F17	18MF-1	Di 6
F18	18MF-2	Di 3 + Do 3
F19	18MF-3	Do 6
F11	18MG-1	Ai 6
F13	18MG-3	Ao 5
F20	SMLR-1	Di 32
F21	SMLR-2	Di 16 + Do 16
F22	SMLR-3	Do 32
F23	SM**	(センサ入力形) Ai 1 + Ao 1
F05	SMA	Ai 3 + Ao 1 + Di 1 + Do 2
F42	SMDT	モデムインタフェース

略号	形 式	I/O 種類
F24	SML-A4	Di 8
F25	SML-C7	Do 8
F25	SML-C8	Do 8
F26	SML-E5	Di 4 + Do 4
F27	SML-G3	Ai 8
F28	SML-G4	Ai 4
F29	SML-M4	Ao 4
F14	SML-P4	Pi 4
F31	SML-R3	Ai 4 + Ao 4
F32	SML-S5	Ai 4 + Di 4
F33	SML-S6	Ao 4 + Do 4
F40	39M	Di + Do 最大 128

[ご注意]

- ・ I/O 一体形モデムインタフェース (形式:SMM) については、リモート入出力ユニット (形式:SML) をご参照ください。フィールド端子の仕様は SML-** と同じです。

略号	フィールド端子	略号
F70	SC100 フィールド端子	F70



GROUP [01] ★：設定データ

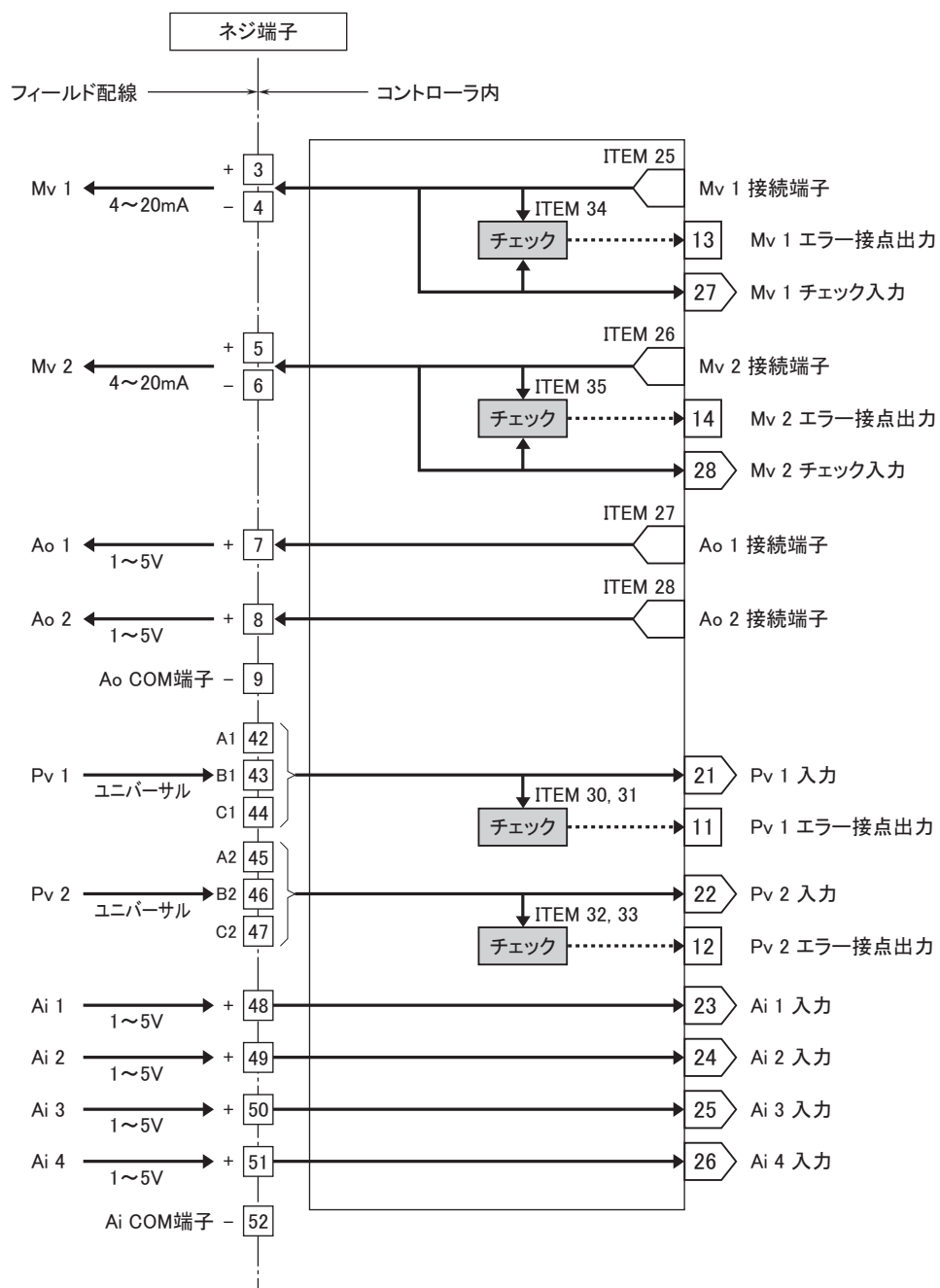
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー) 拡張フィールド端子1と2のエラーを含む
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
表示設定				
★ 11	△	2, 3	GR: 2	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0: ± 115%、1: -15 ~ 115%)
★ 13	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0: ± 115%、1: -15 ~ 115%)
★ 15	△	GGNN	1F: 3121	FN1 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H: 15000	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L: 0	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: 1	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H: NNNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L: NNNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H: NNNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L: NNNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H: NNNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L: NNNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 31	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 32	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 33	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 34	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
★ 35	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 36	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 37	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 38	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
39	△◎	0, 1	01: N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0, 1	02: N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0, 1	03: N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0, 1	04: N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 44	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 45	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 46	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
操作設定 SC 1.10				
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
共通				
61	△	0, 1	21: 0	SP 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
62	△	0, 1	22: 0	SP 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
63	△	0, 1	23: 0	MV 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
64	△	0, 1	24: 0	MV 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
★ 71	△	10 ~ 100s/100%	ST: 40	SP アップ・ダウン時間 SC 1.70
★ 72	△	10 ~ 100s/100%	ST: 40	MV アップ・ダウン時間 SC 1.70

(注 1) ITEM 61 ~ 64 : 処理周期の 2 倍以上のボタン操作を行なってください。

(注 2) ITEM 61 ~ 64 : 画面機能 (A/M、C/L など) に関係なく、ボタン操作ステータスを取得します。

略号 F70	フィールド端子 SC100 拡張フィールド端子1	略号 F70
-----------	-----------------------------	-----------



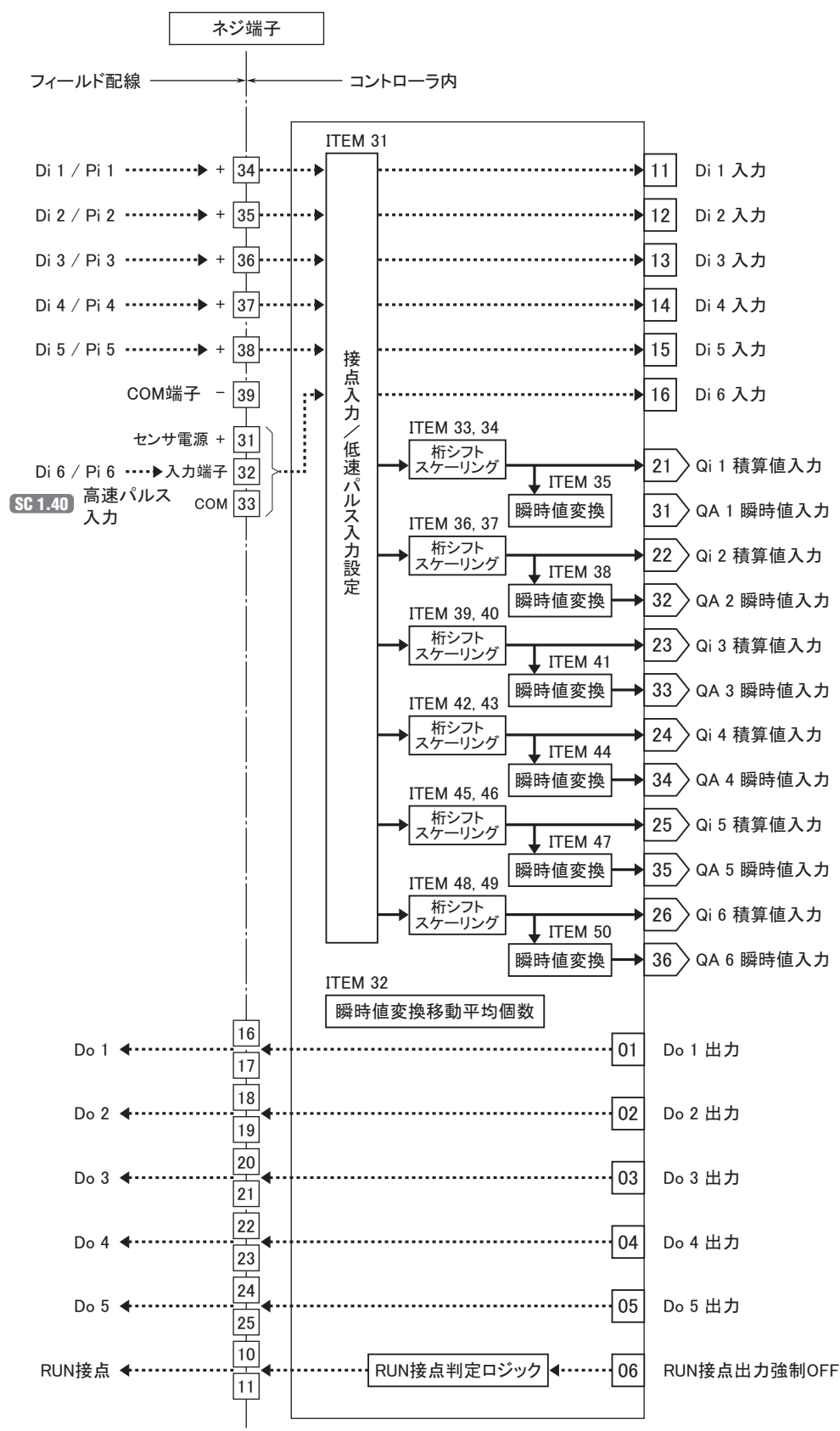
注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

GROUP [04] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	12	MD: 12	拡張フィールド端子1 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Pv 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Pv 2 入力値
13	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 1 入力値
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
15	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	Ai 3 入力値
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	26: NNN.NN	Ai 4 入力値
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	27: NNN.NN	Mv 1 チェック入力値
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	28: NNN.NN	Mv 2 チェック入力値
19	△◎	± 320.00Unit	29: NNN.NNUnit	Pv 1 入力実量表示値
20	△◎	± 320.00Unit	30: NNN.NNUnit	Pv 2 入力実量表示値
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	MV1: NNN.NN	Mv 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	MV2: NNN.NN	Mv 2 出力値
23	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1: NNN.NN	Ao 1 出力値
24	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子				
★ 25	△	GGNN	M1#: 0225	Mv 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 26	△	GGNN	M2#: 0225	Mv 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 27	△	GGNN	A1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	GGNN	A2#: 0225	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
PV/MV 設定				
★ 30	△	-15.00 ~ 115.00%	PH1: NNN.NN	Pv 1 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 31	△	-15.00 ~ 115.00%	PL1: NNN.NN	Pv 1 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 32	△	-15.00 ~ 115.00%	PH2: NNN.NN	Pv 2 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 33	△	-15.00 ~ 115.00%	PL2: NNN.NN	Pv 2 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 34	△	0.00 ~ 115.00%	ML1: NNN.NN	Mv 1 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 35	△	0.00 ~ 115.00%	ML2: NNN.NN	Mv 2 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 36	△	MM	TP1: MM	Pv 1 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10~10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1~1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0~10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1~5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0~1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4~20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 1 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 37 ~ 39 を設定します)
★ 37	△	-272.0 ~ 3000.0	HT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ上限設定値
★ 38	△	-272.0 ~ 3000.0	LT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ下限設定値
★ 39	△	0, 1	CJ1: N	Pv 1 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 40	△	MM	TP2: MM	Pv 2 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 2 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 41 ~ 43 を設定します)
★ 41	△	-272.0 ~ 3000.0	HT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ上限設定値
★ 42	△	-272.0 ~ 3000.0	LT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ下限設定値
★ 43	△	0, 1	CJ2: N	Pv 2 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
44	△◎	0, 1	11: N	Pv 1 エラー接点出力値
45	△◎	0, 1	12: N	Pv 2 エラー接点出力値
46	△◎	0, 1	13: N	Mv 1 エラー接点出力値
47	△◎	0, 1	14: N	Mv 2 エラー接点出力値
アナログ出力ゼロ・スパン調整				
★ 50	△	± 115.00%	PZ1: <u>0.00</u>	Pv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 51	△	± 3.2000	PS1: <u>1.0000</u>	Pv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 52	△	± 115.00%	PZ2: <u>0.00</u>	Pv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 53	△	± 3.2000	PS2: <u>1.0000</u>	Pv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 54	△	± 115.00%	MZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 55	△	± 3.2000	MS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 56	△	± 115.00%	MZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 57	△	± 3.2000	MS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 58	△	± 115.00%	IZ1: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 59	△	± 3.2000	IS1: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 60	△	± 115.00%	IZ2: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 61	△	± 3.2000	IS2: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 62	△	± 115.00%	IZ3: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 63	△	± 3.2000	IS3: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 64	△	± 115.00%	IZ4: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 65	△	± 3.2000	IS4: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 66	△	± 115.00%	CZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 67	△	± 3.2000	CS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 68	△	± 115.00%	CZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 69	△	± 3.2000	CS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 70	△	± 115.00%	OZ1: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 71	△	± 3.2000	OS1: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 72	△	± 115.00%	OZ2: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 73	△	± 3.2000	OS2: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)

略号	フィールド端子	略号
F70	SC100 拡張フィールド端子2	F70



注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

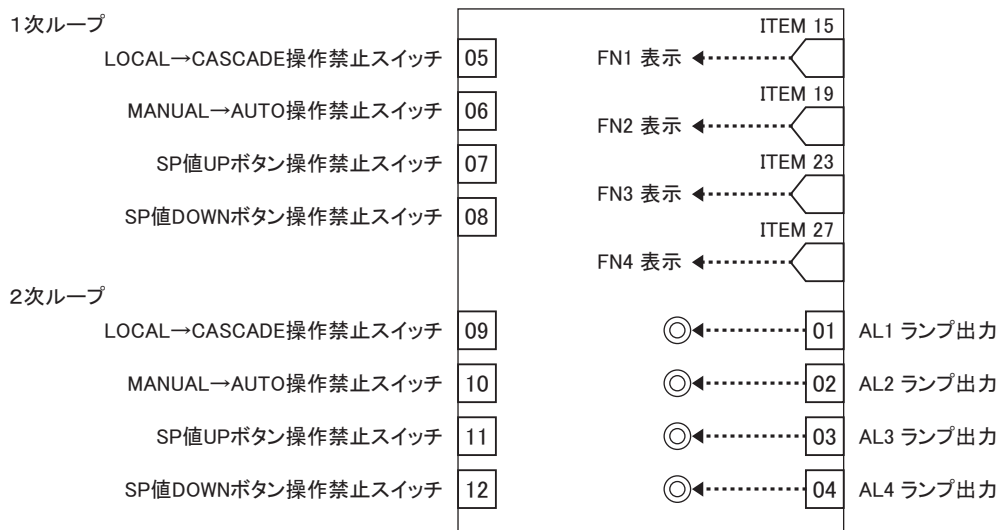
GROUP [05] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD: 13	拡張フィールド端子2 (形式)
接点入力値表示				
11	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	11: N または 21: NNNN	Di 1 入力値 または Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
12	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	12: N または 22: NNNN	Di 2 入力値 または Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
13	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	13: N または 23: NNNN	Di 3 入力値 または Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
14	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	14: N または 24: NNNN	Di 4 入力値 または Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
15	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	15: N または 25: NNNN	Di 5 入力値 または Qi 5 積算値表示 (単位: カウント)
16	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	16: N または 26: NNNN	Di 6 入力値 または Qi 6 積算値表示 (単位: カウント)
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	32: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
19	△◎	-15.00 ~ 115.00%	33: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
20	△◎	-15.00 ~ 115.00%	34: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	35: NNN.NN	QA 5 瞬時値表示
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 6 瞬時値表示
接点出力値表示				
23	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
24	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
25	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
26	△◎	0, 1	04: N	Do 4 出力値
27	△◎	0, 1	05: N	Do 5 出力値
28	△◎	0, 1	06: N	RUN 接点出力強制 OFF (1: OFF)
パルス入力設定				
★ 31	△		PD: NNNNN	接点・パルス選択 (0: Di、1: Pi) (10 ⁰ : Di 1、10 ¹ : Di 2、10 ² : Di 3、10 ³ : Di 4、10 ⁴ : Di 5) (注 1) Di 6 は ITEM 52 で設定します
★ 32	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数 (QA1 ~ QA5)
★ 33	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 34	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 36	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 37	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 38	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 39	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 40	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 41	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 42	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 43	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 44	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D5: <u>-1</u>	Qi 5 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 46	△	0.0000 ~ 6.4000	S5: N.NNNN	Qi 5 スケーリング係数
★ 47	△	0.00 ~ 10000.00	K5: NNNNN.NN	QA 5 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 48	△	1, 0, -1, -2, -3	D6: <u>-1</u>	Qi 6 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 49	△	0.0000 ~ 6.4000	S6: N.NNNN	Qi 6 スケーリング係数
★ 50	△	0.00 ~ 10000.00	K6: NNNNN.NN	QA 6 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
接点出力設定				
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード SC 1.10 (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)
高速パルス入力設定				
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択 (0 : Di 6、1 : Pi 6) SC 1.40

(注 1) ITEM 31: 接点・パルス入力選択で、「接点」を選択したときパルスの値は不定値、「パルス」を選択したとき接点の値は不定値となります。

略号 F71	フィールド端子 SC200 フィールド端子	略号 F71
------------------	---------------------------------	------------------



GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー) 拡張フィールド端子1と2のエラーを含む
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
表示設定				
★ 11	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 13	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 15	△	GGNN	1F: <u>3121</u>	FN1 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H: <u>15000</u>	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L: <u>0</u>	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: <u>1</u>	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H: NNNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L: NNNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H: NNNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L: NNNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H: NNNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L: NNNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)

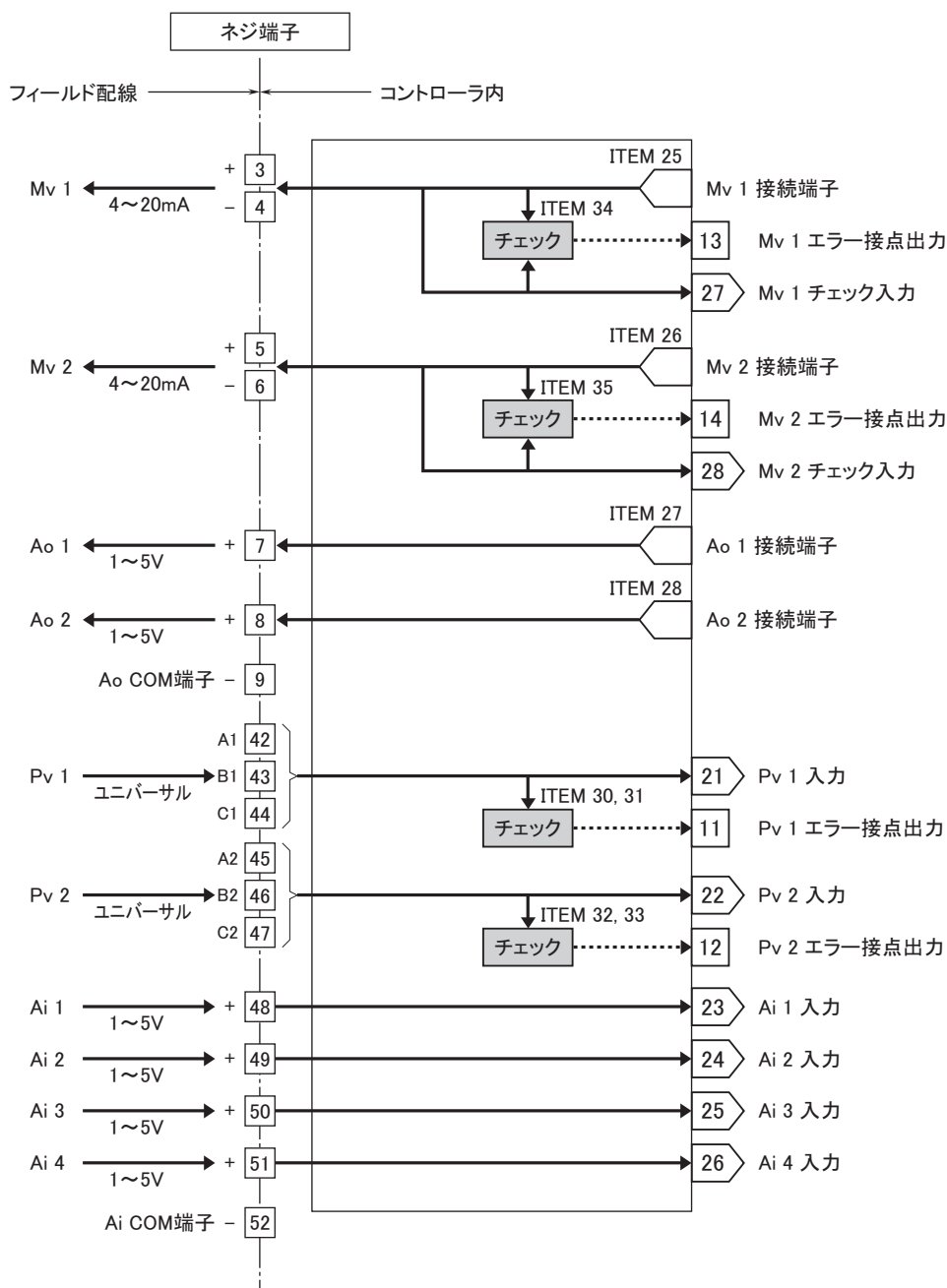
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 31	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 32	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 33	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 34	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
★ 35	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 36	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 37	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 38	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
39	△◎	0, 1	01: N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0, 1	02: N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0, 1	03: N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0, 1	04: N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 44	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 45	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 46	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
操作設定 (注 1) SC 1.10				
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
共通				
61	△	0, 1	21: 0	SP 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
62	△	0, 1	22: 0	SP 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
63	△	0, 1	23: 0	MV 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
64	△	0, 1	24: 0	MV 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
★ 71	△	10 ~ 100s/100%	ST: 40	SP アップ・ダウン時間 SC 1.70
★ 72	△	10 ~ 100s/100%	ST: 40	MV アップ・ダウン時間 SC 1.70

(注 1) Modbus で接続されている上位機器からの操作は、操作設定に関係なく操作可能です。

(注 2) ITEM 61 ~ 64 : 処理周期の 2 倍以上のボタン操作を行なってください。

(注 3) ITEM 61 ~ 64 : 画面機能 (A/M、C/L など) に関係なく、ボタン操作ステータスを取得します。

略号 F71	フィールド端子 SC200 拡張フィールド端子1	略号 F71
-----------	-----------------------------	-----------



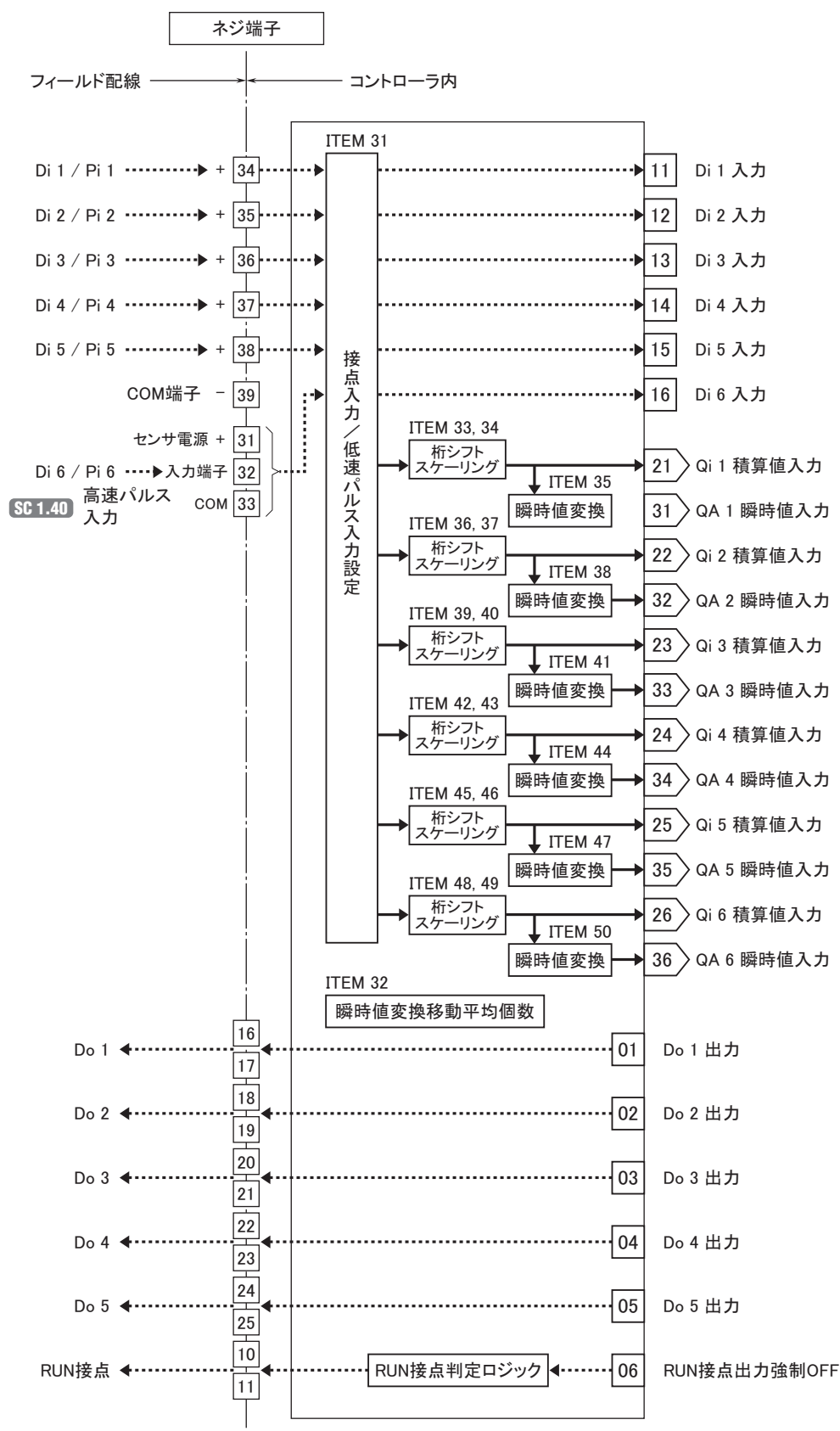
注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

GROUP [04] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	12	MD: 12	拡張フィールド端子1 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Pv 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Pv 2 入力値
13	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 1 入力値
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
15	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	Ai 3 入力値
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	26: NNN.NN	Ai 4 入力値
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	27: NNN.NN	Mv 1 チェック入力値
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	28: NNN.NN	Mv 2 チェック入力値
19	△◎	± 320.00Unit	29: NNN.NNUnit	Pv 1 入力実量表示値
20	△◎	± 320.00Unit	30: NNN.NNUnit	Pv 2 入力実量表示値
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	MV1: NNN.NN	Mv 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	MV2: NNN.NN	Mv 2 出力値
23	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1: NNN.NN	Ao 1 出力値
24	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子				
★ 25	△	GGNN	M1#: 0225	Mv 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 26	△	GGNN	M2#: 0225	Mv 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 27	△	GGNN	A1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 28	△	GGNN	A2#: 0225	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
PV/MV 設定				
★ 30	△	-15.00 ~ 115.00%	PH1: NNN.NN	Pv 1 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 31	△	-15.00 ~ 115.00%	PL1: NNN.NN	Pv 1 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 32	△	-15.00 ~ 115.00%	PH2: NNN.NN	Pv 2 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 33	△	-15.00 ~ 115.00%	PL2: NNN.NN	Pv 2 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 34	△	0.00 ~ 115.00%	ML1: NNN.NN	Mv 1 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 35	△	0.00 ~ 115.00%	ML2: NNN.NN	Mv 2 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 36	△	MM	TP1: MM	Pv 1 入力タイプ設定 [MM: 入力タイプ番号] 12: S 19: Pt100 (JIS '97, IEC) 0: -10~10 V 6: K 13: C 20: Pt100 (JIS '89) 1: -1~1 V 7: E 14: N 21: JPt100 (JIS '89) 2: 0~10 V 8: J 15: U 22: Pt50 (JIS '81) 3: 1~5 V 9: T 16: L 23: Ni100 4: 0~1 V 10: B 17: P 24: MS 5: 4~20 mA 11: R 18: PR 25: DS (Pv 1 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 37 ~ 39 を設定します)
★ 37	△	-272.0 ~ 3000.0	HT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ上限設定値
★ 38	△	-272.0 ~ 3000.0	LT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ下限設定値
★ 39	△	0, 1	CJ1: N	Pv 1 冷接点補償 (0: なし, 1: あり)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 40	△	MM	TP2: MM	Pv 2 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 2 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 41 ~ 43 を設定します)
★ 41	△	-272.0 ~ 3000.0	HT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ上限設定値
★ 42	△	-272.0 ~ 3000.0	LT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ下限設定値
★ 43	△	0, 1	CJ2: N	Pv 2 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
44	△◎	0, 1	11: N	Pv 1 エラー接点出力値
45	△◎	0, 1	12: N	Pv 2 エラー接点出力値
46	△◎	0, 1	13: N	Mv 1 エラー接点出力値
47	△◎	0, 1	14: N	Mv 2 エラー接点出力値
アナログ出力ゼロ・スパン調整				
★ 50	△	± 115.00%	PZ1: <u>0.00</u>	Pv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 51	△	± 3.2000	PS1: <u>1.0000</u>	Pv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 52	△	± 115.00%	PZ2: <u>0.00</u>	Pv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 53	△	± 3.2000	PS2: <u>1.0000</u>	Pv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 54	△	± 115.00%	MZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 55	△	± 3.2000	MS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 56	△	± 115.00%	MZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 57	△	± 3.2000	MS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 58	△	± 115.00%	IZ1: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 59	△	± 3.2000	IS1: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 60	△	± 115.00%	IZ2: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 61	△	± 3.2000	IS2: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 62	△	± 115.00%	IZ3: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 63	△	± 3.2000	IS3: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 64	△	± 115.00%	IZ4: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 65	△	± 3.2000	IS4: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 66	△	± 115.00%	CZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 67	△	± 3.2000	CS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 68	△	± 115.00%	CZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 69	△	± 3.2000	CS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 70	△	± 115.00%	OZ1: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 71	△	± 3.2000	OS1: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 72	△	± 115.00%	OZ2: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 73	△	± 3.2000	OS2: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)

略号	フィールド端子	略号
F71	SC200 拡張フィールド端子2	F71



注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

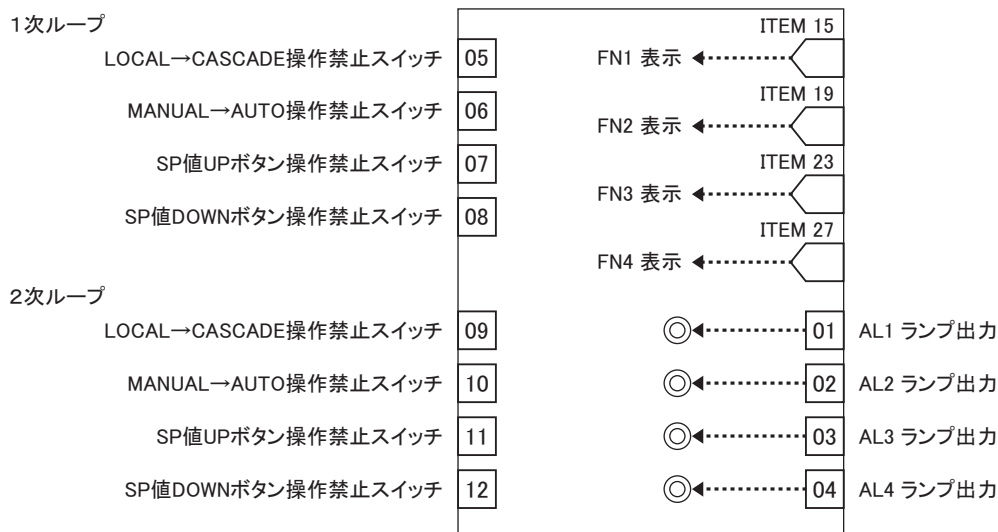
GROUP [05] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD: 13	拡張フィールド端子2 (形式)
接点入力値表示				
11	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	11: N または 21: NNNN	Di 1 入力値 または Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
12	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	12: N または 22: NNNN	Di 2 入力値 または Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
13	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	13: N または 23: NNNN	Di 3 入力値 または Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
14	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	14: N または 24: NNNN	Di 4 入力値 または Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
15	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	15: N または 25: NNNN	Di 5 入力値 または Qi 5 積算値表示 (単位: カウント)
16	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	16: N または 26: NNNN	Di 6 入力値 または Qi 6 積算値表示 (単位: カウント)
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	32: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
19	△◎	-15.00 ~ 115.00%	33: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
20	△◎	-15.00 ~ 115.00%	34: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	35: NNN.NN	QA 5 瞬時値表示
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 6 瞬時値表示
接点出力値表示				
23	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
24	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
25	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
26	△◎	0, 1	04: N	Do 4 出力値
27	△◎	0, 1	05: N	Do 5 出力値
28	△◎	0, 1	06: N	RUN 接点出力強制 OFF (1: OFF)
パルス入力設定				
★ 31	△		PD: NNNNN	接点・パルス選択 (0: Di、1: Pi) (10 ⁰ : Di 1、10 ¹ : Di 2、10 ² : Di 3、10 ³ : Di 4、10 ⁴ : Di 5) (注 1) Di 6 は ITEM 52 で設定します
★ 32	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数 (QA1 ~ QA5)
★ 33	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 34	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 36	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 37	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 38	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 39	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 40	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 41	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 42	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 43	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 44	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D5: <u>-1</u>	Qi 5 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 46	△	0.0000 ~ 6.4000	S5: N.NNNN	Qi 5 スケーリング係数
★ 47	△	0.00 ~ 10000.00	K5: NNNNN.NN	QA 5 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 48	△	1, 0, -1, -2, -3	D6: <u>-1</u>	Qi 6 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 49	△	0.0000 ~ 6.4000	S6: N.NNNN	Qi 6 スケーリング係数
★ 50	△	0.00 ~ 10000.00	K6: NNNNN.NN	QA 6 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
接点出力設定				
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード SC 1.10 (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)
高速パルス入力設定				
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択 (0 : Di 6、1 : Pi 6) SC 1.40

(注 1) ITEM 31: 接点・パルス入力選択で、「接点」を選択したときパルスの値は不定値、「パルス」を選択したとき接点の値は不定値となります。

略号 F91	フィールド端子 SC200W フィールド端子	略号 F91
------------------	----------------------------------	------------------



GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー) 拡張フィールド端子1と2のエラーを含む
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
表示設定				
★ 11	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 13	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 15	△	GGNN	1F: <u>3121</u>	FN1 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H: <u>15000</u>	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L: <u>0</u>	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: <u>1</u>	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H: NNNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L: NNNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H: NNNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L: NNNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H: NNNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L: NNNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)

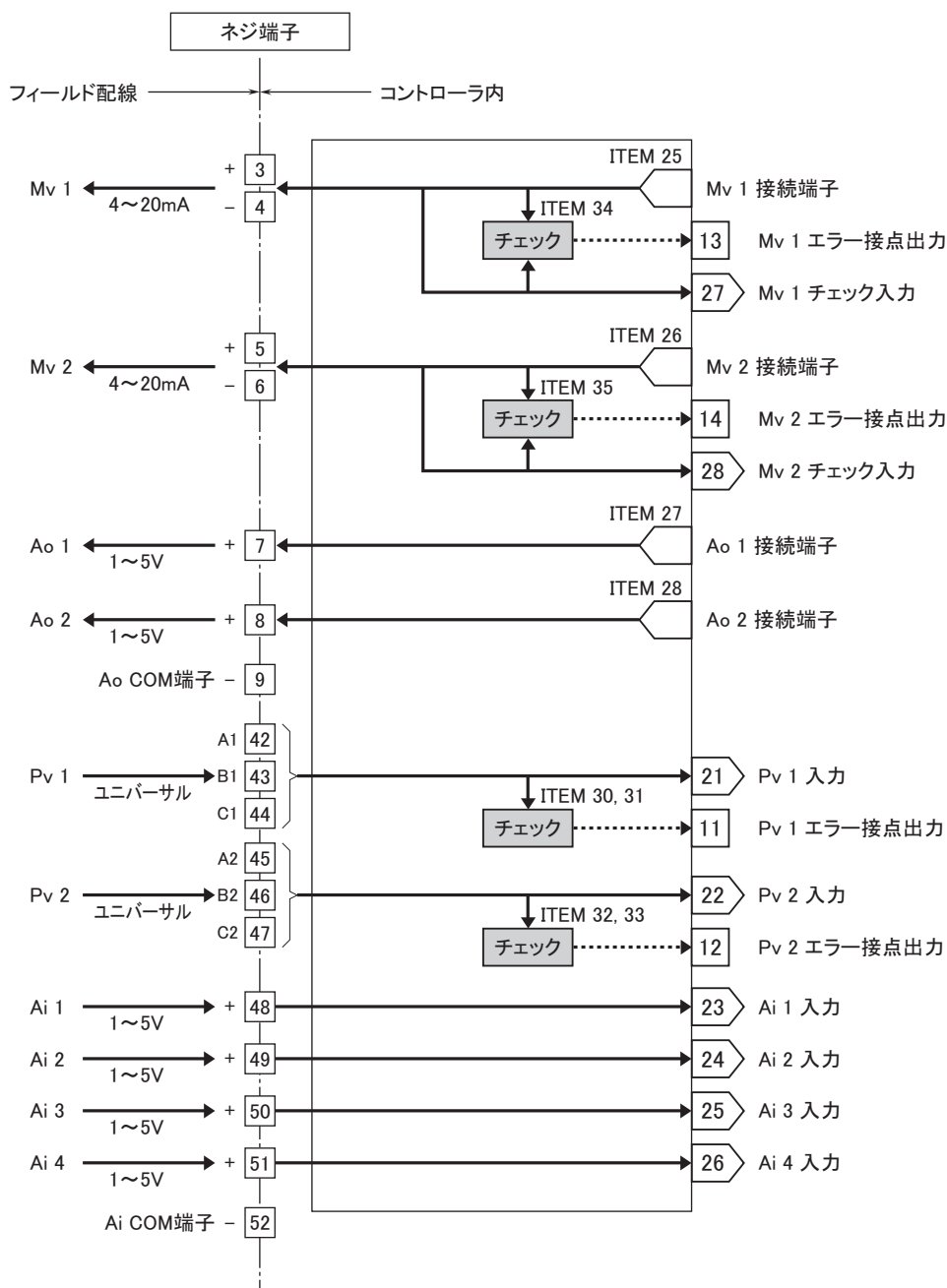
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 31	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 32	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 33	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 34	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
★ 35	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 36	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 37	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 38	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
39	△◎	0, 1	01: N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0, 1	02: N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0, 1	03: N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0, 1	04: N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 44	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 45	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 46	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
操作設定 (注 1)				
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
共通				
61	△	0, 1	21: 0	SP 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
62	△	0, 1	22: 0	SP 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
63	△	0, 1	23: 0	MV 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
64	△	0, 1	24: 0	MV 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
★ 71	△	10 ～ 100s/100%	ST: 40	SP アップ・ダウン時間
★ 72	△	10 ～ 100s/100%	ST: 40	MV アップ・ダウン時間

(注 1) Modbus で接続されている上位機器からの操作は、操作設定に関係なく操作可能です。

(注 2) ITEM 61 ～ 64 : 処理周期の 2 倍以上のボタン操作を行なってください。

(注 3) ITEM 61 ～ 64 : 画面機能 (A/M、C/L など) に関係なく、ボタン操作ステータスを取得します。

略号 F91	フィールド端子 SC200W 拡張フィールド端子1	略号 F91
-----------	------------------------------	-----------



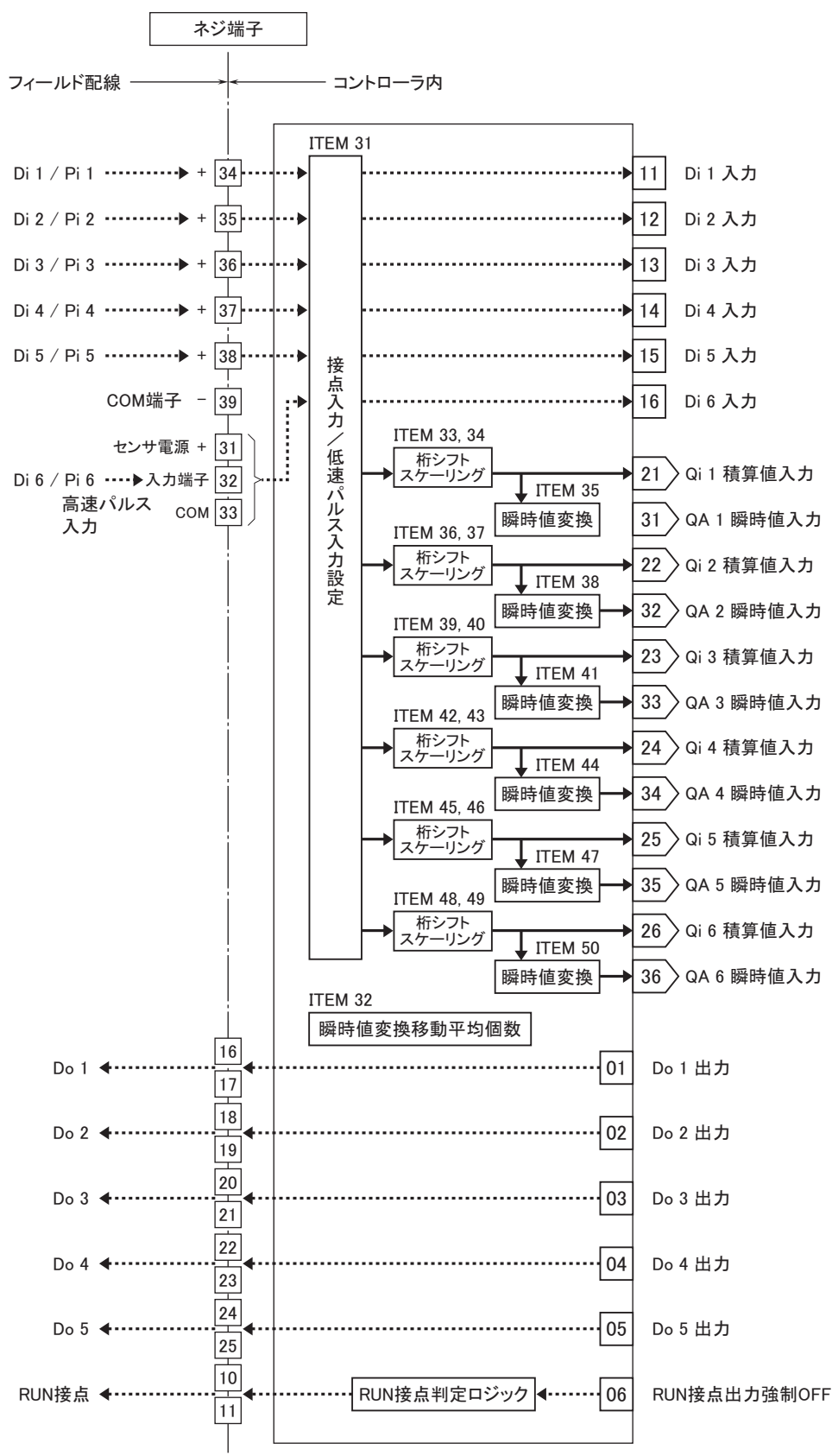
注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

GROUP [04] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	12	MD: 12	拡張フィールド端子1 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Pv 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Pv 2 入力値
13	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 1 入力値
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
15	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	Ai 3 入力値
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	26: NNN.NN	Ai 4 入力値
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	27: NNN.NN	Mv 1 チェック入力値
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	28: NNN.NN	Mv 2 チェック入力値
19	△◎	± 320.00Unit	29: NNN.NNUnit	Pv 1 入力実量表示値
20	△◎	± 320.00Unit	30: NNN.NNUnit	Pv 2 入力実量表示値
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	MV1: NNN.NN	Mv 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	MV2: NNN.NN	Mv 2 出力値
23	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1: NNN.NN	Ao 1 出力値
24	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子				
★ 25	△	GGNN	M1#: 0225	Mv 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 26	△	GGNN	M2#: 0225	Mv 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 27	△	GGNN	A1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 28	△	GGNN	A2#: 0225	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
PV/MV 設定				
★ 30	△	-15.00 ~ 115.00%	PH1: NNN.NN	Pv 1 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 31	△	-15.00 ~ 115.00%	PL1: NNN.NN	Pv 1 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 32	△	-15.00 ~ 115.00%	PH2: NNN.NN	Pv 2 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 33	△	-15.00 ~ 115.00%	PL2: NNN.NN	Pv 2 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 34	△	0.00 ~ 115.00%	ML1: NNN.NN	Mv 1 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 35	△	0.00 ~ 115.00%	ML2: NNN.NN	Mv 2 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 36	△	MM	TP1: MM	Pv 1 入力タイプ設定 [MM: 入力タイプ番号] 12: S 19: Pt100 (JIS '97, IEC) 0: -10~10 V 6: K 13: C 20: Pt100 (JIS '89) 1: -1~1 V 7: E 14: N 21: JPt100 (JIS '89) 2: 0~10 V 8: J 15: U 22: Pt50 (JIS '81) 3: 1~5 V 9: T 16: L 23: Ni100 4: 0~1 V 10: B 17: P 24: MS 5: 4~20 mA 11: R 18: PR 25: DS (Pv 1 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 37 ~ 39 を設定します)
★ 37	△	-272.0 ~ 3000.0	HT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ上限設定値
★ 38	△	-272.0 ~ 3000.0	LT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ下限設定値
★ 39	△	0, 1	CJ1: N	Pv 1 冷接点補償 (0: なし, 1: あり)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 40	△	MM	TP2: MM	Pv 2 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 2 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 41 ~ 43 を設定します)
★ 41	△	-272.0 ~ 3000.0	HT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ上限設定値
★ 42	△	-272.0 ~ 3000.0	LT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ下限設定値
★ 43	△	0, 1	CJ2: N	Pv 2 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
44	△◎	0, 1	11: N	Pv 1 エラー接点出力値
45	△◎	0, 1	12: N	Pv 2 エラー接点出力値
46	△◎	0, 1	13: N	Mv 1 エラー接点出力値
47	△◎	0, 1	14: N	Mv 2 エラー接点出力値
アナログ出力ゼロ・スパン調整				
★ 50	△	± 115.00%	PZ1: <u>0.00</u>	Pv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 51	△	± 3.2000	PS1: <u>1.0000</u>	Pv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 52	△	± 115.00%	PZ2: <u>0.00</u>	Pv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 53	△	± 3.2000	PS2: <u>1.0000</u>	Pv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 54	△	± 115.00%	MZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 55	△	± 3.2000	MS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 56	△	± 115.00%	MZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 57	△	± 3.2000	MS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 58	△	± 115.00%	IZ1: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 59	△	± 3.2000	IS1: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 60	△	± 115.00%	IZ2: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 61	△	± 3.2000	IS2: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 62	△	± 115.00%	IZ3: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 63	△	± 3.2000	IS3: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 64	△	± 115.00%	IZ4: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 65	△	± 3.2000	IS4: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 66	△	± 115.00%	CZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 67	△	± 3.2000	CS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 68	△	± 115.00%	CZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 69	△	± 3.2000	CS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 70	△	± 115.00%	OZ1: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 71	△	± 3.2000	OS1: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 72	△	± 115.00%	OZ2: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 73	△	± 3.2000	OS2: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)

略号	フィールド端子	略号
F91	SC200W 拡張フィールド端子2	F91



注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

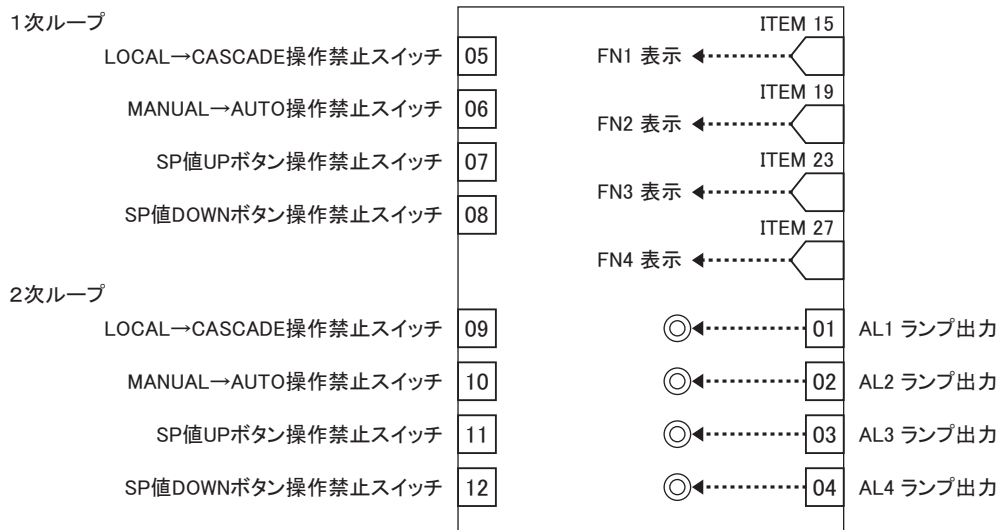
GROUP [05] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD: 13	拡張フィールド端子2 (形式)
接点入力値表示				
11	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	11: N または 21: NNNN	Di 1 入力値 または Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
12	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	12: N または 22: NNNN	Di 2 入力値 または Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
13	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	13: N または 23: NNNN	Di 3 入力値 または Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
14	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	14: N または 24: NNNN	Di 4 入力値 または Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
15	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	15: N または 25: NNNN	Di 5 入力値 または Qi 5 積算値表示 (単位: カウント)
16	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	16: N または 26: NNNN	Di 6 入力値 または Qi 6 積算値表示 (単位: カウント)
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	32: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
19	△◎	-15.00 ~ 115.00%	33: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
20	△◎	-15.00 ~ 115.00%	34: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	35: NNN.NN	QA 5 瞬時値表示
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 6 瞬時値表示
接点出力値表示				
23	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
24	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
25	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
26	△◎	0, 1	04: N	Do 4 出力値
27	△◎	0, 1	05: N	Do 5 出力値
28	△◎	0, 1	06: N	RUN 接点出力強制 OFF (1: OFF)
パルス入力設定				
★ 31	△		PD: NNNNN	接点・パルス選択 (0: Di、1: Pi) (10 ⁰ : Di 1、10 ¹ : Di 2、10 ² : Di 3、10 ³ : Di 4、10 ⁴ : Di 5) (注 1) Di 6 は ITEM 52 で設定します
★ 32	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数
★ 33	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 34	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 36	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 37	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 38	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 39	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 40	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 41	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 42	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 43	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 44	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D5: <u>-1</u>	Qi 5 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 46	△	0.0000 ~ 6.4000	S5: N.NNNN	Qi 5 スケーリング係数
★ 47	△	0.00 ~ 10000.00	K5: NNNNN.NN	QA 5 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 48	△	1, 0, -1, -2, -3	D6: <u>-1</u>	Qi 6 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 49	△	0.0000 ~ 6.4000	S6: N.NNNN	Qi 6 スケーリング係数
★ 50	△	0.00 ~ 10000.00	K6: NNNNN.NN	QA 6 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
接点出力設定				
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)
高速パルス入力設定				
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択 (0 : Di 6、1 : Pi 6)

(注 1) ITEM 31: 接点・パルス入力選択で、「接点」を選択したときパルスの値は不定値、「パルス」を選択したとき接点の値は不定値となります。

略号 F72	フィールド端子 SC110 フィールド端子	略号 F72
------------------	---------------------------------	------------------



GROUP [01] ★：設定データ

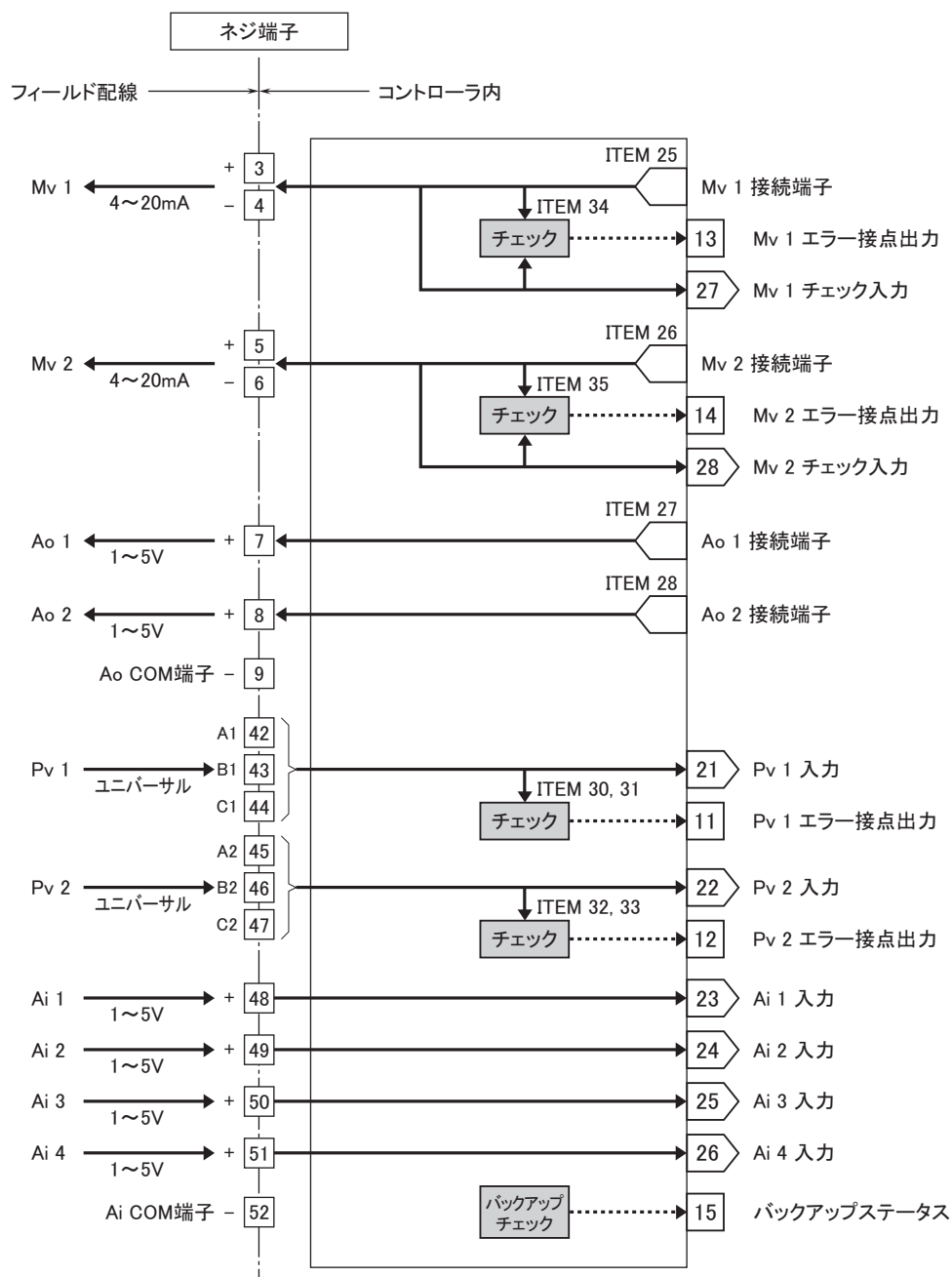
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー) 拡張フィールド端子1と2のエラーを含む
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
表示設定				
★ 11	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 13	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 15	△	GGNN	1F: <u>3121</u>	FN1 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H: <u>15000</u>	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L: <u>0</u>	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: <u>1</u>	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H: NNNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L: NNNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H: NNNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L: NNNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H: NNNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L: NNNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 31	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 32	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 33	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 34	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
★ 35	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 36	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 37	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 38	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
39	△◎	0, 1	01: N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0, 1	02: N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0, 1	03: N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0, 1	04: N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 44	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 45	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 46	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
操作設定				
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
共通				
61	△	0, 1	21: 0	SP 値 UP ボタン操作ステータス (0 : OFF、1 : ON) SC 1.70
62	△	0, 1	22: 0	SP 値 DOWN ボタン操作ステータス (0 : OFF、1 : ON) SC 1.70
63	△	0, 1	23: 0	MV 値 UP ボタン操作ステータス (0 : OFF、1 : ON) SC 1.70
64	△	0, 1	24: 0	MV 値 DOWN ボタン操作ステータス (0 : OFF、1 : ON) SC 1.70
★ 71	△	10 ～ 100s/100%	ST: 40	SP アップ・ダウン時間 SC 1.70
★ 72	△	10 ～ 100s/100%	ST: 40	MV アップ・ダウン時間 SC 1.70

(注 1) ITEM 61 ～ 64 : 処理周期の 2 倍以上のボタン操作を行なってください。

(注 2) ITEM 61 ～ 64 : 画面機能 (A/M、C/L など) に関係なく、ボタン操作ステータスを取得します。

略号	フィールド端子	略号
F72	SC110 拡張フィールド端子1	F72



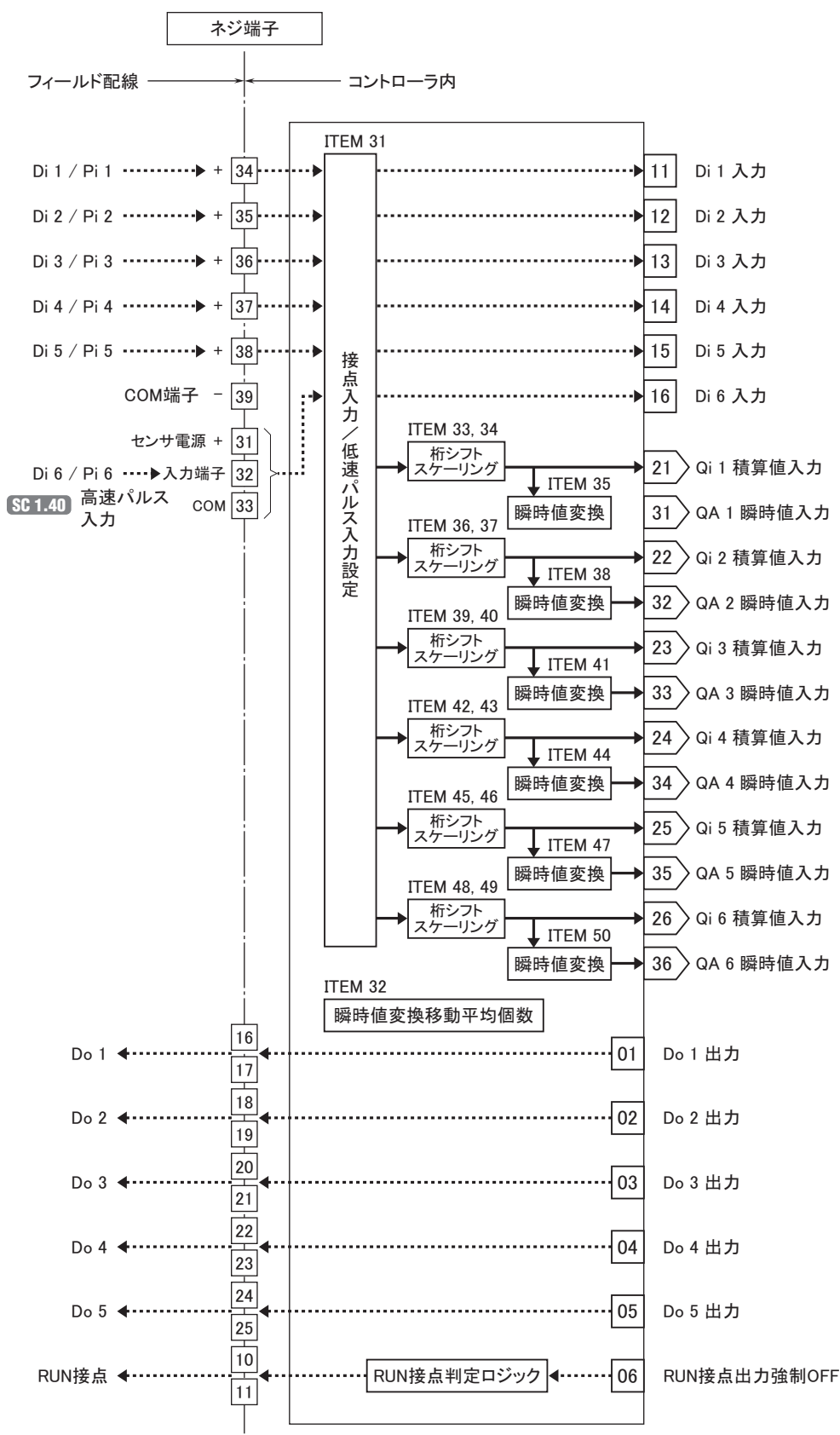
注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

GROUP [04] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	12	MD: 12	拡張フィールド端子1 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Pv 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Pv 2 入力値
13	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 1 入力値
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
15	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	Ai 3 入力値
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	26: NNN.NN	Ai 4 入力値
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	27: NNN.NN	Mv 1 チェック入力値
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	28: NNN.NN	Mv 2 チェック入力値
19	△◎	± 320.00Unit	29: NNN.NNUnit	Pv 1 入力実量表示値
20	△◎	± 320.00Unit	30: NNN.NNUnit	Pv 2 入力実量表示値
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	MV1: NNN.NN	Mv 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	MV2: NNN.NN	Mv 2 出力値
23	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1: NNN.NN	Ao 1 出力値
24	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子				
★ 25	△	GGNN	M1#: 0225	Mv 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 26	△	GGNN	M2#: 0225	Mv 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 27	△	GGNN	A1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	GGNN	A2#: 0225	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
PV/MV 設定				
★ 30	△	-15.00 ~ 115.00%	PH1: NNN.NN	Pv 1 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 31	△	-15.00 ~ 115.00%	PL1: NNN.NN	Pv 1 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 32	△	-15.00 ~ 115.00%	PH2: NNN.NN	Pv 2 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 33	△	-15.00 ~ 115.00%	PL2: NNN.NN	Pv 2 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 34	△	0.00 ~ 115.00%	ML1: NNN.NN	Mv 1 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 35	△	0.00 ~ 115.00%	ML2: NNN.NN	Mv 2 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 36	△	MM	TP1: MM	Pv 1 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 1 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 37 ~ 39 を設定します)
★ 37	△	-272.0 ~ 3000.0	HT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ上限設定値
★ 38	△	-272.0 ~ 3000.0	LT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ下限設定値
★ 39	△	0, 1	CJ1: N	Pv 1 冷接点補償 (0 : なし, 1 : あり)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 40	△	MM	TP2: MM	Pv 2 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 2 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 41 ~ 43 を設定します)
★ 41	△	-272.0 ~ 3000.0	HT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ上限設定値
★ 42	△	-272.0 ~ 3000.0	LT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ下限設定値
★ 43	△	0, 1	CJ2: N	Pv 2 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
44	△◎	0, 1	11: N	Pv 1 エラー接点出力値
45	△◎	0, 1	12: N	Pv 2 エラー接点出力値
46	△◎	0, 1	13: N	Mv 1 エラー接点出力値
47	△◎	0, 1	14: N	Mv 2 エラー接点出力値
アナログ出力ゼロ・スパン調整				
★ 50	△	± 115.00%	PZ1: <u>0.00</u>	Pv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 51	△	± 3.2000	PS1: <u>1.0000</u>	Pv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 52	△	± 115.00%	PZ2: <u>0.00</u>	Pv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 53	△	± 3.2000	PS2: <u>1.0000</u>	Pv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 54	△	± 115.00%	MZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 55	△	± 3.2000	MS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 56	△	± 115.00%	MZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 57	△	± 3.2000	MS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 58	△	± 115.00%	IZ1: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 59	△	± 3.2000	IS1: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 60	△	± 115.00%	IZ2: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 61	△	± 3.2000	IS2: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 62	△	± 115.00%	IZ3: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 63	△	± 3.2000	IS3: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 64	△	± 115.00%	IZ4: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 65	△	± 3.2000	IS4: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 66	△	± 115.00%	CZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 67	△	± 3.2000	CS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 68	△	± 115.00%	CZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 69	△	± 3.2000	CS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 70	△	± 115.00%	OZ1: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 71	△	± 3.2000	OS1: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 72	△	± 115.00%	OZ2: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 73	△	± 3.2000	OS2: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
バックアップ (Mv 2)				
80	△	-15.00 ~ 115.00%	MVB: NNN.NN	バックアップ MV 値
★ 81	△	0, 1	BSW: NNN.NN	自動切換 (0 : 無効、1 : 有効)
★ 82	△	0, 1	BMD: NNN.NN	バックアップ出力モード (0 : TRACE BACK、1 : PRESET VALUE)
★ 83	△	0.00 ~ 115.00% /s	BVL: NNN.NN	出力変化率制限 (0.00 : なし)
★ 84	△	-15.00 ~ 115.00%	BFV: NNN.NN	プリセット値 (ITEM 82 が PRESET VALUE の時の値)
★ 85	△	0, 1	BBL: N	バックアップ復帰モード SC 1.20 (0 : バランスレス復帰モード、1 : バランス復帰モード)
★ 86	△	2, 3	BGR: N	バックアップ対象グループ SC 1.20
87	△	0, 1	15: N	バックアップステータス (0 : 通常、1 : バックアップ中) SC 1.50

略号	フィールド端子	略号
F72	SC110 拡張フィールド端子2	F72



注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

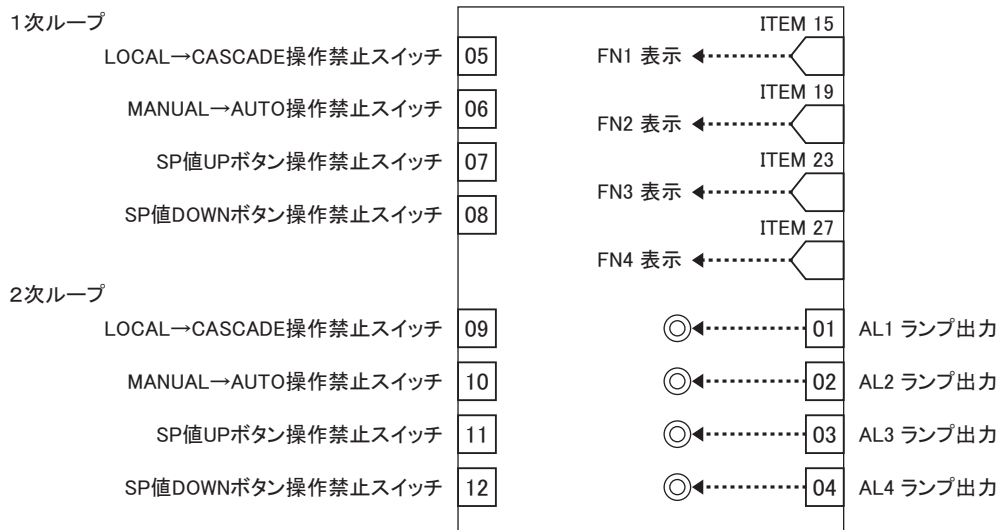
GROUP [05] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD: 13	拡張フィールド端子2 (形式)
接点入力値表示				
11	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	11: N または 21: NNNN	Di 1 入力値 または Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
12	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	12: N または 22: NNNN	Di 2 入力値 または Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
13	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	13: N または 23: NNNN	Di 3 入力値 または Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
14	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	14: N または 24: NNNN	Di 4 入力値 または Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
15	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	15: N または 25: NNNN	Di 5 入力値 または Qi 5 積算値表示 (単位: カウント)
16	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	16: N または 26: NNNN	Di 6 入力値 または Qi 6 積算値表示 (単位: カウント)
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	32: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
19	△◎	-15.00 ~ 115.00%	33: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
20	△◎	-15.00 ~ 115.00%	34: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	35: NNN.NN	QA 5 瞬時値表示
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 6 瞬時値表示
接点出力値表示				
23	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
24	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
25	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
26	△◎	0, 1	04: N	Do 4 出力値
27	△◎	0, 1	05: N	Do 5 出力値
28	△◎	0, 1	06: N	RUN 接点出力強制 OFF (1: OFF)
パルス入力設定				
★ 31	△		PD: NNNNN	接点・パルス選択 (0: Di、1: Pi) (10 ⁰ : Di 1、10 ¹ : Di 2、10 ² : Di 3、10 ³ : Di 4、10 ⁴ : Di 5) (注 1) Di 6 は ITEM 52 で設定します
★ 32	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数 (QA1 ~ QA5)
★ 33	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 34	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 36	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 37	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 38	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 39	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 40	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 41	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 42	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 43	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 44	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D5: <u>-1</u>	Qi 5 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 46	△	0.0000 ~ 6.4000	S5: N.NNNN	Qi 5 スケーリング係数
★ 47	△	0.00 ~ 10000.00	K5: NNNNN.NN	QA 5 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 48	△	1, 0, -1, -2, -3	D6: <u>-1</u>	Qi 6 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 49	△	0.0000 ~ 6.4000	S6: N.NNNN	Qi 6 スケーリング係数
★ 50	△	0.00 ~ 10000.00	K6: NNNNN.NN	QA 6 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
接点出力設定				
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)
高速パルス入力設定				
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択 (0 : Di 6、1 : Pi 6) SC 1.40

(注 1) ITEM 31: 接点・パルス入力選択で、「接点」を選択したときパルスの値は不定値、「パルス」を選択したとき接点の値は不定値となります。

略号	フィールド端子	略号
F73	SC210 フィールド端子	F73



GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー) 拡張フィールド端子1と2のエラーを含む
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
表示設定				
★ 11	△	2, 3	GR: 2	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0: ± 115%、1: -15 ~ 115%)
★ 13	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0: ± 115%、1: -15 ~ 115%)
★ 15	△	GGNN	1F: 3121	FN1 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H: 15000	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L: 0	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: 1	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H: NNNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L: NNNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H: NNNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L: NNNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H: NNNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L: NNNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)

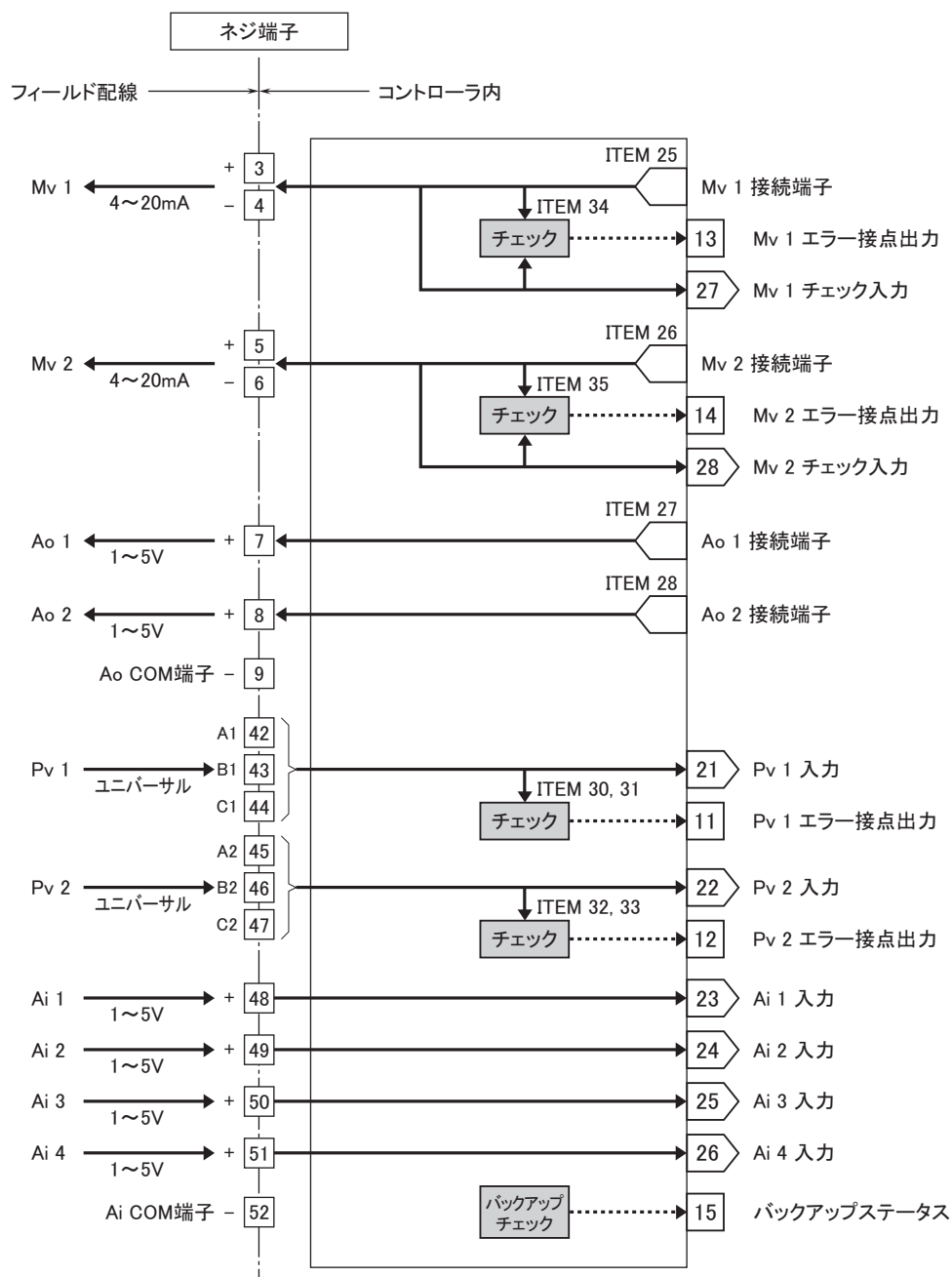
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 31	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 32	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 33	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 34	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
★ 35	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 36	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 37	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 38	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
39	△◎	0, 1	01: N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0, 1	02: N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0, 1	03: N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0, 1	04: N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 44	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 45	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 46	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
操作設定 (注 1)				
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
共通				
61	△	0, 1	21: 0	SP 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
62	△	0, 1	22: 0	SP 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
63	△	0, 1	23: 0	MV 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
64	△	0, 1	24: 0	MV 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON) SC 1.70
★ 71	△	10 ~ 100s/100%	ST: 40	SP アップ・ダウン時間 SC 1.70
★ 72	△	10 ~ 100s/100%	ST: 40	MV アップ・ダウン時間 SC 1.70

(注 1) Modbus で接続されている上位機器からの操作は、操作設定に関係なく操作可能です。

(注 2) ITEM 61 ~ 64 : 処理周期の 2 倍以上のボタン操作を行なってください。

(注 3) ITEM 61 ~ 64 : 画面機能 (A/M、C/L など) に関係なく、ボタン操作ステータスを取得します。

略号	フィールド端子	略号
F73	SC210 拡張フィールド端子1	F73



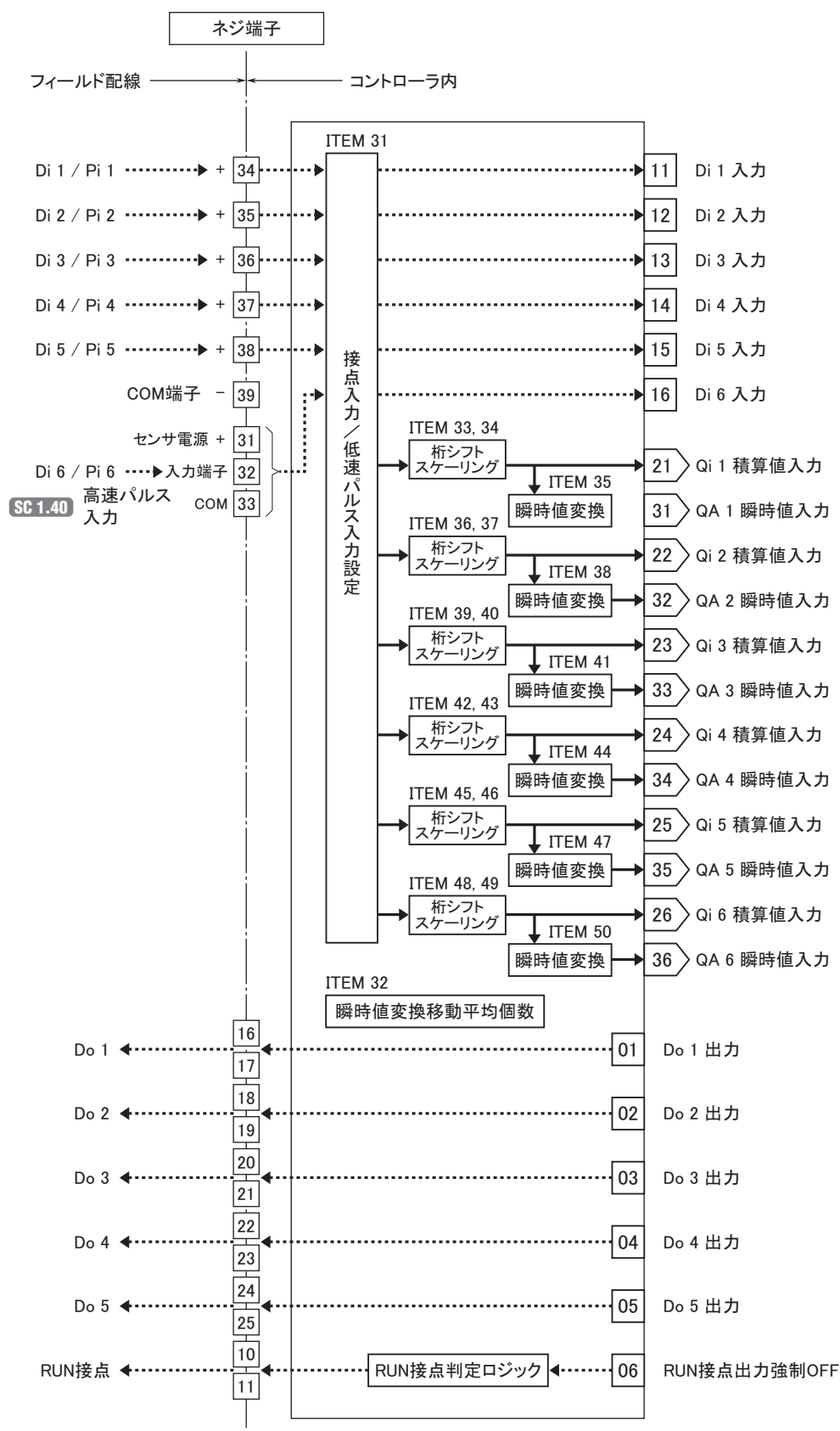
注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

GROUP [04] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	12	MD: 12	拡張フィールド端子1 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Pv 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Pv 2 入力値
13	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 1 入力値
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
15	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	Ai 3 入力値
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	26: NNN.NN	Ai 4 入力値
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	27: NNN.NN	Mv 1 チェック入力値
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	28: NNN.NN	Mv 2 チェック入力値
19	△◎	± 320.00Unit	29: NNN.NNUnit	Pv 1 入力実量表示値
20	△◎	± 320.00Unit	30: NNN.NNUnit	Pv 2 入力実量表示値
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	MV1: NNN.NN	Mv 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	MV2: NNN.NN	Mv 2 出力値
23	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1: NNN.NN	Ao 1 出力値
24	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子				
★ 25	△	GGNN	M1#: 0225	Mv 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 26	△	GGNN	M2#: 0225	Mv 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 27	△	GGNN	A1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	GGNN	A2#: 0225	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
PV/MV 設定				
★ 30	△	-15.00 ~ 115.00%	PH1: NNN.NN	Pv 1 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 31	△	-15.00 ~ 115.00%	PL1: NNN.NN	Pv 1 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 32	△	-15.00 ~ 115.00%	PH2: NNN.NN	Pv 2 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 33	△	-15.00 ~ 115.00%	PL2: NNN.NN	Pv 2 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 34	△	0.00 ~ 115.00%	ML1: NNN.NN	Mv 1 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 35	△	0.00 ~ 115.00%	ML2: NNN.NN	Mv 2 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 36	△	MM	TP1: MM	Pv 1 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 1 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 37 ~ 39 を設定します)
★ 37	△	-272.0 ~ 3000.0	HT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ上限設定値
★ 38	△	-272.0 ~ 3000.0	LT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ下限設定値
★ 39	△	0, 1	CJ1: N	Pv 1 冷接点補償 (0 : なし, 1 : あり)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 40	△	MM	TP2: MM	Pv 2 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 2 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 41 ~ 43 を設定します)
★ 41	△	-272.0 ~ 3000.0	HT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ上限設定値
★ 42	△	-272.0 ~ 3000.0	LT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ下限設定値
★ 43	△	0, 1	CJ2: N	Pv 2 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
44	△◎	0, 1	11: N	Pv 1 エラー接点出力値
45	△◎	0, 1	12: N	Pv 2 エラー接点出力値
46	△◎	0, 1	13: N	Mv 1 エラー接点出力値
47	△◎	0, 1	14: N	Mv 2 エラー接点出力値
アナログ出力ゼロ・スパン調整				
★ 50	△	± 115.00%	PZ1: <u>0.00</u>	Pv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 51	△	± 3.2000	PS1: <u>1.0000</u>	Pv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 52	△	± 115.00%	PZ2: <u>0.00</u>	Pv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 53	△	± 3.2000	PS2: <u>1.0000</u>	Pv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 54	△	± 115.00%	MZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 55	△	± 3.2000	MS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 56	△	± 115.00%	MZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 57	△	± 3.2000	MS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 58	△	± 115.00%	IZ1: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 59	△	± 3.2000	IS1: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 60	△	± 115.00%	IZ2: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 61	△	± 3.2000	IS2: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 62	△	± 115.00%	IZ3: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 63	△	± 3.2000	IS3: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 64	△	± 115.00%	IZ4: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 65	△	± 3.2000	IS4: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 66	△	± 115.00%	CZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 67	△	± 3.2000	CS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 68	△	± 115.00%	CZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 69	△	± 3.2000	CS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 70	△	± 115.00%	OZ1: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 71	△	± 3.2000	OS1: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 72	△	± 115.00%	OZ2: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 73	△	± 3.2000	OS2: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
バックアップ (Mv 2)				
80	△	-15.00 ~ 115.00%	MVB: NNN.NN	バックアップ MV 値
★ 81	△	0, 1	BSW: NNN.NN	自動切換 (0 : 無効、1 : 有効)
★ 82	△	0, 1	BMD: NNN.NN	バックアップ出力モード (0 : TRACE BACK、1 : PRESET VALUE)
★ 83	△	0.00 ~ 115.00% /s	BVL: NNN.NN	出力変化率制限 (0.00 : なし)
★ 84	△	-15.00 ~ 115.00%	BFV: NNN.NN	プリセット値 (ITEM 82 が PRESET VALUE の時の値)
★ 85	△	0, 1	BBL: N	バックアップ復帰モード SC 1.20 (0 : バランスレス復帰モード、1 : バランス復帰モード)
★ 86	△	2, 3	BGR: N	バックアップ対象グループ SC 1.20
87	△	0, 1	15: N	バックアップステータス (0 : 通常、1 : バックアップ中) SC 1.50

略号	フィールド端子	略号
F73	SC210 拡張フィールド端子2	F73



注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

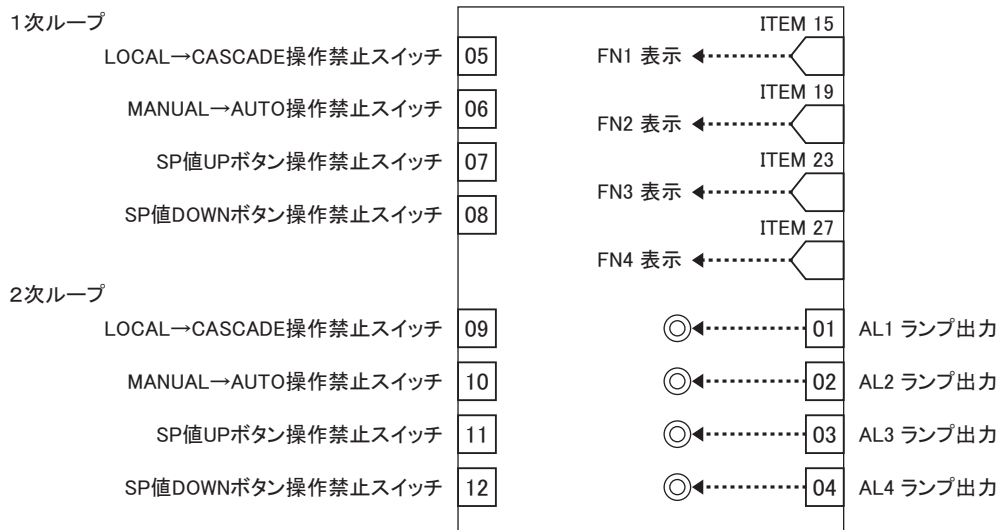
GROUP [05] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD: 13	拡張フィールド端子2 (形式)
接点入力値表示				
11	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	11: N または 21: NNNN	Di 1 入力値 または Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
12	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	12: N または 22: NNNN	Di 2 入力値 または Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
13	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	13: N または 23: NNNN	Di 3 入力値 または Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
14	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	14: N または 24: NNNN	Di 4 入力値 または Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
15	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	15: N または 25: NNNN	Di 5 入力値 または Qi 5 積算値表示 (単位: カウント)
16	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	16: N または 26: NNNN	Di 6 入力値 または Qi 6 積算値表示 (単位: カウント)
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	32: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
19	△◎	-15.00 ~ 115.00%	33: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
20	△◎	-15.00 ~ 115.00%	34: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	35: NNN.NN	QA 5 瞬時値表示
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 6 瞬時値表示
接点出力値表示				
23	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
24	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
25	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
26	△◎	0, 1	04: N	Do 4 出力値
27	△◎	0, 1	05: N	Do 5 出力値
28	△◎	0, 1	06: N	RUN 接点出力強制 OFF (1: OFF)
パルス入力設定				
★ 31	△		PD: NNNNN	接点・パルス選択 (0: Di、1: Pi) (10 ⁰ : Di 1、10 ¹ : Di 2、10 ² : Di 3、10 ³ : Di 4、10 ⁴ : Di 5) (注 1) Di 6 は ITEM 52 で設定します
★ 32	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数 (QA1 ~ QA5)
★ 33	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 34	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 36	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 37	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 38	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 39	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 40	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 41	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 42	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 43	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 44	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D5: <u>-1</u>	Qi 5 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 46	△	0.0000 ~ 6.4000	S5: N.NNNN	Qi 5 スケーリング係数
★ 47	△	0.00 ~ 10000.00	K5: NNNNN.NN	QA 5 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 48	△	1, 0, -1, -2, -3	D6: <u>-1</u>	Qi 6 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 49	△	0.0000 ~ 6.4000	S6: N.NNNN	Qi 6 スケーリング係数
★ 50	△	0.00 ~ 10000.00	K6: NNNNN.NN	QA 6 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
接点出力設定				
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)
高速パルス入力設定				
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択 (0 : Di 6、1 : Pi 6) SC 1.40

(注 1) ITEM 31: 接点・パルス入力選択で、「接点」を選択したときパルスの値は不定値、「パルス」を選択したとき接点の値は不定値となります。

略号	フィールド端子	略号
F93	SC210W フィールド端子	F93



GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー) 拡張フィールド端子1と2のエラーを含む
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
表示設定				
★ 11	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 13	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 15	△	GGNN	1F: <u>3121</u>	FN1 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H: <u>15000</u>	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L: <u>0</u>	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: <u>1</u>	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H: NNNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L: NNNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H: NNNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L: NNNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H: NNNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L: NNNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)

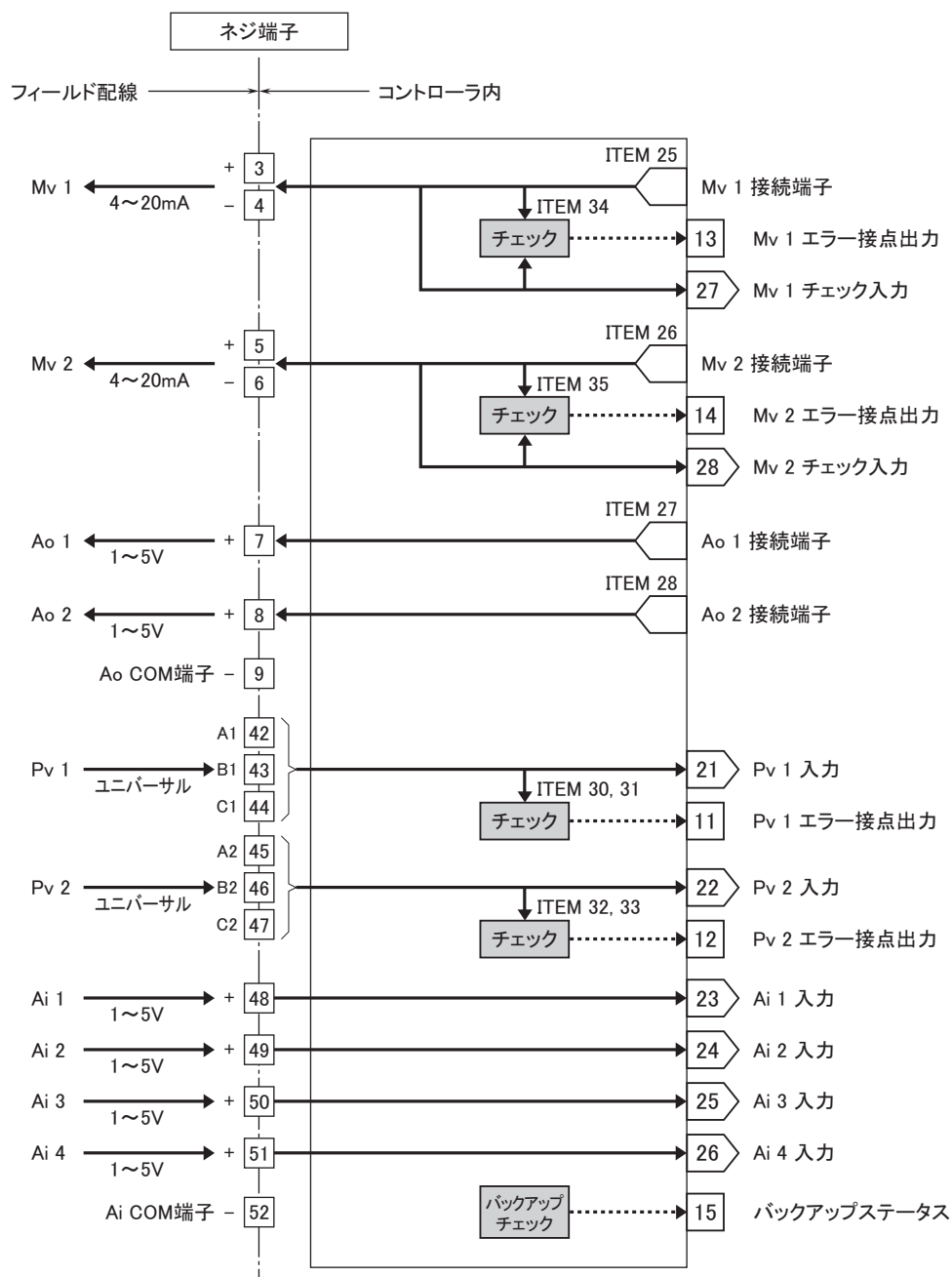
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 31	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 32	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 33	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 34	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
★ 35	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 36	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 37	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 38	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
39	△◎	0, 1	01: N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0, 1	02: N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0, 1	03: N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0, 1	04: N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 44	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 45	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 46	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
操作設定 (注 1)				
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0: 許可、1: 禁止)
共通				
61	△	0, 1	21: 0	SP 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
62	△	0, 1	22: 0	SP 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
63	△	0, 1	23: 0	MV 値 UP ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
64	△	0, 1	24: 0	MV 値 DOWN ボタン操作ステータス (0: OFF、1: ON)
★ 71	△	10 ～ 100s/100%	ST: 40	SP アップ・ダウン時間
★ 72	△	10 ～ 100s/100%	ST: 40	MV アップ・ダウン時間

(注 1) Modbus で接続されている上位機器からの操作は、操作設定に関係なく操作可能です。

(注 2) ITEM 61 ～ 64 : 処理周期の 2 倍以上のボタン操作を行なってください。

(注 3) ITEM 61 ～ 64 : 画面機能 (A/M、C/L など) に関係なく、ボタン操作ステータスを取得します。

略号 F93	フィールド端子 SC210W 拡張フィールド端子1	略号 F93
-----------	------------------------------	-----------



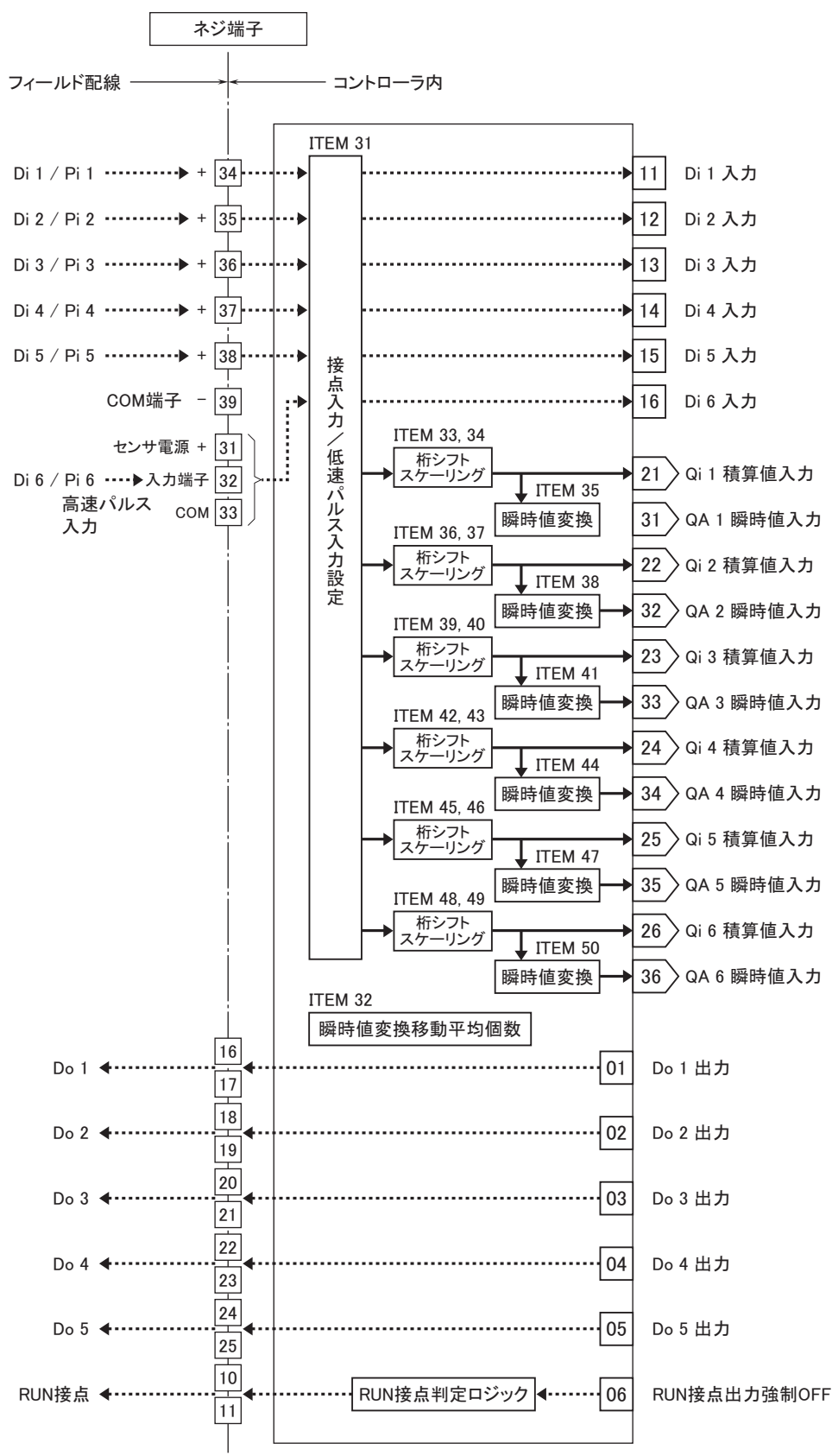
注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

GROUP [04] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	12	MD: 12	拡張フィールド端子1 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Pv 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Pv 2 入力値
13	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 1 入力値
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
15	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	Ai 3 入力値
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	26: NNN.NN	Ai 4 入力値
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	27: NNN.NN	Mv 1 チェック入力値
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	28: NNN.NN	Mv 2 チェック入力値
19	△◎	± 320.00Unit	29: NNN.NNUnit	Pv 1 入力実量表示値
20	△◎	± 320.00Unit	30: NNN.NNUnit	Pv 2 入力実量表示値
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	MV1: NNN.NN	Mv 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	MV2: NNN.NN	Mv 2 出力値
23	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1: NNN.NN	Ao 1 出力値
24	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子				
★ 25	△	GGNN	M1#: 0225	Mv 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 26	△	GGNN	M2#: 0225	Mv 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 27	△	GGNN	A1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 28	△	GGNN	A2#: 0225	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
PV/MV 設定				
★ 30	△	-15.00 ~ 115.00%	PH1: NNN.NN	Pv 1 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 31	△	-15.00 ~ 115.00%	PL1: NNN.NN	Pv 1 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 32	△	-15.00 ~ 115.00%	PH2: NNN.NN	Pv 2 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 33	△	-15.00 ~ 115.00%	PL2: NNN.NN	Pv 2 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 34	△	0.00 ~ 115.00%	ML1: NNN.NN	Mv 1 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 35	△	0.00 ~ 115.00%	ML2: NNN.NN	Mv 2 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 36	△	MM	TP1: MM	Pv 1 入力タイプ設定 [MM: 入力タイプ番号] 12: S 19: Pt100 (JIS '97, IEC) 0: -10-10 V 6: K 13: C 20: Pt100 (JIS '89) 1: -1-1 V 7: E 14: N 21: JPt100 (JIS '89) 2: 0-10 V 8: J 15: U 22: Pt50 (JIS '81) 3: 1-5 V 9: T 16: L 23: Ni100 4: 0-1 V 10: B 17: P 24: MS 5: 4-20 mA 11: R 18: PR 25: DS (Pv 1 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 37 ~ 39 を設定します)
★ 37	△	-272.0 ~ 3000.0	HT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ上限設定値
★ 38	△	-272.0 ~ 3000.0	LT1: NNNN.N	Pv 1 温度レンジ下限設定値
★ 39	△	0, 1	CJ1: N	Pv 1 冷接点補償 (0: なし, 1: あり)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 40	△	MM	TP2: MM	Pv 2 入力タイプ設定 [MM : 入力タイプ番号] 12 : S 19 : Pt100 (JIS '97, IEC) 0 : -10-10 V 6 : K 13 : C 20 : Pt100 (JIS '89) 1 : -1-1 V 7 : E 14 : N 21 : JPt100 (JIS '89) 2 : 0-10 V 8 : J 15 : U 22 : Pt50 (JIS '81) 3 : 1-5 V 9 : T 16 : L 23 : Ni100 4 : 0-1 V 10 : B 17 : P 24 : MS 5 : 4-20 mA 11 : R 18 : PR 25 : DS (Pv 2 入力タイプ設定が 6 ~ 23 のとき ITEM 41 ~ 43 を設定します)
★ 41	△	-272.0 ~ 3000.0	HT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ上限設定値
★ 42	△	-272.0 ~ 3000.0	LT2: NNNN.N	Pv 2 温度レンジ下限設定値
★ 43	△	0, 1	CJ2: N	Pv 2 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
44	△◎	0, 1	11: N	Pv 1 エラー接点出力値
45	△◎	0, 1	12: N	Pv 2 エラー接点出力値
46	△◎	0, 1	13: N	Mv 1 エラー接点出力値
47	△◎	0, 1	14: N	Mv 2 エラー接点出力値
アナログ出力ゼロ・スパン調整				
★ 50	△	± 115.00%	PZ1: <u>0.00</u>	Pv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 51	△	± 3.2000	PS1: <u>1.0000</u>	Pv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 52	△	± 115.00%	PZ2: <u>0.00</u>	Pv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 53	△	± 3.2000	PS2: <u>1.0000</u>	Pv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 54	△	± 115.00%	MZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 55	△	± 3.2000	MS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 56	△	± 115.00%	MZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 57	△	± 3.2000	MS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 58	△	± 115.00%	IZ1: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 59	△	± 3.2000	IS1: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 60	△	± 115.00%	IZ2: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 61	△	± 3.2000	IS2: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 62	△	± 115.00%	IZ3: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 63	△	± 3.2000	IS3: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 64	△	± 115.00%	IZ4: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 65	△	± 3.2000	IS4: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 66	△	± 115.00%	CZ1: <u>0.00</u>	Mv 1 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 67	△	± 3.2000	CS1: <u>1.0000</u>	Mv 1 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 68	△	± 115.00%	CZ2: <u>0.00</u>	Mv 2 チェック入力値ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 69	△	± 3.2000	CS2: <u>1.0000</u>	Mv 2 チェック入力値スパン調整値 (ゲイン)
★ 70	△	± 115.00%	OZ1: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 71	△	± 3.2000	OS1: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 72	△	± 115.00%	OZ2: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 73	△	± 3.2000	OS2: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
バックアップ (Mv 2)				
80	△	-15.00 ~ 115.00%	MVB: NNN.NN	バックアップ MV 値
★ 81	△	0, 1	BSW: NNN.NN	自動切換 (0 : 無効、1 : 有効)
★ 82	△	0, 1	BMD: NNN.NN	バックアップ出力モード (0 : TRACE BACK、1 : PRESET VALUE)
★ 83	△	0.00 ~ 115.00% /s	BVL: NNN.NN	出力変化率制限 (0.00 : なし)
★ 84	△	-15.00 ~ 115.00%	BFV: NNN.NN	プリセット値 (ITEM 82 が PRESET VALUE の時の値)
★ 85	△	0, 1	BBL: N	バックアップ復帰モード (0 : バランスレス復帰モード、1 : バランス復帰モード)
★ 86	△	2, 3	BGR: N	バックアップ対象グループ
87	△	0, 1	15: N	バックアップステータス (0 : 通常、1 : バックアップ中)

略号	フィールド端子	略号
F93	SC210W 拡張フィールド端子2	F93



注) ITEM 02のエラー表示はありません。エラーはGROUP 01(フィールド端子)に表示されます。

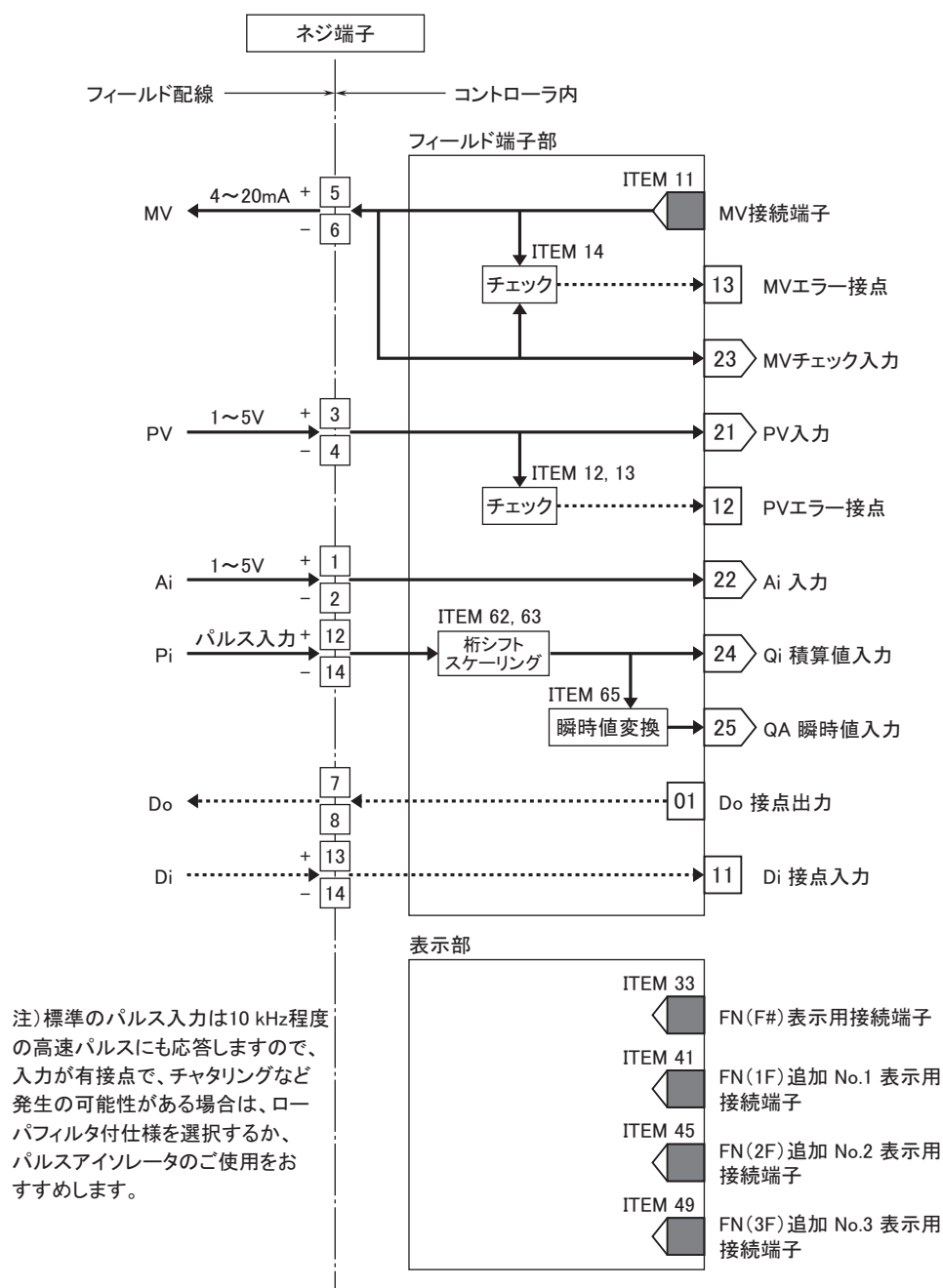
GROUP [05] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ 拡張フィールド端子1と2とも同じモードになります
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD: 13	拡張フィールド端子2 (形式)
接点入力値表示				
11	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	11: N または 21: NNNN	Di 1 入力値 または Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
12	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	12: N または 22: NNNN	Di 2 入力値 または Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
13	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	13: N または 23: NNNN	Di 3 入力値 または Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
14	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	14: N または 24: NNNN	Di 4 入力値 または Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
15	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	15: N または 25: NNNN	Di 5 入力値 または Qi 5 積算値表示 (単位: カウント)
16	△◎	0, 1 または 0 ~ 9999	16: N または 26: NNNN	Di 6 入力値 または Qi 6 積算値表示 (単位: カウント)
17	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
18	△◎	-15.00 ~ 115.00%	32: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
19	△◎	-15.00 ~ 115.00%	33: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
20	△◎	-15.00 ~ 115.00%	34: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	35: NNN.NN	QA 5 瞬時値表示
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 6 瞬時値表示
接点出力値表示				
23	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
24	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
25	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
26	△◎	0, 1	04: N	Do 4 出力値
27	△◎	0, 1	05: N	Do 5 出力値
28	△◎	0, 1	06: N	RUN 接点出力強制 OFF (1: OFF)
パルス入力設定				
★ 31	△		PD: NNNNN	接点・パルス選択 (0: Di、1: Pi) (10 ⁰ : Di 1、10 ¹ : Di 2、10 ² : Di 3、10 ³ : Di 4、10 ⁴ : Di 5) (注 1) Di 6 は ITEM 52 で設定します
★ 32	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数
★ 33	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 34	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 36	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 37	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 38	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 39	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1: x10、0: x1、-1: x0.1、-2: x0.01、-3: x0.001)
★ 40	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 41	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 42	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 43	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 44	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D5: <u>-1</u>	Qi 5 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 46	△	0.0000 ~ 6.4000	S5: N.NNNN	Qi 5 スケーリング係数
★ 47	△	0.00 ~ 10000.00	K5: NNNNN.NN	QA 5 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 48	△	1, 0, -1, -2, -3	D6: <u>-1</u>	Qi 6 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 49	△	0.0000 ~ 6.4000	S6: N.NNNN	Qi 6 スケーリング係数
★ 50	△	0.00 ~ 10000.00	K6: NNNNN.NN	QA 6 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
接点出力設定				
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)
高速パルス入力設定				
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択 (0 : Di 6、1 : Pi 6)

(注 1) ITEM 31: 接点・パルス入力選択で、「接点」を選択したときパルスの値は不定値、「パルス」を選択したとき接点の値は不定値となります。

略号 F06	フィールド端子 ABA フィールド端子	略号 F06
-----------	------------------------	-----------



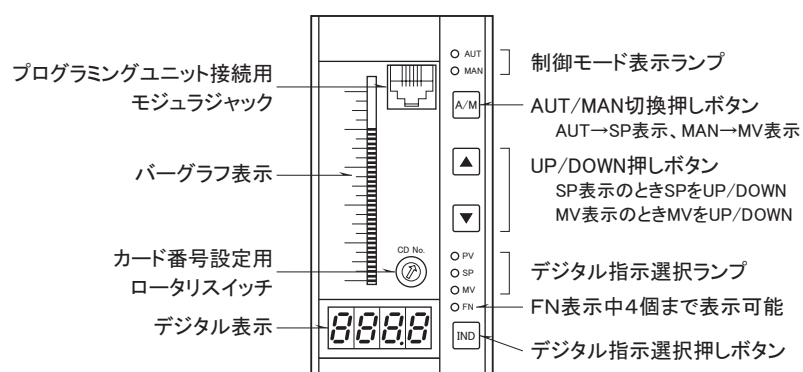
注) 端子ブロックからフィールド側に出力する信号を出力と呼び、フィールド側から入力する信号を入力と呼びます。

GROUP [01] ★ : 設定データ

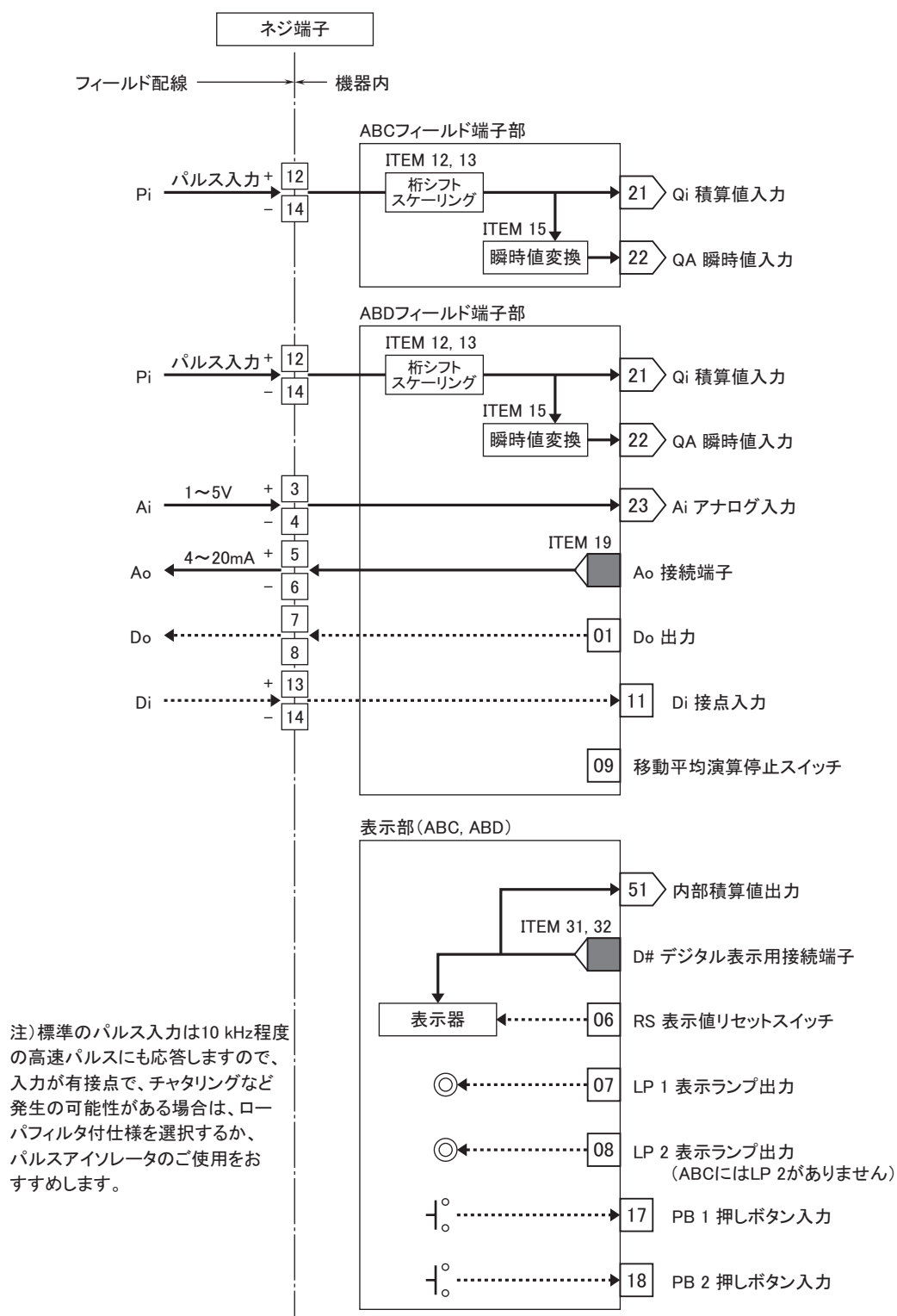
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	MV チェック入力値
06	△◎	0, 1	12: N	PV エラー接点出力値
07	△◎	0, 1	13: N	MV エラー接点出力値
08	△◎	0, 1	11: N	Di 入力値
09	△	0, 1	01: N	Do 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
フィールド端子部				
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 13	△	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 14	△	0.00 ~ 115.00%	ML: NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 21	△	± 115.00%	PZ: <u>0.00</u>	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	PS: <u>1.0000</u>	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	MV チェック入力スパン調整値 (ゲイン)
表示部				
★ 30	△	2, 3	GR: <u>2</u>	表示するループのグループ番号
★ 31	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	SP UP/DOWN 時間 (最初の1秒間は 1/5 の速度で増減)
★ 32	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	MV UP/DOWN 時間 (最初の1秒間は 1/5 の速度で増減)
★ 33	△	GGNN	F#: <u>3121</u>	FN 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 34	△	± 10000	PH: <u>1500</u>	FN レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 35	△	± 10000	PL: <u>0</u>	FN レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 36	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	PD: <u>1</u>	FN 小数点位置 (右から)
追加 FN 表示部				
★ 41	△	GGNN	1F: GGNN	FN 追加 No.1 表示用接続端子
★ 42	△	± 10000	1H: NNNNN	FN 追加 No.1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 43	△	± 10000	1L: NNNNN	FN 追加 No.1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 44	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: N	FN 追加 No.1 小数点位置 (右から)
★ 45	△	GGNN	2F: GGNN	FN 追加 No.2 表示用接続端子
★ 46	△	± 10000	2H: NNNNN	FN 追加 No.2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 47	△	± 10000	2L: NNNNN	FN 追加 No.2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 48	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN 追加 No.2 小数点位置 (右から)
★ 49	△	GGNN	3F: GGNN	FN 追加 No.3 表示用接続端子
★ 50	△	± 10000	3H: NNNNN	FN 追加 No.3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 51	△	± 10000	3L: NNNNN	FN 追加 No.3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 52	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN 追加 No.3 小数点位置 (右から)
★ 53	△	0, 1	M1: N	MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
フィールド端子部の続き				
60	△	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値
61	△	0 ~ 9999	24: NNNN	Qi 積算値表示 (単位 : カウント)
★ 62	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 63	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi スケーリング係数
64	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	QA 瞬時値表示
★ 65	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 66	△	1 ~ 16	KR: NN	瞬時値変換時の移動平均データ個数

[ABA 前面図]



略号 F07	フィールド端子 ABC, ABD フィールド端子	略号 F07
-----------	-----------------------------	-----------



注)標準のパルス入力10 kHz程度の高速パルスにも応答しますので、入力が有接点で、チャタリングなど発生可能性がある場合は、ローパフィルタ付仕様を選択するか、パルスアイソレータのご使用をおすすめします。

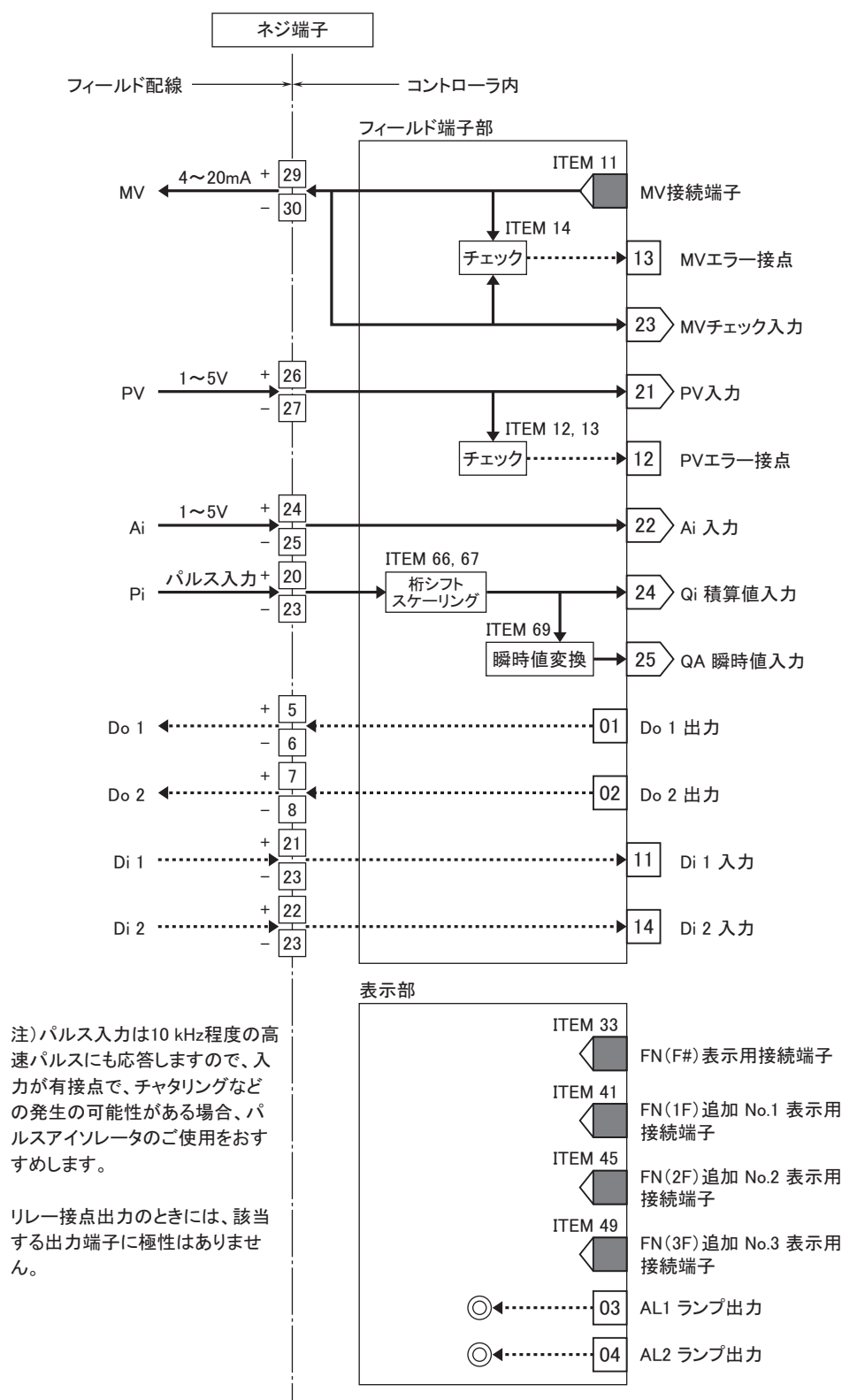
注)端子ブロックからフィールド側に出力する信号を出力と呼び、フィールド側から入力する信号を入力と呼びます。

GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示 11		MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
フィールド端子部				
11	△	0 ~ 9999	21: NNNN	Qi 積算値表示 (単位 : カウント)
★ 12	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 13	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi スケーリング係数
14	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	QA 瞬時値表示
★ 15	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
16	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 入力値
★ 17	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 18	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 19	△	GGNN	AO: <u>0225</u>	Ao 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
20	△	-15.00 ~ 115.00%	AO: NNN.NN	Ao 出力値表示
★ 21	△	± 115.00%	OZ: <u>0.00</u>	Ao ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	OS: <u>1.0000</u>	Ao スパン調整値 (ゲイン)
23	△◎	0, 1	11: N	Di 入力値
24	△	0, 1	01: N	Do 出力値
★ 25	△	1 ~ 16	KR: NN	瞬時値変換時の移動平均データ個数
表示部				
★ 31	△	GGNN	D#: <u>3121</u>	デジタル表示器接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号 (機器間伝送端子から受信するときは NN = 0 に設定します)
★ 32	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	DS: N	表示器入力の記数法 (0: 積算、1: アナログ、2: BCD、3: 16 進数、4: 2 進数、5: 8 進数)
★ 33	△	± 9999	AH: <u>1500</u>	レンジ上限設定値 (アナログ入力専用)
★ 34	△	± 9999	AL: <u>0</u>	レンジ下限設定値 (アナログ入力専用)
★ 35	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	AD: <u>1</u>	小数点位置 (右から)
36	△	± 999999	DI: <u>1234.56</u>	デジタル表示
37	△	0, 1	06: N	RS 表示値リセットスイッチ値
38	△	0, 1	07: N	LP 1 ランプ出力値
39	△	0, 1	08: N	LP 2 ランプ出力値 (ABD のみ)
40	△	0, 1	09: N	移動平均の変換停止スイッチ値 (ABD のみ)
41	△	0, 1	17: N	PB 1 押しボタン入力値
42	△	0, 1	18: N	PB 2 押しボタン入力値
51	△	0 ~ 999999	PC: NNNNNN	表示器入力が積算時の内部積算値

ABD のみ

略号	フィールド端子	略号
F52	ABE フィールド端子	F52



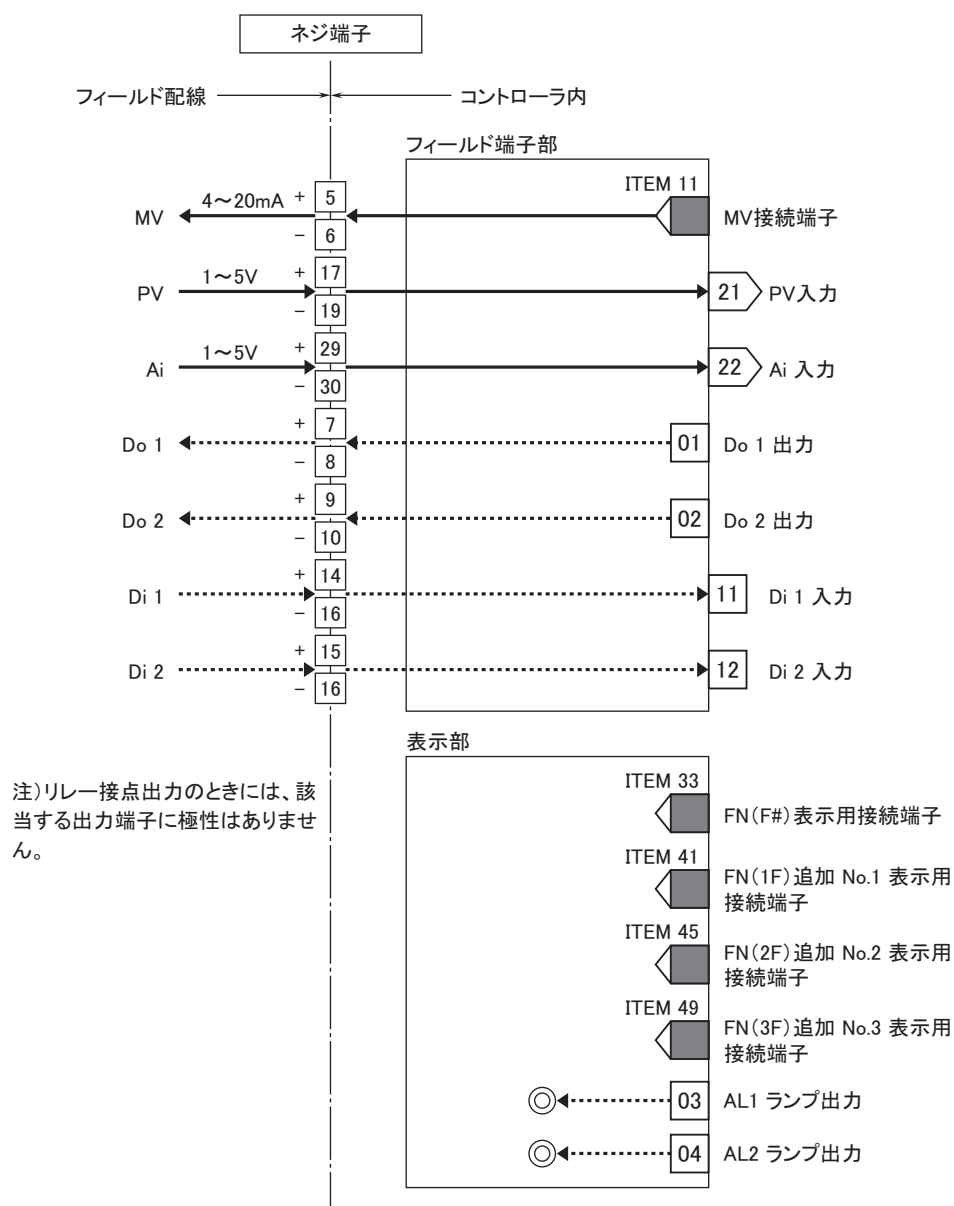
注) 端子ブロックからフィールド側に出る信号を出力と呼び、
フィールド側から入力する信号を入力と呼びます。

GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	MV チェック入力値
06	△◎	0, 1	12: N	PV エラー接点出力値
07	△◎	0, 1	13: N	MV エラー接点出力値
08	△◎	0, 1	11: N	Di 1 入力値
09	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
フィールド端子部				
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 13	△	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 14	△	0.00 ~ 115.00%	ML: NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 21	△	± 115.00%	PZ: <u>0.00</u>	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	PS: <u>1.0000</u>	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	MV チェック入力スパン調整値 (ゲイン)
表示部				
★ 30	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号
★ 31	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	SP UP/DOWN 時間 (最初の1秒間は 1/5 の速度で増減)
★ 32	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	MV UP/DOWN 時間 (最初の1秒間は 1/5 の速度で増減)
★ 33	△	GGNN	F#: <u>3121</u>	FN 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 34	△	± 10000	PH: <u>1500</u>	FN レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 35	△	± 10000	PL: <u>0</u>	FN レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 36	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	PD: <u>1</u>	FN 小数点位置 (右から)
追加 FN 表示部				
★ 41	△	GGNN	1F: GGNN	FN 追加 No.1 表示用接続端子
★ 42	△	± 10000	1H: NNNN	FN 追加 No.1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 43	△	± 10000	1L: NNNN	FN 追加 No.1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 44	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: N	FN 追加 No.1 小数点位置 (右から)
★ 45	△	GGNN	2F: GGNN	FN 追加 No.2 表示用接続端子
★ 46	△	± 10000	2H: NNNN	FN 追加 No.2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 47	△	± 10000	2L: NNNN	FN 追加 No.2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 48	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN 追加 No.2 小数点位置 (右から)
★ 49	△	GGNN	3F: GGNN	FN 追加 No.3 表示用接続端子
★ 50	△	± 10000	3H: NNNN	FN 追加 No.3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 51	△	± 10000	3L: NNNN	FN 追加 No.3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 52	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN 追加 No.3 小数点位置 (右から)
★ 53	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 54	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
フィールド端子部の続き				
60	△	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値
61	△◎	0, 1	14: N	Di 2 入力値
62	△	0, 1	02: N	Do 2 出力値
63	△	0, 1	03: N	AL1 ランプ出力値
64	△	0, 1	04: N	AL2 ランプ出力値
65	△	0 ~ 9999	24: NNNN	Qi 積算値表示 (単位 : カウント)
★ 66	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 67	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi スケーリング係数
68	△◎	-15.00 ~ 115.00%	25: NNN.NN	QA 瞬時値表示
★ 69	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 70	△	1 ~ 16	KR: NN	瞬時値変換時の移動平均データ個数

略号 F53	フィールド端子 ABH フィールド端子	略号 F53
-----------	------------------------	-----------



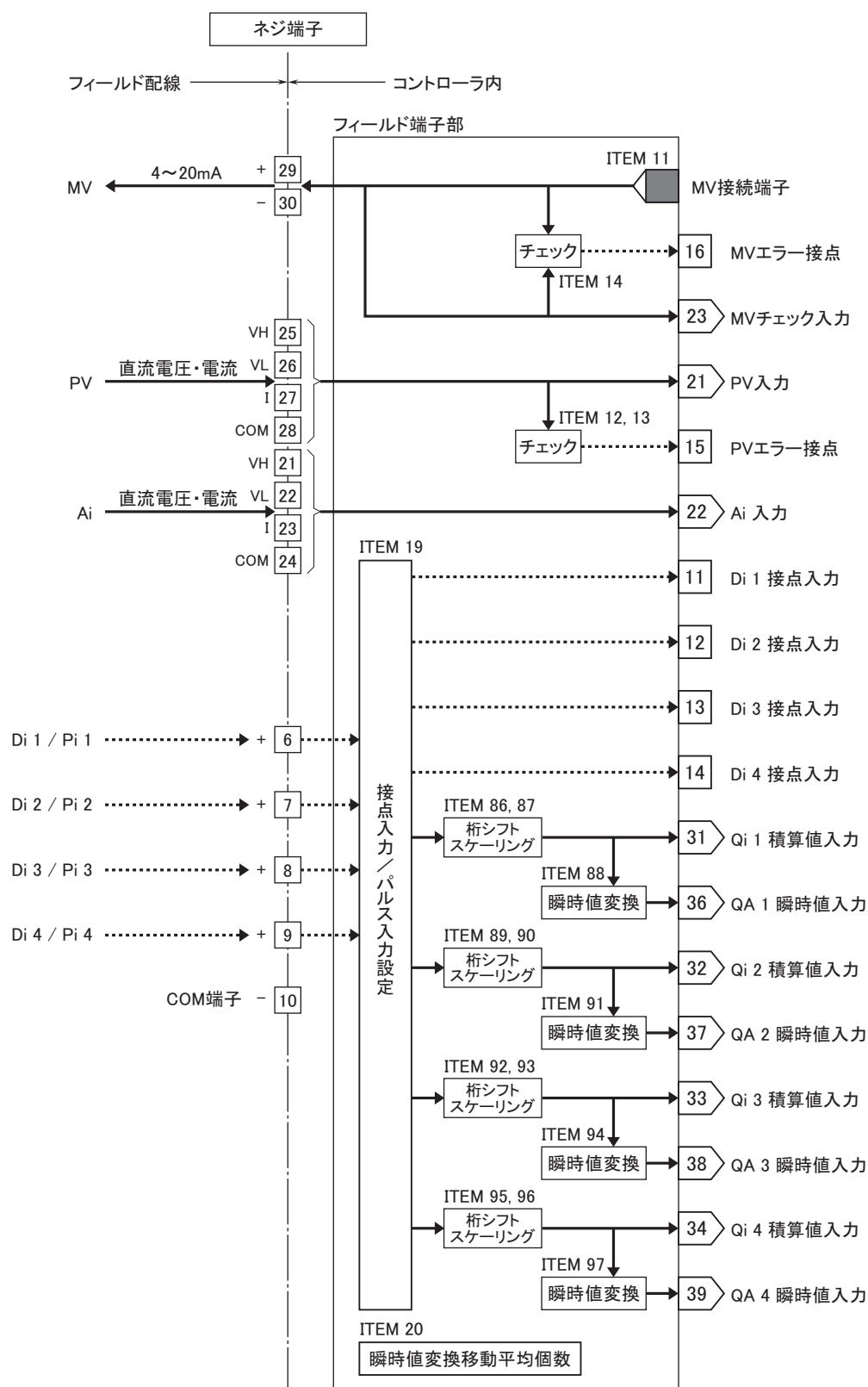
注) 端子ブロックからフィールド側に出力する信号を出力と呼び、フィールド側から入力する信号を入力と呼びます。

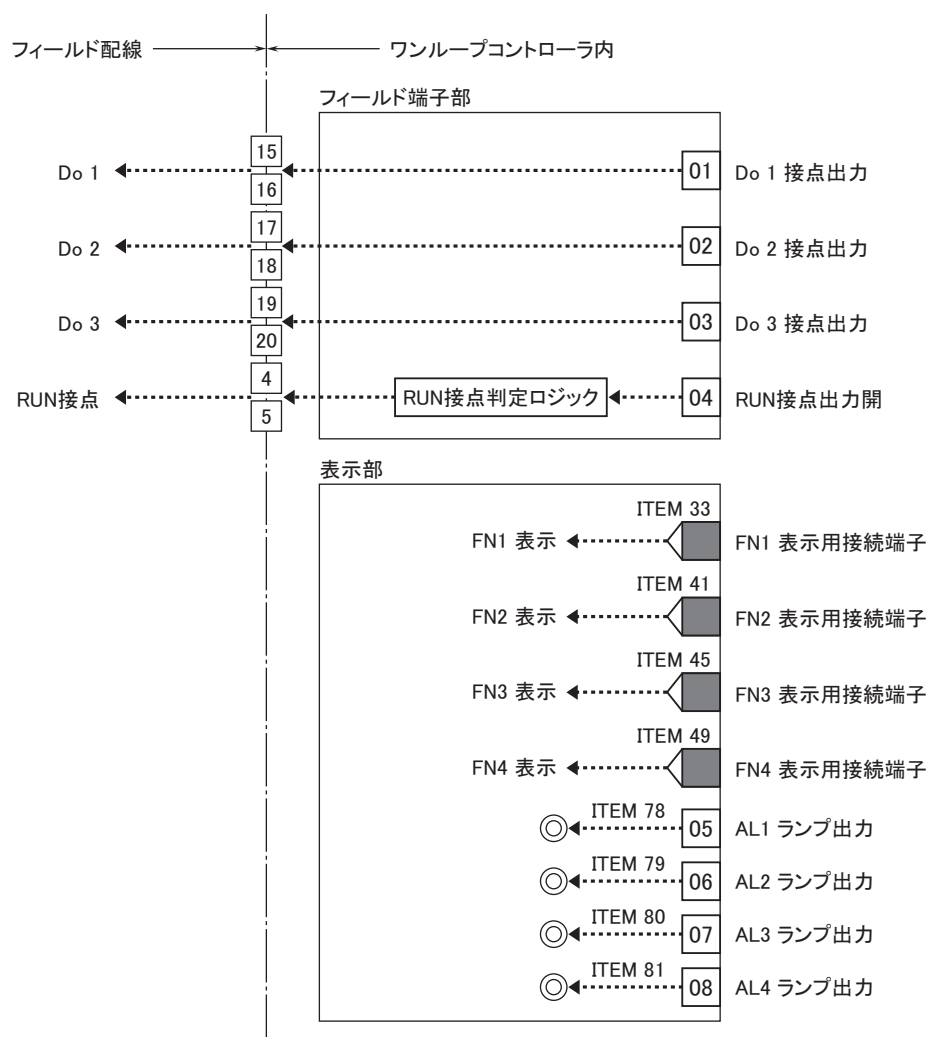
GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 入力値
06	△◎	0, 1	11: N	Di 1 入力値
07	△◎	0, 1	12: N	Di 2 入力値
08	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
09	△	0, 1	02: N	Do 2 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
フィールド端子部				
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 21	△	± 115.00%	PZ: <u>0.00</u>	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	PS: <u>1.0000</u>	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
表示部				
★ 30	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号
★ 31	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	SP UP/DOWN 時間 (最初の1秒間は 1/5 の速度で増減)
★ 32	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	MV UP/DOWN 時間 (最初の1秒間は 1/5 の速度で増減)
★ 33	△	GGNN	F#: <u>3121</u>	FN 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 34	△	± 32000	PH: <u>1500</u>	FN レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 35	△	± 32000	PL: <u>0</u>	FN レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 36	△	0, 1, 2, 3, 4	PD: <u>1</u>	FN 小数点位置 (右から)
追加 FN 表示部				
★ 41	△	GGNN	1F: GGNN	FN 追加 No.1 表示用接続端子
★ 42	△	± 32000	1H: NNNN	FN 追加 No.1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 43	△	± 32000	1L: NNNN	FN 追加 No.1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 44	△	0, 1, 2, 3, 4	1D: N	FN 追加 No.1 小数点位置 (右から)
★ 45	△	GGNN	2F: GGNN	FN 追加 No.2 表示用接続端子
★ 46	△	± 32000	2H: NNNN	FN 追加 No.2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 47	△	± 32000	2L: NNNN	FN 追加 No.2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 48	△	0, 1, 2, 3, 4	2D: N	FN 追加 No.2 小数点位置 (右から)
★ 49	△	GGNN	3F: GGNN	FN 追加 No.3 表示用接続端子
★ 50	△	± 32000	3H: NNNN	FN 追加 No.3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 51	△	± 32000	3L: NNNN	FN 追加 No.3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 52	△	0, 1, 2, 3, 4	3D: N	FN 追加 No.3 小数点位置 (右から)
★ 53	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0: ± 115%、1: -15 ~ 115%)
★ 54	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0: ± 115%、1: -15 ~ 115%)
フィールド端子部の続き				
60	△	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値
61	△	0, 1	03: N	AL1 ランプ出力値
62	△	0, 1	04: N	AL2 ランプ出力値

略号 F63	フィールド端子 ABH2 フィールド端子	略号 F63
-----------	-------------------------	-----------





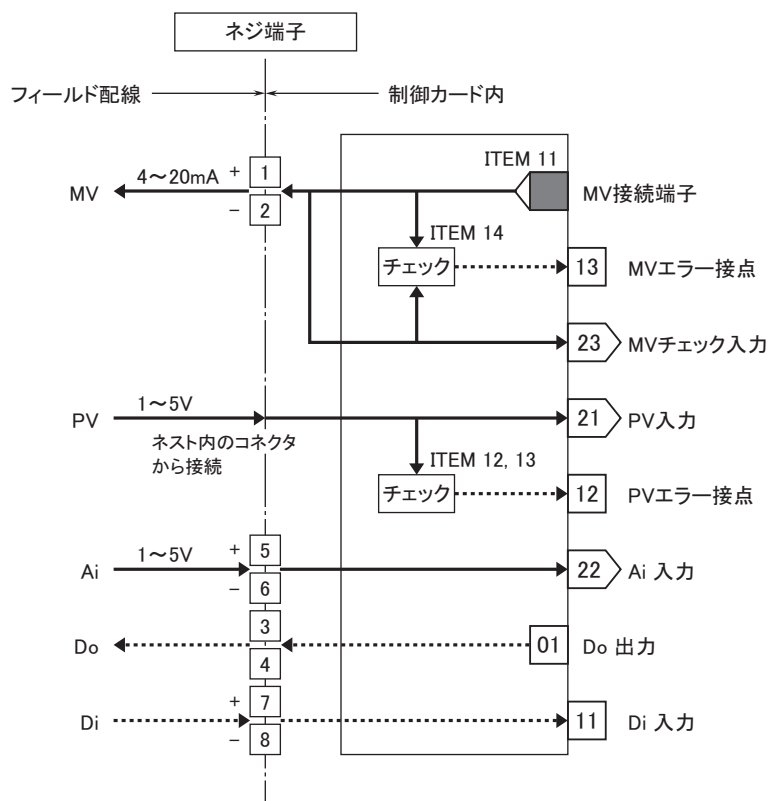
GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	MV チェック入力値
06	△◎	0, 1 または NNNN	11: N または	Di 1 入力値 または
			31: NNNN	Qi 1 積算値表示 (単位: カウント)
07	△◎	0, 1 または NNNN	12: N または	Di 2 入力値 または
			32: NNNN	Qi 2 積算値表示 (単位: カウント)
08	△◎	0, 1 または NNNN	13: N または	Di 3 入力値 または
			33: NNNN	Qi 3 積算値表示 (単位: カウント)
09	△◎	0, 1 または NNNN	14: N または	Di 4 入力値 または
			34: NNNN	Qi 4 積算値表示 (単位: カウント)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
フィールド端子部				
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 12	△	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 13	△	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 14	△	0.00 ~ 115.00%	ML: NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 16	△	MM	TP: MM	PV 入力タイプ設定 [MM: 入力タイプ番号] 0: -10 ~ 10 V 4: 0 ~ 5 V 8: 0 ~ 0.5 V 1: -5 ~ 5 V 5: 1 ~ 5 V 9: -20 ~ 20 mA 2: -1 ~ 1 V 6: 0 ~ 1 V 10: 4 ~ 20 mA 3: 0 ~ 10 V 7: -0.5 ~ 0.5 V 11: 0 ~ 20 mA
★ 17	△	MM	TA: MM	Ai 入力タイプ設定 [MM: 入力タイプ番号] 0: -10 ~ 10 V 4: 0 ~ 5 V 8: 0 ~ 0.5 V 1: -5 ~ 5 V 5: 1 ~ 5 V 9: -20 ~ 20 mA 2: -1 ~ 1 V 6: 0 ~ 1 V 10: 4 ~ 20 mA 3: 0 ~ 10 V 7: -0.5 ~ 0.5 V 11: 0 ~ 20 mA
★ 19	△	NNNN	PD: NNNN	接点・パルス選択 (0: Di, 1: Pi) (10 ⁰ : Di 1, 10 ¹ : Di 2, 10 ² : Di 3, 10 ³ : Di 4)
★ 20	△	1 ~ 16	KR: NN	パルス入力 瞬時値変換時の移動平均データ個数
★ 21	△	± 115.00%	PZ: <u>0.00</u>	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	PS: <u>1.0000</u>	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	MV チェック入力スパン調整値 (ゲイン)
表示部				
★ 30	△	2, 3	GR: <u>2</u>	1次系で表示するループのグループ番号 (リセット後に有効)
★ 31	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	SP UP/DOWN 時間 (最初の5秒間は 1/5 の速度、次の5秒間は 1/2 の速度で増減)
★ 32	△	1 ~ 100 s/100%	ST: <u>10</u>	MV UP/DOWN 時間 (最初の5秒間は 1/5 の速度、次の5秒間は 1/2 の速度で増減)
★ 33	△	GGNN	1F: <u>3121</u>	FN1 表示用接続端子 GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 34	△	± 32000	1H: <u>1500</u>	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 35	△	± 32000	1L: <u>0</u>	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 36	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	1D: <u>1</u>	FN1 小数点位置 (右から)
★ 37	△	半角英数字	T1: XXX...X	FN1 Tag No. (10 文字以下)
★ 38	△	半角英数字	T2: XXX...X	FN2 Tag No. (10 文字以下)
★ 39	△	半角英数字	T3: XXX...X	FN3 Tag No. (10 文字以下)
★ 40	△	半角英数字	T4: XXX...X	FN4 Tag No. (10 文字以下)
追加 FN 表示部				
★ 41	△	GGNN	2F: GGNN	FN2 表示用接続端子
★ 42	△	± 32000	2H: NNNN	FN2 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 43	△	± 32000	2L: NNNN	FN2 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 44	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	2D: N	FN2 小数点位置 (右から)
★ 45	△	GGNN	3F: GGNN	FN3 表示用接続端子
★ 46	△	± 32000	3H: NNNN	FN3 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 47	△	± 32000	3L: NNNN	FN3 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 48	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	3D: N	FN3 小数点位置 (右から)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 49	△	GGNN	4F: GGNN	FN4 表示用接続端子
★ 50	△	± 32000	4H: NNNN	FN4 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 51	△	± 32000	4L: NNNN	FN4 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 52	△	0, 1, 2, 3, 4, 5	4D: N	FN4 小数点位置 (右から)
★ 53	△	0, 1	M1: N	1次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 54	△	0, 1	M2: N	2次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ 115%)
★ 55	△	半角・全角	U1: XXX...X	FN1 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 56	△	半角・全角	U2: XXX...X	FN2 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 57	△	半角・全角	U3: XXX...X	FN3 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
★ 58	△	半角・全角	U4: XXX...X	FN4 単位 (半角8文字／全角4文字以下)
フィールド端子部の続き				
60	△◎	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値
61	△◎	± 320.00Unit	25: NNN.NNUnit	PV 入力実量表示値
68	△◎	0, 1	15: N	PV エラー接点出力値
69	△◎	0, 1	16: N	MV エラー接点出力値
70	△◎	0, 1	01: N	Do 1 出力値
71	△◎	0, 1	02: N	Do 2 出力値
72	△◎	0, 1	03: N	Do 3 出力値
73	△◎	0, 1	04: N	RUN 接点出力強制 OFF (1 : OFF)
74	△◎	0, 1	05: N	AL1 ランプ出力値
75	△◎	0, 1	06: N	AL2 ランプ出力値
76	△◎	0, 1	07: N	AL3 ランプ出力値
77	△◎	0, 1	08: N	AL4 ランプ出力値
★ 78	△	半角英数字	L1: XXXX	AL1 コメント (4文字以下)
★ 79	△	半角英数字	L2: XXXX	AL2 コメント (4文字以下)
★ 80	△	半角英数字	L3: XXXX	AL3 コメント (4文字以下)
★ 81	△	半角英数字	L4: XXXX	AL4 コメント (4文字以下)
82	△◎	-15.00 ~ 115.00%	36: NNN.NN	QA 1 瞬時値表示
83	△◎	-15.00 ~ 115.00%	37: NNN.NN	QA 2 瞬時値表示
84	△◎	-15.00 ~ 115.00%	38: NNN.NN	QA 3 瞬時値表示
85	△◎	-15.00 ~ 115.00%	39: NNN.NN	QA 4 瞬時値表示
★ 86	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: <u>-1</u>	Qi 1 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 87	△	0.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 88	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 89	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: <u>-1</u>	Qi 2 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 90	△	0.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係数
★ 91	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 92	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: <u>-1</u>	Qi 3 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 93	△	0.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係数
★ 94	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 95	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: <u>-1</u>	Qi 4 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 96	△	0.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係数
★ 97	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)

略号	フィールド端子	略号
F00	18MA フィールド端子	F00

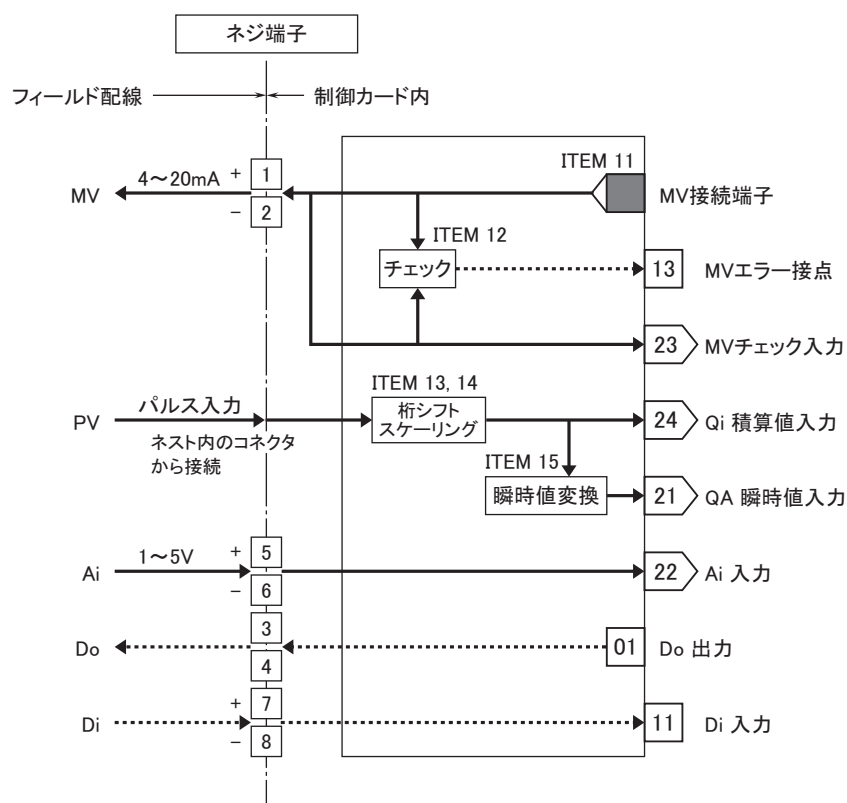


注) 端子ブロックからフィールド側に出力する信号を出力と呼び、
フィールド側から入力する信号を入力と呼びます。

GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	MV チェック入力値
06	△◎	0, 1	12: N	PV エラー接点出力値
07	△◎	0, 1	13: N	MV エラー接点出力値
08	△◎	0, 1	11: N	Di 入力値
09	△	0, 1	01: N	Do 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 13	△	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 14	△	0.00 ~ 115.00%	ML: NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 21	△	± 115.00%	PZ: <u>0.00</u>	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	PS: <u>1.0000</u>	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	MV チェック入力スパン調整値 (ゲイン)
60	△	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値

略号	フィールド端子	略号
F02	18MP フィールド端子	F02

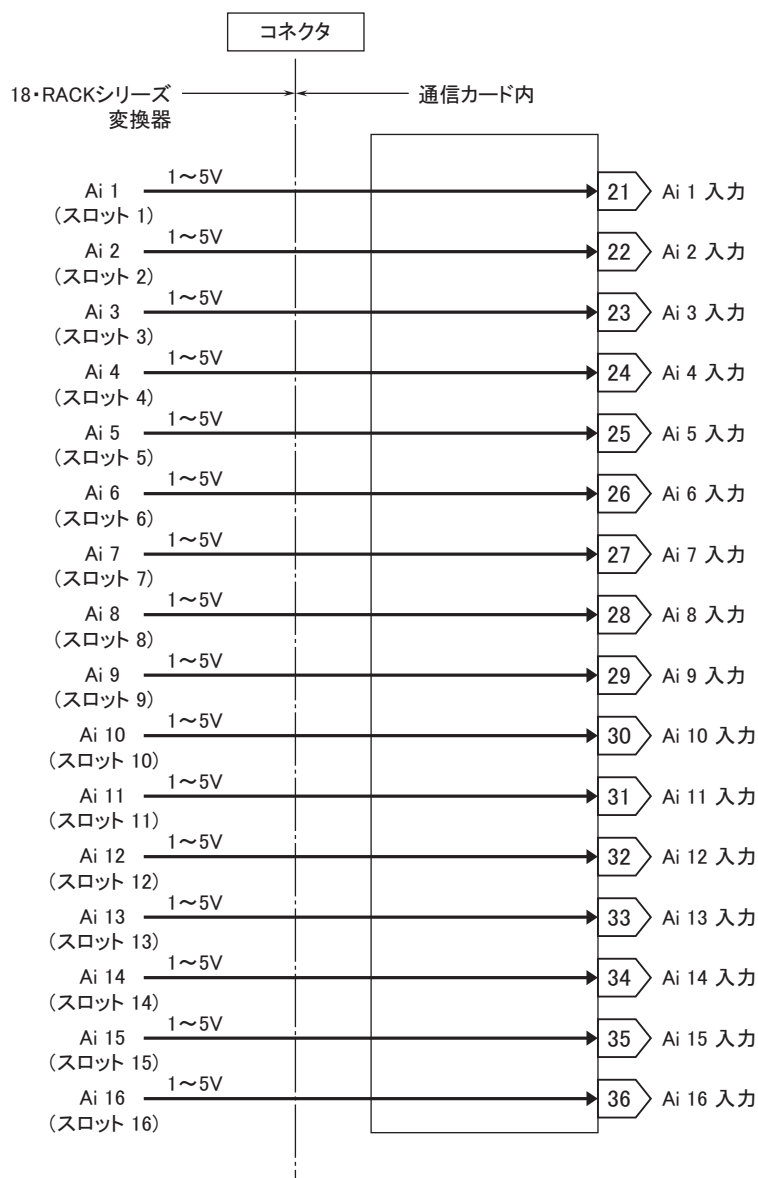


注) 端子ブロックからフィールド側に出力する信号を出力と呼び、
フィールド側から入力する信号を入力と呼びます。

GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△◎	0.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	QA 瞬時値入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	MV チェック入力値
06	△◎	0 ~ 9999	24: NNNN	Qi 積算値入力値 (単位 : カウント)
07	△◎	0, 1	13: N	MV エラー接点出力値
08	△◎	0, 1	11: N	Di 入力値
09	△	0, 1	01: N	Do 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	0.00 ~ 115.00%	ML: NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 13	△	0.0000 ~ 6.4000	PC: N.NNNN	Qi スケーリング係数
★ 14	△	1, 0, -1, -2, -3	PD: <u>-1</u>	Qi 桁シフト (10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)
★ 15	△	0.00 ~ 10000.00	VC: <u>1000.00</u>	QA 瞬時値変換係数 スケーリング値 (瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)
★ 16	△	1 ~ 16	VR: <u>1</u>	瞬時値変換時の移動平均データ個数
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	MV チェック入力スパン調整値 (ゲイン)
60	△	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値

略号 F08	フィールド端子 18MC-1 フィールド端子	略号 F08
-----------	---------------------------	-----------

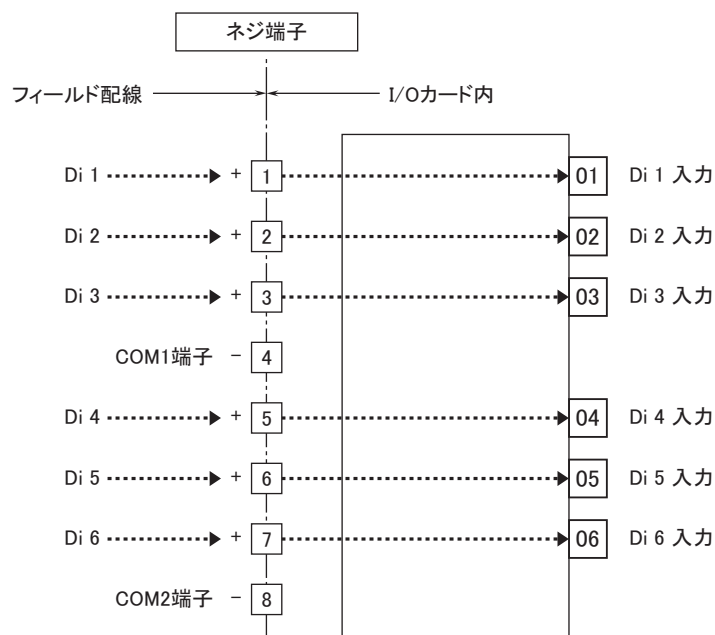


GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
12	△◎	:	22: :	Ai 2 :
13	△◎	:	23: :	Ai 3 :
14	△◎	:	24: :	Ai 4 :
15	△◎	:	25: :	Ai 5 :
16	△◎	:	26: :	Ai 6 :
17	△◎	:	27: :	Ai 7 :
18	△◎	:	28: :	Ai 8 :
19	△◎	:	29: :	Ai 9 :
20	△◎	:	30: :	Ai 10 :
21	△◎	:	31: :	Ai 11 :
22	△◎	:	32: :	Ai 12 :
23	△◎	:	33: :	Ai 13 :
24	△◎	:	34: :	Ai 14 :
25	△◎	:	35: :	Ai 15 :
26	△◎	:	36: :	Ai 16 :
ゼロ/スパン調整				
★ 31	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 32	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 33	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 34	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 35	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 36	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 37	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 38	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 39	△	± 115.00%	5Z: <u>0.00</u>	Ai 5 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 40	△	± 3.2000	5S: <u>1.0000</u>	Ai 5 スパン調整値 (ゲイン)
★ 41	△	± 115.00%	6Z: <u>0.00</u>	Ai 6 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 42	△	± 3.2000	6S: <u>1.0000</u>	Ai 6 スパン調整値 (ゲイン)
★ 43	△	± 115.00%	7Z: <u>0.00</u>	Ai 7 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 44	△	± 3.2000	7S: <u>1.0000</u>	Ai 7 スパン調整値 (ゲイン)
★ 45	△	± 115.00%	8Z: <u>0.00</u>	Ai 8 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 46	△	± 3.2000	8S: <u>1.0000</u>	Ai 8 スパン調整値 (ゲイン)
★ 47	△	± 115.00%	9Z: <u>0.00</u>	Ai 9 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 48	△	± 3.2000	9S: <u>1.0000</u>	Ai 9 スパン調整値 (ゲイン)
★ 49	△	± 115.00%	AZ: <u>0.00</u>	Ai 10 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 50	△	± 3.2000	AS: <u>1.0000</u>	Ai 10 スパン調整値 (ゲイン)
★ 51	△	± 115.00%	BZ: <u>0.00</u>	Ai 11 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 52	△	± 3.2000	BS: <u>1.0000</u>	Ai 11 スパン調整値 (ゲイン)
★ 53	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	Ai 12 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 54	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	Ai 12 スパン調整値 (ゲイン)
★ 55	△	± 115.00%	DZ: <u>0.00</u>	Ai 13 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 56	△	± 3.2000	DS: <u>1.0000</u>	Ai 13 スパン調整値 (ゲイン)
★ 57	△	± 115.00%	EZ: <u>0.00</u>	Ai 14 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 58	△	± 3.2000	ES: <u>1.0000</u>	Ai 14 スパン調整値 (ゲイン)
★ 59	△	± 115.00%	FZ: <u>0.00</u>	Ai 15 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 60	△	± 3.2000	FS: <u>1.0000</u>	Ai 15 スパン調整値 (ゲイン)
★ 61	△	± 115.00%	GZ: <u>0.00</u>	Ai 16 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 62	△	± 3.2000	GS: <u>1.0000</u>	Ai 16 スパン調整値 (ゲイン)

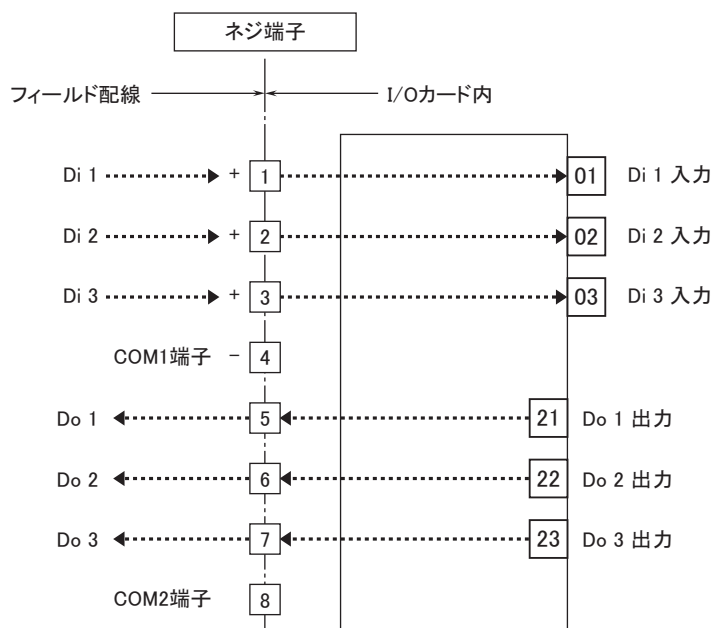
略号 F17	フィールド端子 18MF-1 フィールド端子	略号 F17
-----------	---------------------------	-----------



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	02: N	Di 2 :
13	△◎	0, 1	03: N	Di 3 :
14	△◎	0, 1	04: N	Di 4 :
15	△◎	0, 1	05: N	Di 5 :
16	△◎	0, 1	06: N	Di 6 :

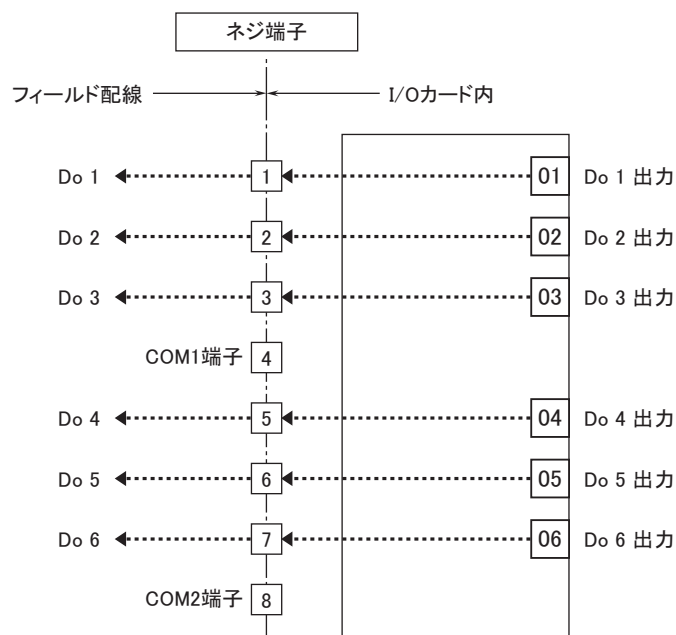
略号	フィールド端子	略号
F18	18MF-2 フィールド端子	F18



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	02: N	Di 2 :
13	△◎	0, 1	03: N	Di 3 :
接点出力表示				
31	△	0, 1	21: N	Do 1 出力値
32	△	0, 1	22: N	Do 2 :
33	△	0, 1	23: N	Do 3 :

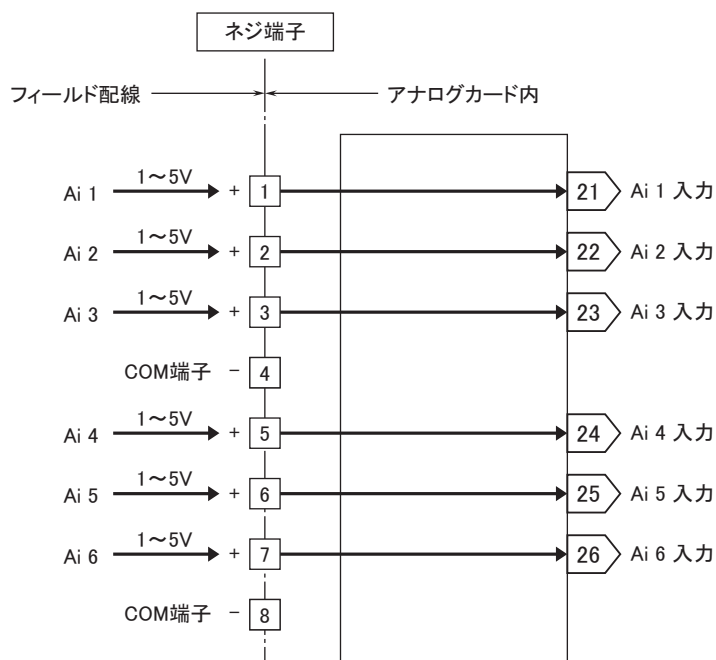
略号	フィールド端子	略号
F19	18MF-3 フィールド端子	F19



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
接点出力表示				
11	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
12	△	0, 1	02: N	Do 2 :
13	△	0, 1	03: N	Do 3 :
14	△	0, 1	04: N	Do 4 :
15	△	0, 1	05: N	Do 5 :
16	△	0, 1	06: N	Do 6 :

略号 F11	フィールド端子 18MG-1 フィールド端子	略号 F11
-----------	---------------------------	-----------



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)

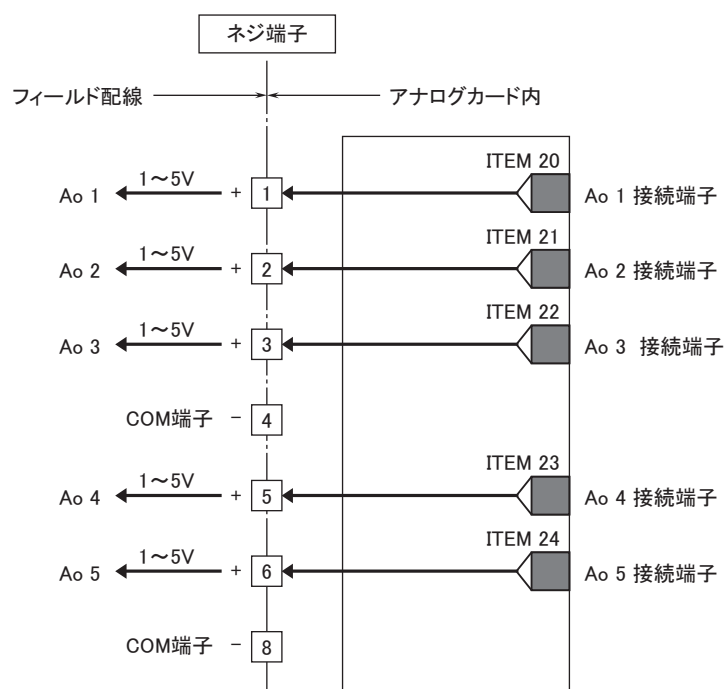
アナログ入力値表示

11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
12	△◎	:	22: :	Ai 2 :
13	△◎	:	23: :	Ai 3 :
14	△◎	:	24: :	Ai 4 :
15	△◎	:	25: :	Ai 5 :
16	△◎	:	26: :	Ai 6 :

ゼロ/スパン調整

★ 31	△	± 115.00%	1Z: 0.00	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 32	△	± 3.2000	1S: 1.0000	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 33	△	± 115.00%	2Z: 0.00	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 34	△	± 3.2000	2S: 1.0000	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 35	△	± 115.00%	3Z: 0.00	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 36	△	± 3.2000	3S: 1.0000	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 37	△	± 115.00%	4Z: 0.00	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 38	△	± 3.2000	4S: 1.0000	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 39	△	± 115.00%	5Z: 0.00	Ai 5 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 40	△	± 3.2000	5S: 1.0000	Ai 5 スパン調整値 (ゲイン)
★ 41	△	± 115.00%	6Z: 0.00	Ai 6 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 42	△	± 3.2000	6S: 1.0000	Ai 6 スパン調整値 (ゲイン)

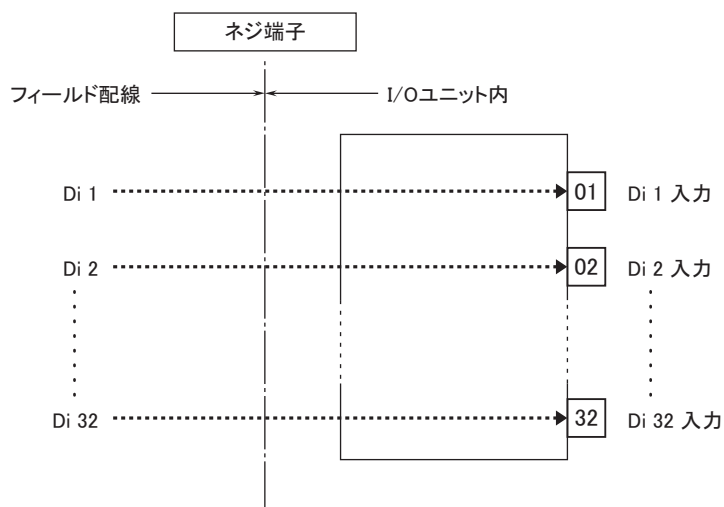
略号	フィールド端子	略号
F13	18MG-3 フィールド端子	F13



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
アナログ出力値表示				
03	△	-15.00 ~ 115.00%	01: NNN.NN	Ao 1 出力値
04	△	:	02: :	Ao 2 :
05	△	:	03: :	Ao 3 :
06	△	:	04: :	Ao 4 :
07	△	:	05: :	Ao 5 :
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
アナログ出力接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号				
★ 20	△	GGNN	1#: <u>0225</u>	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 21	△	GGNN	2#: <u>1121</u>	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 22	△	GGNN	3#: <u>1122</u>	Ao 3 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 23	△	GGNN	4#: <u>1221</u>	Ao 4 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 24	△	GGNN	5#: <u>1221</u>	Ao 5 接続端子 (無接続のときエラー)
ゼロ/スパン調整				
★ 36	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 37	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 38	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 39	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 40	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ao 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 41	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ao 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 42	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ao 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 43	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ao 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 44	△	± 115.00%	5Z: <u>0.00</u>	Ao 5 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 45	△	± 3.2000	5S: <u>1.0000</u>	Ao 5 スパン調整値 (ゲイン)

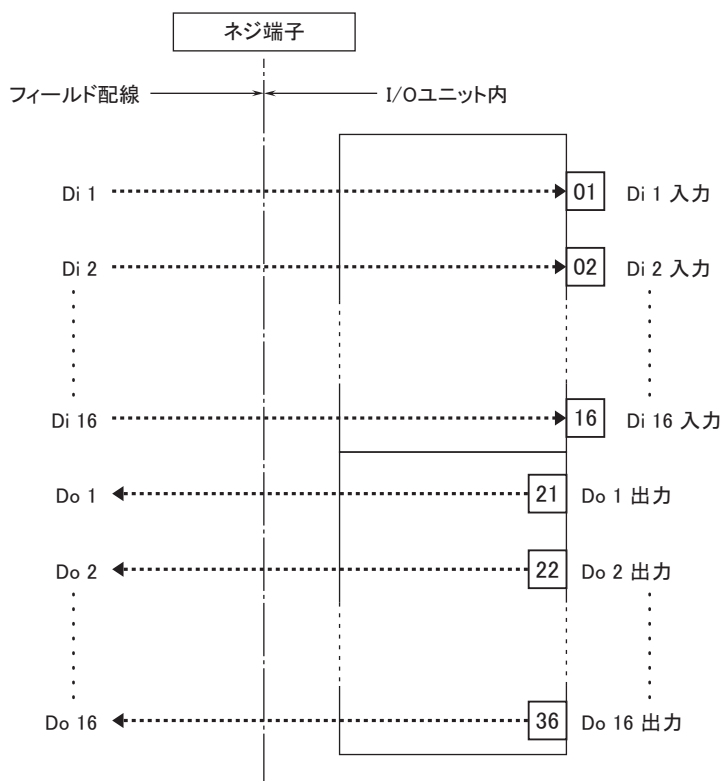
略号 F20	フィールド端子 SMLR-1 フィールド端子	略号 F20
-----------	---------------------------	-----------



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	02: N	Di 2 入力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
20	△◎	0, 1	10: N	Di 10 入力値
:	:	:	:	:
30	△◎	0, 1	20: N	Di 20 入力値
:	:	:	:	:
40	△◎	0, 1	30: N	Di 30 入力値
41	△◎	0, 1	31: N	Di 31 入力値
42	△◎	0, 1	32: N	Di 32 入力値

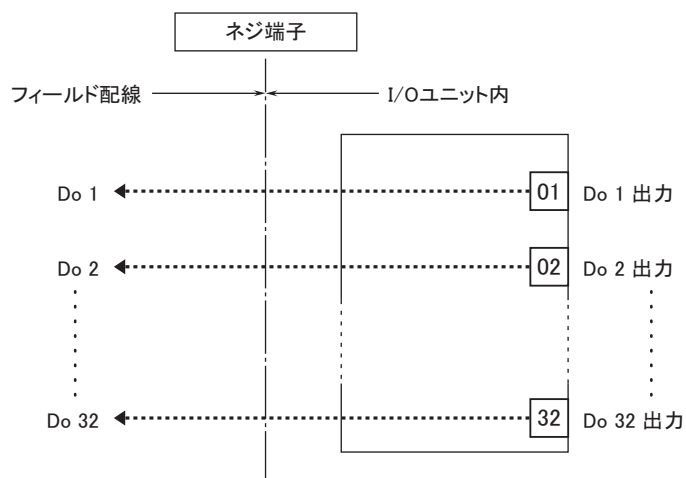
略号 F21	フィールド端子 SMLR-2 フィールド端子	略号 F21
-----------	---------------------------	-----------



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	02: N	Di 2 入力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
20	△◎	0, 1	10: N	Di 10 入力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
26	△◎	0, 1	16: N	Di 16 入力値
接点出力表示				
31	△	0, 1	21: N	Do 1 出力値
32	△	0, 1	22: N	Do 2 出力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
40	△	0, 1	30: N	Do 10 出力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
46	△	0, 1	36: N	Do 16 出力値

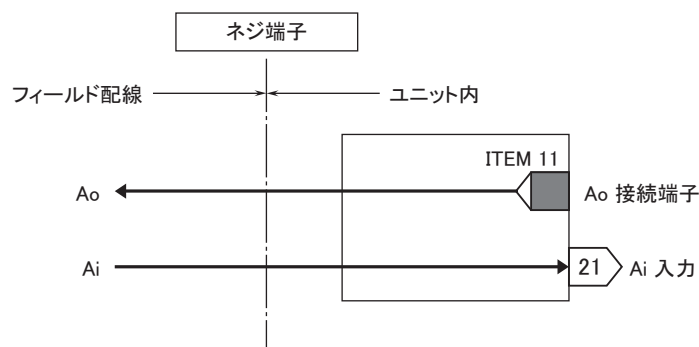
略号 F22	フィールド端子 SMLR-3 フィールド端子	略号 F22
-----------	---------------------------	-----------



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
接点出力表示				
11	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
12	△	0, 1	02: N	Do 2 出力値
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
20	△	0, 1	10: N	Do 10 出力値
:	:	:	:	:
30	△	0, 1	20: N	Do 20 出力値
:	:	:	:	:
40	△	0, 1	30: N	Do 30 出力値
41	△	0, 1	31: N	Do 31 出力値
42	△	0, 1	32: N	Do 32 出力値

略号	フィールド端子	略号
F23	SM** フィールド端子(センサ直入力用)	F23



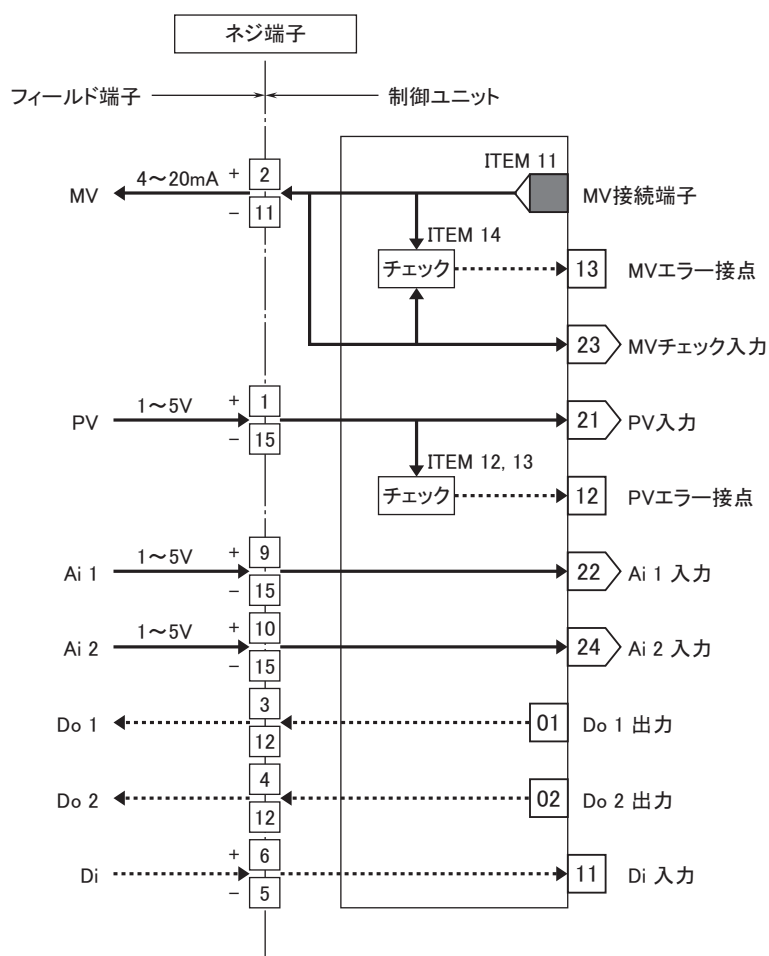
[注 意]

製品形式の「演算機能」が「T:センサ信号出力」と「P:PID 単ループ」の場合は、すべてのグループの形式入力用項目「ITEM 10」の変更ができません。また、形式コード消去命令（GROUP 00, ITEM 95）は使用禁止です。

GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 入力値
04	△	-15.00 ~ 115.00%	AO: NNN.NN	Ao 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
★ 11	△	GGNN	AO: <u>0225</u>	Ao 接続端子 (無接続のときエラー) GG: グループ番号 NN: 端子番号
★ 21	△	± 115.00%	IZ: <u>0.00</u>	Ai ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	IS: <u>1.0000</u>	Ai スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	OZ: <u>0.00</u>	Ao ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	OS: <u>1.0000</u>	Ao スパン調整値 (ゲイン)

略号	フィールド端子	略号
F05	SMA フィールド端子	F05

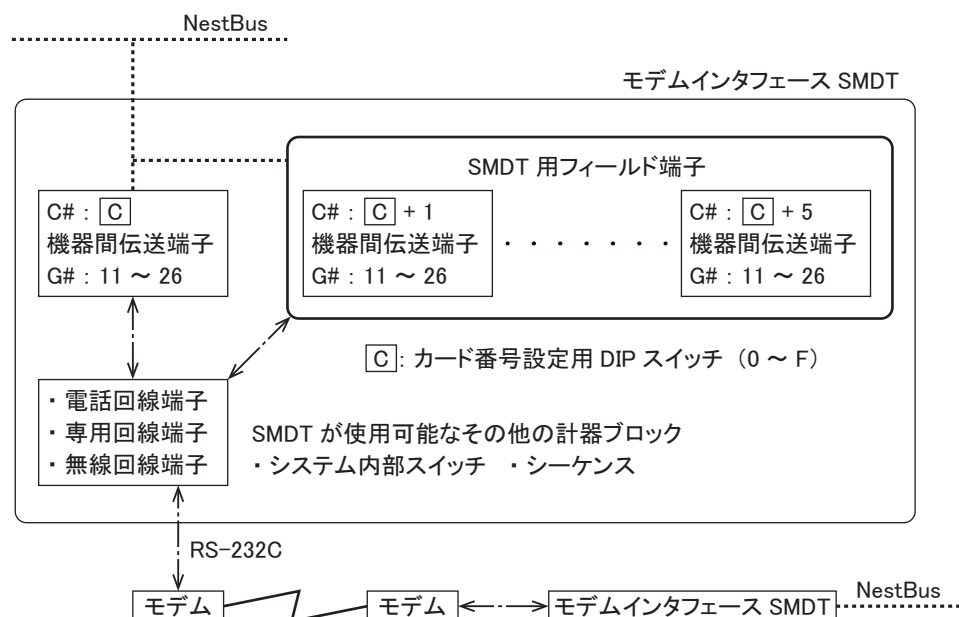


注) 端子ブロックからフィールド側に出る信号を出力と呼び、フィールド側から入る信号を入力と呼びます。

GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 1 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	MV チェック入力値
06	△◎	0, 1	12: N	PV エラー接点出力値
07	△◎	0, 1	13: N	MV エラー接点出力値
08	△◎	0, 1	11: N	Di 入力値
09	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
フィールド端子部				
★ 11	△	GGNN	M#: <u>0225</u>	MV 接続端子 (無接続のときエラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	-15.00 ~ 115.00%	PH: NNN.NN	PV 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 13	△	-15.00 ~ 115.00%	PL: NNN.NN	PV 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 14	△	0.00 ~ 115.00%	ML: NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 21	△	± 115.00%	PZ: <u>0.00</u>	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	PS: <u>1.0000</u>	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	MZ: <u>0.00</u>	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	MS: <u>1.0000</u>	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	CZ: <u>0.00</u>	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	CS: <u>1.0000</u>	MV チェック入カスパン調整値 (ゲイン)
★ 29	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 30	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
60	△	-15.00 ~ 115.00%	MV: NNN.NN	MV 出力値
61	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 2 入力値
62	△	0, 1	02: N	Do 2 出力値

略号	フィールド端子	略号
F42	SMDT フィールド端子	F42



[概 説]

SMDT 用フィールド端子は、6カード分までの機器間伝送端子が使用できます。このうち5カード分の機器間伝送端子は仮想カード番号を使用します。仮想カード番号とは、1台の SMDT で複数のカード番号を持つための仕組みです。

■使用可能な機器間伝送端子の種類

- ・実カード番号 (C) : Di、Do、Ai、Ao
- ・仮想カード番号 (C + 1 ~ 5) : Ai、Ao (カード単位で、Ai か Ao かのいずれか一方)

■2台のモデムインタフェース SMDT 相互間の機器間伝送端子の組合せ方法

- ・実カード番号の機器間伝送端子 : 電話回線端子、専用回線端子、無線回線端子により指定
- ・仮想カード番号の機器間伝送端子 : カード番号 (C + 1 ~ 5) の 1 ~ 5 およびグループ番号が一致する、Ai と Ao 相互間で通信

■RSSCGG の設定方法

・Ai 受信端子のとき

再発信 → R : 0 (しない)、1 (する)

送信元アドレス (SSCGG) 指定方法

SS : ステーション番号 00 ~ 3F、FE (送信元がパソコン)、FF (送信元が自己と同じ NestBus)

C : カード番号 0 ~ F

GG : 11 ~ 26

このグループを使用しないとき → R : 9 を設定 (SSCGG : 何を設定してもよい)

・Ao 送信端子のとき (送信範囲 : NestBus および M-Bus、L-Bus)

伝送範囲の使用 → R : 0 (自己の NestBus 内に送信)、1 (M-Bus あるいは L-Bus にも送信)

宛先アドレス (SSCGG) 指定方法

SS : ステーション番号 00 ~ 3F、FF (自己の NestBus)

C : カード番号 0 ~ F

GG : 11 ~ 26

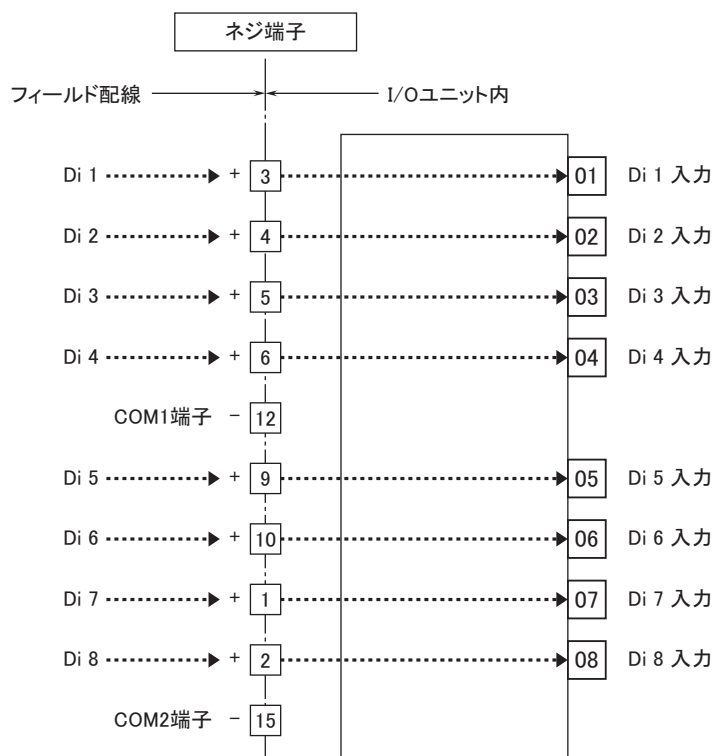
このグループを使用しないとき → R : 9 を設定 (SSCGG : 何を設定してもよい)

GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
仮想カード番号の機器間伝送端子を指定				
★ 11	△	00, 33, 34	CN: NN	カード番号 'C + 1' の伝送端子の種類 00 : なし、33 : Ai 受信端子、34 : Ao 送信端子
★ 12	△	RSSCGG	11: NNNNNN	グループ 11 の送信元アドレス、宛先アドレス
★ 13	△	RSSCGG	12: NNNNNN	グループ 12 : :
★ 14	△	RSSCGG	13: NNNNNN	グループ 13 : :
★ 15	△	RSSCGG	14: NNNNNN	グループ 14 : :
★ 16	△	RSSCGG	15: NNNNNN	グループ 15 : :
★ 17	△	RSSCGG	16: NNNNNN	グループ 16 : :
★ 18	△	RSSCGG	17: NNNNNN	グループ 17 : :
★ 19	△	RSSCGG	18: NNNNNN	グループ 18 : :
★ 20	△	RSSCGG	19: NNNNNN	グループ 19 : :
★ 21	△	RSSCGG	20: NNNNNN	グループ 20 : :
★ 22	△	RSSCGG	21: NNNNNN	グループ 21 : :
★ 23	△	RSSCGG	22: NNNNNN	グループ 22 : :
★ 24	△	RSSCGG	23: NNNNNN	グループ 23 : :
★ 25	△	RSSCGG	24: NNNNNN	グループ 24 : :
★ 26	△	RSSCGG	25: NNNNNN	グループ 25 : :
★ 27	△	RSSCGG	26: NNNNNN	グループ 26 : :
★ 28	△	00, 33, 34	CN: NN	カード番号 'C + 2' の伝送端子の種類 00 : なし、33 : Ai 受信端子、34 : Ao 送信端子
★ 29	△	RSSCGG	11: NNNNNN	グループ 11 の送信元アドレス、宛先アドレス
★ 30	△	RSSCGG	12: NNNNNN	グループ 12 : :
★ 31	△	RSSCGG	13: NNNNNN	グループ 13 : :
★ 32	△	RSSCGG	14: NNNNNN	グループ 14 : :
★ 33	△	RSSCGG	15: NNNNNN	グループ 15 : :
★ 34	△	RSSCGG	16: NNNNNN	グループ 16 : :
★ 35	△	RSSCGG	17: NNNNNN	グループ 17 : :
★ 36	△	RSSCGG	18: NNNNNN	グループ 18 : :
★ 37	△	RSSCGG	19: NNNNNN	グループ 19 : :
★ 38	△	RSSCGG	20: NNNNNN	グループ 20 : :
★ 39	△	RSSCGG	21: NNNNNN	グループ 21 : :
★ 40	△	RSSCGG	22: NNNNNN	グループ 22 : :
★ 41	△	RSSCGG	23: NNNNNN	グループ 23 : :
★ 42	△	RSSCGG	24: NNNNNN	グループ 24 : :
★ 43	△	RSSCGG	25: NNNNNN	グループ 25 : :
★ 44	△	RSSCGG	26: NNNNNN	グループ 26 : :
★ 45	△	00, 33, 34	CN: NN	カード番号 'C + 3' の伝送端子の種類 00 : なし、33 : Ai 受信端子、34 : Ao 送信端子
★ 46	△	RSSCGG	11: NNNNNN	グループ 11 の送信元アドレス、宛先アドレス
★ 47	△	RSSCGG	12: NNNNNN	グループ 12 : :
★ 48	△	RSSCGG	13: NNNNNN	グループ 13 : :
★ 49	△	RSSCGG	14: NNNNNN	グループ 14 : :
★ 50	△	RSSCGG	15: NNNNNN	グループ 15 : :
★ 51	△	RSSCGG	16: NNNNNN	グループ 16 : :

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 52	△	RSSCGG	17: NNNNNN	グループ 17 : :
★ 53	△	RSSCGG	18: NNNNNN	グループ 18 : :
★ 54	△	RSSCGG	19: NNNNNN	グループ 19 : :
★ 55	△	RSSCGG	20: NNNNNN	グループ 20 : :
★ 56	△	RSSCGG	21: NNNNNN	グループ 21 : :
★ 57	△	RSSCGG	22: NNNNNN	グループ 22 : :
★ 58	△	RSSCGG	23: NNNNNN	グループ 23 : :
★ 59	△	RSSCGG	24: NNNNNN	グループ 24 : :
★ 60	△	RSSCGG	25: NNNNNN	グループ 25 : :
★ 61	△	RSSCGG	26: NNNNNN	グループ 26 : :
★ 62	△	00, 33, 34	CN: NN	カード番号 'C + 4' の伝送端子の種類 00 : なし、33 : Ai 受信端子、34 : Ao 送信端子
★ 63	△	RSSCGG	11: NNNNNN	グループ 11 の送信元アドレス、宛先アドレス
★ 64	△	RSSCGG	12: NNNNNN	グループ 12 : :
★ 65	△	RSSCGG	13: NNNNNN	グループ 13 : :
★ 66	△	RSSCGG	14: NNNNNN	グループ 14 : :
★ 67	△	RSSCGG	15: NNNNNN	グループ 15 : :
★ 68	△	RSSCGG	16: NNNNNN	グループ 16 : :
★ 69	△	RSSCGG	17: NNNNNN	グループ 17 : :
★ 70	△	RSSCGG	18: NNNNNN	グループ 18 : :
★ 71	△	RSSCGG	19: NNNNNN	グループ 19 : :
★ 72	△	RSSCGG	20: NNNNNN	グループ 20 : :
★ 73	△	RSSCGG	21: NNNNNN	グループ 21 : :
★ 74	△	RSSCGG	22: NNNNNN	グループ 22 : :
★ 75	△	RSSCGG	23: NNNNNN	グループ 23 : :
★ 76	△	RSSCGG	24: NNNNNN	グループ 24 : :
★ 77	△	RSSCGG	25: NNNNNN	グループ 25 : :
★ 78	△	RSSCGG	26: NNNNNN	グループ 26 : :
★ 79	△	00, 33, 34	CN: NN	カード番号 'C + 5' の伝送端子の種類 00 : なし、33 : Ai 受信端子、34 : Ao 送信端子
★ 80	△	RSSCGG	11: NNNNNN	グループ 11 の送信元アドレス、宛先アドレス
★ 81	△	RSSCGG	12: NNNNNN	グループ 12 : :
★ 82	△	RSSCGG	13: NNNNNN	グループ 13 : :
★ 83	△	RSSCGG	14: NNNNNN	グループ 14 : :
★ 84	△	RSSCGG	15: NNNNNN	グループ 15 : :
★ 85	△	RSSCGG	16: NNNNNN	グループ 16 : :
★ 86	△	RSSCGG	17: NNNNNN	グループ 17 : :
★ 87	△	RSSCGG	18: NNNNNN	グループ 18 : :
★ 88	△	RSSCGG	19: NNNNNN	グループ 19 : :
★ 89	△	RSSCGG	20: NNNNNN	グループ 20 : :
★ 90	△	RSSCGG	21: NNNNNN	グループ 21 : :
★ 91	△	RSSCGG	22: NNNNNN	グループ 22 : :
★ 92	△	RSSCGG	23: NNNNNN	グループ 23 : :
★ 93	△	RSSCGG	24: NNNNNN	グループ 24 : :
★ 94	△	RSSCGG	25: NNNNNN	グループ 25 : :
★ 95	△	RSSCGG	26: NNNNNN	グループ 26 : :

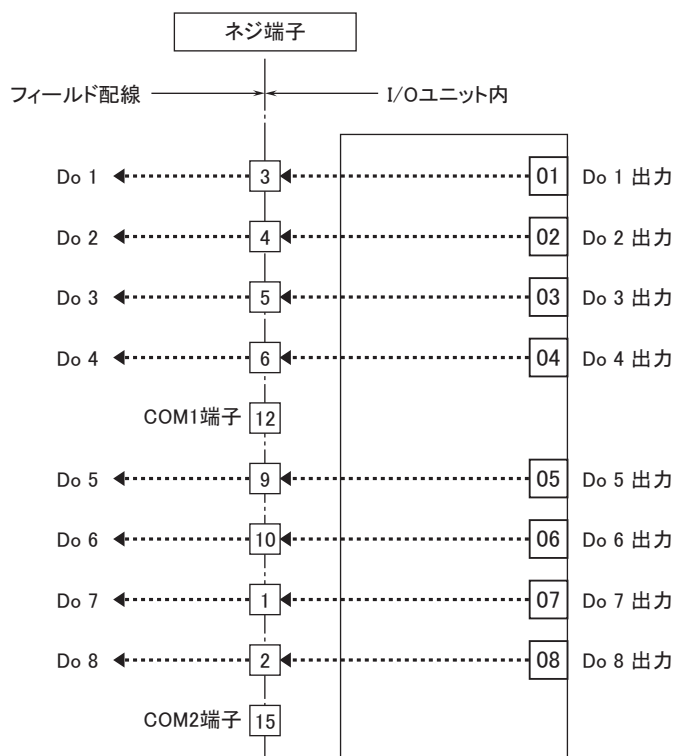
略号 F24	フィールド端子 SML-A4, SMM-A4 フィールド端子	略号 F24
-----------	-----------------------------------	-----------



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	02: N	Di 2 :
13	△◎	0, 1	03: N	Di 3 :
14	△◎	0, 1	04: N	Di 4 :
15	△◎	0, 1	05: N	Di 5 :
16	△◎	0, 1	06: N	Di 6 :
17	△◎	0, 1	07: N	Di 7 :
18	△◎	0, 1	08: N	Di 8 :

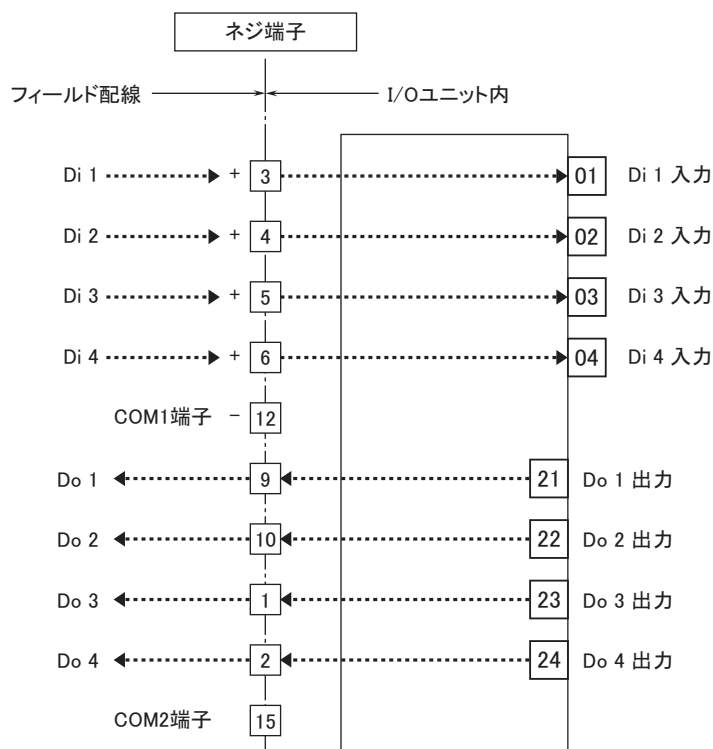
略号	フィールド端子	略号
F25	SML-C7, -C8, SMM-C7, -C8 フィールド端子	F25



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
接点出力表示				
11	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
12	△	0, 1	02: N	Do 2 :
13	△	0, 1	03: N	Do 3 :
14	△	0, 1	04: N	Do 4 :
15	△	0, 1	05: N	Do 5 :
16	△	0, 1	06: N	Do 6 :
17	△	0, 1	07: N	Do 7 :
18	△	0, 1	08: N	Do 8 :

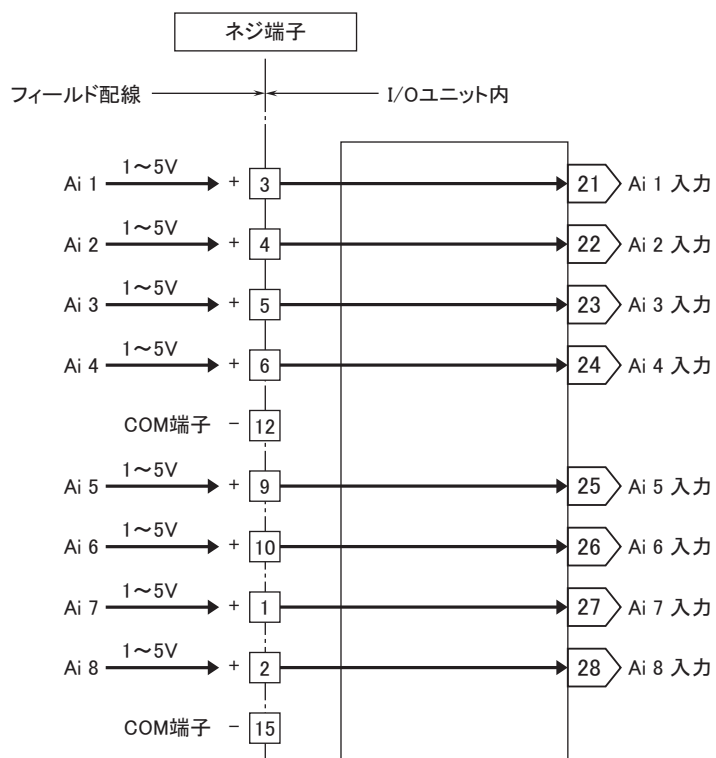
略号 F26	フィールド端子 SML-E5, SMM-E5 フィールド端子	略号 F26
-----------	-----------------------------------	-----------



GROUP [01]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	01: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	02: N	Di 2 :
13	△◎	0, 1	03: N	Di 3 :
14	△◎	0, 1	04: N	Di 4 :
接点出力表示				
31	△	0, 1	21: N	Do 1 出力値
32	△	0, 1	22: N	Do 2 :
33	△	0, 1	23: N	Do 3 :
34	△	0, 1	24: N	Do 4 :

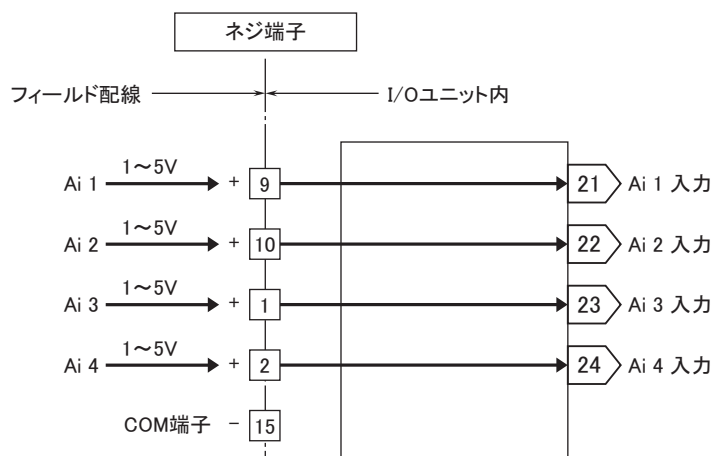
略号 F27	フィールド端子 SML-G3, SMM-G3 フィールド端子	略号 F27
-----------	-----------------------------------	-----------



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
アナログ入力値表示				
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
22	△◎	:	22: :	Ai 2 :
23	△◎	:	23: :	Ai 3 :
24	△◎	:	24: :	Ai 4 :
25	△◎	:	25: :	Ai 5 :
26	△◎	:	26: :	Ai 6 :
27	△◎	:	27: :	Ai 7 :
28	△◎	:	28: :	Ai 8 :
ゼロ/スパン調整				
★ 31	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 32	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 33	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 34	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 35	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 36	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 37	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 38	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
★ 39	△	± 115.00%	5Z: <u>0.00</u>	Ai 5 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 40	△	± 3.2000	5S: <u>1.0000</u>	Ai 5 スパン調整値 (ゲイン)
★ 41	△	± 115.00%	6Z: <u>0.00</u>	Ai 6 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 42	△	± 3.2000	6S: <u>1.0000</u>	Ai 6 スパン調整値 (ゲイン)
★ 43	△	± 115.00%	7Z: <u>0.00</u>	Ai 7 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 44	△	± 3.2000	7S: <u>1.0000</u>	Ai 7 スパン調整値 (ゲイン)
★ 45	△	± 115.00%	8Z: <u>0.00</u>	Ai 8 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 46	△	± 3.2000	8S: <u>1.0000</u>	Ai 8 スパン調整値 (ゲイン)

略号 F28	フィールド端子 SML-G4, SMM-G4 フィールド端子	略号 F28
-----------	-----------------------------------	-----------



GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01 ~ 90: エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)

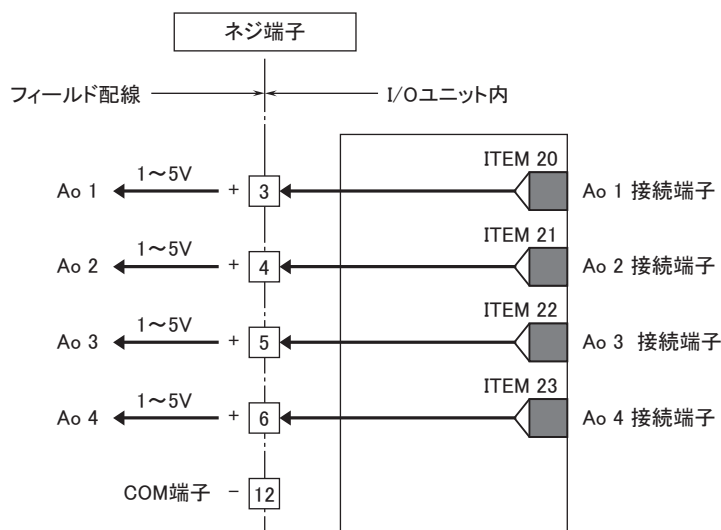
アナログ入力値表示

21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
22	△◎	:	22: :	Ai 2 :
23	△◎	:	23: :	Ai 3 :
24	△◎	:	24: :	Ai 4 :

ゼロ/スパン調整

★ 31	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 32	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 33	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 34	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 35	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 36	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 37	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 38	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)

略号	フィールド端子	略号
F29	SML-M4, SMM-M4 フィールド端子	F29



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)

アナログ出力値表示

03	△	-15.00 ~ 115.00%	01: NNN.NN	Ao 1 出力値
04	△	:	02: :	Ao 2 :
05	△	:	03: :	Ao 3 :
06	△	:	04: :	Ao 4 :
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)

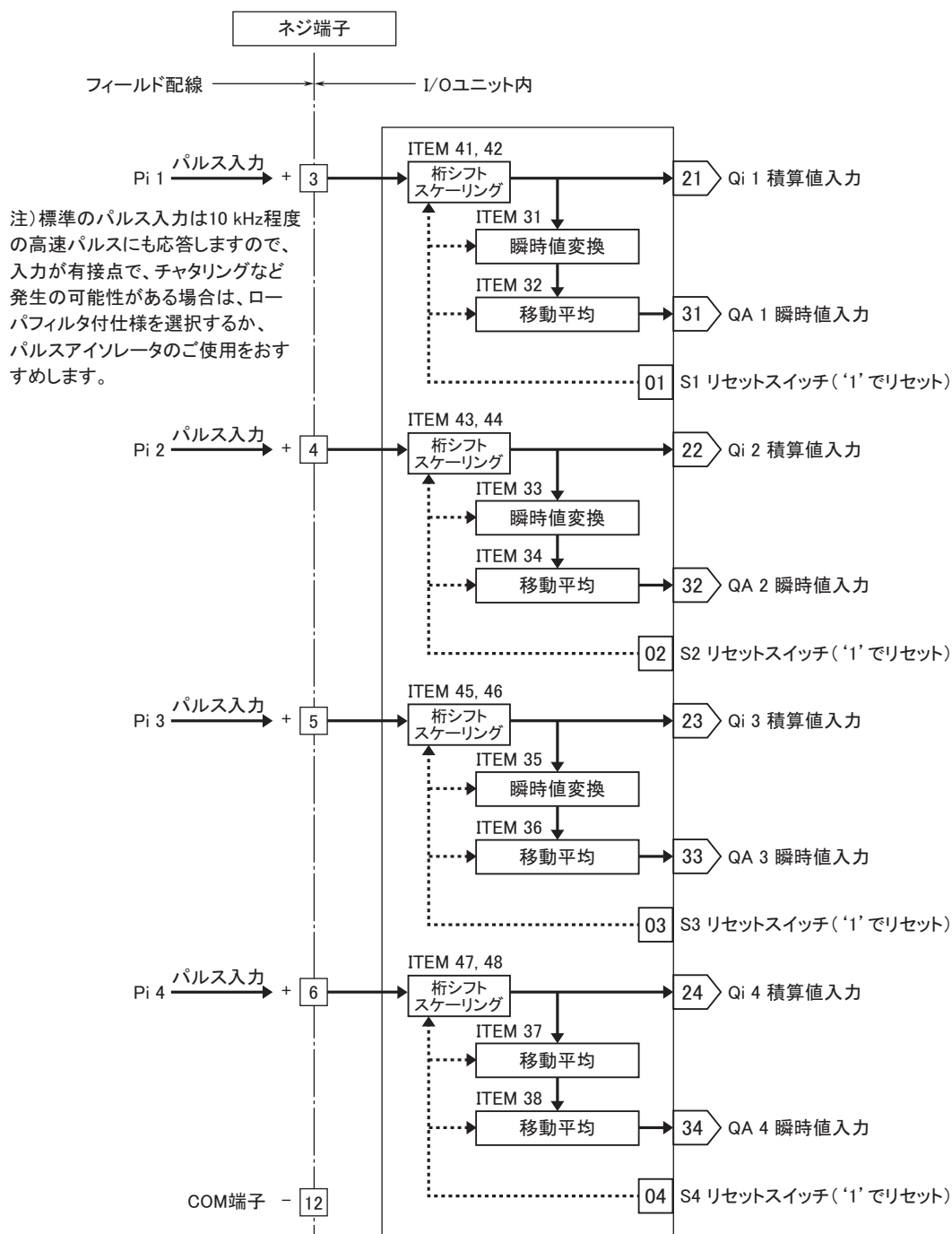
アナログ出力接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号

★ 20	△	GGNN	1#: 0225	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 21	△	GGNN	2#: 1121	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 22	△	GGNN	3#: 1122	Ao 3 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 23	△	GGNN	4#: 1221	Ao 4 接続端子 (無接続のときエラー)

ゼロ/スパン調整

★ 36	△	± 115.00%	1Z: 0.00	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 37	△	± 3.2000	1S: 1.0000	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 38	△	± 115.00%	2Z: 0.00	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 39	△	± 3.2000	2S: 1.0000	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 40	△	± 115.00%	3Z: 0.00	Ao 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 41	△	± 3.2000	3S: 1.0000	Ao 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 42	△	± 115.00%	4Z: 0.00	Ao 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 43	△	± 3.2000	4S: 1.0000	Ao 4 スパン調整値 (ゲイン)

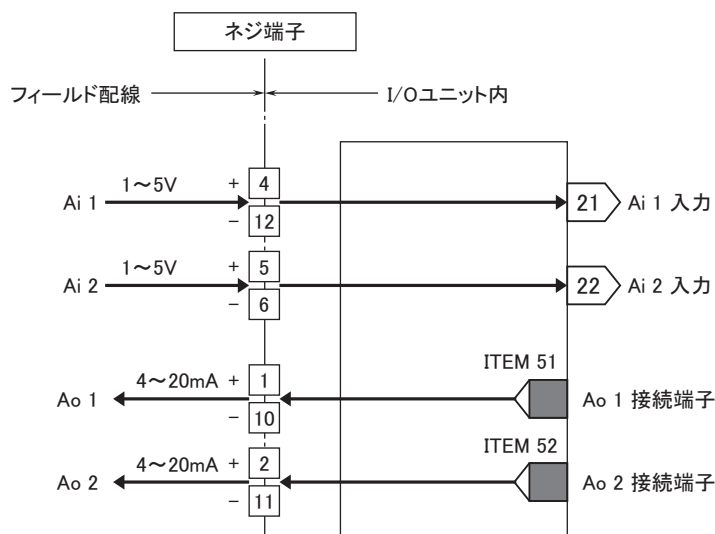
略号	フィールド端子	略号
F14	SML-P4, SMM-P4 フィールド端子	F14



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
QA 瞬時値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	31: NNN.NN	QA 1 瞬時値入力
12	△◎	:	32: :	QA 2 :
13	△◎	:	33: :	QA 3 :
14	△◎	:	34: :	QA 4 :
Qi 積算値表示				
21	△◎	0 ~ 9999	21: NNNN	Qi 1 積算値入力 (単位 : カウント)
22	△◎	:	22: :	Qi 2 :
23	△◎	:	23: :	Qi 3 :
24	△◎	:	24: :	Qi 4 :
瞬時値変換係数、移動平均個数 (瞬時値変換係数 : 瞬時値入力 100%のときの毎秒あたりのパルス数を設定)				
★ 31	△	0.00 ~ 10000.00	K1: NNNNN.NN	QA 1 瞬時値変換係数
★ 32	△	1 ~ 16	V1: 1	QA 1 移動平均個数
★ 33	△	0.00 ~ 10000.00	K2: NNNNN.NN	QA 2 瞬時値変換係数
★ 34	△	1 ~ 16	V2: 1	QA 2 移動平均個数
★ 35	△	0.00 ~ 10000.00	K3: NNNNN.NN	QA 3 瞬時値変換係数
★ 36	△	1 ~ 16	V3: 1	QA 3 移動平均個数
★ 37	△	0.00 ~ 10000.00	K4: NNNNN.NN	QA 4 瞬時値変換係数
★ 38	△	1 ~ 16	V4: 1	QA 4 移動平均個数
Qi 桁シフト、スケーリング係数 (桁シフト : 10 のべき乗 1 : x10、0 : x1、-1 : x0.1、-2 : x0.01、-3 : x0.001)				
★ 41	△	1, 0, -1, -2, -3	D1: -1	Qi 1 桁シフト
★ 42	△	1.0000 ~ 6.4000	S1: N.NNNN	Qi 1 スケーリング係数
★ 43	△	1, 0, -1, -2, -3	D2: -1	Qi 2 桁シフト
★ 44	△	1.0000 ~ 6.4000	S2: N.NNNN	Qi 2 スケーリング係
★ 45	△	1, 0, -1, -2, -3	D3: -1	Qi 3 桁シフト
★ 46	△	1.0000 ~ 6.4000	S3: N.NNNN	Qi 3 スケーリング係
★ 47	△	1, 0, -1, -2, -3	D4: -1	Qi 4 桁シフト
★ 48	△	1.0000 ~ 6.4000	S4: N.NNNN	Qi 4 スケーリング係
リセット入力				
51	△◎	0, 1	01: N	S1 リセットスイッチ
52	△◎	0, 1	02: N	S2 リセットスイッチ
53	△◎	0, 1	03: N	S3 リセットスイッチ
54	△◎	0, 1	04: N	S4 リセットスイッチ

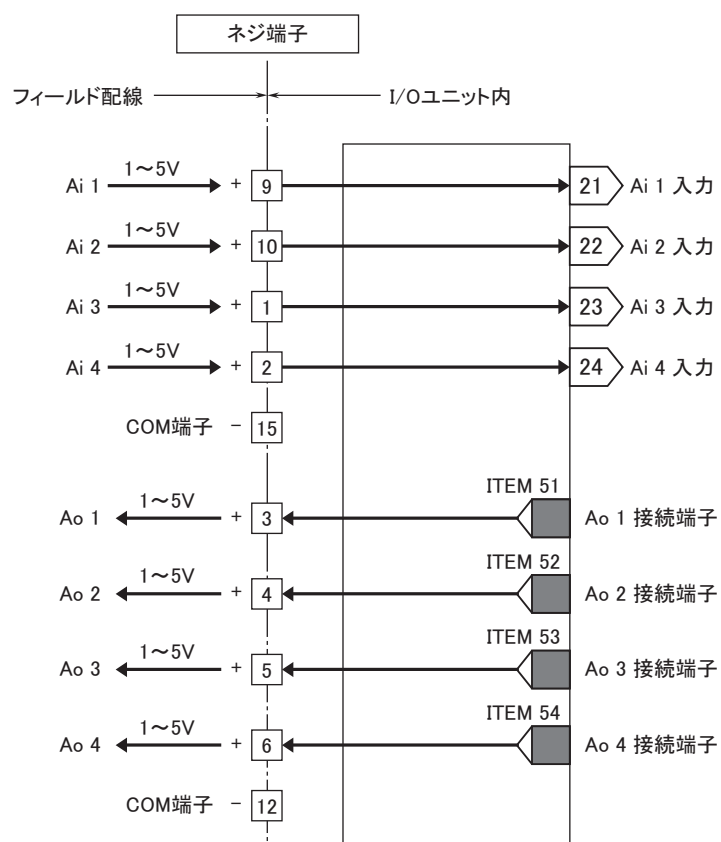
略号 F34	フィールド端子 SML-R2 フィールド端子	略号 F34
------------------	----------------------------------	------------------



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
12	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 2 入力値
入力ゼロ/スパン調整				
★ 21	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
アナログ出力値表示				
41	△	-15.00 ~ 115.00%	01: NNN.NN	Ao 1 出力値
42	△	-15.00 ~ 115.00%	02: NNN.NN	Ao 2 出力値
アナログ出力接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号				
★ 51	△	GGNN	1#: <u>0225</u>	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 52	△	GGNN	2#: <u>1121</u>	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー)
出力ゼロ/スパン調整				
★ 61	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 62	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 63	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 64	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)

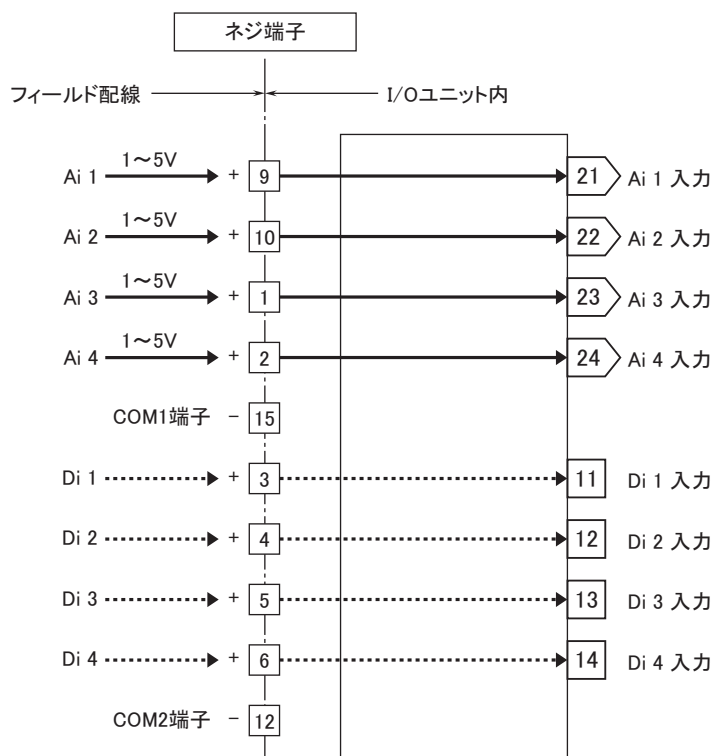
略号	フィールド端子	略号
F31	SML-R3, SMM-R3 フィールド端子	F31



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
アナログ入力値表示				
11	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
12	△◎	:	22: :	Ai 2 :
13	△◎	:	23: :	Ai 3 :
14	△◎	:	24: :	Ai 4 :
入力ゼロ/スパン調整				
★ 21	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 22	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 23	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 24	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 25	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 26	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 27	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 28	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)
アナログ出力値表示				
41	△	-15.00 ~ 115.00%	01: NNN.NN	Ao 1 出力値
42	△	:	02: :	Ao 2 :
43	△	:	03: :	Ao 3 :
44	△	:	04: :	Ao 4 :
アナログ出力接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号				
★ 51	△	GGNN	1#: <u>0225</u>	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 52	△	GGNN	2#: <u>1121</u>	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 53	△	GGNN	3#: <u>1122</u>	Ao 3 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 54	△	GGNN	4#: <u>1221</u>	Ao 4 接続端子 (無接続のときエラー)
出力ゼロ/スパン調整				
★ 61	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 62	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 63	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 64	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 65	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ao 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 66	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ao 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 67	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ao 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 68	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ao 4 スパン調整値 (ゲイン)

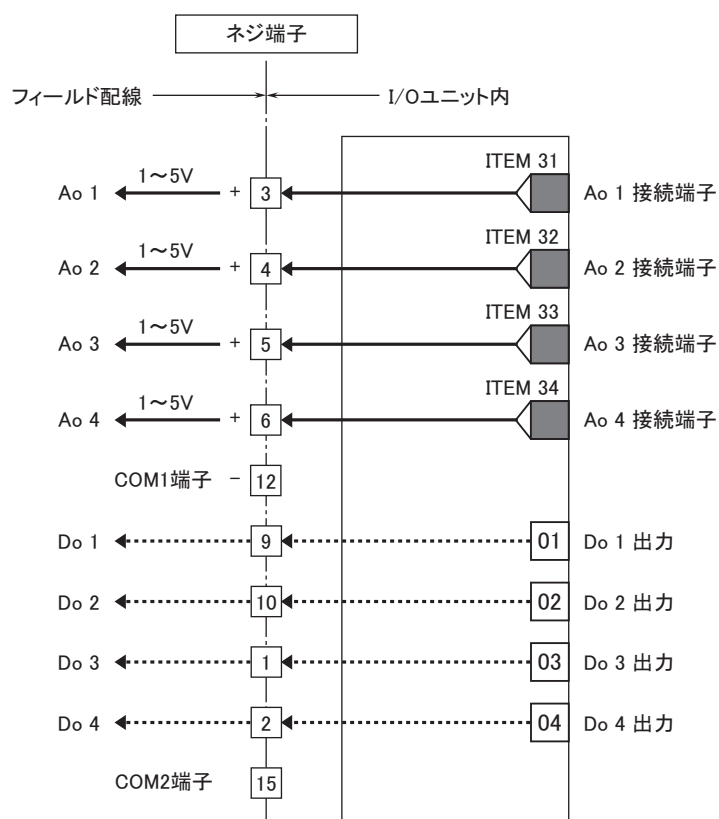
略号	フィールド端子	略号
F32	SML-S5, SMM-S5 フィールド端子	F32



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT: S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
接点入力表示				
11	△◎	0, 1	11: N	Di 1 入力値
12	△◎	0, 1	12: N	Di 2 :
13	△◎	0, 1	13: N	Di 3 :
14	△◎	0, 1	14: N	Di 4 :
アナログ入力値表示				
21	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21: NNN.NN	Ai 1 入力値
22	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22: NNN.NN	Ai 2 :
23	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23: NNN.NN	Ai 3 :
24	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24: NNN.NN	Ai 4 :
アナログ入力ゼロ/スパン調整				
★ 31	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ai 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 32	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ai 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 33	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ai 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 34	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ai 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 35	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ai 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 36	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ai 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 37	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ai 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 38	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ai 4 スパン調整値 (ゲイン)

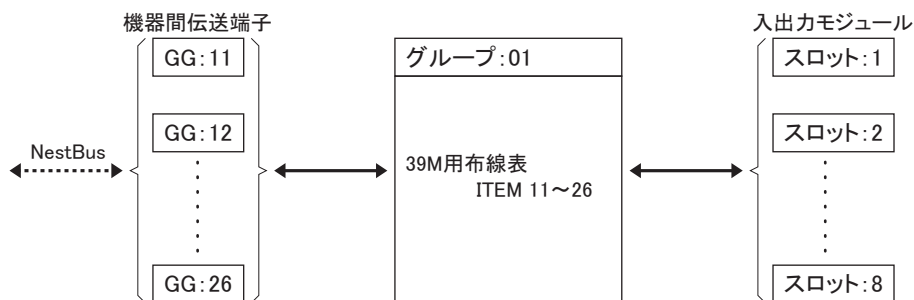
略号	フィールド端子	略号
F33	SML-S6, SMM-S6 フィールド端子	F33



GROUP [01] ★ : 設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD: <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
接点出力表示				
11	△	0, 1	01: N	Do 1 出力値
12	△	0, 1	02: N	Do 2 :
13	△	0, 1	03: N	Do 3 :
14	△	0, 1	04: N	Do 4 :
アナログ出力値表示				
21	△	-15.00 ~ 115.00%	01: NNN.NN	Ao 1 出力値
22	△	-15.00 ~ 115.00%	02: NNN.NN	Ao 2 :
23	△	-15.00 ~ 115.00%	03: NNN.NN	Ao 3 :
24	△	-15.00 ~ 115.00%	04: NNN.NN	Ao 4 :
アナログ出力接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号				
★ 31	△	GGNN	1#: <u>0225</u>	Ao 1 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 32	△	GGNN	2#: <u>1121</u>	Ao 2 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 33	△	GGNN	3#: <u>1122</u>	Ao 3 接続端子 (無接続のときエラー)
★ 34	△	GGNN	4#: <u>1221</u>	Ao 4 接続端子 (無接続のときエラー)
アナログ出力ゼロ/スパン調整				
★ 41	△	± 115.00%	1Z: <u>0.00</u>	Ao 1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 42	△	± 3.2000	1S: <u>1.0000</u>	Ao 1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 43	△	± 115.00%	2Z: <u>0.00</u>	Ao 2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 44	△	± 3.2000	2S: <u>1.0000</u>	Ao 2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 45	△	± 115.00%	3Z: <u>0.00</u>	Ao 3 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 46	△	± 3.2000	3S: <u>1.0000</u>	Ao 3 スパン調整値 (ゲイン)
★ 47	△	± 115.00%	4Z: <u>0.00</u>	Ao 4 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 48	△	± 3.2000	4S: <u>1.0000</u>	Ao 4 スパン調整値 (ゲイン)

略号 F40	フィールド端子 39M フィールド端子	略号 F40
-----------	-------------------------------	-----------



[概 説]

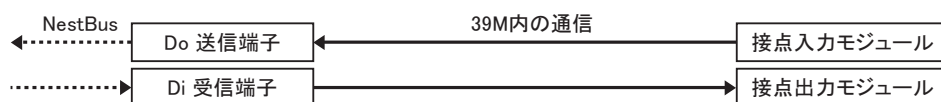
スロット1～8に実装されているモジュール（接点入出力モジュール）の入出力接点を、機器間伝送端子に割付けするための布線表です。

GROUP [01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	○	(常時変更可能)		■メンテナンススイッチ
		0	MT: 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT: 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
02	表示		ER: NN	エラー表示 (00: 正常、01～90: エラー)
03	表示	0, 1	Y1: N	I/O モジュールの動作状態 (0: 準備中、1: 動作中)
04	表示	0, 1	Y2: N	I/O モジュールの電源 (0: 異常、1: 正常)
10	表示	11	MD: 11	フィールド端子 (形式)
★ 11	△	GGNNSPP	11: GGNNSPP	機器間伝送端子とスロットの割付 GG: 機器間伝送端子のグループ番号 (11～26) NN: 機器間伝送端子の先頭点番号 (01～32) S : I/O モジュールのスロット番号 (1～8) PP: I/O モジュールの先頭点番号 (01～16)
★ 12	△	GGNNSPP	12: GGNNSPP	機器間伝送端子とスロットの割付
★ 13	△	GGNNSPP	13: GGNNSPP	機器間伝送端子とスロットの割付
:	:	:	:	:
★ 20	△	GGNNSPP	20: GGNNSPP	機器間伝送端子とスロットの割付
:	:	:	:	:
★ 26	△	GGNNSPP	26: GGNNSPP	機器間伝送端子とスロットの割付

■ 入出力モジュールと機器間伝送端子との組合せルール

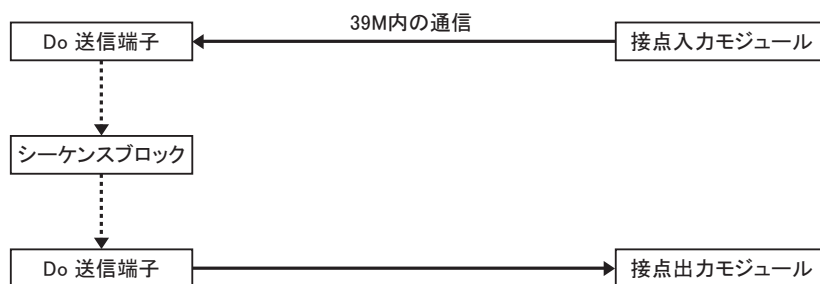
(1) リモートI/Oとして使用するとき



(2) 39M内でシーケンス制御を行うとき

接点入力モジュール、接点出力モジュールとも、Do送信端子と組合わせます。

Do送信端子は接点入力データをNestBus内に送信しますが、伝送範囲を指定する ITEM 11 に '2' を設定すると送信しません。

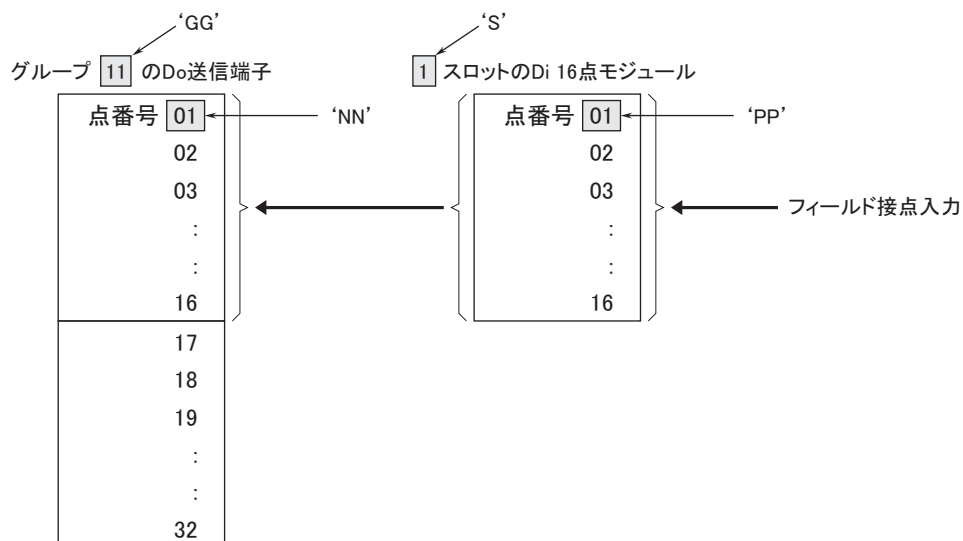


(Do 送信端子の ITEM 11 で '送信しない' に設定)

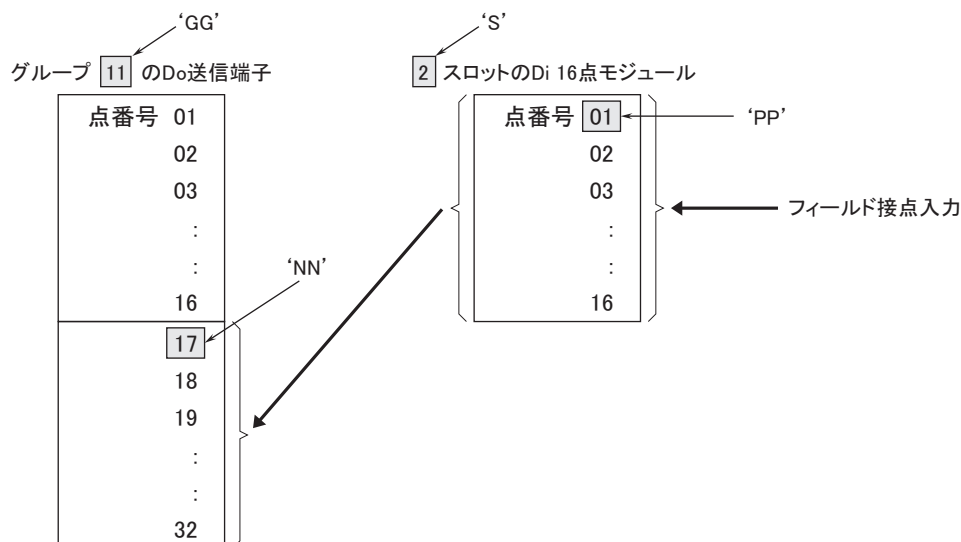
■ 点番号の割付ルール

(1) フィールド接点入力: GGNN ← SPP

例1: ITEM 11 (GGNNSPP): 1101101

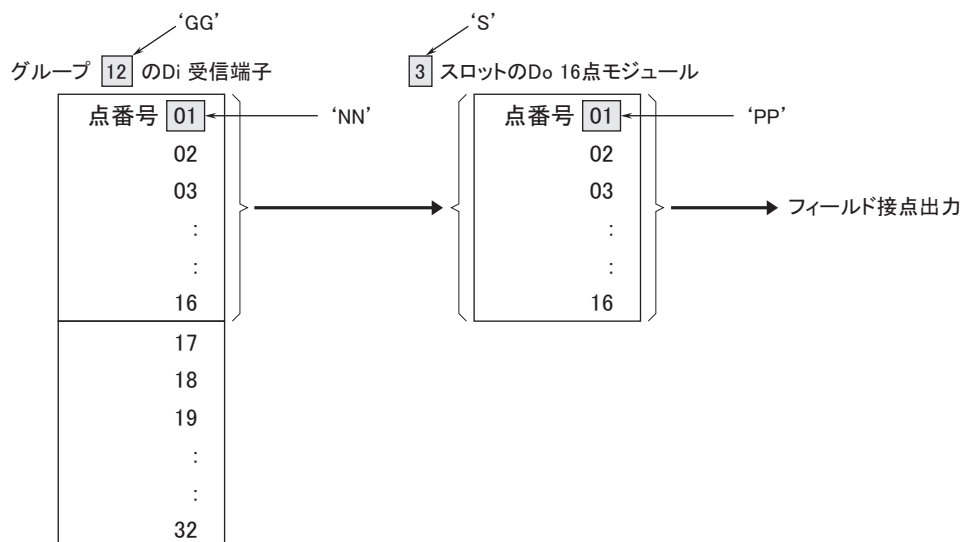


例2:ITEM 12(GGNSPP):1117201

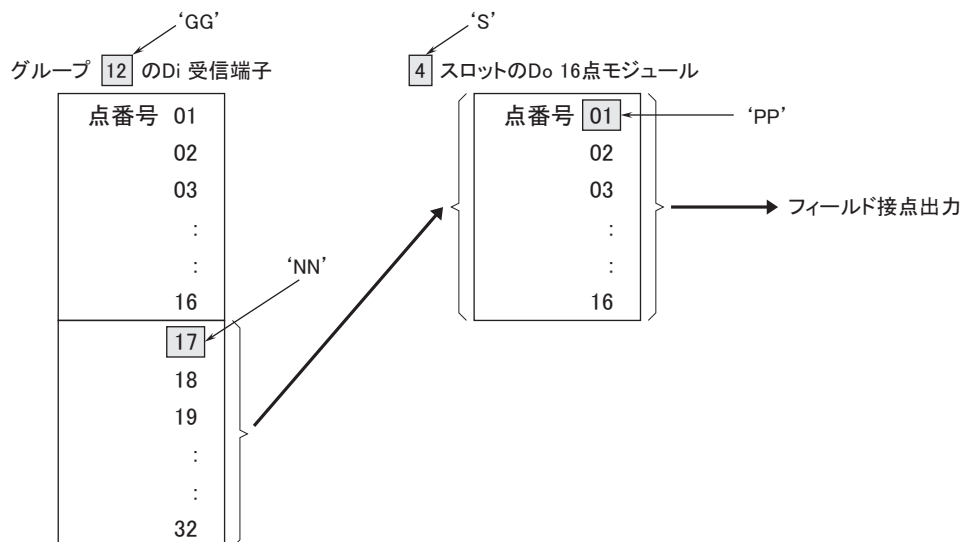


(2)フィールド接点出力:GGNN → SPP

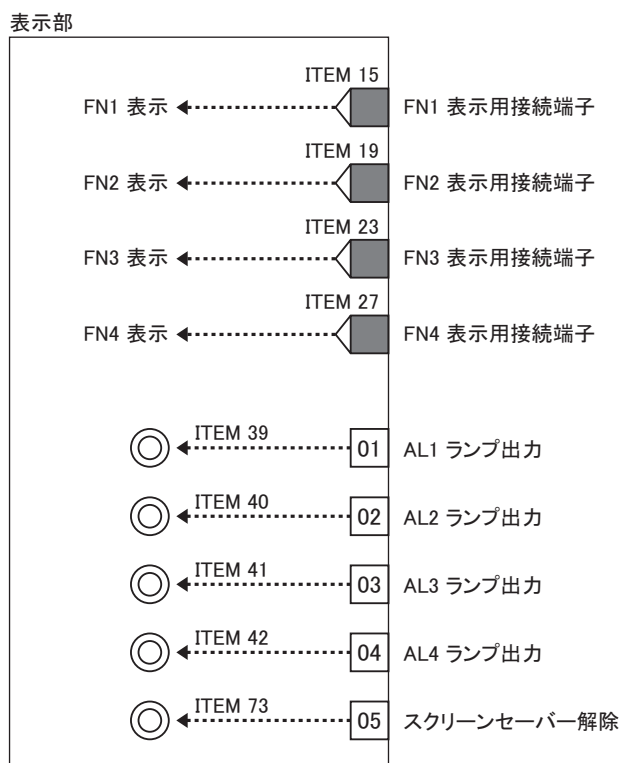
例1:ITEM 13(GGNSPP):1201301



例2:ITEM 14(GGNSPP):1217401



略号	フィールド端子	略号
F64	ABL フィールド端子	F64

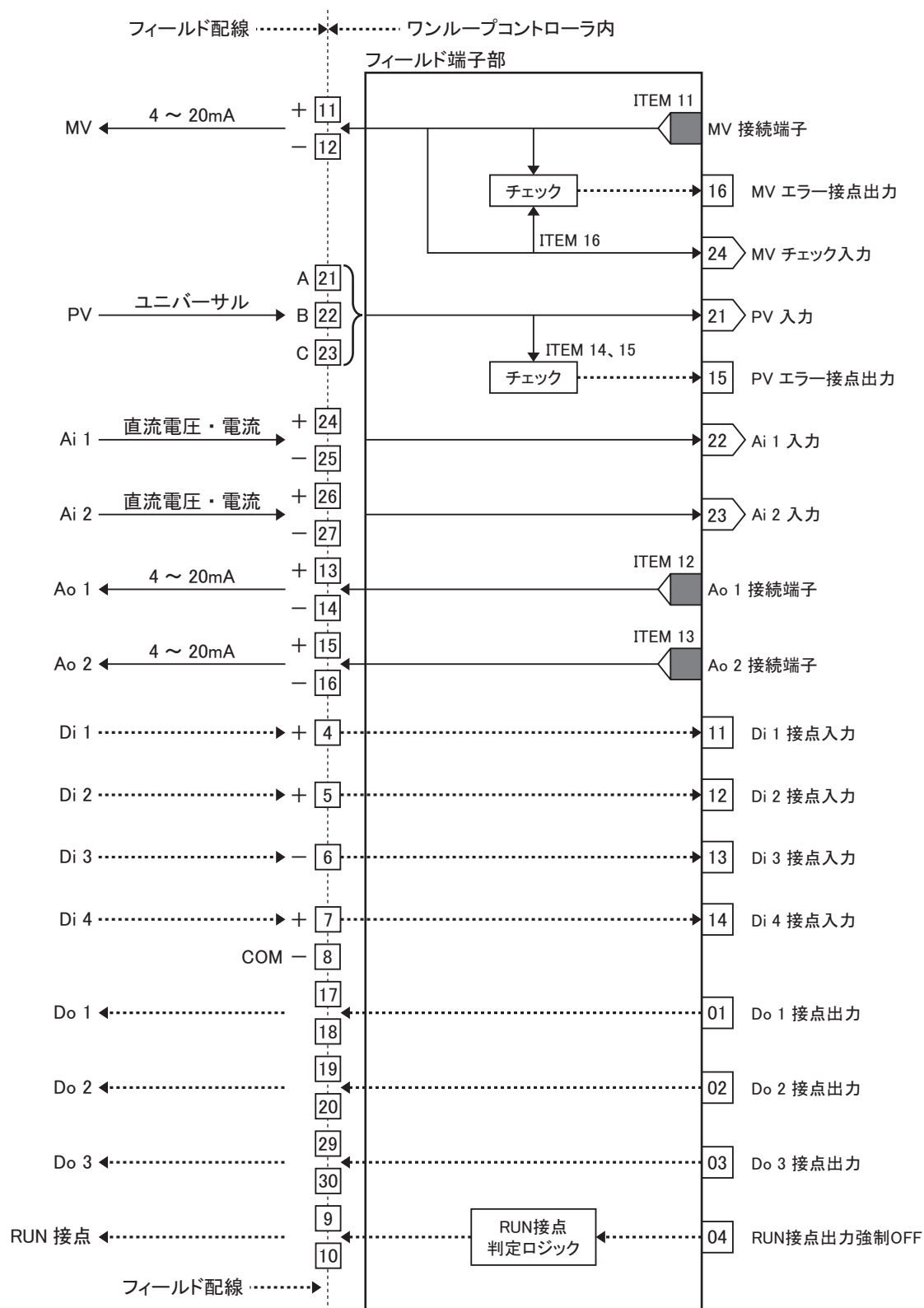


GROUP[01] ★：設定データ

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	常時可能			メンテナンススイッチ： △印の DATA を変更するとき使用
	○	0	MT : 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT : 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT : S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
02	表示		ER : NN	エラー表示 (00 : 正常、01 ~ 90 : エラー)
10	表示	11	MD : <u>11</u>	フィールド端子 (形式)
表示部				
★ 11	△	2、3	GR : <u>2</u>	1 次系で表示するグループ番号 (リセット後に有効)
★ 12	△	0、1	M1 : N	1 次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ +115%)
★ 13	△	0、1	M2 : N	2 次系 MV 操作範囲指定 (0 : ± 115%、1 : -15 ~ +115%)
★ 15	△	GGNN	1F : <u>3121</u>	FN1 表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 16	△	± 32000	1H : <u>1500</u>	FN1 レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 17	△	± 32000	1L : <u>0</u>	FN1 レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 18	△	0 ~ 5	1D : <u>1</u>	FN1 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGNN	2F : GGNN	FN2 入力表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 20	△	± 32000	2H : NNNNN	FN2 入力レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 21	△	± 32000	2L : NNNNN	FN2 入力レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 22	△	0 ~ 5	2D : N	FN2 入力小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGNN	3F : GGNN	FN3 入力表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 24	△	± 32000	3H : NNNNN	FN3 入力レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 25	△	± 32000	3L : NNNNN	FN3 入力レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 26	△	0 ~ 5	3D : N	FN3 入力小数点位置 (右から)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 27	△	GGNN	4F : GGNN	FN4 入力表示用接続端子 GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 28	△	± 32000	4H : NNNNN	FN4 入力レンジ上限設定値 (実量表示用)
★ 29	△	± 32000	4L : NNNNN	FN4 入力レンジ下限設定値 (実量表示用)
★ 30	△	0 ~ 5	4D : N	FN4 入力小数点位置 (右から)
★ 31	△	半角文字	T1 : XXX···X	FN1 TagNo. (10 文字以下)
★ 32	△	半角文字	T2 : XXX···X	FN2 TagNo. (10 文字以下)
★ 33	△	半角文字	T3 : XXX···X	FN3 TagNo. (10 文字以下)
★ 34	△	半角文字	T4 : XXX···X	FN4 TagNo. (10 文字以下)
★ 35	△	半角、全角	U1 : XXX···X	FN1 単位 (半角 8 文字／全角 4 文字以下)
★ 36	△	半角、全角	U2 : XXX···X	FN2 単位 (半角 8 文字／全角 4 文字以下)
★ 37	△	半角、全角	U3 : XXX···X	FN3 単位 (半角 8 文字／全角 4 文字以下)
★ 38	△	半角、全角	U4 : XXX···X	FN4 単位 (半角 8 文字／全角 4 文字以下)
39	△◎	0、1	01 : N	AL1 ランプ出力値
40	△◎	0、1	02 : N	AL2 ランプ出力値
41	△◎	0、1	03 : N	AL3 ランプ出力値
42	△◎	0、1	04 : N	AL4 ランプ出力値
★ 43	△	半角文字	L1 : XXXX	AL1 コメント (4 文字以下)
★ 44	△	半角文字	L2 : XXXX	AL2 コメント (4 文字以下)
★ 45	△	半角文字	L3 : XXXX	AL3 コメント (4 文字以下)
★ 46	△	半角文字	L4 : XXXX	AL4 コメント (4 文字以下)
★ 71	△	10 ~ 100s/100%	ST : <u>10</u>	SP UP/DOWN 時間 (最初の 5 秒間は 1/5、次の 5 秒間は 1/2 の速度で動かす)
★ 72	△	10 ~ 100s/100%	ST : <u>10</u>	MV UP/DOWN 時間 (最初の 5 秒間は 1/5、次の 5 秒間は 1/2 の速度で動かす)
73	△	0、1	05 : 1	スクリーンセーバー解除 (0 : 通常、1 : 解除)

略号 EX1	拡張フィールド端子1 ABL 拡張フィールド端子1	略号 EX1
-----------	----------------------------------	-----------



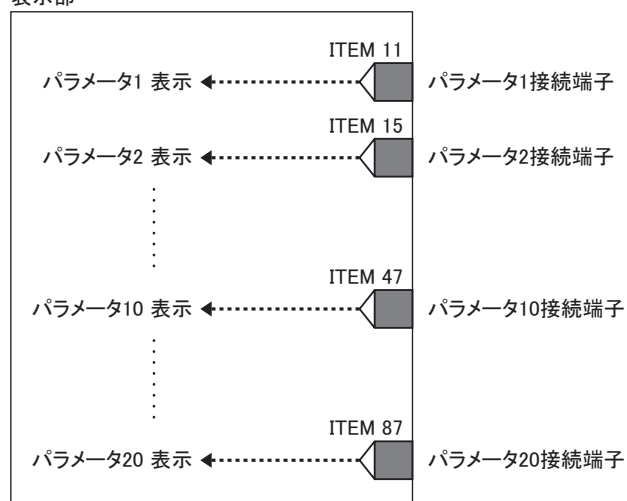
GROUP [04]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	常時 可能			メンテナンススイッチ： △印の DATA を変更するとき使用
	○	0	MT : 0	DATA 表示のみ可能 (モニタモード)
		1	MT : 1	△印の DATA 変更可 (プログラムモード)
		S	MT : S	◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
03	△◎	-15.00 ~ 115.00%	21 : NNN.NN	PV 入力値
04	△◎	-15.00 ~ 115.00%	22 : NNN.NN	Ai1 入力値
05	△◎	-15.00 ~ 115.00%	23 : NNN.NN	Ai2 入力値
06	△◎	-15.00 ~ 115.00%	24 : NNN.NN	MV チェック入力値
07	△	-15.00 ~ 115.00%	MV : NNN.NN	MV 出力値
08	△	-15.00 ~ 115.00%	AO1 : NNN.NN	Ao1 出力値
09	△	-15.00 ~ 115.00%	AO2 : NNN.NN	Ao2 出力値
10	表示	12	MD : 12	拡張フィールド端子 1 (形式)
①アナログ入出力				
★ 11	△	GGNN	MV# : 0225	MV 接続端子 (無接続時エラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 12	△	GGNN	A1# : 0225	Ao1 接続端子 (無接続時エラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 13	△	GGNN	A2# : 0225	Ao2 接続端子 (無接続時エラー) GG : グループ番号 NN : 端子番号
★ 14	△	-15.00 ~ 115.00%	PH : NNN.NN	PV 上限警報設定値 (エラー判定用)
★ 15	△	-15.00 ~ 115.00%	PL : NNN.NN	PV 下限警報設定値 (エラー判定用)
★ 16	△	0.00 ~ 115.00%	ML : NNN.NN	MV 偏差警報設定値 (エラー判定用)
★ 17	△	MM	TP : MM	PV 入力タイプ設定 MM : 入力タイプ番号 (0 : 0 ~ 10V、 1 : 0 ~ 5V、 2 : 1 ~ 5V、 3 : -1 ~ 1V、 4 : 0 ~ 1V、 5 : 0 ~ 20mA、 6 : 4 ~ 20mA、 7 : K、 8 : E、 9 : J、 10 : T、 11 : B、 12 : R、 13 : S、 14 : C、 15 : N、 16 : U、 17 : L、 18 : P、 19 : PR、 20 : Pt100(JIS' 97、IEC)、 21 : Pt100(JIS' 89)、 22 : JPt100(JIS' 89))
★ 18	△	-272.0 ~ 3000.0	HT	PV 温度レンジ上限設定値
★ 19	△	-272.0 ~ 3000.0	LT	PV 温度レンジ下限設定値
★ 20	△	0、1	CJ	PV 冷接点補償 (0 : なし、1 : あり)
	△◎	0、1	15 : N	PV エラー接点出力値
	△◎	0、1	16 : N	MV エラー接点出力値
★ 41	△	± 115.00%	PZ : 0.00	PV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 42	△	± 3.2000	PS : 1.0000	PV スパン調整値 (ゲイン)
★ 43	△	± 115.00%	MZ : 0.00	MV ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 44	△	± 3.2000	MS : 1.0000	MV スパン調整値 (ゲイン)
★ 45	△	± 115.00%	IZ1 : 0.00	Ai1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 46	△	± 3.2000	IS1 : 1.0000	Ai1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 47	△	± 115.00%	IZ2 : 0.00	Ai2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 48	△	± 3.2000	IS2 : 1.0000	Ai2 スパン調整値 (ゲイン)
★ 49	△	± 115.00%	CZ : 0.00	MV チェック入力ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 50	△	± 3.2000	CS : 1.0000	MV チェック入力スパン調整値 (ゲイン)
★ 51	△	± 115.00%	OZ1 : 0.00	Ao1 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 52	△	± 3.2000	OS1 : 1.0000	Ao1 スパン調整値 (ゲイン)
★ 53	△	± 115.00%	OZ2 : 0.00	Ao2 ゼロ調整値 (ゼロバイアス値)
★ 54	△	± 3.2000	OS2 : 1.0000	Ao2 スパン調整値 (ゲイン)

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
接点入出力				
71	△◎	0、1	11 : N	Di1 入力値
72	△◎	0、1	12 : N	Di2 入力値
73	△◎	0、1	13 : N	Di3 入力値
74	△◎	0、1	14 : N	Di4 入力値
75	△◎	0、1	01 : N	Do1 出力値
76	△◎	0、1	02 : N	Do2 出力値
77	△◎	0、1	03 : N	Do3 出力値
78	△◎	0、1	04 : N	RUN 接点出力強制 OFF ('1' : OFF)

略号	拡張フィールド端子 2	略号
EX2	ABL 拡張フィールド端子2	EX2

表示部



GROUP [05]

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
01	常時 可能 ○	0 1 S	MT : 0 MT : 1 MT : S	メンテナンススイッチ : △印の DATA を変更するとき使用 DATA 表示のみ可能 (モニタモード) △印の DATA 変更可 (プログラムモード) ◎印の DATA 変更可 (シミュレーションモード)
10	表示	13	MD : 13	拡張フィールド端子 2 (形式)
パラメータ設定				
★ 11	△	GGII	P01# : 0227	パラメータ 1 接続端子
★ 12	△	± 32000	P01H : NNNNN	パラメータ 1 上限設定値
★ 13	△	± 32000	P01L : NNNNN	パラメータ 1 下限設定値
★ 14	△	0 ~ 5	P01DP : N	パラメータ 1 小数点位置 (右から)
★ 15	△	GGII	P02# : 0227	パラメータ 2 接続端子
★ 16	△	± 32000	P02H : NNNNN	パラメータ 2 上限設定値
★ 17	△	± 32000	P02L : NNNNN	パラメータ 2 下限設定値
★ 18	△	0 ~ 5	P02DP : N	パラメータ 2 小数点位置 (右から)
★ 19	△	GGII	P03# : 0227	パラメータ 3 接続端子
★ 20	△	± 32000	P03H : NNNNN	パラメータ 3 上限設定値
★ 21	△	± 32000	P03L : NNNNN	パラメータ 3 下限設定値
★ 22	△	0 ~ 5	P03DP : N	パラメータ 3 小数点位置 (右から)
★ 23	△	GGII	P04# : 0227	パラメータ 4 接続端子
★ 24	△	± 32000	P04H : NNNNN	パラメータ 4 上限設定値
★ 24	△	± 32000	P04L : NNNNN	パラメータ 4 下限設定値
★ 26	△	0 ~ 5	P04DP : N	パラメータ 4 小数点位置 (右から)
★ 27	△	GGII	P05# : 0227	パラメータ 5 接続端子
★ 28	△	± 32000	P05H : NNNNN	パラメータ 5 上限設定値
★ 29	△	± 32000	P05L : NNNNN	パラメータ 5 下限設定値
★ 30	△	0 ~ 5	P05DP : N	パラメータ 5 小数点位置 (右から)
★ 31	△	GGII	P06# : 0227	パラメータ 6 接続端子
★ 32	△	± 32000	P06H : NNNNN	パラメータ 6 上限設定値
★ 33	△	± 32000	P06L : NNNNN	パラメータ 6 下限設定値
★ 34	△	0 ~ 5	P06DP : N	パラメータ 6 小数点位置 (右から)
★ 35	△	GGII	P07# : 0227	パラメータ 7 接続端子
★ 36	△	± 32000	P07H : NNNNN	パラメータ 7 上限設定値
★ 37	△	± 32000	P07L : NNNNN	パラメータ 7 下限設定値
★ 38	△	0 ~ 5	P07DP : N	パラメータ 7 小数点位置 (右から)
★ 39	△	GGII	P08# : 0227	パラメータ 8 接続端子
★ 40	△	± 32000	P08H : NNNNN	パラメータ 8 上限設定値
★ 41	△	± 32000	P08L : NNNNN	パラメータ 8 下限設定値
★ 42	△	0 ~ 5	P08DP : N	パラメータ 8 小数点位置 (右から)
★ 43	△	GGII	P09# : 0227	パラメータ 9 接続端子
★ 44	△	± 32000	P09H : NNNNN	パラメータ 9 上限設定値
★ 45	△	± 32000	P09L : NNNNN	パラメータ 9 下限設定値
★ 46	△	0 ~ 5	P09DP : N	パラメータ 9 小数点位置 (右から)
★ 47	△	GGII	P10# : 0227	パラメータ 10 接続端子
★ 48	△	± 32000	P10H : NNNNN	パラメータ 10 上限設定値
★ 49	△	± 32000	P10L : NNNNN	パラメータ 10 下限設定値
ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 50	△	0 ~ 5	P10DP : N	パラメータ 10 小数点位置 (右から)
★ 51	△	GGII	P11# : 0227	パラメータ 11 接続端子
★ 52	△	± 32000	P11H : NNNNN	パラメータ 11 上限設定値
★ 53	△	± 32000	P11L : NNNNN	パラメータ 11 下限設定値
★ 54	△	0 ~ 5	P11DP : N	パラメータ 11 小数点位置 (右から)
★ 55	△	GGII	P12# : 0227	パラメータ 12 接続端子

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 56	△	± 32000	P12H : NNNNN	パラメータ 12 上限設定値
★ 57	△	± 32000	P12L : NNNNN	パラメータ 12 下限設定値
★ 58	△	0 ~ 5	P12DP : N	パラメータ 12 小数点位置 (右から)
★ 59	△	GGII	P13# : 0227	パラメータ 13 接続端子
★ 60	△	± 32000	P13H : NNNNN	パラメータ 13 上限設定値
★ 61	△	± 32000	P13L : NNNNN	パラメータ 13 下限設定値
★ 62	△	0 ~ 5	P13DP : N	パラメータ 13 小数点位置 (右から)
★ 63	△	GGII	P14# : 0227	パラメータ 14 接続端子
★ 64	△	± 32000	P14H : NNNNN	パラメータ 14 上限設定値
★ 65	△	± 32000	P14L : NNNNN	パラメータ 14 下限設定値
★ 66	△	0 ~ 5	P14DP : N	パラメータ 14 小数点位置 (右から)
★ 67	△	GGII	P15# : 0227	パラメータ 15 接続端子
★ 68	△	± 32000	P15H : NNNNN	パラメータ 15 上限設定値
★ 69	△	± 32000	P15L : NNNNN	パラメータ 15 下限設定値
★ 70	△	0 ~ 5	P15DP : N	パラメータ 15 小数点位置 (右から)
★ 71	△	GGII	P16# : 0227	パラメータ 16 接続端子
★ 72	△	± 32000	P16H : NNNNN	パラメータ 16 上限設定値
★ 73	△	± 32000	P16L : NNNNN	パラメータ 16 下限設定値
★ 74	△	0 ~ 5	P16DP : N	パラメータ 16 小数点位置 (右から)
★ 75	△	GGII	P17# : 0227	パラメータ 17 接続端子
★ 76	△	± 32000	P17H : NNNNN	パラメータ 17 上限設定値
★ 77	△	± 32000	P17L : NNNNN	パラメータ 17 下限設定値
★ 78	△	0 ~ 5	P17DP : N	パラメータ 17 小数点位置 (右から)
★ 79	△	GGII	P18# : 0227	パラメータ 18 接続端子
★ 80	△	± 32000	P18H : NNNNN	パラメータ 18 上限設定値
★ 81	△	± 32000	P18L : NNNNN	パラメータ 18 下限設定値
★ 82	△	0 ~ 5	P18DP : N	パラメータ 18 小数点位置 (右から)
★ 83	△	GGII	P19# : 0227	パラメータ 19 接続端子
★ 84	△	± 32000	P19H : NNNNN	パラメータ 19 上限設定値
★ 85	△	± 32000	P19L : NNNNN	パラメータ 19 下限設定値
★ 86	△	0 ~ 5	P19DP : N	パラメータ 19 小数点位置 (右から)
★ 87	△	GGII	P20# : 0227	パラメータ 20 接続端子
★ 88	△	± 32000	P20H : NNNNN	パラメータ 20 上限設定値
★ 89	△	± 32000	P20L : NNNNN	パラメータ 20 下限設定値
★ 90	△	0 ~ 5	P20DP : N	パラメータ 20 小数点位置 (右から)

4. 解説

MsysNet 計装システムは、下記のシステムを構築するための機器をすべて部品化し、ネットワークで統合したものです。

- ・スーパー DCS（超分散形制御システム）
- ・データロガー
- ・テレメータ
- ・テレカプラ（電話回線用テレメータ）
- ・多重伝送
- ・異種PLC間通信

これらのシステムが混在した構成も、MsysNet 計装システムの部品を使用すれば容易に構築できます。

4.1 システム構築方法の概要

●全機種共通ソフト

MsysNet 計装システムのすべての I/O 機器の形式仕様は共通です。違うところは、I/O 機器の入出力仕様を決めるフィールド端子だけです。したがって、1種類の機器のシステム構築を覚えれば、他の機器も同じ考え方で処理可能です。

●ソフト計器ブロック方式

コンピュータ専用の言語を使用しないで、PID 調節計や演算器およびシーケンス（PLC）などの概念をそのまま使用する「ソフト計器ブロック方式」を採用しています。したがって、ユーザにとって機器のイメージがつかみやすいため、使用方法をすぐ理解できます。

●強力な機器間伝送機能

MsysNet 計装システムの構成機器は、機器間伝送機能により相互通信を行います。「盤間渡り端子」という分かりやすいイメージで機器間を接続します。

●機器間通信は通信効率の高いトークンパッシング方式

通信手順は、トークン（送信権）が各機器に順番にまわるトークンパッシング方式です。トークンを持った機器は、自己のフィールド入力信号をバスに放送します。他の機器はそれを同時に聞き取って、自己が必要なデータであれば取り込みます。

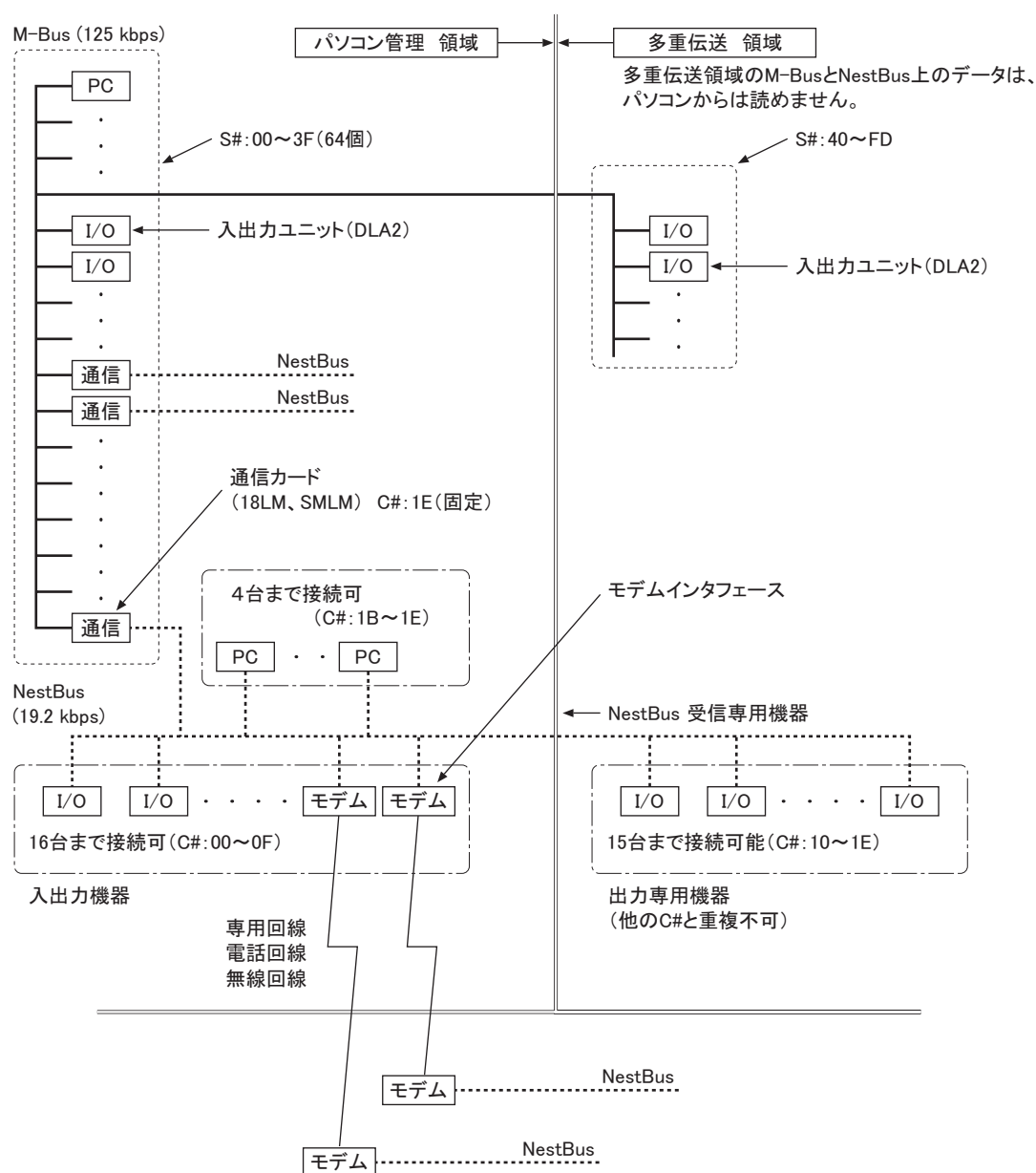
●パラメータの設定方法

パソコン用ビルダーソフト（形式：SFEW3）とハンドヘルドタイプのプログラミングユニット（形式：PU-2x）を用意しています。

ビルダーソフトは、データの作成、コピー、保存、印字などができます。

プログラミングユニットは、現場でデータを1項目ずつ入力・変更するのに大変便利です。また、小規模のシステムは、プログラミングユニットだけで構築が可能です。

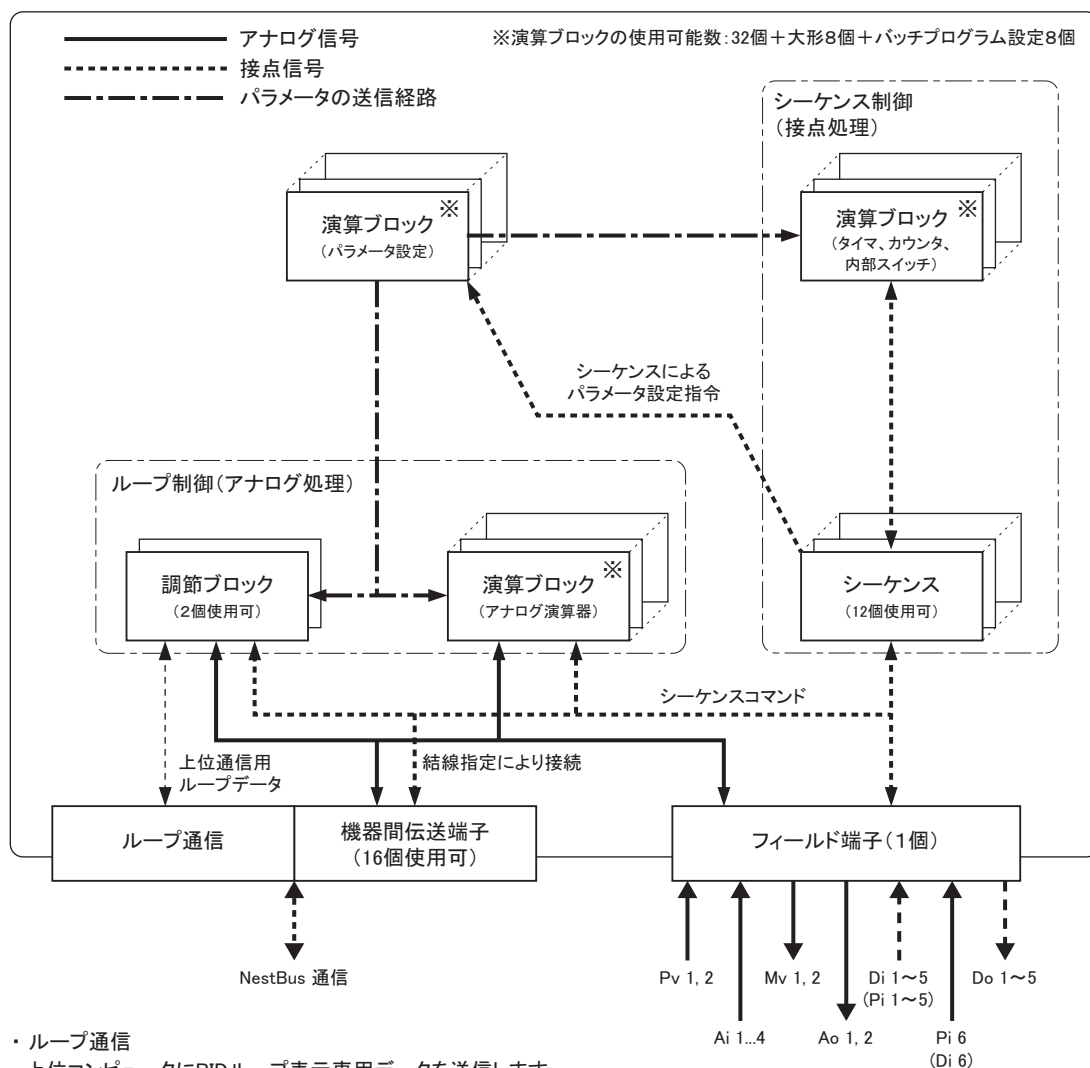
4.2 アドレス設定



カード番号(C#)の上位桁(0, 1)は、GROUP 00、ITEM 08で自動設定されます。
ITEM 08 '0' → 上位桁は '0'、ITEM 08 '1' → 上位桁は '1'

4.3 計器ブロックの相互関係

- ・ ループ制御（PID 制御）とシーケンス制御相互間の密結合
- ・ 機器間伝送端子ブロックによる入出力の拡張
- ・ パラメータ設定ブロックによる係数、設定値等の変更



- ・ ループ通信
上位コンピュータにPIDループ表示専用データを送信します。

- ・ 機器間伝送端子
アナログ入出力だけの場合:32点
接点入出力だけの場合:512点
アナログ/接点の混在使用可能:アナログ2点=接点32点で換算

(上記I/Oの種類はSC100/200の場合、
拡張フィールド端子分含む)

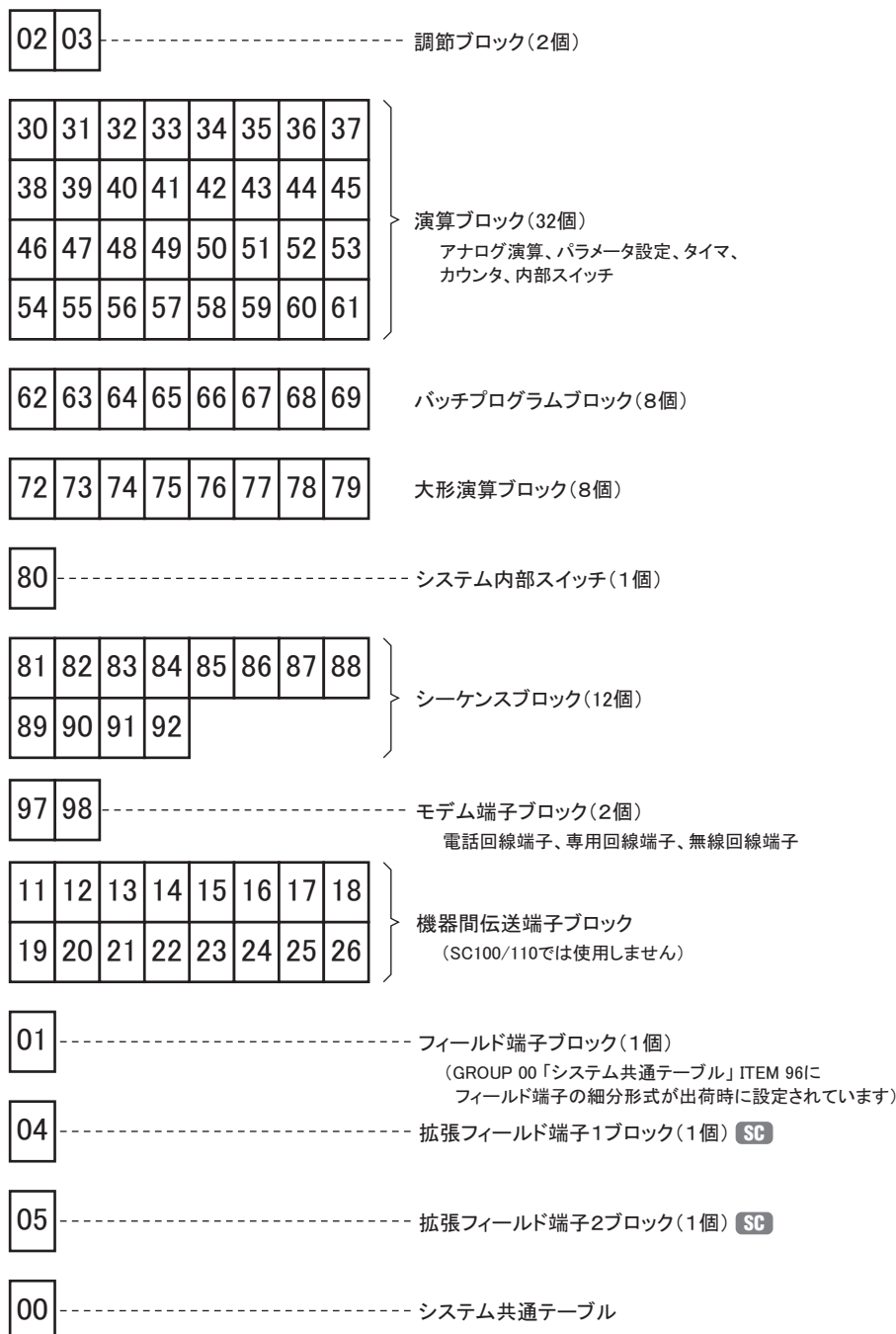
- ・ フィールド端子は機種毎に異なります。
- ・ その他のブロックは一部の機種を除き共通です。

4.4 計器ブロックの設定場所

1台のコントローラが使用できる計器ブロックの使用個数と割付方法は、次のように考えます。

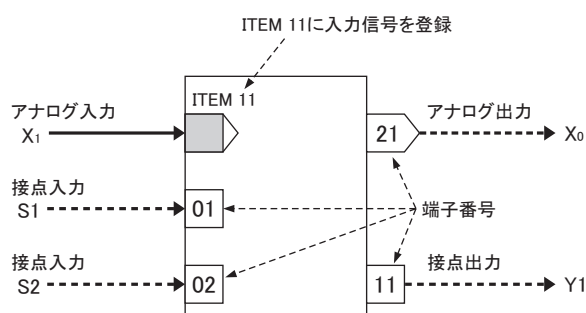
- ・まず計器盤のイメージに置き換えます。
- ・1面の計器盤に設置できる計器の台数は下図のように決まっています。グループ番号は、計器盤のロケーション番号に相当します。
- ・グループ番号を選び、計器ブロック形式をITEM 10に設定すると、他のITEMは、設定形式に見合った内容になります。
- ・フィールド端子ブロックは、工場出荷時にその機種に合わせて設定してあります。ユーザでは「形式」の変更ができません。

数値はグループ番号



4.5 計器ブロック間の結線方法

4.5.1 計器ブロックの結線用端子の表現ルール例



4.5.2 アナログ信号の結線ルール

- ・ 入力信号：欲しい信号（入力したい信号）のグループ番号と端子番号（GGNN）を、自分の計器ブロックの ITEM に書き込みます。
- ・ 出力信号：計器ブロックの種類ごとに出力端子番号が決められています。

[例]

基本形 PID ブロックがフィールド端子ブロックから PV 信号を入力する場合、PV 信号の端子番号は、0421（04：グループ番号、21：端子番号）になります。これを基本形 PID ブロックが登録されているグループの ITEM 15 に設定します。

[アナログ接続端子番号 '0099' について]

以下のような場合、端子番号（GGNN）に '0099' を設定します。

- ・ モデムインタフェース（テレメータ）において、アナログ信号を受信するために使用する Ao 送信端子（ITEM 18）には '0099' を設定します。
- ・ フィールド端子ブロックのアナログ出力端子において、使用しない端子（例えば4点出力ユニットで2点しか使用しない場合）を無接続にするとエラーとなる場合、その端子に '0099' を設定します。

4.5.3 接点信号の結線ルール

接点入出力信号を処理する方法は、2通りあります。

◆シーケンスブロックのリレーロジックによる方法

- ・ 接点入力：計器ブロックの接点入力端子番号に対して、リレーロジックのコイルとして出力処理します。この接点入力端子は、リレーロジックの接点信号として入力することもできます。
- ・ 接点出力：計器ブロックの種類ごとに決められている接点出力端子番号を、リレーロジックの接点信号として入力します。

◆接点結合ブロックによる方法

アナログ信号と同様に、接点入力を接点出力に1：1で接続する方法です。接点結合ブロックに接点入力の端子番号と接点出力の端子番号の組合せを登録します。

4.5.4 パラメータ設定

パラメータ設定ブロックにパラメータの値と出力接続端子（パラメータの送付先）を設定しておき、必要なときにシーケンスブロックからトリガー信号を与えます。

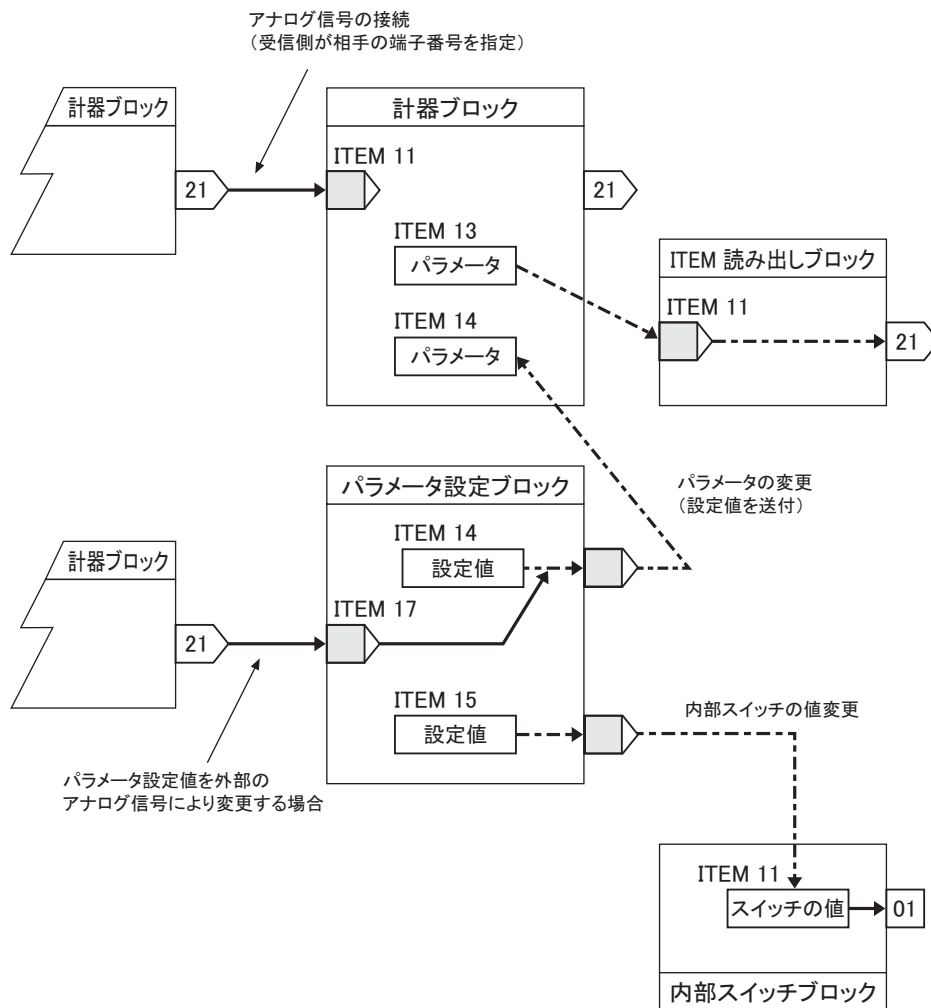
[注意]

各計器ブロックのパラメータ書換え回数の上限は約 10 万回（EEPROM の公称仕様）です。この回数は、例えば1時間に1回パラメータを書換えたとしても、11 年が限界ということになります。パラメータ設定ブロックをご使用になる場合は、この点を十分にご留意ください。

4.4.5 ITEM 読み出し

ITEM 読み出しブロックにより、パラメータの値をアナログ信号に変換することができます。

(図中の数値は一例を示します)



4.6 機器間伝送端子による伝送

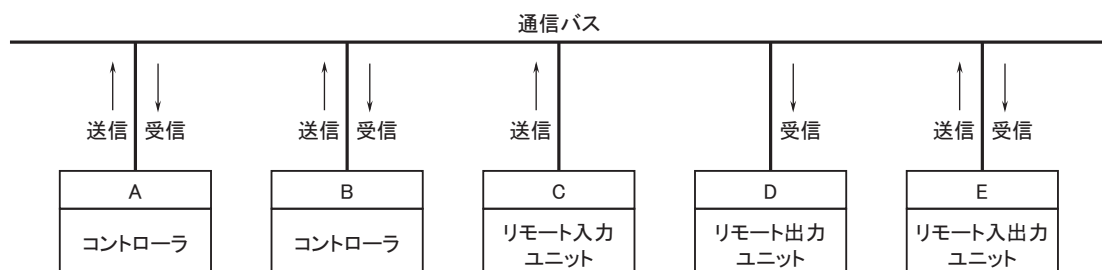
機器間でアナログ信号や接点信号を送受信するために、機器間伝送端子ブロックが用意されています。機器としては、バスに接続されているコントローラ、ユニット、パソコンを指します。

■送受信の原則

通信プロトコルは、ノード（バスに接続されている機器）に送信権（トークン）が巡回する、トークンパッシング方式を採用しています。トークンが廻ってきた機器は、バス上に送信データを放送します。他の機器はそれを聞いて、自己に必要なデータを取り込みます。

放送（送信）や取り込み（受信）を指定するために、下記の4種類の機器間伝送端子ブロックがあります。

- ・ Di 受信端子：接点入力 32 点
- ・ Do 送信端子：接点出力 32 点
- ・ Ai 受信端子：アナログ入力2点
- ・ Ao 送信端子：アナログ出力2点



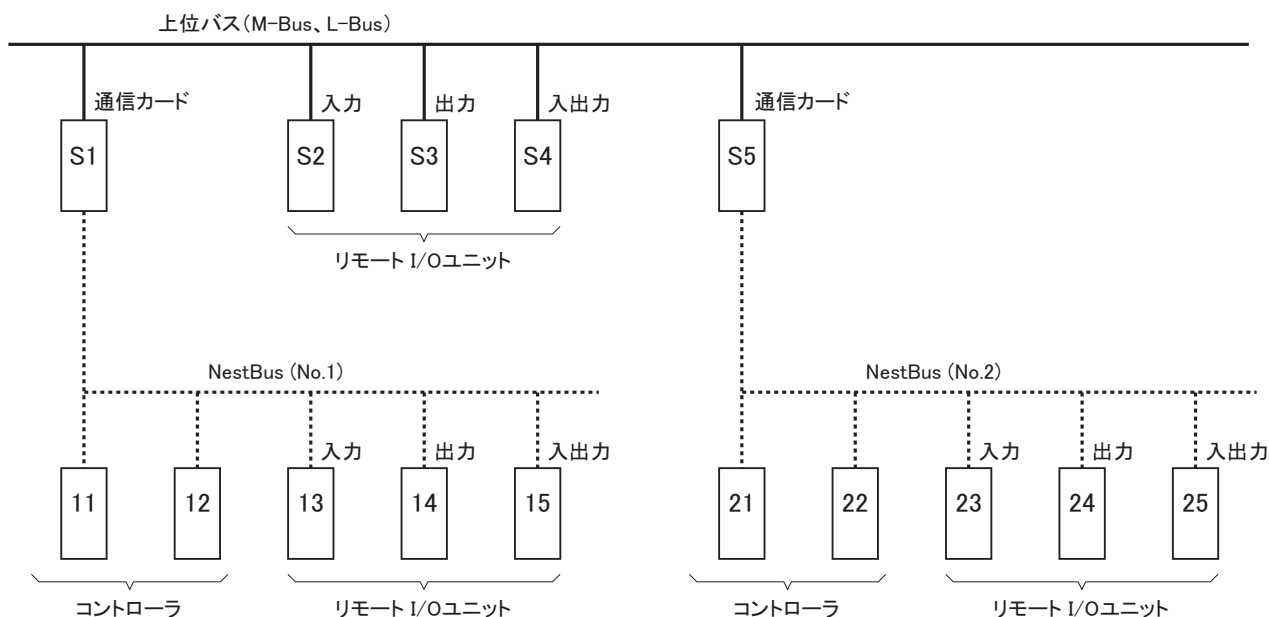
例えば、上図のAからBにデータを送信するとき、まずAの送信端子ブロックに必要データを設定してバス上に送信します。次に、Bの受信端子ブロックにAのデータを指定する送信元アドレスを設定してバス上のデータを取り込みます。

送信データには、送信元アドレスがつけられてバスに送出されますので、別のコントローラが受信したいときは、受信端子に欲しい送信元アドレスを指定します。ただし、M-Bus に接続するリモート出力ユニット（形式：DLA2）は、受信したい送信元アドレスを設定する機能がいないため、送信端子側で宛先アドレスを指定してデータを送付します。上図のDとEがこれに相当します。

■アドレス設定方法の詳細

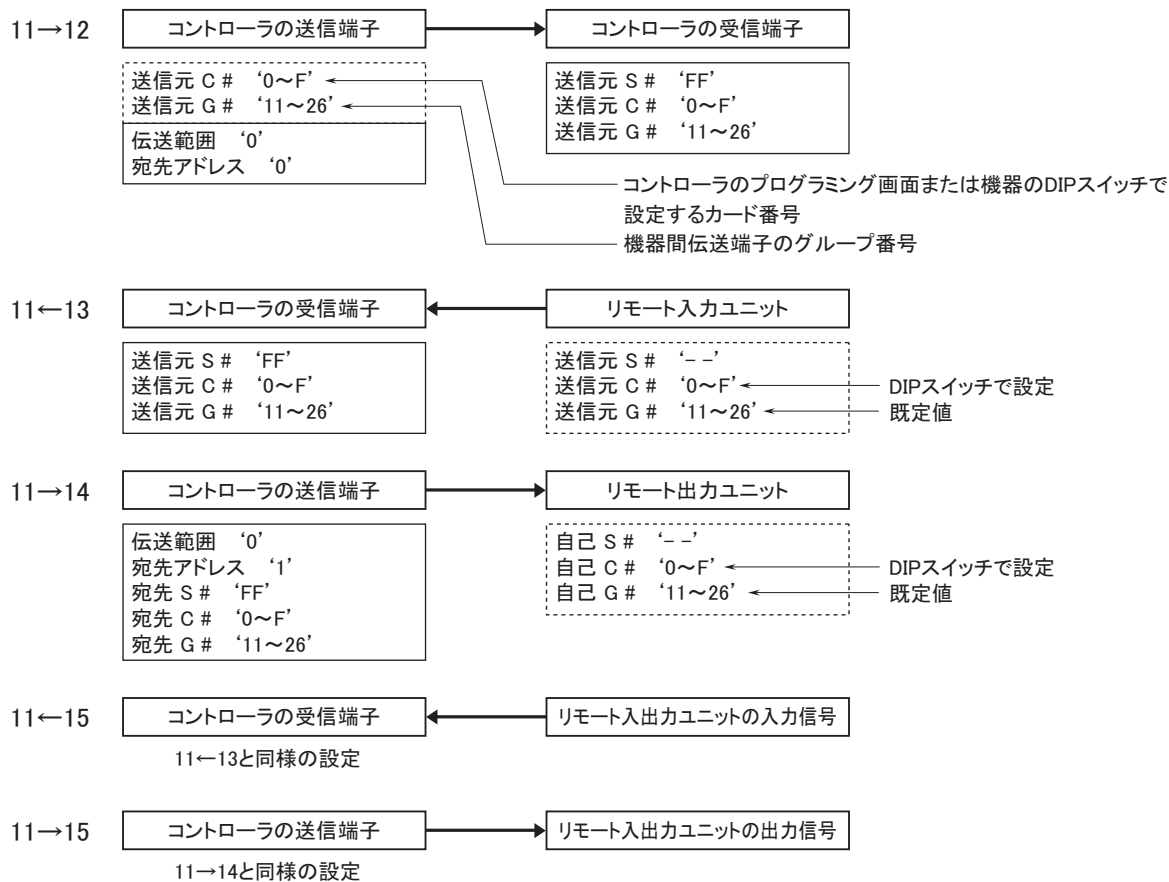
MsysNet システムのバスは、上位バス（M-Bus または L-Bus）と下位バス（NestBus）の2階層になっています。したがって、NestBus 内の通信だけでなく、通信カードを介して、上位バス上に送信あるいは上位バスから受信することができます。

ここでは下図に従って、MsysNet システムの通信経路別に、アドレス設定方法の詳細を示します。



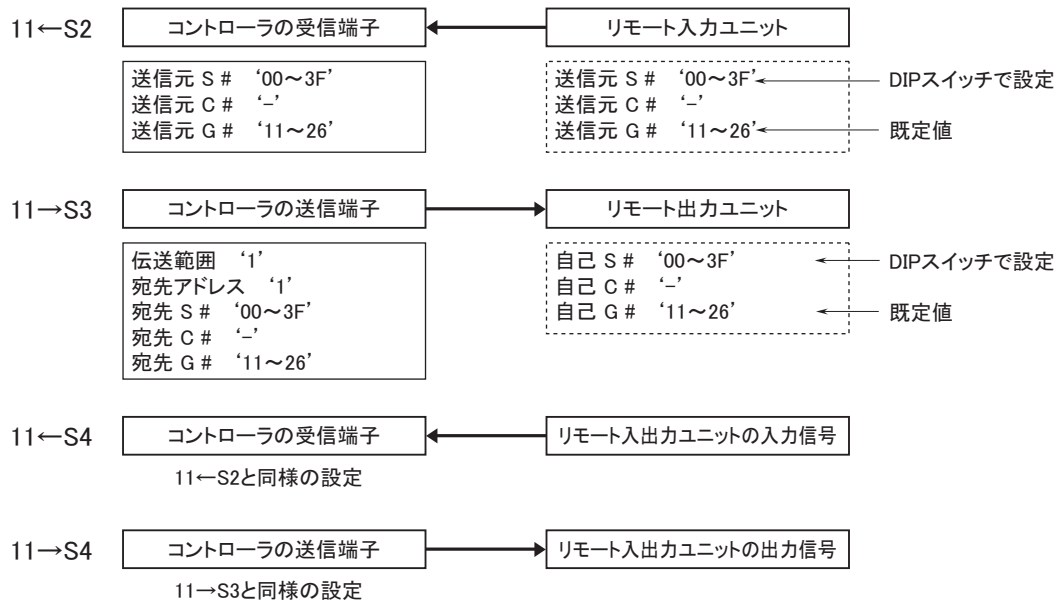
下記の実線枠は、伝送端子ブロックの項目（ITEM）に設定するデータを示し、破線枠は、ディップスイッチなど他の手段で設定されるデータを示します。リモート I/O が不要な項目は ‘—’ や ‘-’ で示します。

■同一 NestBus 内

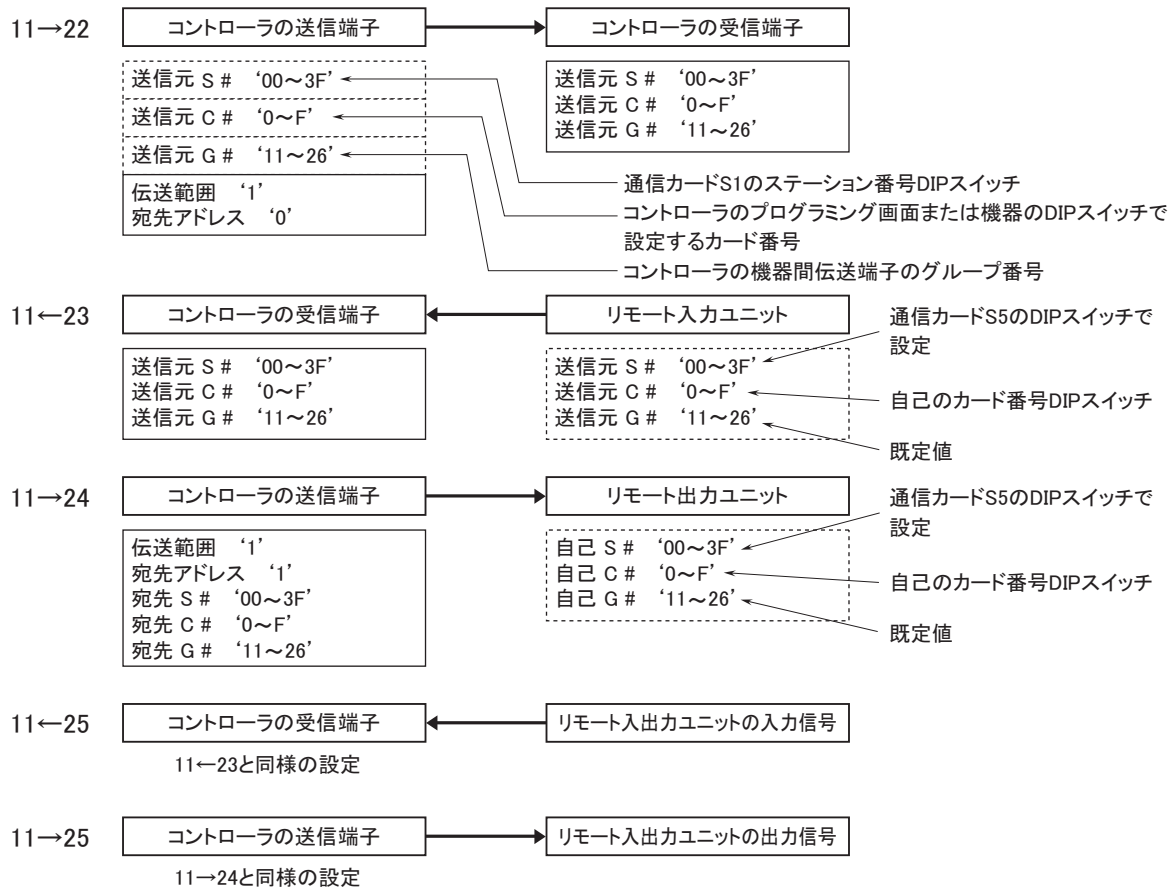


■ NestBus (No.1) ↔ M-Bus 間

M-Bus に接続されるリモート I/O ユニット（形式：DLA2）の入出力点番号と GROUP 番号との対応は、各機器間伝送端子ブロックの計器ブロックリストに記述してあります。



■ NestBus (No.1) ↔ NestBus (No.2) 間



4.7 多重伝送のアドレス設定方法

■ M-Bus 用機器（形式：DLA2）による方法

M-Bus 用機器は、ステーション番号を組み合わせることで多重伝送システムが実現できます。

同一の M-Bus 上に接続できる入力ユニット数は、ステーション番号 '00 ～ 3F' までの 64 台です。これに、64 台の出力ユニットを組み合わせることができます。

1 台の入力ユニットに 3 台までの出力ユニットを組み合わせることができます。

[ステーション番号の組合せルール]

- ・ : 0 ～ F（入力ユニットと出力ユニット相互間で一致させる）
- ・ 入出力混在形ユニットと組み合わせるときは、1 台目の番号を使用します。
2 台目以降は、出力ユニットのみ接続可能です。

入力ユニットの ステーション番号	出力ユニットのステーション番号		
	1 台目	2 台目	3 台目
SA1 SA2 0 *	SA1 SA2 4 *	SA1 SA2 8 *	SA1 SA2 C *
1 *	5 *	9 *	D *
2 *	6 *	A *	E *
3 *	7 *	B *	F * (FE と FF は使用不可)

- ・ 設定例：'01' と '41'
'3A' と '7A' と 'BA'

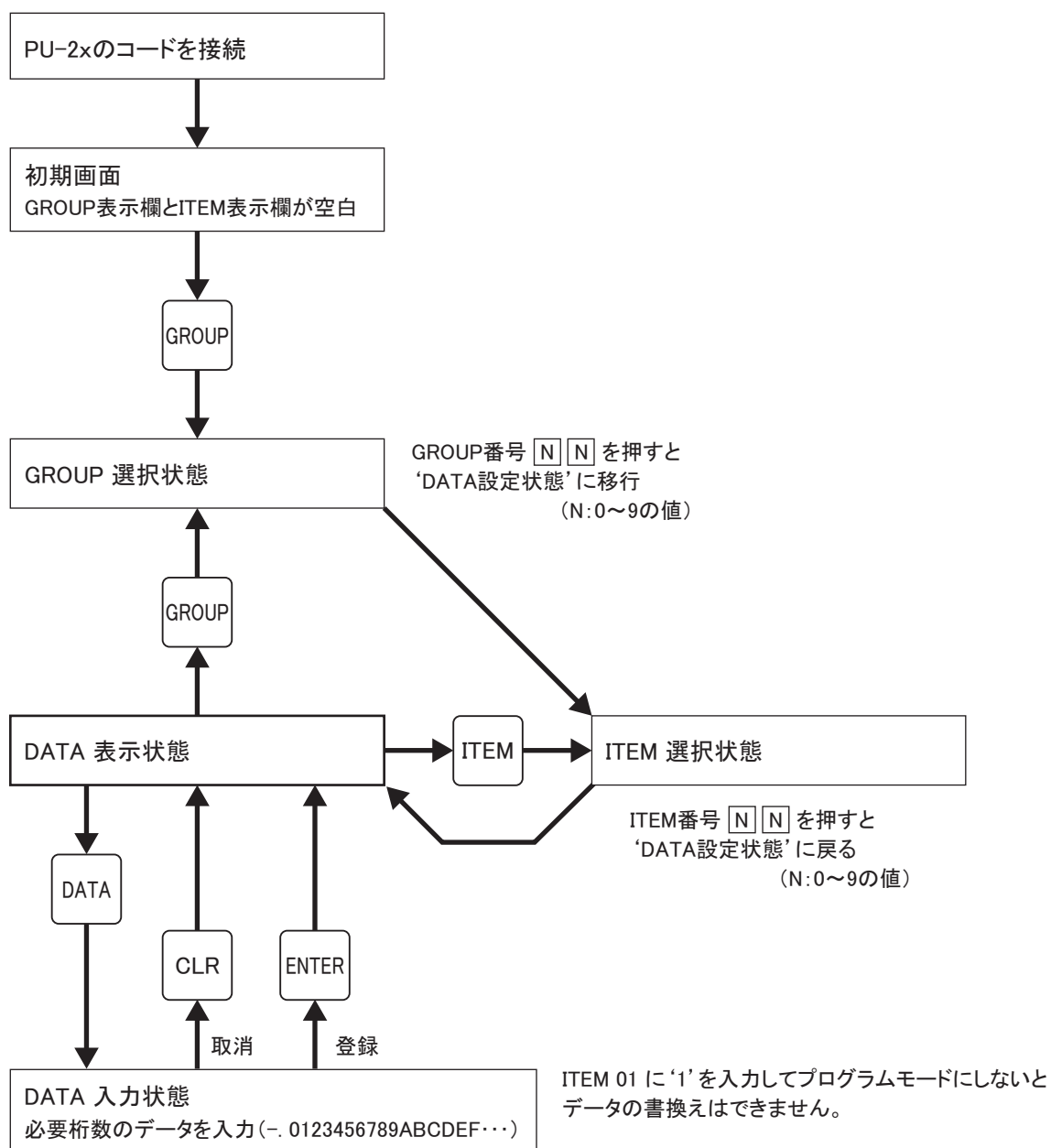
■ NestBus 用機器で任意の点を組み合わせる方法

NestBus 用機器の機器間伝送端子を使用すると、入出力点単位の組合せが実現できます。

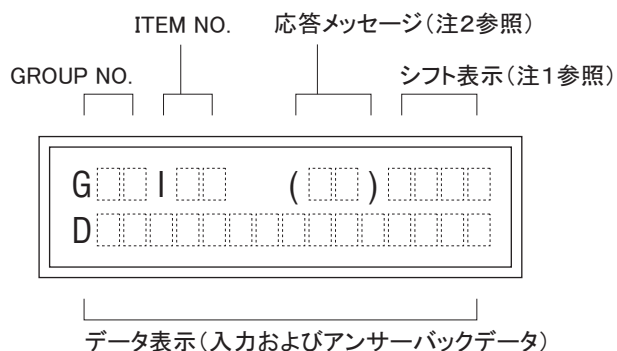
M-Bus 用機器（形式：DLA2）は、いったん NestBus 用機器で信号を読み込んで点番号の組合せを設定してから、再度送信します。

M-Bus を経由して NestBus 用機器相互間の伝送も可能です。

4.8 プログラミングユニット(形式:PU-2x)の操作方法



■プログラミングユニットの表示

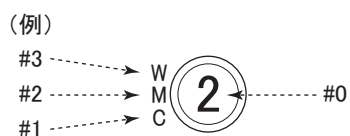


注1)シフト表示: アルファベット入力時のシフト位置表示

‘#’ キーを押すと、シフト表示が #0 → #1 → #2 → #3 → #0 …と順番に変化します。

#0 は数字入力モードです。

#1～#3 は数字キーの左に表示されているアルファベットの下からの段階を示します。



注2)プログラミングユニットの応答メッセージ

◆フォーマットチェック結果の応答メッセージ

- OK : 了解
- NG : 不可
- ER : 通信エラー
- OE : 操作手順エラー
- DE : データ文法エラー
- VE : 入力ユニットテーブル未登録(未初期化)エラー
- WE : 入力ユニットテーブル書込みエラー

付録(1) 計器ブロックエラーコード

確認された GROUP の ITEM 02 に発生中のエラーコードが表示されます。エラーコード一覧を下記に示します。

エラー表示	内容
ER : 00	正常動作
ER : 01	接続端子1未定義
ER : 02	接続端子2未定義
ER : 03	接続端子3未定義
ER : 04	接続端子4未定義
ER : 05	接続端子5未定義
ER : 06	接続端子6未定義
ER : 07	接続端子7未定義
ER : 08	接続端子8未定義
ER : 09	接続端子9未定義
ER : 10	演算過程 : 「0」 除算
ER : 11	演算過程 : 制限値外演算 ※1
ER : 20	伝送端子 : 無受信
ER : 21	伝送端子 : 外部接続機器異常 ※2
ER : 22	内部接続機器異常 SC
ER : 70	ブロック不当組合せ
ER : 80	シーケンス : コマンド不正
ER : 81	シーケンス : 接続端子未定義
ER : 87	シーケンス : ステップ未登録
ER : 88	シーケンス : レジスタ・オーバ
ER : 89	シーケンス : ワンショット・オーバ
ER : 90	EEPROM データ・ベース破損 ※3

※1. 32767 < 演算結果 < -32768

※2. SMM、SMDM、SMDT が外部接続機器（モデム等）から予期せぬ値を受信した

※3. EEPROM データベース破損時は、プログラムモードにて GROUP 00、ITEM 95 に「1」を書込んで
BLOCK RELEASE を行うか、ビルダーソフトにて EEPROM クリア後ダウンロードを実施してください。

付録(2) PLCインタフェース(SMDL, SMDK)の接続可能機種一覧

注) [] 内は SMDK

No.	形 式	PLC 形式	PLC RS-232C I/F	伝送領域	備 考
1	SMDL-M1- □ [SMDK-M1- □] 三菱電機	MELSEC-A シリーズ A3A, A2A (S1) A3H, A3N A2N (S1), A1N A3M, A1S (J) A2S, A2US (S8) AnU (S1)	計算機リンクユニット AJ71UC24 A1SJ71UC24-R2/PRF A1SJ71C24-R2/PRF A1SCPUC24-R2 A2CCPUC24 A2CCPUC24-PRF	計算機リンクユニット内 バッファメモリ H120 ~ H17F [H120 ~ H17F + 64W × 仮想カード枚数]	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : あり A2C、A0J2(H) シリーズは、 動作未確認 AJ71UC24 は AJ71C24-S8 の後継機 AJ71QC24 は不可 複数台接続可能
2	SMDL-R1- □ オムロン 1 : 1プロトコル	SYSMAC C シリーズ C200HS, C200H C200HX/HG/HE C1000H, C2000H C500	上位リンクユニット C200H-LK201-V1 C500-LK201-V1 C500-LK203 C120-LK201-V1	DM エリア DM0000 ~ DM0095	4800 / 7 / 2 P : 偶数、SUM : なし 1 : 1プロトコル 1台のみ接続可能
3	SMDL-F1- □ [SMDK-F1- □] 富士電機	MICREX-F シリーズ F120H, F120HS F200S F70 F55	汎用インターフェースモジュール FFU120B NC1L-RS2 NV1L-RS2	ユーザーファイル W30.0000 ~ 0031 + 96W × SMDL 台数 [W30.0000 ~ 0031 + 96W + 64W × 仮想カード枚数] 96W 分はオフセット可能	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : なし 複数台接続可能
4	SMDL-K1- □ アズビル	FA コントローラ MA500, MA500AH	通信モジュール CIM3 CNM7 SIOM7	I/O レジスタ 266W ~ 297W + 96W × SMDL 台数 96W 分はオフセット可能	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : なし 複数台接続可能
5	SMDL-E1- □ [SMDK-E1- □] 東芝	T シリーズ T2 (PU224) T3, T3H T2E, T2N, T1S V シリーズ	コンピュータリンク付 CPU を用いる RS-485 出力時、RS-485/ RS-232C 変換器 (ADP- 6237B) が必要	ファイルレジスタ F0000 ~ F0095 [F0000 ~ F0095 + 64W × 仮想カード枚数]	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : あり PLC CPU のコンピュータリンク 機能を用いる 1台のみ接続可能
6	SMDL-H1- □ 日立製作所	HIDIC - S10α シリーズ 4α, 4αF, 4αH 2α, 2αE, 2αH 2αHf	上位リンクモジュール LWE805 (4α 用) LWE450 (2α 用) LWE046 (2α 用) 2αCPU 内蔵は不可	ファンクションデータレジスタ FWB00 (0E3600h) ~ FWB5F (0E36BEh)	4800 / 8 / 1 P : 奇数、SUM : あり 2 α は上位リンクサポートソフト (4800 bps 用) が必要 1台のみ接続可能
7	SMDL-H2- □ 日立製作所	HIDIC H シリーズ H-300/302 H-700/702 H-1000 H-2000/2002	インテリジェント シリアルポートモジュール (上位通信モジュール) COMM-2H	WM エリア WM0 ~ WM5F	4800 / 7 / 1 P : 偶数、SUM : あり 1台のみ接続可能
8	SMDL-Y1- □ 横河電機	FA コントローラ FA-M3	通信モジュール F3LC11-1N	データレジスタ 0001 ~ 0032 + 96W + 96W × SMDL 台数 (スロット番号 001 の CPU モジュール) 96W 分はオフセット可能	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : なし 複数台接続可能
9	SMDL-Z1- □ IDEC	FA-3S シリーズ PF3S-CP12/13	シリアルインターフェースモジュール PF3S-SIF2	データレジスタ D100 (1500) ~ D195 (1595)	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : あり 1台のみ接続可能
10	SMDL-W1- □ 安川電機	MEMOCON GL120, GL130 プラントコントローラ CP-317	MEMOBUS モジュール MEMOBUS (RS232) (JAMSC-120N0M26100) CP-217IF (製品コード : 87317-2170x-S010y)	保持レジスタ 400600 (W00600) ~ 400695 (W00695)	4800 / 7 / 1 P : 偶数、SUM : あり 通信ケーブル JZMSZ-120W0200- □□ 1台のみ接続可能

複数台接続可能なものは、PLC 側に SMDL と同数の RS-232-C インターフェースユニットが必要です。

記載のない機種については、弊社のホットライン (フリーダイヤル 0120-18-6321) までお問合せください。

注) [] 内は SMDK

No.	形 式	PLC 形式	PLC RS-232C I/F	伝送領域	備 考
11	SMDL-R2- □ [SMDK-R2- □] オムロン 1 : N プロトコル	SYSMAC C シリーズ C200HS, C200H C200HX/HG/HE C1000H, C2000H C500, CQM1 CVM1, CV500/ CV1000/CV2000 CJ1 シリーズ CS1 シリーズ	上位リンクユニット C200H-LK201-V1 C500-LK201-V1 C500-LK203 C120-LK201-V1 CV500-LK201 CJ1W-SCU21/41 CS1W-SCB21/41 RS-232C 付 CPU ユニット	DM エリア DM0000 ~ DM0095 [DM0000 ~ DM0095 + 64W × 仮想カード枚数]	4800 / 7 / 2 P : 偶数、SUM : あり 1 : N プロトコル 1 台のみ接続可能
12	SMDL-M2- □ [SMDK-M2- □] 三菱電機	MELSEC-A シリーズ A3A, A2A (S1) A3H, A3N A2N (S1), A1N A3M, A1S (J) A2S, A2US (S8) AnU (S1) MELSEC-Q シリーズ Q02, QnnH	計算機リンクユニット AJ71UC24 A1SJ71UC24-R2/PRF A1SJ71C24-R2/PRF A1SCPUC24-R2 A2CCPUC24 A2CCPUC24-PRF QJ71C24	データレジスタ D0 ~ 15 + 96W × SMDL 台数 [D0 ~ 15 + 96W + 64W × 仮想カード枚数] 96W 分はオフセット可能	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : あり AJ71UC24 は AJ71C24-S8 の 後継機種 複数台接続可能
13	SMDL-C1- □ KEYENCE	KZ-A500 KV-700 KV-1000	パソコンリンクユニット KZ-L10 マルチコミュニケーションユニット KV-L20R	データレジスタ D0 ~ 15 + 96W × SMDL 台数 96W 分はオフセット可能	4800 / 8 / 1 P : なし、SUM : あり 複数台接続可能
14	SMDL-S1- □ シャープ	ニューサテライト JW20H/30H JW50H/70H JW100H J-boar Z-300 シリーズ	コンピュータリンク JW-22CU/32CUH1/ 33CUH □ /50CUH/ 70CUH/100CUH JW-10CM/21CM Z-331J/332J Z-311J/312J	レジスタ 39000 ~ 39027 + 96W × SMDL 台数 96W 分はオフセット可能	4800 / 7 / 2 P : 奇数、SUM : あり JW- □ □ M, Z-31 □ J と接続 時は、RS-232C/RS422A 変換 器が必要 複数台接続可能
15	SMDL-11- □ Koyo	KOSTAC S シリーズ SG-8B SU シリーズ SZ シリーズ	上位リンクモジュール G-01DM U-01DM Z-01DM SU-5M/6M/6H CPU SZ-4M CPU	データレジスタ R2000 ~ R2017 + 96W × SMDL 台数 96W 分はオフセット可能	4800 / 8 / 1 / ASCII P : 奇数、LRC : あり SG-8BCPU, SU-5E/6BCPU, SZ-4 CPU 内蔵は不可 複数台接続可能

複数台接続可能なものは、PLC 側に SMDL と同数の RS-232-C インターフェースユニットが必要です。
記載のない機種については、弊社のホットライン（フリーダイヤル 0120-18-6321）までお問合せください。

付録(3) SCシリーズのバージョンアップ補足情報

■ V 1.10 以降

- ・ 形式 F70、F71 : SC100/SC200 拡張フィールド端子ブロックにおいて、操作設定機能が追加されました。

追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
1次ループ				
51	△◎	0, 1	05: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
52	△◎	0, 1	06: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
53	△◎	0, 1	07: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
54	△◎	0, 1	08: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
2次ループ				
55	△◎	0, 1	09: N	LOCAL → CASCADE 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
56	△◎	0, 1	10: N	MANUAL → AUTO 操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
57	△◎	0, 1	11: N	SP 値 UP ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)
58	△◎	0, 1	12: N	SP 値 DOWN ボタン操作禁止スイッチ (0 : 許可、1 : 禁止)

- ・ 形式 F70、F71 : SC100/SC200 拡張フィールド端子2ブロックにおいて、接点出力設定が追加されました。

追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 51	△	0, 1	DM: N	異常時接点出力モード (0 : 通常、1 : RUN 接点 OFF で接点出力全点 OFF)

- ・ 形式 24 : 比率設定ブロックにおいて、CASCADE/LOCAL を切替える機能が追加されました。

追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 24	△	GGNN	C#: 0221	CAS 接続端子
25	△	± 32.000	SP: NN.NNN	CAS SP 比率
★ 29		0, 1	SM: N	設定形式 (0 : LOCAL、1 : CASCADE/LOCAL)
◆ 30	○	0, 1	03: N	C/L SW (0 : LOCAL、1 : CASCADE)
33	○	± 32.000	SP: NN.NNN	カレント SP 比率

- ・ 形式 18 : 入力選択 (緩和形) ブロックが追加になりました。

■ V 1.20 以降

・ MV 出力のバンプレス処理の変更について

MV 出力のバンプレス処理が変更されました。それ以外の動作および ITEM は変更ありません。

(1) MV 値状態遷移 (PID 動作、出力補償形式：加算・減算の場合)

		状態遷移後					
		Auto	出力補償	プリセット値	出力ホールド	外部帰還	Manual
状態遷移前	Auto	—	○	×	○	×	○
	出力補償	○	—	×	○	×	○
	プリセット値	○	○	—	○	×	○
	出力ホールド	○	○	×	—	×	○
	外部帰還	○	○	×	×	—	○
	Manual	○	○	×	×	×	—

○：バンプレス処理あり、×：バンプレス処理なし

注) プリセット値、出力ホールド、外部帰還または Manual モード中は積分動作を停止します。

(2) MV 値状態遷移 (PID 動作、出力補償形式：置換の場合)

		状態遷移後					
		Auto	出力補償	プリセット値	出力ホールド	外部帰還	Manual
状態遷移前	Auto	—	×	×	○	×	○
	出力補償	○	—	×	○	×	○
	プリセット値	○	○	—	○	×	○
	出力ホールド	○	○	×	—	×	○
	外部帰還	○	○	×	×	—	○
	Manual	○	○	×	×	×	—

○：バンプレス処理あり、×：バンプレス処理なし

注) プリセット値、出力ホールド、外部帰還または Manual モード中は積分動作を停止します。

(3) MV 値状態遷移 (PD 動作)

		状態遷移後					
		Auto	出力補償	プリセット値	出力ホールド	外部帰還	Manual
状態遷移前	Auto	—	×	×	○	×	○
	出力補償	×	—	×	○	×	○
	プリセット値	×	×	—	○	×	○
	出力ホールド	×	×	×	—	×	○
	外部帰還	×	×	×	×	—	○
	Manual	×	×	×	×	×	—

○：バンプレス処理あり、×：バンプレス処理なし

- ・ 形式 F72、F73：SC110/SC210 拡張フィールド端子1ブロックにおいて、バックアップ復帰モードおよびバックアップ対象グループ選択機能が追加されました。

追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示 (例)	DATA 名 (コメント)
★ 85	△	0, 1	BBL: N	バックアップ復帰モード (0：バランスレス復帰モード、1：バランス復帰モード)
★ 86	△	2, 3	BGR: N	バックアップ対象グループ

■ V 1.40 以降

- ・ 形式 58：折れ線リニアライザブロックにおいて、折れ線数が 7 本 → 16 本へ変更されました。
- ・ 形式 64：移動平均フィルタにおいて、以下の ITEM が変更・追加されました。
 - ITEM 12：サンプリング周期 0.5 ～ 115.0 s（最小 0.5 s 刻み）→ 0.1 ～ 115.0 s（最小 0.1 s 刻み）へ変更されました。
 - ITEM 13：サンプル数 1 ～ 16 → 1 ～ 32 へ変更されました。
 - ITEM 15：演算モードが追加されました。
- ・ 形式 F70、F71、F72、F73：SC □□□拡張フィールド端子2ブロックにおいて、Pi 6（高速パルス入力）を Di 6（接点入力）として使用できるようになりました。

F70、F71、F72、F73：SC □□□拡張フィールド端子2ブロックに追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
★ 52	△	0, 1	PD6: N	接点・パルス選択（0：Di 6、1：Pi 6）

■ V 1.50 以降

- ・ システム共通テーブル（SC シリーズ、ABH2 用）において、RUN 接点手動解除機能が追加されました。

システム共通テーブル（SC シリーズ、ABH2 用）に追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
60	△			■ RUN 接点異常解除モード
		0, 1	RUN: 0	自動解除
			RUN: 1	手動解除
61	○			■ RUN 接点異常解除フラグ
		0, 1	0	通常
			1	解除（ITEM 60 が手動解除のとき有効）

- ・ 形式 21、22：基本形 PID、拡張形 PID ブロックにおいて、アンチリセットワインドアップ機能の有効範囲設定用パラメータが追加されました。

PID ブロックに追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
★ 68	△	0, 1	ARW: N	積分動作範囲（0：MH ～ ML、1：設定値）
★ 69	△	± 115.00%	ARH: NNN.NN	積分動作上限設定値（ITEM 68 が ‘1’ のとき有効）
★ 70	△	± 115.00%	ARL: NNN.NN	積分動作下限設定値（ITEM 68 が ‘1’ のとき有効）

- ・ 形式 17：変化率制限ブロックが追加になりました。
- ・ 形式 F72、F73：SC110/SC210 拡張フィールド端子1ブロックにおいて、バックアップステータスが追加されました。

F72、F73：SC110/SC210 拡張フィールド端子1ブロックに追加された ITEM

ITEM	変更	DATA 入力	DATA 表示（例）	DATA 名（コメント）
87	△	0, 1	15: N	バックアップステータス（0：通常、1：バックアップ中）